



# 建築工事特記仕様書

**【1】 工事概要**

1. 工事場所 京丹波町市場・大倉地内

2. 敷地面積 \_\_\_\_\_ m<sup>2</sup>

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	備考
大貫バイオマスボイラー建屋	S造	1	150.0	150.0	

4. その他

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

**【2】 適用範囲**

現場説明書（質疑回答書を含む）、本特記仕様書、図面、標準仕様書、監理指針、建築基準法に示す範囲とする。

すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）をいう。（以下、これを「標仕」という。）

本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。

また、上記の監理指針とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事監理指針（平成25年版）をいう。

**【3】 工事区分**

設計図書による。

別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

**【4】 工事仕様**

1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。

2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。

4. 項目及び特記事項に記載の（ ）内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項
1	③ 特別な材料の工法	※ 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	④ 風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面相度区分等 風速 (Vo) ※ 3 2 ○ (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面相度区分 ○ I ○ II ● III ○ IV 多雪地域の指定 ※ なし ● あり (20N/m <sup>2</sup> 以上、0.9m)
	⑤ 現場代理人	※ 本工事の施工にあたっては、請負契約書第 1 0 条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。
	⑥ 工事工程報告	※ 月報は毎月末日にメ、翌月5日までに提出する。 ※ 日報は監督職員の指示による。 ※ 週報は毎週（ ）曜日に提出する。
	⑦ 工事実績情報の登録	※ 適用する（適用事項は、現場説明書による） ○ 適用しない (1.1.4)
	⑧ 設備工事との取合い	施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 ※ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ ※ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
	⑨ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。(1.2.3)
1	⑩ 工事写真	※ 工事写真の撮り方（改訂3版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）によるほかは監督職員の指示による。 ※ 下記のものも監督職員に提出する。
	⑪ 電気保安技術者	※ 適用する ○ 適用しない (1.3.3)
1	⑫ 施工条件	※ 現場説明書による。(1.3.5)
	13 発生材の処理等	○ 引渡しを要するもの（ ） ○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの（ ） ○ 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） ○ 指定地処分（ ） ※ 自由処分（最寄りの再生資源化施設へ搬出すること） ○ 指定副産物以外の搬出 ※ 構外搬出適切処理 ○ 特別管理産業廃棄物の処理（ ） 処理計画書等の提出 ※ 再生資源利用促進計画書、実施書を“CREDAS入力システム”により作成し、提出用ファイルと共に提出すること。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。 ※ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。

章	項目	特記事項																																							
1	14 発生材の処理等 (7ｽﾍﾞﾙ成形板)	処理を行う範囲 ※ 図示（仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認） ○ 全ての室 ○ _____ 施工調査 ※ アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認 確認方法 ※ 成形板の製造年等の確認 ○ X線解析法 処理方法 ※ 「非飛散性7ｽﾍﾞﾙ廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。																																							
	⑮ 技能士 (1.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>● とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>● 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ● 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>● 構造物鉄工作業 ● とび作業</td> </tr> <tr> <td>アロク及びALCパネル工事</td> <td>○ コンクリートアロク工事作業 ● ALCパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーポート工事</td> <td>○ 金属製カーポート施工作業 ○ ビル用カーポート施工作業 ○ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○ 7ｽﾌﾟﾙ防水工事作業 ● シーリング防水工事作業 ○ 9ｸﾗｽﾞﾍﾞﾙ系塗膜防水工事作業 ○ ｴﾍﾞﾙ系防水工事作業 ○ ｱｸﾘﾙ系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質7ｽﾌﾟﾙシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>● 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>○ ｸﾞﾗｽﾞﾌﾞﾙ系床仕上げ工事作業 ○ ｶﾞｰｽﾞﾌﾞﾙ仕上げ工事作業 ○ ｶｰﾍﾞｯﾄ系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>○ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 溶融ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業 ○ 加熱ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	● とび作業	鉄筋工事	● 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ● 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	● 構造物鉄工作業 ● とび作業	アロク及びALCパネル工事	○ コンクリートアロク工事作業 ● ALCパネル工事作業	カーポート工事	○ 金属製カーポート施工作業 ○ ビル用カーポート施工作業 ○ ガラス工事作業	防水工事	○ 7ｽﾌﾟﾙ防水工事作業 ● シーリング防水工事作業 ○ 9ｸﾗｽﾞﾍﾞﾙ系塗膜防水工事作業 ○ ｴﾍﾞﾙ系防水工事作業 ○ ｱｸﾘﾙ系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質7ｽﾌﾟﾙシート工法防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	● 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業	金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築塗装作業	建具工事	○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業	内装工事	○ ｸﾞﾗｽﾞﾌﾞﾙ系床仕上げ工事作業 ○ ｶﾞｰｽﾞﾌﾞﾙ仕上げ工事作業 ○ ｶｰﾍﾞｯﾄ系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業	排水工事	○ 建築配管作業	舗装工事	○ 溶融ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業 ○ 加熱ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業	舗装工事
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
仮設工事	● とび作業																																								
鉄筋工事	● 鉄筋組立作業																																								
コンクリート工事	○ 左官作業 ● 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業																																								
鉄骨工事	● 構造物鉄工作業 ● とび作業																																								
アロク及びALCパネル工事	○ コンクリートアロク工事作業 ● ALCパネル工事作業																																								
カーポート工事	○ 金属製カーポート施工作業 ○ ビル用カーポート施工作業 ○ ガラス工事作業																																								
防水工事	○ 7ｽﾌﾟﾙ防水工事作業 ● シーリング防水工事作業 ○ 9ｸﾗｽﾞﾍﾞﾙ系塗膜防水工事作業 ○ ｴﾍﾞﾙ系防水工事作業 ○ ｱｸﾘﾙ系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴム系シート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ○ 改質7ｽﾌﾟﾙシート工法防水工事作業																																								
石工事	○ 石張り作業																																								
タイル工事	○ タイル張り作業																																								
木工事	○ 大工工事作業																																								
屋根及びとい工事	● 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業																																								
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業																																								
左官工事	○ 左官作業																																								
塗装工事	○ 建築塗装作業																																								
建具工事	○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業																																								
内装工事	○ ｸﾞﾗｽﾞﾌﾞﾙ系床仕上げ工事作業 ○ ｶﾞｰｽﾞﾌﾞﾙ仕上げ工事作業 ○ ｶｰﾍﾞｯﾄ系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業																																								
排水工事	○ 建築配管作業																																								
舗装工事	○ 溶融ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業 ○ 加熱ﾊﾞｲﾝﾄﾞﾛｯｸﾞｰｶｰ工事作業																																								
舗装工事	○ 造園工事作業																																								

章	項目	特記事項
2	⑯ 監督職員事務所 (2.3.1)	規模 ● 10m <sup>2</sup> 程度 ○ 20m <sup>2</sup> 程度 ○ 35m <sup>2</sup> 程度 ○ 65m <sup>2</sup> 程度 ○ 100m <sup>2</sup> 程度 仕上 床 ● 合板張り素地 ○ ｴﾍﾞﾙ床ｼｰﾄﾞ敷き ○ ﾎﾝﾄﾞﾙﾍﾞｯﾄ敷き 内壁、天井 ● 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂ﾌﾗｲｼﾞｯｸﾞﾊﾞｲﾝﾄﾞ塗 屋根 ● 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合ﾊﾞｲﾝﾄﾞ塗 休憩室 ● 設けない ○ 設ける（畳敷き） ○ _____ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類ｺｯｶｰ（上記6品、____人分程度） ○ 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除具 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○ _____ ※ 標仕（平成25年版） ※ 建築工事監理指針（平成25年版） ※ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図（平成22年版） ○ 工事写真の撮り方（改訂3版）建築編
	⑰ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）
	⑱ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる（○有償 ○無償）
3	⑲ 仮囲い等	※ 図示による ● 工事対象箇所の周囲H=3m、L=90m(クロスゲート6mを含む)
	⑳ 設計G.L	※ 図示による ○ 設計G.L=現状G.L
3	㉑ 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	○ A種 砂質土（山砂の類）を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ※ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ 建設発生土（盛土材）の外部からの受入土量（ m <sup>3</sup> ） 発生場所（ ）
	㉒ 建設発生土の処理 (3.2.5)	※ 下記に定めるほかは、現場説明書による ○ 構外指示の受入場所に処分 受入場所 ※（一財）城陽山砂利採取地整備公社 ○ _____ 土壌調査 ※ 行う（受入場所指定の検査） ○ _____ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第7条第3項1.3号及び第4項に規定する方法 仮置場所 ○ _____ ○ 構内指示の場所に敷き均し ● 構内搬出の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理 ※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、搬出土量が少量（5.0Om <sup>3</sup> 以内）かつ緊急の場合等
3	㉓ 山留めの撤去 (3.3.3)	※ 撤去する ○ 在置する

章	項目	特記事項
1	① 適用基準等	※ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 平成25年版（監修：国土交通省） ※ 建築工事標準詳細図 平成22年版（監修：国土交通省） ● 敷地調査共通仕様書 平成23年版（監修：国土交通省） ● 建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版（監修：建設大臣） ● 公共建築改修工事標準仕様書 平成25年版（監修：国土交通省） ○ 公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 平成25年版（監修：国土交通省） ● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 平成25年版（監修：国土交通省） <small>（注：監修標「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を、「建設大臣」は建設大臣官房官庁営繕部を示す）</small>
	② 建築材料等	※ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。 ※ 下記材料品目は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」にある材料とする。 また、同評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとする事ができる。（評価名簿によるもの） 床型枠用鋼製デッキプレート（ﾌﾗｯｸﾞｼｰﾄﾞ）、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材（ﾌﾟﾘﾝｸﾞｽﾞﾙ形、現場調合形）、押出成形セメント板、成形伸縮目地材、乾式保護材（防水立上部）、陶磁器質タイル、既製調合モルタル（ﾀｲﾙ工事用）、既製調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材（ﾓﾙﾄﾞﾙ）、アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具、錠前類（ｼﾝｸﾞﾙ錠、ﾄﾞﾌﾞﾙ錠、ｼﾝｸﾞﾙ本締め錠）、クローザー類（ﾄﾞｱｸﾞｰﾝ、ﾋﾝｼﾞｸﾞｰﾝ、ﾌﾞﾗｯｼﾝｸﾞ）、自動扉機構（制御装置・駆動装置、検出装置、制御装置・駆動装置・検出装置）、自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、ｵｰﾊﾞｰﾊｯﾄﾞﾄﾞｱ、ガラスﾌﾟﾗｯﾄﾞｸﾞﾗｽ、型板がﾗｽ、網入板がﾗｽ・線入板がﾗｽ、熱線吸収板がﾗｽ、倍強度がﾗｽ、熱線反射がﾗｽ）、ガラスブロック（中空）、防水剤、現場発泡断熱材、ﾌﾞﾗｯｸﾞﾙｯｸﾞ (300N、5000N)、可動間仕切、移動間仕切（ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ）、トイレブース、煙突用成形ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム（屋上緑化システム、屋上緑化軽量システム）、トップライト、エキスポ樹脂、タイル部分張替用接着剤、ポリマーセメントモルタル、錆鉄製ふた（マンホールふた・弁拵ふた）
1	④ 電気保安技術者 (1.3.3)	※ 適用する ○ 適用しない
	⑥ 施工条件 (1.3.5)	※ 現場説明書による。
1	13 発生材の処理等 (1.3.8)	○ 引渡しを要するもの（ ） ○ 現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの（ ） ○ 指定副産物の搬出（詳細は現場説明書による） ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地（詳細は現場説明書による） ○ 指定地処分（ ） ※ 自由処分（最寄りの再生資源化施設へ搬出すること） ○ 指定副産物以外の搬出 ※ 構外搬出適切処理 ○ 特別管理産業廃棄物の処理（ ） 処理計画書等の提出 ※ 再生資源利用促進計画書、実施書を“CREDAS入力システム”により作成し、提出用ファイルと共に提出すること。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書を提出すること。 ※ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）制度により、適正な処理を行うこと。 ※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。
	⑩ 完成図 (1.7.2)	※ 作成する（提出部数 ※ 2部 ○部） 詳細は監督職員の指示による。 ※ 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。
1	18 保全に関する資料 (1.7.3)	※ 作成する（提出部数 ※ 2部 ○部） ○ 作成しない ○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ○ 建物の主要な構造部及び外構についての説明 ○ 建物を使用する上での注意事項 ○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 ○ 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ○ 建物等の清掃の要点 ○ 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全「業務共通仕様書」を参考として作成すること。
	19 中长期保全計画書	※ 作成する（提出部数 ※ 2部 ○部） ○ 作成しない
2	① 足場その他 (2.2.4)	● 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 基発第0424001号）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の(2)の手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。

京丹波町 企画政策課	課長	担当課長	副課長	担当	工 事 名	(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番	
							設計番号	設計年度	平成 年 月
								A3 1/200	020枚の内

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項													
5	鉄筋工事	①鉄筋の種類 (5.2.1)	異形鉄筋	種類(表5.2.1)	種類の記号	径(mm)	備	考	※SD295AはF <sub>c</sub> :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm	※柱・梁の主筋 ○ 重ね継手 ※ガス圧接継手 D19以上 ○ 標仕表5.3.2による ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 ※その他 ※重ね継手 ○ ガス圧接継手 D16以下 ※ 構造図による ○ 機械式継手 ○ 溶接継手	○ 機械式継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 溶接継手 種類 _____ 工法 _____ 品質確認方法、修正方法等 _____ ○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 表5.3.3による ○ 柱に取付る梁の引張り鉄筋の定着長さ ※ 構造図による ○ 表5.3.4による	※ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	施工箇所等	最小かぶり厚さ(mm)	機械式継手及び溶接継手のあき ○ _____	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験	⑤圧接完了後の試験 (5.4.9)	④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	③鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.2)(5.5.3)	2溶接金網 (5.2.2)	5.2.1	5.2.2	5.2.1	5.2.2	5.2.1	5.2.2	5.2.1	5.2.2	5.2.1	5.2.2		
		②鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.2)(5.5.3)		③鉄筋の継手 (5.3.4)(5.5.2)(5.5.3)	④鉄筋のかぶり厚さ (5.3.5)	⑤圧接完了後の試験 (5.4.9)																											
		⑥構造体強度補正值 (6.3.2)		⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																										
		③セメントの種類 (6.3.1)		④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)																								⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)
		①コンクリートの種類 (6.2.1)		②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)																								⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)
6	コンクリート工事	①コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 ※ 普通コンクリート ○ _____	種類 ※ Ⅰ類 ○ Ⅱ類 (表6.2.1)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> )	打設部位	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	備	考	②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)														
		②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																							
		③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																								
		④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																									
		⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																										
7	鉄骨工事	①型枠 (せき板) (6.2.5)(6.8.2)(6.8.3)	合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) ※ 12 ○ _____	打放し仕上げのせき板 ※ 合板せき板を用いる場合 (表6.2.4)	種別	板面の品質	施工箇所	○ A種 ※6.8.3(b)(1) ○ ○ B種 ※6.8.3(b)(2) ○ ○ C種 ※6.8.3(b)(2) ○	○ 合板せき板を用いない場合 せき板の種類 _____	外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ※ 図示による ○ 20mm ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ※ 図示による ○ _____	スリーブの材種 (表6.8.1)	適用箇所	材種 (規格その他)	水密を要する地中部分等 ※ つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のVU)	上記以外の円形スリーブ ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200mm以下は厚0.4mm以上、径200mmを超え350mm以下は厚0.6mm以上) ○	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する	10 軽量コンクリート (6.10.1)	11 寒中コンクリート	12 暑中コンクリート (6.12.2)	13 マスコンクリート (6.13.2)	⑭コンクリートミキサー車の過積載防止対策等												
		②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																							
		③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																								
		④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																									
		⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																										
7	鉄骨工事	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)	セットの種類 ○ 1類 (F8T相当) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理 (表面粗度5.0 μmRz以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○ _____	ボルト径 ○ _____	鋼の種類 ※ 割弁式 ○ バイプ式 ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト	材質、形状及び寸法 ※ 図示による ○ _____	8 デッキプレート (7.2.7)(7.7.8)	9 工作図 (7.3.2)	10 仮組 (7.3.10)	⑪溶接作業における技能資格者 (7.6.3)	⑫溶接接合 (7.6.4)(7.6.7)	⑬溶接部の試験 (7.6.11)	14 耐火被覆 (7.9.2)~(7.9.7)	⑮アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)	⑯柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)																		
		②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																							
		③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																								
		④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																									
		⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																										
7	防水工事	①錆止め塗料 (7.8.3)(18.3.2)	塗料の種類 ● 鉄鋼面の錆止め塗料 ● 表18.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ _____ ○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 表18.3.2による ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ _____ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限る) ○ 表18.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ _____ 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2)~(8.2.4)	ブロックの種類 ※ 16 (C種) 普通ブロック ○ 16-W (C種) 防水ブロック コンクリートの設計基準強度 F <sub>o</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) 充填用及びまぐさ ※ 21 以上 ○ _____ 上記以外 ※ 21 以上 ○ _____ 各部の配筋 ※ 図示による	2 コンクリートブロック壁及び塀 (8.3.2)	ブロックの種類 (表8.3.1)	適用箇所	種類の記号	間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀 空洞ブロック 16 外壁の化粧積み 空洞ブロック 16-W 各部の配筋 ※ 図示による 塀化粧ブロック ○ 有 ( ) ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F <sub>o</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) ※ 18 以上 ○ _____	3 A L Cパネル (8.4.2)~(8.4.5)	パネルの種類 (表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)	種類	単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )	厚さ (mm)	構法	耐火性能	○ 外壁用 ※ 1180 ○ 1960 ※ 100 ○ A種 ※ 有り (時間) ○ ※ B種 ○ 無し ○ 間仕切用 ※ 640 ○ ※ 100 ※ C種 ○ E種 ※ 有り (時間) ○ D種 ○ 無し ○ 屋根用 ※ 980 ○ ※ 100 ※ F種 ※ 有り (時間) ○ ○ 無し ○ 床用 ○ 2350 ○ 3530 ○ 100 ※ F種 ※ 有り (時間) ○ 150 ○ 無し ○ 無し	④押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2)~(8.5.4)	種類 ※ 無石綿タイプ (タイプⅡ)	施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	工法	耐火性能	● 外壁 ※ フラットパネル ○ 3.5 ● A種 ※ 有り (時間) ○ デザインパネル (図示) ○ 5.0 ○ B種 ○ 無し ○ タイルベースパネル ● 6.0 ● 無し ● 間仕切り ※ フラットパネル ○ 3.5 ○ B種 ○ 有り (時間) ○ デザインパネル (図示) ○ 5.0 ● C種 (時間) ○ タイルベースパネル ● 6.0 ※ 無し ● 吸水防止処理加工 (外壁のみ)	1 アスファルト防水 (9.2.2)~(9.2.5)	(表9.2.3)~(表9.2.9)	種別	防水層	施工箇所	断熱材 (保護防水断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 材質 ※ A種押出法* リフォーム保温材の保温板3種 (b*(わりあり) (ただし、特定フロンを含まないものとする。) ○ _____ 断熱材 (露出防水断熱工法) 厚さ ○ _____ mm 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 (JIS A 9511) (ただし、透湿係数を除く規格に適合するものとする。) ○ _____ ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○ _____ 絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15 (保護防水工法) ※ フラットヤーンクロス (70g/m <sup>2</sup> 程度) (保護防水断熱工法) ○ _____ 押え金物 ※ アルミニウム製 L=30×15×2.0 ○ _____ 立上り部の保護 ○ 乾式保護材 ○ 普通れんが ○ 化粧れんが ○ _____ 保護層 平場のコンクリート厚さ ○ _____ mm ○ こて仕上げ _____ mm ○ 床タイル張り等仕上げ _____ mm 屋上排水溝 ※ 図示による	
		②コンクリートの強度 (6.2.2)(6.2.4)(6.14.1)	③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																							
		③セメントの種類 (6.3.1)	④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																								
		④骨材 (6.3.1)	⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																									
		⑤混和材料 (6.3.1)	⑥構造体強度補正值 (6.3.2)	⑦鉄骨の製作工場 (7.1.3)	⑧施工管理技術者 (7.1.3)(7.1.4)	⑨鋼材の種類 (7.2.1)	⑩高力ボルト (7.2.2)(7.4.2)																										

京丹波町 企画政策課

設計番号 \_\_\_\_\_ 設計年度 \_\_\_\_\_ 平成 \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

課長 \_\_\_\_\_  
担当課長 \_\_\_\_\_  
副課長 \_\_\_\_\_  
担当 \_\_\_\_\_

工務名 \_\_\_\_\_  
図名 \_\_\_\_\_

(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事

縮尺 A1 1/100 A3 1/200  
図番 No.A-002/020 枚の内

建築工特記仕様書 2

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項								
9	防水工事	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)~(9.3.4)	種別 (表9.3.1)~(表9.3.3)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	10	石工事	2 テラゾ張り (10.2.1)	(表10.2.2)	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ	形状・寸法等	表面仕上げ	11	タイル工事	5 張付け用材料 (11.3.3)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	12	木工事	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 ○造作用単板積層材	使用箇所	厚さ	表面の品質	防虫処理	
		3 合成高分子系ルーフシート防水 (9.4.2)~(9.4.4)	種別 (表9.4.1) (表9.4.2)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料			3 壁の石張り工法 (10.2.2)~(10.5.3)	外壁石張り 工法 ○外壁湿式工法 (※ 流し築工法 ○あと施工フック工法 ○あと施工フック-横筋流し工法) 受金物の材質、形状及び寸法 ○ ○乾式工法 ※ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。 (○スライド方式 ○ロッキング方式) 石の厚さ mm 表面及び裏打ち処理 ※行わない ○行う (表面処理の場合小口共) ドレンパイプ ※ステンレスSUS304 ○ 目地 ○一般目地幅 mm ○伸縮調整目地位置 ○シーリング材の目地寸法 mm	5 張付け用材料 (11.3.3)	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 ○造作用単板積層材	使用箇所	厚さ			表面の品質	含水率			防虫処理					
		4 塗膜防水 (9.5.3)	種別 (表9.5.1) (表9.5.2)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料			4 床及び階段の石張り (10.6.2)~(10.6.3)	石の厚さ mm 石裏面処理 ※行わない ○行う 目地 ○一般目地幅 mm ○伸縮調整目地位置 ○シーリング材の目地寸法 mm	2 表面仕上げ (12.1.4)	表面仕上げの程度 ○A種 ※B種 ○C種 ○D種 (表12.1.1)	普通合板	使用箇所	厚さ			樹種名	接着程度			板面の品質	その他処理				
		5 珪酸質系塗布防水 (9.6.3)	種別 (表9.6.2)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料			5 特殊部位の石張り (10.2.2)~(10.7.4)	石の厚さ mm 石裏面処理 ※行わない ○行う 目地 ○一般目地幅 mm ○伸縮調整目地位置 ○シーリング材の目地寸法 mm	3 含水率 (12.2.1)	下地材 ※A種(15%以下) ○B種(20%以下) 造作材 ※A種(15%以下) ○B種(18%以下)	構造用合板	使用箇所	等級			厚さ	樹種名			接着程度	板面の品質	その他処理			
		6 漏水試験	※水張り試験を行う (○屋内 ○屋外)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料			7 保証書	取付工法 ○外壁湿式工法 ○内壁空積工法 ○乾式工法 取付金物 ○ 石の厚さ mm 表面及び裏打ち処理 ※行わない ○行う 目地 ○一般目地幅 mm ○伸縮調整目地位置 ○シーリング材の目地寸法 mm	4 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」による製材 ○下地用針葉樹製材	「製材の日本農林規格」による製材 (表12.2.2)	使用箇所	樹種			寸法	等級			形状	含水率				
10	石工事	1 天然石張り (10.2.1)	石の品質 床用石材 ○1等品 ※2等品 壁及びその他の石材 ※1等品 ○2等品	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	8 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ 設置数量 箇所	6 集材材 (12.2.1)	「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 ○造作用集材材	「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 (表12.2.2)	使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	13	屋根及び とい 工事	①性能	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 (表13.2.1)	2 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3)	屋根葺形式	材料の種類等	厚さ(mm)	下葺材料
		②シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)	シーリング材の種類 ※表9.7.1による	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	9 遮熱	※受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)	7 集材材 (12.2.1)	使用用材のうち杉、ひのきについては京都府内産木材とする。 ○工事完成までに、京都府内産木材証明書及びウッドマイルズ®CO2計算書を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL: 075-211-8895 URL: http://www.kcfca.or.jp/wood/index.php 注)証明書は製材材、流通業者の全てが取扱い事業者でなければ発行されない。 詳細は上記URLを参照すること。 ○工事完成までに、京都府内産木材の産地証明書を提出すること。 代用樹種 ※可(表12.2.3) (上記府内産木材の他、特記されているものは不可) ○不可	③折板葺 (13.3.2)	形式による区分	※重ね形 ○はせ締め形 ○嵌合形	山高(mm)	150	耐力	山ピッチ(mm)	板厚(mm)			※0.6 ○0.8						
		10 止水板	シーリングの試験 ※簡易接着性試験 (部位) ○引張接着性試験 (部位)	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	10 下地及びタイルごしらえ(11.2.7)	浮きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○行わない	8 製材 (12.2.1)	「製材の日本農林規格」による製材 ○下地用針葉樹製材	「製材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	使用箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3)			種類、大きさ、産地等 ※J型 53A ○ 役物互の種類 雪止め瓦の使用 ○有 ○無 ※建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。						
		③シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)	シーリング材の種類 ※表9.7.1による	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	11	タイル工事	3 陶磁器質タイル張り (11.2.2) (11.3.2) (11.4.2)	タイルの種類 施工箇所・形状・タイルの種類 寸法(mm) 生地 釉薬 耐凍害性 すべり抵抗性 役物 色 工法 その他	「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 ○造作用集材材	使用箇所	樹種	寸法	見付材面の品質	含水率	5 とい(雨水) (13.5.2) (13.5.3)	といの材質 ○配管用銅管 ●硬質ポリ塩化ビニル管 ○ (表13.5.1) (屋内といにV.P管は使用しない) 掃除口 ※設ける (開放性のある自転車置場のといを除く) 銅管製といの防露 ※行う (施工箇所 ※表13.5.5)による ○ 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○									
		④シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)	シーリング材の種類 ※表9.7.1による	種別	防水層	施工箇所	仕上塗料	12	木工事	4 下地及びタイルごしらえ(11.2.7)	タイルの試験張り ※行わない ○行う タイルの見本焼き ※行わない ○行う	「集材材の日本農林規格」以外の製材 (表12.2.2)	使用箇所	樹種	寸法	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率			6 保証書	※受注者、屋根施工業者、屋根材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限: 工事目的物引渡しより 10 年間以上とする。)					

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
14	1 一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ( 箇所以上、 ___N/箇所 ) ○行わない	15	①モルタル塗り (15.2.2) ~ (15.2.5)	既製目地材 ○適用する (形状 _____ ) 床塗り 目地の設置 ※有り (※押目地 ○ _____ ) ○無し 外壁タイル張り下地等の均しモルタル塗りの確認及び試験 浮きの確認 ※全面打診による確認を行う 接着力試験 ※行う ○行わない	15	4 仕上塗材の下地処理 (15.5.4)	A L Cパネルの内壁目地部の形状 ※V型目地付き ○ _____	16	9 鋼製軽量建具 (16.5.2) ~ (16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 ※適用する (A-3) ○適用しない ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) 鋼板 ※表面処理亜鉛めっき鋼板 ○ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ○ステンレス鋼板 鋼板類の厚さ ※表16.5.1 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ _____ mm	
	2 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	種 類 施 工 箇 所 (手すり、タラップ、建具以外) ※ H L程度 下記以外の見掛け全て ○ No. 2 B程度 ○ 鏡面仕上げ		2 セルフレパリング材塗り (15.4.2)	※種類及び品質は表15.4.1による ○セッコウ系 ○セメント系 厚さ (mm) ※10 ○15		5 マスチック塗材塗り (15.6.2)	種別 ○A種 ※B種 (表15.6.1) 仕上塗り 種類 _____ 適用箇所 _____		10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~ (16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ○S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) ステンレス鋼板 ※JIS G 4305 ステンレス鋼板 (屋外) ※ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ステンレス鋼板 (屋内) ※ SUS304 ○ SUS430J1L ○ SUS443J1 ○ SUS430 JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ ※ H L仕上げ ○ 鏡面仕上げ 曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ	
	3 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	種 別 種 類 施 工 箇 所 (手すり、成形板、笠木、建具以外)		3 仕上塗材仕上げ (15.5.2)	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ _____		6 ロックウール吹付け (15.8.2) (15.8.3)	吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 ※仕上げ表による		11 木製建具 (16.7.2)	建具材の含水率の種別 ○A種 ※B種 ○C種 代用樹種の適用 ※可 ○不可 フラッシュ戸 表面材の合板の種類及び品質等 ○ _____ 表面板の厚さ ※図示による ○ _____ かまち戸 かまち及び鏡板の樹種 ※図示による ○ _____ 見込み寸法 ※36mm ○ _____ ふすま 上張りの種類 ※図示による ○ _____ 見込み寸法 ※19.5mm ○ _____ 戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ○ _____ 紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ○ _____ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ _____	
	4 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)	陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ○三次電解着色 ○ _____		薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)		①性能 ※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。	吹付け厚さ (mm) 施 工 箇 所 ※仕上げ表による		12 アルミニウム製建具 (16.8.2) ~ (16.8.4)	⑫建具用金物 (16.8.2) ~ (16.8.4)	マスターキーの製作 ※作成する ( ___グループ、各グループ ___個 ) ○作成しない ○在来マスターキーに合わせる
	5 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2) (14.4.4)	野縁等の種類 屋内 ※19型 ○25型 (表14.4.1) 屋外 ○19型 ※25型 屋外の野縁受け・吊りボルト・インサートの間隔 _____ mm 屋外の周辺部の端からの寸法 _____ mm 屋外の野縁の間隔 _____ mm 屋外のはずれ留め補強 ※有り ○無し 開口補強 吊りボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ○ _____ 天井のふとところの補強 (1.5m以上3m以下) ※行う (図示による)		厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)	厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表15.5.1)		2 防火戸 (16.1.3)	※図示による ○ _____		開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 ( _____ ) ・サッシ 適用箇所 ( _____ ) ・シャッター 適用箇所 ( _____ )	開き戸 (表16.8.1)	金物の種類 見え掛り部の材質 その他 ● シリンダー錠 ○ 握り玉：スチルス ● レバーハンドル：アルミニウム合金、 (●スチルス、○黄銅) ● 取付位置 (図示) 実用性能項目 ※グレード3以上 (鋼製建具、鋼製軽量建具、スチルス建具) ○ _____
	6 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)	スタッド、ランナー等の種類 (表14.5.1) ※表14.5.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ○ _____ スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示による ○ _____		○外装厚塗材C ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○外装厚塗材C ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		3 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 ○行う (建具番号 _____ ) 特殊な建具の仮組 ○行う (建具番号 _____ )		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	7 金属成形板張り (14.6.3)	形 状 製 法 材 種 寸 法 (mm) 表 面 処 理 ○ スパンドレル形 ○ 押出し ※アルミニウム製 板厚 _____ ○ ロール ○ 板幅 _____ ○ パネル形 ※プレス		○内装厚塗材C ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ゆず肌状 ○さざ波状 ローラー	○内装厚塗材C ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ゆず肌状 ○さざ波状 ローラー		4 防犯建物部品 (16.1.6)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ドア 適用箇所 ( _____ ) ・サッシ 適用箇所 ( _____ ) ・シャッター 適用箇所 ( _____ )		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	8 アルミニウム製笠木 (14.7.2) (14.7.3)	種 類 板厚 (mm) 表 面 処 理 備 考 ○ 250 形 1.6 ○ 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。 ○ 300 形 1.8 ○ 350 形 2.0 ○		○内装厚塗材E ○ゆず肌状 吹付け ○ローラー ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材E ○ゆず肌状 吹付け ○ローラー ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		5 アルミニウム製建具 (16.2.2) ~ (16.2.4)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表16.2.1)		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	9 手すり (14.8.2)	材 料 及 び 表 面 処 理 施 工 箇 所 ※ ステンレス製SUS304 ※ H L程度 ○ 鏡面程度 ○ 鋼製 亜鉛めっき 外部 ※ C種 内部 ※ E種 ○ アルミニウム製 ※ B-1 ○		○内装厚塗材G ○平たん状 ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材G ○平たん状 ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○ひき起し ○かき落とし		6 網戸 (16.2.3)	防虫網 網の種類 ※合成樹脂製 ○ガラス繊維入り合成樹脂製 ○ステンレス製 (SUS316) 形式 ※外部可動式 ○固定式 線径、網目 ※0.25mm以上、16~18メッシュ ○ _____		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	⑩ タラップ及び丸環 (14.8.3)	材 質 ※ ステンレス製SUS304 (表面処理2 D程度) ○ _____		○内装厚塗材H ○平たん状 ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材H ○平たん状 ○凹凸状 吹付け ○調湿形 ○ひき起し ○かき落とし		7 樹脂製建具 (16.3.2) (16.3.4)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表16.3.1)		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	11 天井点検口	※ アルミニウム製既製品 (450 × 450 ) _____ 箇所 ○ アルミニウム製既製品 (600 × 600 ) _____ 箇所		○内装厚塗材I ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材I ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		⑧鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ●S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ○ _____ ○溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※Y08を満足するもの ○ _____ 鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ● 2.3 mm		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	12 床点検口	○ アルミニウム製既製品 (600 × 600 ) _____ 箇所 ○ ステンレス製既製品 (600 × 600 ) _____ 箇所 ○ 鋼製マンホール蓋 _____ 型 _____ φ _____ 箇所		○内装厚塗材J ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材J ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		⑨鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ●S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ○ _____ ○溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※Y08を満足するもの ○ _____ 鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ● 2.3 mm		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	13 屋上点検口	寸法 (mm) ○ φ600 ○ 500角 断熱材 ○有り ○無し		○内装厚塗材K ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材K ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		⑩鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ●S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ○ _____ ○溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※Y08を満足するもの ○ _____ 鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ● 2.3 mm		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種
	⑭ 床材	● チェッカープレート (t=4.5)		○内装厚塗材L ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし	○内装厚塗材L ○吹出し ○凸部処理 吹付け ○平たん状 ○凹凸状 にて塗 ○ひき起し ○かき落とし		⑪鋼製建具 (16.4.2) ~ (16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 ●S-4 ○S-5 ○S-6 (表16.2.1) 簡易気密扉の気密性、水密性 ※適用する ○適用しない (表16.4.1) ○防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____ ) ○断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____ ) ○耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____ ) JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) ※製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板 ○溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※Z12又はF12を満足するもの ○ _____ ○溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※Y08を満足するもの ○ _____ 鋼板類の厚さ ※表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ● 2.3 mm		表面処理 (表14.2.1)	表面処理 (表14.2.1)	○ B-1種 (無着色) ○ B-2種 (着色) ○ C-1種 (無着色) ○ C-2種 (着色) ○ D種

16	建具工事	引き戸 (表16.8.1)	金物の種類	見え掛り部の材質	その他	
		引戸用錠		建具製作所の仕様による。	木製建具の場合 ：リソグ-材等はステンレス	
		〇クレセント			〇取付位置 ( )	
		引手類			木製建具の場合：ステンレス (〇黄銅)	
		戸車 (上吊りの場合を除く)				
		レール (上吊りの場合を除く)	ステンレス (〇7%ニッケル合金 〇黄銅)		黄銅は木製建具用のみ	
	12 自動ドア開閉装置 (16.9.2) ~ (16.9.4)		種類	開閉装置性能値	センサの種類	その他
		片引き	〇SSLD-1 ※表5.8.1	〇	〇マトスイッチ	〇リフスイッチ
		引分け	〇SSLD-2	〇	〇光線スイッチ	〇押しボタンスイッチ
	13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)		性能値等の区分 (表16.10.1)	適用戸の総質量(kg)	〇40以下	〇40を越えるもの
				自動開き力(N)	※15以下	〇
14 重量シャッター (16.11.2) ~ (16.11.4)		種類	●一般重量シャッター (シャッターケース●設ける)	耐風圧強度 1100		
			○外壁用防火シャッター (シャッターケース設ける)	耐風圧強度		
15 軽量シャッター (16.12.2) ~ (16.12.4)		開閉方式	※上部電動式 (電動式シャッターには保護装置を設ける。)	〇上部電動式	〇上部手動式	
		スラット	材質	めっきの付着量	形状	
16 オーバーヘッドドア (16.13.2) ~ (16.13.4)		セクション材	※スチール	〇7%ニッケル鋼	〇アルミニウム	
		耐風圧性能	※バランス式	〇チェーン式	〇電動式	
17 ガラス (16.14.2) ~ (16.14.4)		ガラスの大きさ (表16.14.1)	種別	種類等	種別	
			●70t板ガラス	〇強化ガラス		
18	① 塗装業者		〇型板ガラス	〇熱線吸収ガラス		
			〇網入板ガラス	〇複層ガラス		
19	② 塗装材料		〇線入板ガラス	〇熱線反射ガラス		
			〇合わせガラス	〇倍強度ガラス		
20	③ 素地ごしらえ		〇合板	〇		
			〇	〇		

18	④ ガラス留め材 (16.14.2)	建具の種類	材	質			
		アルミニウム製	※シーリング材(SR-1)	〇ガスケット			
		鋼製・軽量鋼製・ステンレス製	※シーリング材(SR-1)	〇パテ ※1種 〇2種			
		木製	※パテ (木製用)				
	19 ガラスブロック (16.14.5)		寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	パターン	防火認定
			〇	〇	〇クリア 〇カラー( )		※なし
	20 ポリカーボネイト樹脂板		種類				
			厚さ	mm			
	21	1 性能 (17.1.3)	※本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。				
			耐風圧性	〇S4	〇S5	〇S6	〇
	22	2 メタルカーテンウォール (17.2.2) ~ (17.2.3)	材料	※7%ニッケル製	〇		
形状・寸法			※図示による				
23	3 PCカーテンウォール (17.1.3) (17.3.2) ~ (17.3.3)	耐風圧性		耐震性		水密性	
		気密性	〇W1	〇W2	〇W3	〇W4	〇W5
24	4 シーリング材及びガラス取付材料 (17.2.2) (17.3.2)	材料		取付		ガラスの取付	
		コンクリート	〇種類			〇品質	
25	5 構造用ガスケット (17.2.2) (17.3.2)	形状	※図示による	〇			
		寸法	※図示による	〇			
26	① 塗装業者	〇日本塗装工業会の会員 〇監督職員の承諾する塗装業者					
		② 塗装材料 (18.1.3)					
27	③ 素地ごしらえ (18.2.2) ~ (18.2.7)	素地 (表18.2.1)~(表18.2.7)					
		木部	※A種 〇B種			透明塗料の場合はB種とする	
28	④ 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)	鉄鋼面	〇A種 〇B種 ※C種				
		亜鉛めっき鋼面	〇A種 〇B種 〇C種				
29	5 視覚障害者用床タイル (19.2.2)	モルタル及びプラスター面	〇A種 ※B種 〇C種				
		コンクリート及びALCパネル面	〇A種 ※B種 〇C種				
30	6 耐動荷重性床シート (19.2.2)	コンクリート及び押出成形セメント板面	〇A種 〇B種 〇C種				
		せっこうボード及びその他ボード面	〇A種 ※B種 〇C種				

18	④ 錆止め塗料塗り (18.3.2) (18.3.3)	錆止め塗料の種類 (表18.3.1)~(表18.3.4)	塗面	種別	屋外	屋内	規格名称	塗料種類	塗装工程種別	備考	
		鉄鋼面	A種	※	※	鉛・鉛・鉛・鉛・鉛	さび止め	1種	鉄鋼面	見掛け部分	
			B種	—	〇	水系さび止め	—	—	—	見隠れ部分	屋内EP-6塗
		亜鉛めっき鋼面	A種	※	※	鉛酸亜鉛	さび止め	—	—	—	鋼製建具
	B種		〇	〇	変成エポキシ樹脂	プライマー	—	—	—	—	
	鋼面	C種	—	〇	水系さび止め	1種	—	—	—	塗替え	
										〇A種 〇B種 ※C種	
	⑤ 塗装工程 (18.4.1) ~ (18.14.2)	工程の種類 (表18.4.1)~(表18.14.1)									
		記号	名称	種別							
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	木部	屋外	鉄鋼面	屋内	〇A種 ※B種				
						亜鉛めっき鋼面	〇A種 ※B種	※表18.4.3による			
CL	クリヤラッカー塗り					〇A種 ※B種					
NAD	7%ニッケル系非水分散形塗料塗り					〇A種 ※B種					
DP	耐候性塗料塗り					鉄鋼面	※表18.7.1による	亜鉛めっき鋼面			
EP-G	つや有合成樹脂エポキシペイント塗り	コンクリート、モルタル、石膏、せっこうボード、その他ボード面	木部	鉄鋼面	屋内	鉄鋼面	屋内	※表18.8.2による			
								亜鉛めっき鋼面	屋内	※表18.8.4による	
EP	合成樹脂エポキシペイント塗り					〇A種 ※B種					
EP-T	合成樹脂エポキシ模様塗料塗り					〇A種 ※B種					
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り					〇A種 ※B種					
LE	ラッカーエナメル塗り					〇A種 ※B種					
OS	オイルステイン塗り					※表18.13.1による					
WP	木材保護塗料塗り					〇A種 ※B種					
19	1 揮発性有機化合物対策 (19.2.2) (19.3.3) (19.4.2) (19.5.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.8.2) (19.9.2)	ビニル床シート・タイル、ゴム床タイル、カーペット、フローリング、ボード類、断熱材の接着に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 〇									
		塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ 〇									
20	2 ビニル床シート張り (19.2.2)	区分	種類	記号	厚さ(mm)	色柄	工法	施工箇所			
		発泡層無	〇単層ビニル床シート	TS	〇2.5	※無地	※熱溶接	※仕上表による			
21	3 ビニル床タイル張り (19.2.2)	接着形状	〇複層ビニル床タイル	FT	※2.0						
			〇置敷きビニル床タイル	FOA	〇						
22	4 帯電防止床シート、床タイル (19.2.2)	種類	性能			厚さ (mm)					
		〇帯電防止床シート	※	体積抵抗値	1.0×10 <sup>9</sup> Ω以下						
23	5 視覚障害者用床タイル (19.2.2)	種類	寸法 (mm)		寸法 (mm)						
		〇塩化ビニル系	※300mm角								
24	6 耐動荷重性床シート (19.2.2)	種類	厚さ (mm)		備考						
		〇	〇								

19	7 防滑性床シート、床タイル (19.2.2)	種類	性能			厚さ (mm)		
		〇防滑性床シート	〇					
	8 ビニル幅木 (19.2.2)	種類	寸法 (mm)		厚さ (mm)			
		〇軟質 〇硬質	※60	〇75	〇100	〇 ※1.5 〇2.0		
	9 ゴム床タイル張り (19.2.2)	色柄	厚さ (mm)		寸法 (mm)		品質・規格	
	10 カーベツト敷き (19.3.3) (19.3.4)	〇織じゅうたん						
		種別	織り方	パイル形状	帯電性		施工箇所	
	11 合成樹脂塗り床 (19.4.2) (19.4.3)	〇タフテッドカーベツト						
		パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性		施工箇所	
	12 フローリング張り (19.5.2) ~ (19.5.7)	〇ニードルパンチカーベツト						
厚さ(mm)		帯電性		施工箇所				
13 緑甲板張り (19.5.1)	〇タイルカーベツト							
	種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施工箇所			
14 畳敷き (19.6.2)	〇タイルカーベツトの敷き方 平場部分 ※市松敷き 〇							
	階段部分 ※模様流し 〇							
15 単層フローリング (19.5.1)~(表19.5.6)	下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm							
	見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※図示による							
16 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	厚膜型塗床材							
	〇弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ 〇防汚仕上げ 〇つや消し仕上げ 塗厚 (mm) 〇							
17 薄膜型塗床材 (19.4.2) (19.4.3)	●エポキシ樹脂系塗床材 ※薄膜流し仕上げ 〇厚膜流し仕上げ (〇平滑 〇防汚)							
	〇樹脂モルタル仕上げ (〇平滑 〇防汚)							
18 薄膜型塗床材 (19.4.2) (19.4.3)	エポキシ樹脂系塗床材							
	単層フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)							
19 単層フローリング (19.5.1)~(表19.5.6)	種別	樹種	厚さ(mm)	下張り	工法		備考	
	〇フローリング	※なら	〇8	※あり	釘留め工法			
20 複層フローリング (19.5.1)~(表19.5.6)	ボード	〇	〇12	〇なし	〇根太張り工法			
	〇フローリング	※なら	〇8	〇なし	〇直張り工法			
21 複層フローリング (19.5.1)~(表19.5.6)	ブロック	〇	〇15	〇なし	〇モルタル埋込工法		〇防水処理足金物付	
	〇フローリング	※なら	〇8	〇なし	〇接着工法			
22 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	モザイク	〇	〇	〇なし	〇接着工法			
	パーケット	〇	〇	〇なし	〇接着工法			
23 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	〇1×6タイプ							
	〇フローリング	※なら	〇15	※あり	〇根太張り工法			
24 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	ボードタイプ	〇	〇	〇なし	〇A種 〇B種			
	〇				※C種			
25 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	〇直張り工法							
	〇A種 〇B種 ※C種							
26 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	〇接着工法							
	※下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。							
27 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	接着工法のフローリング裏面の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 〇							
	仕上げ塗装 ※ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 〇オイルステインの上ワックス塗り 〇生地そのままワックス塗り							
28 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	樹種	等級	仕上程度		施工箇所			
29 複合フローリング (種別 〇1種 〇2種 〇3種)	種別 〇A種 〇B種 〇C種 〇D種 (表19.6.1)							

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																															
19	内装工事	15 せつこうボード、その他ボード及び合板張り (19.7.2) 種別 ※表19.7.1によるJIS規格品とする (表19.7.1) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格、厚さ(mm)等</th> </tr> <tr> <td>○ せつこうボード (GB-R)</td> <td>※ 12.5 (不燃) ○ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧せつこうボード (GB-D)</td> <td>○ 杉板模様 ○ 12.5 (不燃) ○ トラバーチン模様 ○ 模様なし</td> </tr> <tr> <td>○ 不燃積層せつこうボード (GB-NC)</td> <td>○ トラバーチン模様 ※ 9.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ シージングせつこうボード (GB-S)</td> <td>○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 強化せつこうボード (GB-F)</td> <td>○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール吸音ボード (RW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> </tr> <tr> <td>○ グラスウール吸音ボード (GW-B)</td> <td>※ 25 ○</td> </tr> <tr> <td>○ 吸音あなきせつこうボード (GB-P)</td> <td>○ 9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石棉) ○ 8.0 ○ 6.0 ○</td> </tr> <tr> <td>○ メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による ※ 1.2</td> </tr> <tr> <td>○ 難燃木毛セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> </tr> <tr> <td>○ 断熱木毛セメント板</td> <td>○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15</td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td>厚さ 接着の程度 表板樹種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※難燃処理○防炎処理</td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理○行う</td> </tr> <tr> <td>○ 難燃木毛セメント板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理○行う</td> </tr> <tr> <td>○ 特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>○ 難燃処理○防炎処理</td> <td>表面性能 ○ F ○ FW ○ OW ○ WS 防虫処理○行う</td> </tr> <tr> <td>○ その他下張り用合板</td> <td></td> </tr> </table> 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※ アクリル系シーリング ○ ウレタン系シーリング ○ ジョイントコンパウンド 合板類の張付け (表19.7.3) ○ A種 ※ B種 せつこうボードの目地処理 (表19.7.5) ○ 目透かし ○ 突付け ○ 縦目処理	種類	規格、厚さ(mm)等	○ せつこうボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃) ○ 9.5 (準不燃)	○ 化粧せつこうボード (GB-D)	○ 杉板模様 ○ 12.5 (不燃) ○ トラバーチン模様 ○ 模様なし	○ 不燃積層せつこうボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様 ※ 9.5 (不燃)	○ シージングせつこうボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)	○ 強化せつこうボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)	○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○	○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○	○ 吸音あなきせつこうボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)	○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)	○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石棉) ○ 8.0 ○ 6.0 ○	○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2	○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15	○ 断熱木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15	○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種	※難燃処理○防炎処理		○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理○行う	○ 難燃木毛セメント板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理○行う	○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法	○ 難燃処理○防炎処理	表面性能 ○ F ○ FW ○ OW ○ WS 防虫処理○行う	○ その他下張り用合板		20	ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">構造形式</th> <th colspan="2">H<sub>1</sub>以内に取り付ける建具</th> </tr> <tr> <td>※ パネル式</td> <td>※ マラミン樹脂又は</td> <td>構成材</td> <td>表面仕上</td> <td>遮音性</td> <td>寸法・形状</td> </tr> <tr> <td>○ スタッド式</td> <td>○ アクリル樹脂焼付</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ スラットパネル式</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> パネル操作方法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能 あと施工アンカー 材質 寸法 引抜耐力試験 ※ 行う	種類		構造形式		H <sub>1</sub> 以内に取り付ける建具		※ パネル式	※ マラミン樹脂又は	構成材	表面仕上	遮音性	寸法・形状	○ スタッド式	○ アクリル樹脂焼付					○ スラットパネル式	○					20	ユニット及びその他の工事	14 カーテンレール (20.2.14) 材質 ※ アルミニウム製 ○ ステンレス製 ○ _____ 形式 ○ 片引き ○ 引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 ○ C型 ○ D型 ○ 角型 15 ブラインドボックスカーテンボックス ○ 図示による ○ 市販品 (アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ (mm) ※ 90×150 ○ 150×80 ○ 120×80 ○ _____ 表面処理 ○ C-1 (無着色) ○ C-2 (着色)
			種類	規格、厚さ(mm)等																																																																						
			○ せつこうボード (GB-R)	※ 12.5 (不燃) ○ 9.5 (準不燃)																																																																						
			○ 化粧せつこうボード (GB-D)	○ 杉板模様 ○ 12.5 (不燃) ○ トラバーチン模様 ○ 模様なし																																																																						
			○ 不燃積層せつこうボード (GB-NC)	○ トラバーチン模様 ※ 9.5 (不燃)																																																																						
			○ シージングせつこうボード (GB-S)	○ 15 (不燃) ○ 12.5 (準不燃) ※ 9.5 (準不燃)																																																																						
			○ 強化せつこうボード (GB-F)	○ 21 (不燃) ○ 15 (不燃) ○ 12.5 (不燃)																																																																						
			○ ロックウール吸音ボード (RW-B)	※ 25 ○																																																																						
			○ グラスウール吸音ボード (GW-B)	※ 25 ○																																																																						
			○ 吸音あなきせつこうボード (GB-P)	○ 9.5 (準不燃)																																																																						
			○ ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃) 軒天用 フラット ○ 12 (不燃) ※ 9 (不燃) 立体的模様 ○ 15 (不燃) ※ 12 (不燃)																																																																						
			○ けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石棉) ○ 8.0 ○ 6.0 ○																																																																						
			○ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による ※ 1.2																																																																						
			○ 難燃木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																						
			○ 断熱木毛セメント板	○ 30 ○ 25 ○ 20 ○ 15																																																																						
			○ 普通合板	厚さ 接着の程度 表板樹種																																																																						
※難燃処理○防炎処理																																																																										
○ 天然木化粧合板	厚さ 接着の程度 板面の品質 防虫処理○行う																																																																									
○ 難燃木毛セメント板	厚さ 接着の程度 化粧板樹種 ○ なら ○ しおじ 防虫処理○行う																																																																									
○ 特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																									
○ 難燃処理○防炎処理	表面性能 ○ F ○ FW ○ OW ○ WS 防虫処理○行う																																																																									
○ その他下張り用合板																																																																										
種類		構造形式		H <sub>1</sub> 以内に取り付ける建具																																																																						
※ パネル式	※ マラミン樹脂又は	構成材	表面仕上	遮音性	寸法・形状																																																																					
○ スタッド式	○ アクリル樹脂焼付																																																																									
○ スラットパネル式	○																																																																									
16	壁紙張り (19.8.2)(19.8.3)	防火性能・品質・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>防火性能</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 素地ごしらえ モルタル及びプラスター面 ○ A種 ※ B種 (表18.2.4) コンクリート面 ○ A種 ※ B種 (表18.2.5) せつこうボード面 目地縦目処理工法の場合 ※ A種 ○ B種 (表18.2.7) 突付け・目透し工法の場合 ○ A種 ※ B種 (表18.2.7)	施工箇所	防火性能	品質・規格										20	ユニット及びその他の工事	4 移動間仕切 (20.2.4) パネル操作方法による種類 パネル表面材・仕上 パネル圧接装置の操作方法 遮音性能 5 トイレブース (20.2.5) 表面材 ※ メラミン樹脂系化粧板 ○ ポリエステル樹脂系化粧板 (※ 標準色、アルミ製コーナーエッジ付き) ( _____ ) 脚部 ※ 幅木型 ○ 足金物型 ヒンジ ※ グレピティ-ヒンジ 6 階段滑り止め (20.2.6) 材質 ※ ステンレス製 (SUS304) 幅 ※ 約35mm 形状 ※ ビニルタイヤ入り 両端フラット ※ あり (※ ビニル ○ SUS304) 取付工法 ※ 接着工法 ○ 埋込み工法 7 階段手すり ○ ステンレス製 (SUS304 H <sub>L</sub> 仕上) 径 _____mm (仕様は金属工事参照) ○ 集成材クリアラッカー仕上げ 径 _____mm ○ ビニル製ハンドルレール ※ 丸型 径 _____mm ○ 平型 幅 _____mm 8 黒板及びホワイトボード (20.2.8) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>色彩</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 黒板</td> <td>※ 焼付け ○ 黒</td> <td></td> <td>※ 緑 ○ 曲面</td> <td>○ 曲面</td> </tr> <tr> <td>○ 約40×120</td> <td>※ ほうろう ○</td> <td></td> <td>※ 白 ○ 曲面</td> <td>○ スクリーン付引分け</td> </tr> </table> 額縁金属 ※ アルミ製 (表面処理の種類 ※ B-2 ○ B-1) 品質・規格 _____ 厚さ (mm) ※ 5 ○ _____ 9 鏡 (20.2.9) 10 表示・標識 (20.2.10)(20.2.11) 衝突防止表示 ※ 図示 (市販品 ※ ステンレス製 径 30mm ○ _____) ○ なし 法令に基づく表示 ※ 非常用出入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>色</th> <th>書体</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>※ 5</td> <td>※ アクリル板 ○ アルミ板</td> <td></td> <td>※ 角太ゴシック ○ 丸</td> <td>※ シルク印刷 ○</td> <td>○ 平付型 ○ 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 50×250 ○ 60×250 ○ 図示による ピクトグラフ (便所、車いす、階段等) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付け形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 5</td> <td>○ アクリル板 ○ アルミ板</td> <td>※ シルク印刷 ○</td> <td>※ 平付型 ○ 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 寸法 (mm) ○ 150×150 ○ 図示による 案内板 (館内、各階、便所) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材質</th> <th>色</th> <th>書体</th> <th>印刷等の種類</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>※ 5</td> <td>※ アクリル板 ○ アルミ板</td> <td></td> <td>※ 角太ゴシック ○ 丸</td> <td>※ シルク印刷 ○</td> <td>○ 平付型 ○ 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 ○ 行う (○ 英語 ○ _____) 寸法 (mm) ○ 600×600 ○ 100×600 ○ 200×200 ○ 図示による 館名板等 ● 品質・規格 ステンレス切文字 H=100 ● 1) 本工事においては、コンクリート構造物に当該工事関係者及び構造物の諸元等を記入した銘版を設置する。 2) 銘版の寸法は、50~60cm四方、板厚8mm、字厚5mmの計13mmを標準とし、記載内容、寸法、取付方法等については、監督職員と協議しなければならない。 3) 銘版の材質は、JIS H 2202に規定する鋳物用黄銅合金地金とし、現場条件等により変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。		種類	寸法 (mm)	色彩	備考	○ 黒板	※ 焼付け ○ 黒		※ 緑 ○ 曲面	○ 曲面	○ 約40×120	※ ほうろう ○		※ 白 ○ 曲面	○ スクリーン付引分け	厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式	※ 5	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ○ 丸	※ シルク印刷 ○	○ 平付型 ○ 持出型	厚さ(mm)	材質	印刷等の種類	取付け形式	備考	※ 5	○ アクリル板 ○ アルミ板	※ シルク印刷 ○	※ 平付型 ○ 持出型		厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式	※ 5	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ○ 丸	※ シルク印刷 ○	○ 平付型 ○ 持出型								
			施工箇所	防火性能	品質・規格																																																																					
				種類	寸法 (mm)	色彩	備考																																																																			
			○ 黒板	※ 焼付け ○ 黒		※ 緑 ○ 曲面	○ 曲面																																																																			
			○ 約40×120	※ ほうろう ○		※ 白 ○ 曲面	○ スクリーン付引分け																																																																			
			厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式																																																																		
			※ 5	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ○ 丸	※ シルク印刷 ○	○ 平付型 ○ 持出型																																																																		
			厚さ(mm)	材質	印刷等の種類	取付け形式	備考																																																																			
			※ 5	○ アクリル板 ○ アルミ板	※ シルク印刷 ○	※ 平付型 ○ 持出型																																																																				
			厚さ(mm)	材質	色	書体	印刷等の種類	取付け形式																																																																		
			※ 5	※ アクリル板 ○ アルミ板		※ 角太ゴシック ○ 丸	※ シルク印刷 ○	○ 平付型 ○ 持出型																																																																		
			20	ユニット及びその他の工事	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等のホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤ホルムアルデヒド等の放散量 ※ F☆☆☆☆ ○ _____ 含まれる可塑剤 ※ フタル酸-ブチル等を含有しない、難揮発性のもの ○ _____ 2 フリーアクセスフロア (20.2.2) ※ 建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>フロア高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい抵抗</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> スロープ及びボーダー ※ 製造所の標準仕様 ○ 図示による コンセント等の取付け ※ 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※ 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹き出しパネル ○ あり (※ 固定式 ○ 可変式 施工箇所は図示) ※ 表面仕上げ材の品質、規格等は、標準19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 ○ _____ 耐衝撃性能 ○ _____ ローリングロード性能 ○ _____ 耐燃焼性能 ○ _____	施工箇所	寸法	フロア高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗											20	ユニット及びその他の工事	11 ブラインド (20.2.12) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>スラットの材質</th> <th>開閉方式</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 横形</td> <td>※ アルミ合金 ○</td> <td>※ キヤ式 ○ コード式</td> <td>※ 25 ○ 35</td> </tr> <tr> <td>○ 縦形</td> <td>○ アルミ板 ○ ガラス</td> <td></td> <td>○ 80 ※ 100</td> </tr> </table> 操作方法 ○ スプリング式 ○ チェーン式 幅及び高さ _____ スクリーンの材質 ○ 布製 ○ ガラス繊維製 ○ 木製 品質・規格 _____ (20.2.14) 12 ロールスクリーン (20.2.13) 13 カーテン (20.2.14) <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用切れ地の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>シングルパネル引分電動引手引</td> <td></td> <td>種類・品質・特殊加工等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 消防法で定める防炎性能の表示があるもの	形式	スラットの材質	開閉方式	スラットの幅 (mm)	※ 横形	※ アルミ合金 ○	※ キヤ式 ○ コード式	※ 25 ○ 35	○ 縦形	○ アルミ板 ○ ガラス		○ 80 ※ 100	取付箇所	形式	開閉操作方法	カーテン用切れ地の種類		シングルパネル引分電動引手引		種類・品質・特殊加工等		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○															
						施工箇所	寸法	フロア高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい抵抗																																																														
形式	スラットの材質	開閉方式				スラットの幅 (mm)																																																																				
※ 横形	※ アルミ合金 ○	※ キヤ式 ○ コード式				※ 25 ○ 35																																																																				
○ 縦形	○ アルミ板 ○ ガラス					○ 80 ※ 100																																																																				
取付箇所	形式	開閉操作方法				カーテン用切れ地の種類																																																																				
	シングルパネル引分電動引手引					種類・品質・特殊加工等																																																																				
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																																									
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																																									
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																																									
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○																																																																									
22	舗装工事	16 壁紙張り (19.8.2)(19.8.3) 17 天井廻り縁 18 断熱・防露 19 断熱・防露 (19.9.2)(19.9.3) 21 洗面カウンター 22 流し台ユニット 23 非常用救助袋等 24 鍵箱 25 定礎 26 旗竿受金物 27 旗ポール 28 煙突ライニング (20.2.11) 29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20.4.2)(20.4.3) 30 敷地境界石標 31 車止め 32 フェンス 33 プレート				22	舗装工事	21 排水管 (21.2.1)(21.2.3) 22 側溝、排水枘及びふた (21.2.2) 23 緑石 (21.4.2) 24 コンクリート側溝 (21.4.2) 25 路床 (22.2.2)(22.2.3)(22.2.5) 26 路盤 (22.3.2)(22.3.3)(22.3.5) 27 アスファルト舗装 (22.4.2)~(22.4.6) 28 再生加熱アスファルト混合物の種類 29 シールコート ※ 行わない ○ 行う (施工範囲 _____) アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 30 コンクリート舗装 (22.5.2)~(22.5.6)																																																																		
									34	建築工事	34 建築工事 (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事 縮尺 図番 A1 1/100 No.A-006 A3 1/200 020枚の内																																																															

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項													
22	舗装工事	5	カラー塗装	(22.6.3) ~ (22.6.6)	種 類	部 位	配合その他	23	植栽及び屋上緑化工事	5	屋上緑化	(23.5.2) ~ (23.5.4)	○ 屋上緑化システム 排水層 ※ 軽量骨材 (厚さ____) ○ 板状成形品 土壌層 ※ 改良土 (厚さ____) ○ 人工軽量土 (厚さ____) ○ 屋上緑化軽量システム  樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による	種 類	寸 法	数 量	備 考																
		6	透水性舗装	(22.7.2) ~ (22.7.6)	舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____ 舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない 透水性アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない	○ 車道部 ○ 歩道部																											
		7	排水性舗装	(22.8.2) ~ (22.8.6)	舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____ 舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない																												
		8	ブロック系舗装	(22.9.2) (22.9.3)	○ コンクリート平板舗装																												
					種 類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)			目 地																							
					※ 普通平板 (N)	○ カラー平板 (C)	※ 300角			※ 60	※ 砂																						
					○ 洗出平板 (W)	○ 擬石 (S)	○			○	○ モルタル																						
					品質・規格																												
					○ インターロッキングブロック舗装																												
					種 類	厚 さ (mm)	色 彩 及 び 表 面 加 工 等																										
			※ 標準ブロック	○ 京エコー	車道部 ※ 80 ○	※ 標準品																											
			○ 透水性ブロック		歩道部 ※ 60 ○ 80	○																											
			○ 植生ブロック		○ 60 ※ 80 ○ 100	○																											
			品質・規格																														
			○ 舗石舗装																														
			種 類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品																											
			※ 小舗石 (花崗岩)	※ 80~100	※ うろこ張り	※ 2等品																											
			○	○	○	○																											
			品質・規格																														
			9	砂利敷き	(22.10.2)	通 路	※ A種 ○ B種																										
						建物周囲その他	○ A種 ※ B種																										
						※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする																											
			10	白線引き		種 類	○ 溶融式 ○ ペイント式	幅 (cm)	○ 15 ○ _____																								
23	植栽及び屋上緑化工事	1	植栽基盤整備	(23.2.2) (23.2.3)	※ 行う																												
					樹木の樹高	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整 備 範 囲																									
					12m以上	※ 100 ○ 120 ○ 150	※ A種	※ 植込み部分																									
					7~12m未満	※ 80 ○ 100	○ B種	○ 葉張りの範囲																									
					3~7m未満	※ 60 ○ 80	○ C種	(樹高7m以上)																									
			3m未満	※ 50 ○ 60	○ D種	○ 図示																											
						芝、地被類	※ 20	※ B種 ○	※ 植栽範囲 ○																								
						※ 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。																											
						植込み用土	※ 現場発生土の良質土 ○ 寄土 (※ 畑土 ○ 黒土)																										
						土壌改良材	※ 行う (※ バーク堆肥 ○ 下水汚泥コンポスト)																										
						施工箇所	※ 植込み部分 ○ 図示による																										
			2	樹木の種類等	(23.3.2)	樹木の種類、寸法、数量等	※ 図示による ○ 下表による																										
						種 類	寸 法	数 量	備 考																								
			3	支柱材、幹巻き用材料	(23.3.2)	支柱材	※ 杉(焼き丸太) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ) 形式 ※ 図示による ○ _____ 防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸太 ○ _____																										
						幹巻き用材料	※ 幹巻き用テープ ○ わら及びこも																										
			4	芝	(23.4.2) (23.4.3)	種 別	芝 張 り の 工 法	寄 土																									
							平地	切土法面	盛土法面	※ 行わない																							
						○ コウライシバ	※ 目地張り	※ べた張り	※ 筋芝張り	○ 行う	※ 畑土																						
						○ ノシバ	○	○	○	○ 黒土																							

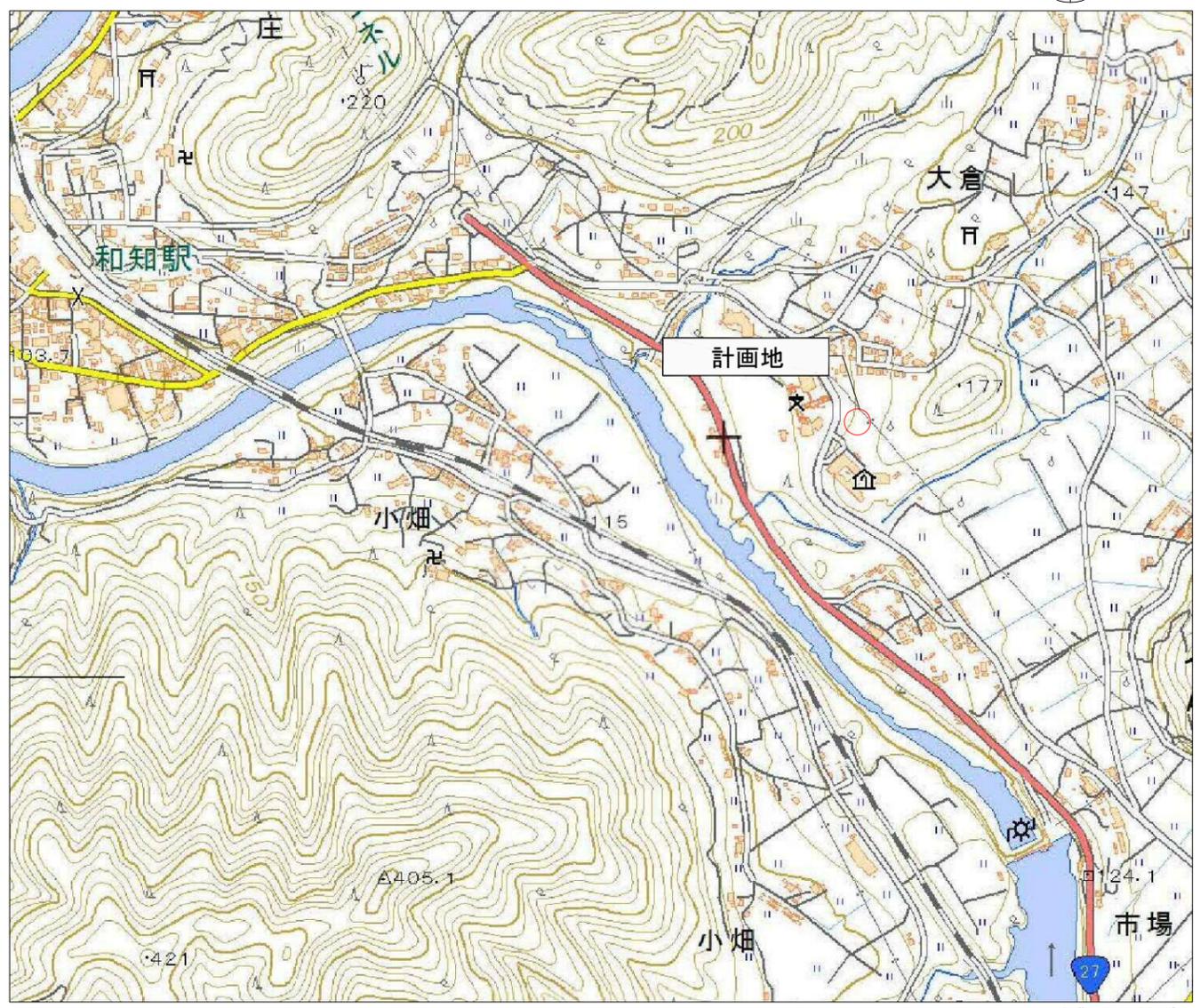
工事区分表		区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。																																						
項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備									
躯体関係		仕上げ関係														屋外排水設備・外構										電気配線配管														
1. RC造基礎部 (梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ							1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強							1. 雨水	屋外雨水排水設備						○	機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)		○												2次側		
	貫通スリーブの補強								補強を要しないボードの切込み								樹及び樹蓋						○		機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○	○											1次側	
	開口補強を要する型枠材及び取付け	○							開口部の重出し								ルーフドレイン								自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線		○													
	開口部の補強	○							リブ天井仕上げ材の器具廻り取合い								たて樋	○							自動扉への電源供給															
	開口補強を要しない型枠材及び取付け	○							補強を要するボードの切込み								横引き配管						○		自動扉キースイッチ及び配管															
	貫通孔・開口部の重出し				○	○			2. 既製間仕切り	切込み及び補強								雨水斜							○	自動扉本体及びキースイッチ以降の配線														
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○		位置ボックス								屋外雑排水及び屋外汚水排水設備								電動シャッター電源供給		○													
2. S・SRC造 (梁・壁・床)の貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強							衛生器具類・機器類取付用壁補強							樹及び樹蓋							電動シャッター操作スイッチ用位置ボックス及び配管		○																
	開口補強を要する型枠材及び取付け	○													化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上							電動シャッター本体・操作スイッチ及びその間の配線		○																
	開口部の補強	○						3. 吊ボルト、インサート及び架台	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○	○									室内機と屋外機の渡り(連絡)配線																		
	開口補強を要しない型枠材及び取付け					○	○	架台			○	○	○	3. 煙突	煙突						○	機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管							○											
	貫通スリーブ					○	○	S造の場合設備吊ボルト用構造部材	○					発電機室から煙突までの排気管						○	機器と操作スイッチの渡り配線							○												
	貫通孔・開口部の重出し					○	○	4. 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ				○		煙道接続用スリーブ						○	小使器用節水装置への電源供給																		
	スリーブ・型枠の穴埋め					○	○	ウエザーカバー、バンドキャップ					○	スリーブ・型枠の穴埋め						○	注油口内アース端子よりのアース用配管配線																			
3. 設備機器の基礎	屋上設置の基礎							5. その他	2重ビット及びトレンチのマンホール蓋						煙突の基礎	○						防火戸の連動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け																		
	屋上基礎で押さえコンクリートアンカーしない軽微なもの							機器搬入用フック、ビーム													上記の配線																			
	室内設置の基礎	○						機器搬入用フック、ビームの重出し						4. 浄化槽の躯体	現場施工形							防火・防煙シャッター一及び二次側配線																		
	受水槽基礎							点検口(天井・床下・壁)	○					ユニット形							上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線																			
	屋外設置の基礎						○	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強						土留め関係工事							防煙ダンパー																			
4. その他	無筋コンクリート							消火器BOX						5. 地下貯油槽	タンク室の躯体							上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線																		
	フック設置							消火器	○				10型	(タンク室を設ける場合)	タンク室の乾燥砂充填							排煙口																		
	ポーチ	○						グリーストラップ						タンク室のタンク本体及び配管							上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線																			
5. 土工事	掘削						○	トラフ・ビット類(特)						タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事							電気錠への電源供給																			
	盛土						○	トラフ・ビット類(蓋)						土留め関係工事							避雷導体間の接続工事		○																	
	埋め戻し						○	燃料小出し槽及びポンプの防油堤(塗装を含む)						6. その他	駐車場ガソリントラップ							引き込み用ハンドホール							○											
	床付						○	テップサイロ室ビット壁開口塞ぎ					○	機械式駐車装置							燃料小出し槽及びポンプの基礎																			
								テップサイロ室ビット1床モルタル仕上げ					○	駐車場管理システム							燃料小出し槽及びポンプの基礎の重出し																			
								テップサイロ室ビット2床防水モルタル仕上げ	○												自家発電電気室 建築用換気ファン							○												
								ボイラー室ビット床防水モルタル仕上げ	○												同上配線							○												

計画概要

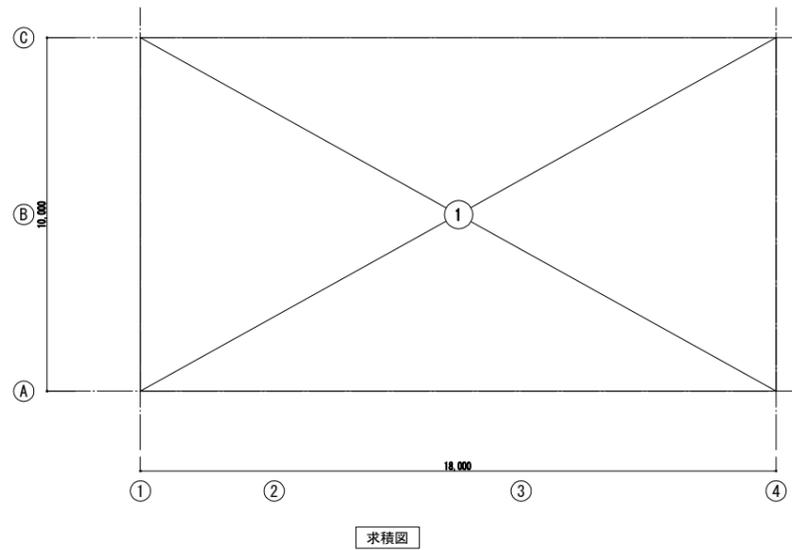
敷地案内図

S:1/5000

1	工事名称 建築場所 建築主	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事 京丹波町 市場・大倉 地内 京都府 京丹波町	工事種別 主要用途	新築 木質バイオマスボイラ建屋					
2	都市計画区域	<input type="checkbox"/> 都市計画区域内（ <input type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 市街化調整区域 <input type="checkbox"/> 区域区分非設定） <input type="checkbox"/> 準都市計画区域内 <input type="checkbox"/> 都市計画区域外	指定容積率 指定建ぺい率	% %					
	用途地域	<input type="checkbox"/> 第1種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第2種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第1種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第2種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第1種住居地域 <input type="checkbox"/> 第2種住居地域 <input type="checkbox"/> 準住居地域 <input type="checkbox"/> 近隣商業地域 <input type="checkbox"/> 商業地域 <input type="checkbox"/> 準工業地域 <input type="checkbox"/> 工業地域 <input type="checkbox"/> 工業専用地域 <input type="checkbox"/> 指定無し	許容容積率・許容延床面積 許容建ぺい率・許容建築面積	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>					
	防火地域	<input type="checkbox"/> 防火地域 <input type="checkbox"/> 準防火地域 <input type="checkbox"/> 法第22条区域 <input type="checkbox"/> 指定無し	道路幅員	東側 m、西側 9.6m、南側 m、北側 m					
	日影規制	<input type="checkbox"/> 規制有り(10m以上) <input type="checkbox"/> 規制無し	測定面： m、5Mライン： 時間、10Mライン： 時間						
	その他の地域・地区								
	敷地面積	180.00 m <sup>2</sup>	建ぺい率	%					
	延床面積	180.00 m <sup>2</sup>	容積率	%					
	容積対象床面積	180.00 m <sup>2</sup>	最高の長さ 最高の軒高	5.45 m 5.29 m					
階数	地上1階、地下0階	主体構造	鉄骨造						
3	1F	180.00 m <sup>2</sup>							
	延床面積	180.00 m <sup>2</sup>							
	容積対象外床面積	0.00 m <sup>2</sup>							
	容積対象床面積	180.00 m <sup>2</sup>							
4	電気設備	<input type="checkbox"/> 電灯設備 <input type="checkbox"/> 動力設備 <input type="checkbox"/> 電熱設備 <input type="checkbox"/> 雷保護設備 <input type="checkbox"/> 変圧設備 <input type="checkbox"/> 静止形電源設備 <input type="checkbox"/> 発電設備 <input type="checkbox"/> 構内情報通信網設備 <input type="checkbox"/> 構内交換設備 <input type="checkbox"/> 情報表示設備 <input type="checkbox"/> 映像・音響設備 <input type="checkbox"/> 拡声設備 <input type="checkbox"/> 誘導支援設備 <input type="checkbox"/> テレビ共同受信設備 <input type="checkbox"/> 監視カメラ設備 <input type="checkbox"/> 駐車場管理設備 <input type="checkbox"/> 防犯・入退室管理設備 <input type="checkbox"/> 自動火災報知設備 <input type="checkbox"/> 中央監視制御設備 <input type="checkbox"/> 構内配電線路 <input type="checkbox"/> 構内通信線路 <input type="checkbox"/> テレビ電波障害防除設備 <input type="checkbox"/> 電波障害調査	既存電柱移設工事を含む	機械設備	<input type="checkbox"/> 空気調和設備 <input type="checkbox"/> 換気設備 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 自動制御設備 <input type="checkbox"/> 衛生器具設備 <input type="checkbox"/> 給水設備 <input type="checkbox"/> 排水設備 <input type="checkbox"/> 給湯設備 <input type="checkbox"/> 消火設備 <input type="checkbox"/> 厨房設備 <input type="checkbox"/> ガス設備 <input type="checkbox"/> 都市ガス <input type="checkbox"/> 液化石油ガス <input type="checkbox"/> 排水処理設備 <input type="checkbox"/> 炭水化装置	備考	<input type="checkbox"/> ホイストクレーン設備	備考	
	防火区画・防火戸	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(ロイ-1 ロイ-2 ロロ-1 ロロ-2) <input type="checkbox"/> その他 ( ) 法第22条区域(ロ内 外) 屋根葺材(折板) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )	防火区画・防火戸	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(ロイ-1 ロイ-2 ロロ-1 ロロ-2) <input type="checkbox"/> その他 ( ) 法第22条区域(ロ内 外) 屋根葺材(折板) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )	防火区画・防火戸	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(ロイ-1 ロイ-2 ロロ-1 ロロ-2) <input type="checkbox"/> その他 ( ) 法第22条区域(ロ内 外) 屋根葺材(折板) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )	防火区画・防火戸	<input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(ロイ-1 ロイ-2 ロロ-1 ロロ-2) <input type="checkbox"/> その他 ( ) 法第22条区域(ロ内 外) 屋根葺材(折板) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )	防火区画・防火戸
	避難階段の設置及び構造	避難階段の設置及び構造 <input type="checkbox"/> 特別避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 屋外避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> その他の階段( )ヶ所	避難階段	<input type="checkbox"/> 特別避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 屋外避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> その他の階段( )ヶ所	避難階段	<input type="checkbox"/> 特別避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 屋外避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> その他の階段( )ヶ所	避難階段	<input type="checkbox"/> 特別避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> 屋外避難階段( )ヶ所 <input type="checkbox"/> その他の階段( )ヶ所	避難階段
	直通階段・歩行距離	直通階段・歩行距離 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m <input type="checkbox"/> 有( ) m	直通階段・歩行距離	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m <input type="checkbox"/> 有( ) m	直通階段・歩行距離	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m <input type="checkbox"/> 有( ) m	直通階段・歩行距離	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m <input type="checkbox"/> 有( ) m	直通階段・歩行距離
	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	階段・踊場の幅、踏上げ・踏面の寸法
	階段及び踊場の手摺	階段及び踊場の手摺 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有の場合…勾配1/8以下、表面仕上げは防滑仕様	階段及び踊場の手摺	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有の場合…勾配1/8以下、表面仕上げは防滑仕様	階段及び踊場の手摺	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有の場合…勾配1/8以下、表面仕上げは防滑仕様	階段及び踊場の手摺	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有の場合…勾配1/8以下、表面仕上げは防滑仕様	階段及び踊場の手摺
	廊下幅	廊下幅 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m	廊下幅	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m	廊下幅	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m	廊下幅	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m	廊下幅
	屋外階段	屋外階段 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋外階段	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋外階段	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋外階段	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋外階段
	屋上広場及びバルコニーの手摺	屋上広場及びバルコニーの手摺 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋上広場及びバルコニーの手摺	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋上広場及びバルコニーの手摺	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋上広場及びバルコニーの手摺	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上 <input type="checkbox"/> 有( ) m以上	屋上広場及びバルコニーの手摺
	面積区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が耐火構造・準耐火構造…1500㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(法的要求がないもの)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(1時間準耐火・不燃構造)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45分準耐火・外壁耐火)…500㎡以内	面積区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が耐火構造・準耐火構造…1500㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(法的要求がないもの)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(1時間準耐火・不燃構造)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45分準耐火・外壁耐火)…500㎡以内	面積区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が耐火構造・準耐火構造…1500㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(法的要求がないもの)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(1時間準耐火・不燃構造)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45分準耐火・外壁耐火)…500㎡以内	面積区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が耐火構造・準耐火構造…1500㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(法的要求がないもの)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(1時間準耐火・不燃構造)…1000㎡以内 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物(45分準耐火・外壁耐火)…500㎡以内	面積区分
	高層区分	<input type="checkbox"/> 11階以上の階の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	高層区分	<input type="checkbox"/> 11階以上の階の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	高層区分	<input type="checkbox"/> 11階以上の階の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	高層区分	<input type="checkbox"/> 11階以上の階の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	高層区分
	堅穴区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が準耐火構造で階又は3階以上に居室がある <input type="checkbox"/> 上記以外	堅穴区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が準耐火構造で階又は3階以上に居室がある <input type="checkbox"/> 上記以外	堅穴区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が準耐火構造で階又は3階以上に居室がある <input type="checkbox"/> 上記以外	堅穴区分	<input type="checkbox"/> 主要構造部が準耐火構造で階又は3階以上に居室がある <input type="checkbox"/> 上記以外	堅穴区分
	異種用途区分	<input type="checkbox"/> 法24条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 法27条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 上記以外	異種用途区分	<input type="checkbox"/> 法24条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 法27条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 上記以外	異種用途区分	<input type="checkbox"/> 法24条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 法27条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 上記以外	異種用途区分	<input type="checkbox"/> 法24条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 法27条に該当する建築物 <input type="checkbox"/> 上記以外	異種用途区分
	防火区画に接する部分の構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-10・11に適合している(防火区画に接する外壁等) <input type="checkbox"/> 法令112-14、建告2563・2564に適合している(防火区画に用いる防火設備の必要条件)	防火区画に接する部分の構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-10・11に適合している(防火区画に接する外壁等) <input type="checkbox"/> 法令112-14、建告2563・2564に適合している(防火区画に用いる防火設備の必要条件)	防火区画に接する部分の構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-10・11に適合している(防火区画に接する外壁等) <input type="checkbox"/> 法令112-14、建告2563・2564に適合している(防火区画に用いる防火設備の必要条件)	防火区画に接する部分の構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-10・11に適合している(防火区画に接する外壁等) <input type="checkbox"/> 法令112-14、建告2563・2564に適合している(防火区画に用いる防火設備の必要条件)	防火区画に接する部分の構造等
	防火区画を貫通する設備風道のダンパーの設置・構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-16、令113-2、令114-5、建告2565・1376に適合している	防火区画を貫通する設備風道のダンパーの設置・構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-16、令113-2、令114-5、建告2565・1376に適合している	防火区画を貫通する設備風道のダンパーの設置・構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-16、令113-2、令114-5、建告2565・1376に適合している	防火区画を貫通する設備風道のダンパーの設置・構造等	<input type="checkbox"/> 法令112-16、令113-2、令114-5、建告2565・1376に適合している	防火区画を貫通する設備風道のダンパーの設置・構造等
防火戸その他の防火設備	<input type="checkbox"/> 延焼の恐れのある部分有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 防火区画・避難階段の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 延面積>1,000㎡、床面積>200㎡の居室 上記チェック有で設置対象建築物	防火戸その他の防火設備	<input type="checkbox"/> 延焼の恐れのある部分有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 防火区画・避難階段の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 延面積>1,000㎡、床面積>200㎡の居室 上記チェック有で設置対象建築物	防火戸その他の防火設備	<input type="checkbox"/> 延焼の恐れのある部分有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 防火区画・避難階段の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 延面積>1,000㎡、床面積>200㎡の居室 上記チェック有で設置対象建築物	防火戸その他の防火設備	<input type="checkbox"/> 延焼の恐れのある部分有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 防火区画・避難階段の有無… <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 延面積>1,000㎡、床面積>200㎡の居室 上記チェック有で設置対象建築物	防火戸その他の防火設備	
排煙設備の設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡	排煙設備の設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡	排煙設備の設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡	排煙設備の設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 特殊建築物で、延面積>500㎡	排煙設備の設置	
排煙設備の構造	<input type="checkbox"/> 法令126-3による	排煙設備の構造	<input type="checkbox"/> 法令126-3による	排煙設備の構造	<input type="checkbox"/> 法令126-3による	排煙設備の構造	<input type="checkbox"/> 法令126-3による	排煙設備の構造	
非常用照明的設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 不要	非常用照明的設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 不要	非常用照明的設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 不要	非常用照明的設置	<input type="checkbox"/> 特殊建築物 <input type="checkbox"/> 設置 <input type="checkbox"/> 階数≧3で、延面積>500㎡ <input type="checkbox"/> 不要	非常用照明的設置	
非常用出入口	<input type="checkbox"/> 非常用出入口の設置 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造	非常用出入口	<input type="checkbox"/> 非常用出入口の設置 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造	非常用出入口	<input type="checkbox"/> 非常用出入口の設置 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造	非常用出入口	<input type="checkbox"/> 非常用出入口の設置 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造 <input type="checkbox"/> 非常用出入口の構造	非常用出入口	
避難設備	<input type="checkbox"/> 非常用ベル及び放送設備又は自動式サイレン及び放送設備 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 誘導灯・誘導標識 <input type="checkbox"/> 消防用水 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 連絡放水設備 <input type="checkbox"/> 連絡送水管 <input type="checkbox"/> 非常用コンセント設備 <input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	避難設備	<input type="checkbox"/> 非常用ベル及び放送設備又は自動式サイレン及び放送設備 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 誘導灯・誘導標識 <input type="checkbox"/> 消防用水 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 連絡放水設備 <input type="checkbox"/> 連絡送水管 <input type="checkbox"/> 非常用コンセント設備 <input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	避難設備	<input type="checkbox"/> 非常用ベル及び放送設備又は自動式サイレン及び放送設備 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 誘導灯・誘導標識 <input type="checkbox"/> 消防用水 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 連絡放水設備 <input type="checkbox"/> 連絡送水管 <input type="checkbox"/> 非常用コンセント設備 <input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	避難設備	<input type="checkbox"/> 非常用ベル及び放送設備又は自動式サイレン及び放送設備 <input type="checkbox"/> 避難器具 <input type="checkbox"/> 誘導灯・誘導標識 <input type="checkbox"/> 消防用水 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 排煙設備 <input type="checkbox"/> 連絡放水設備 <input type="checkbox"/> 連絡送水管 <input type="checkbox"/> 非常用コンセント設備 <input type="checkbox"/> 無線通信補助設備	避難設備	
操作盤	<input type="checkbox"/> 操作盤 <input type="checkbox"/> 危険物	操作盤	<input type="checkbox"/> 操作盤 <input type="checkbox"/> 危険物	操作盤	<input type="checkbox"/> 操作盤 <input type="checkbox"/> 危険物	操作盤	<input type="checkbox"/> 操作盤 <input type="checkbox"/> 危険物	操作盤	
指定可燃物	<input type="checkbox"/> 危険物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 危険物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名： 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名：チップサイロ室 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満	指定可燃物	<input type="checkbox"/> 危険物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 危険物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名： 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名：チップサイロ室 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満	指定可燃物	<input type="checkbox"/> 危険物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 危険物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名： 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名：チップサイロ室 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満	指定可燃物	<input type="checkbox"/> 危険物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 危険物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名： 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の貯蔵・取扱いの有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 指定可燃物の運搬の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 上記有りの場合の室名：チップサイロ室 指定数量： <input type="checkbox"/> 以上 <input type="checkbox"/> 未満	指定可燃物	
特例の適用	<input type="checkbox"/> 特例の適用	特例の適用	<input type="checkbox"/> 特例の適用	特例の適用	<input type="checkbox"/> 特例の適用	特例の適用	<input type="checkbox"/> 特例の適用	特例の適用	



出典:国土地理院



① 1階床面積算(=延べ床面積)算定式  
 $10,000 \times 18,000 = 180,000$

合計 180,000

① 建築面積算定式  
 $10,000 \times 18,000 = 180,000$

合計 180,000

求積表	
延べ床面積	180.00 m <sup>2</sup>
建築面積	180.00 m <sup>2</sup>

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

建築求積図

縮尺

A1 1/100

A3 1/200

図番

No. A-010

020 枚の内

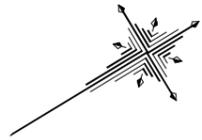
部分名称	仕上	部分名称	仕上
屋根	折版葺（塗装品：指定色）		
外壁	押出成形セメント板t=60（吸水防止処理加工）、一部装飾木製ルーバー		
根廻り	コンクリート打放シ補修		
床	コンクリート金コテ押エ下地、防塵塗装		
樋	堅樋：カラ－VP 100φ 軒樋：W=200		

内部仕上表

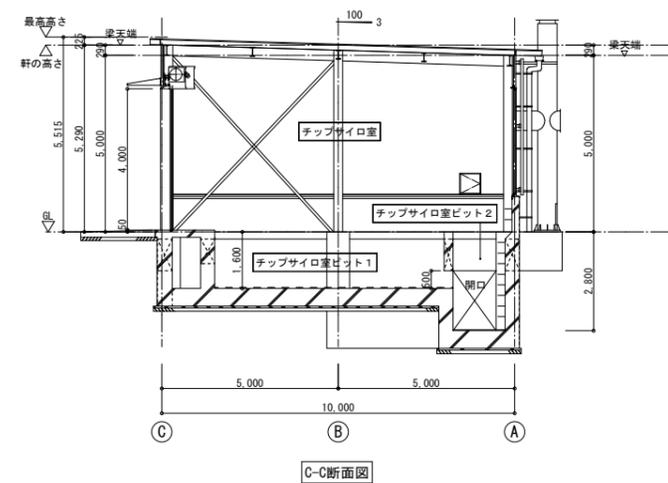
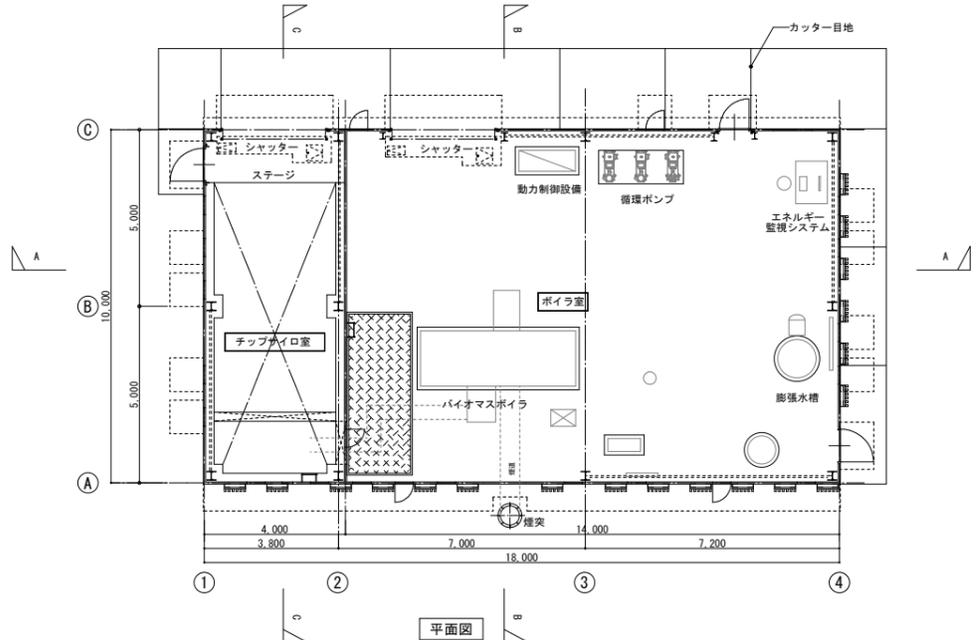
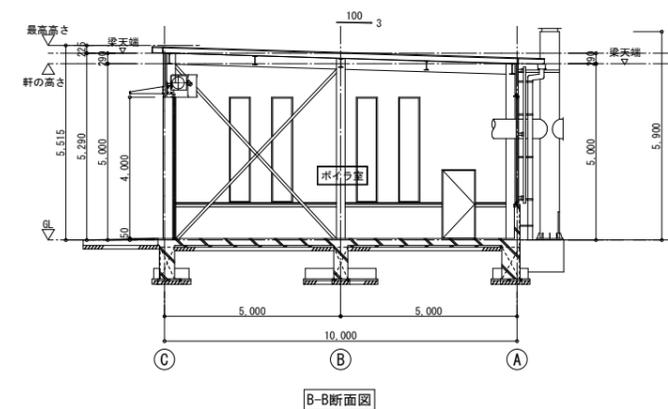
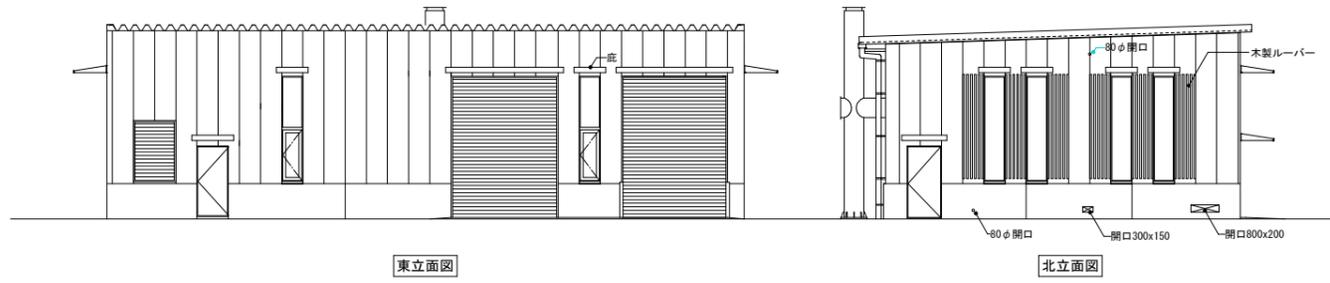
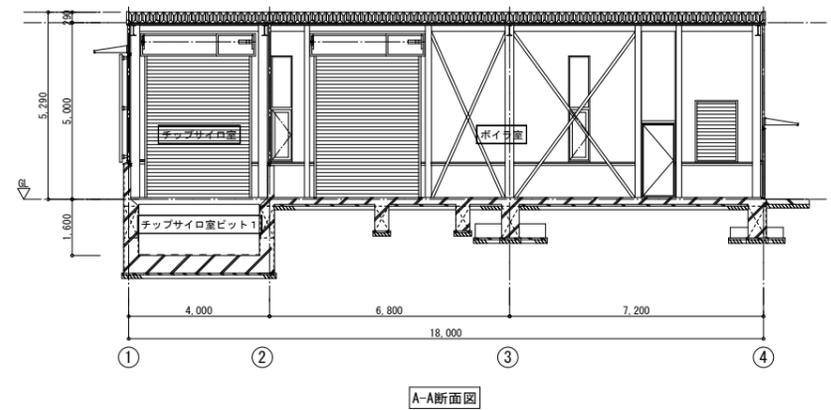
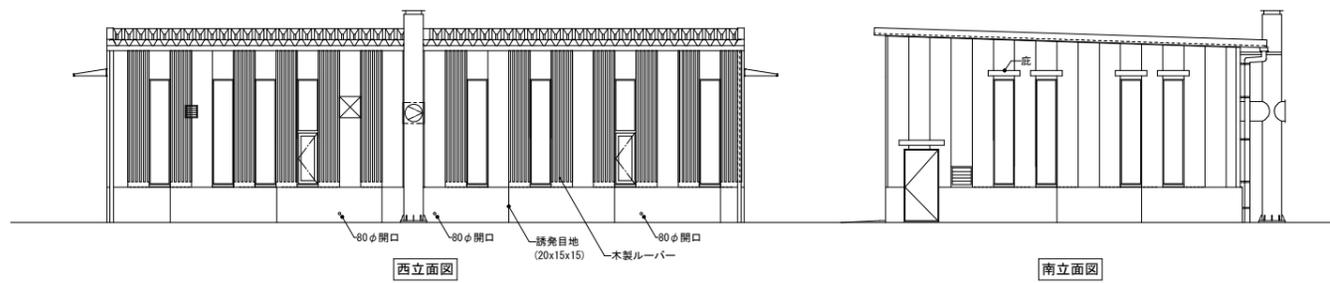
階	室名	内装制限	床		巾木		壁		天井		天井高	スプリンクラー設備設置室	備考		
			材料・仕上	材料・仕上	材料・仕上	材料・仕上	廻縁								
1	チップサイロ室	—	コンクリート金コテ押エ下地、防塵塗装	コンクリート打放シ補修			押出成形セメント板t=60 下地のまま	折版葺（塗装品：指定色）表し	—	直天					
	チップサイロピット1	—	コンクリート下地、モルタル金コテ押エ（プラント工事）	コンクリート打放シ補修			コンクリート打放シ補修	—	—	—					
	チップサイロピット2	—	コンクリート下地、防水モルタル金コテ押エ	コンクリート打放シ補修			コンクリート打放シ補修	—	—	—					
	ボイラ室	—	コンクリート金コテ押エ下地、防塵塗装	コンクリート打放シ補修			押出成形セメント板t=60 下地のまま	折版葺（塗装品：指定色）表し	—	直天					
	ボイラ室ピット	—	コンクリート下地、防水モルタル金コテ押エ	コンクリート打放シ補修			コンクリート打放シ補修	—	—	—					
<table border="0"> <tr> <td> <b>認定番号</b>  PB9 5t 準不燃 QM-9828 硬質PB9 5t,12 5t 不燃 NM-9645 EP, AEP 不燃 NM-8585  PB12 5t 不燃 NM-8619 不燃バスリフ 不燃 NM-1019 不燃バス化粧板3t 不燃 NM-2188  不燃化粧PB9 5t 不燃 NM-8613 不燃バス化粧板4t,12t 不燃 NM-8578 不燃バス化粧板1t 不燃 NM-0205  化粧PB9 5t 準不燃 QM-9824 無機質クロス 不燃 NM-9904 ナラ糖付け化粧板6t 不燃 NM-1157  岩綿吸音板12t 不燃 NM-8599 じんくろス 準不燃 QM-9517 珪藻土 不燃 NM-0681  耐水PB9 5t 準不燃 QM-9826 吹付タイル 不燃 NM-8572  耐水PB12 5t 不燃 NM-9639 リシン吹付け 不燃 NM-8572 </td> <td> <b>特記事項</b>  (1) 壁、天井下地は全てLGSとする。  (2) 外壁に面する壁は現地地盤掘削ラテンフォーム25tの上PB12 5t（旧工法）  (3) 屋根主要部は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面）スラブ又は床下まで（1時間耐火）  （認定番号FPO6ONP-9073）  (4) 特殊一般部仕切壁は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面）  (5) 吹付タイルは切壁の下地は、PB12 5t（旧工法）（面材採取量LWS0,15t）  (6) 手取取付部はボード下に重粘り紙0.6t 補修貼りとする。  (7) 2重床の下地は、フリーフロアの上パーテイクルボード20t+合板12t（床暖房部は断熱材付）  (8) 音障り床の下地は、コンクリートの上セルフレベリング10t  (9) UQ=ウレタンクリアラッカー、EP=有機樹脂エナメルペンキ、AEP=アクリル樹脂エナメルペンキ  (10) 水かきり部の下地は、耐水PB・耐水合板を使用する（厚みは同じ）  (11) ケイカル板はVカット目地受付の上シーリングのこと  (12) 告示1434号-4-(2)適用量の壁下地はPB12 5t又は硬質PB9 5tとする </td> </tr> </table>														<b>認定番号</b> PB9 5t 準不燃 QM-9828 硬質PB9 5t,12 5t 不燃 NM-9645 EP, AEP 不燃 NM-8585 PB12 5t 不燃 NM-8619 不燃バスリフ 不燃 NM-1019 不燃バス化粧板3t 不燃 NM-2188 不燃化粧PB9 5t 不燃 NM-8613 不燃バス化粧板4t,12t 不燃 NM-8578 不燃バス化粧板1t 不燃 NM-0205 化粧PB9 5t 準不燃 QM-9824 無機質クロス 不燃 NM-9904 ナラ糖付け化粧板6t 不燃 NM-1157 岩綿吸音板12t 不燃 NM-8599 じんくろス 準不燃 QM-9517 珪藻土 不燃 NM-0681 耐水PB9 5t 準不燃 QM-9826 吹付タイル 不燃 NM-8572 耐水PB12 5t 不燃 NM-9639 リシン吹付け 不燃 NM-8572	<b>特記事項</b> (1) 壁、天井下地は全てLGSとする。 (2) 外壁に面する壁は現地地盤掘削ラテンフォーム25tの上PB12 5t（旧工法） (3) 屋根主要部は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面）スラブ又は床下まで（1時間耐火） （認定番号FPO6ONP-9073） (4) 特殊一般部仕切壁は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面） (5) 吹付タイルは切壁の下地は、PB12 5t（旧工法）（面材採取量LWS0,15t） (6) 手取取付部はボード下に重粘り紙0.6t 補修貼りとする。 (7) 2重床の下地は、フリーフロアの上パーテイクルボード20t+合板12t（床暖房部は断熱材付） (8) 音障り床の下地は、コンクリートの上セルフレベリング10t (9) UQ=ウレタンクリアラッカー、EP=有機樹脂エナメルペンキ、AEP=アクリル樹脂エナメルペンキ (10) 水かきり部の下地は、耐水PB・耐水合板を使用する（厚みは同じ） (11) ケイカル板はVカット目地受付の上シーリングのこと (12) 告示1434号-4-(2)適用量の壁下地はPB12 5t又は硬質PB9 5tとする
<b>認定番号</b> PB9 5t 準不燃 QM-9828 硬質PB9 5t,12 5t 不燃 NM-9645 EP, AEP 不燃 NM-8585 PB12 5t 不燃 NM-8619 不燃バスリフ 不燃 NM-1019 不燃バス化粧板3t 不燃 NM-2188 不燃化粧PB9 5t 不燃 NM-8613 不燃バス化粧板4t,12t 不燃 NM-8578 不燃バス化粧板1t 不燃 NM-0205 化粧PB9 5t 準不燃 QM-9824 無機質クロス 不燃 NM-9904 ナラ糖付け化粧板6t 不燃 NM-1157 岩綿吸音板12t 不燃 NM-8599 じんくろス 準不燃 QM-9517 珪藻土 不燃 NM-0681 耐水PB9 5t 準不燃 QM-9826 吹付タイル 不燃 NM-8572 耐水PB12 5t 不燃 NM-9639 リシン吹付け 不燃 NM-8572	<b>特記事項</b> (1) 壁、天井下地は全てLGSとする。 (2) 外壁に面する壁は現地地盤掘削ラテンフォーム25tの上PB12 5t（旧工法） (3) 屋根主要部は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面）スラブ又は床下まで（1時間耐火） （認定番号FPO6ONP-9073） (4) 特殊一般部仕切壁は、LGS:PB12 5t+硬質PB9 5t（両面） (5) 吹付タイルは切壁の下地は、PB12 5t（旧工法）（面材採取量LWS0,15t） (6) 手取取付部はボード下に重粘り紙0.6t 補修貼りとする。 (7) 2重床の下地は、フリーフロアの上パーテイクルボード20t+合板12t（床暖房部は断熱材付） (8) 音障り床の下地は、コンクリートの上セルフレベリング10t (9) UQ=ウレタンクリアラッカー、EP=有機樹脂エナメルペンキ、AEP=アクリル樹脂エナメルペンキ (10) 水かきり部の下地は、耐水PB・耐水合板を使用する（厚みは同じ） (11) ケイカル板はVカット目地受付の上シーリングのこと (12) 告示1434号-4-(2)適用量の壁下地はPB12 5t又は硬質PB9 5tとする														

<b>京丹波町 企画政策課</b> 設計番号 設計年度 平成 年 月				<b>課長</b> 担当課長 副課長 担当	<b>工事名</b> (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
						A1 NS	No.A-011
						A3 NS	020 枚の内

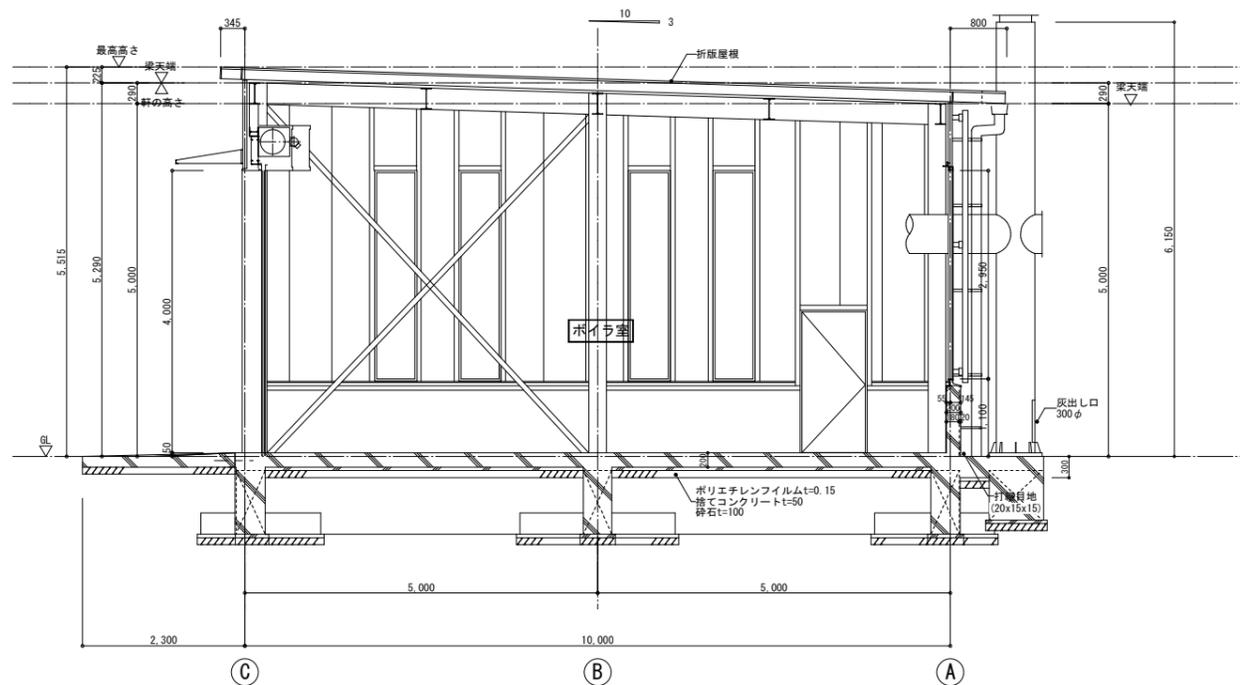
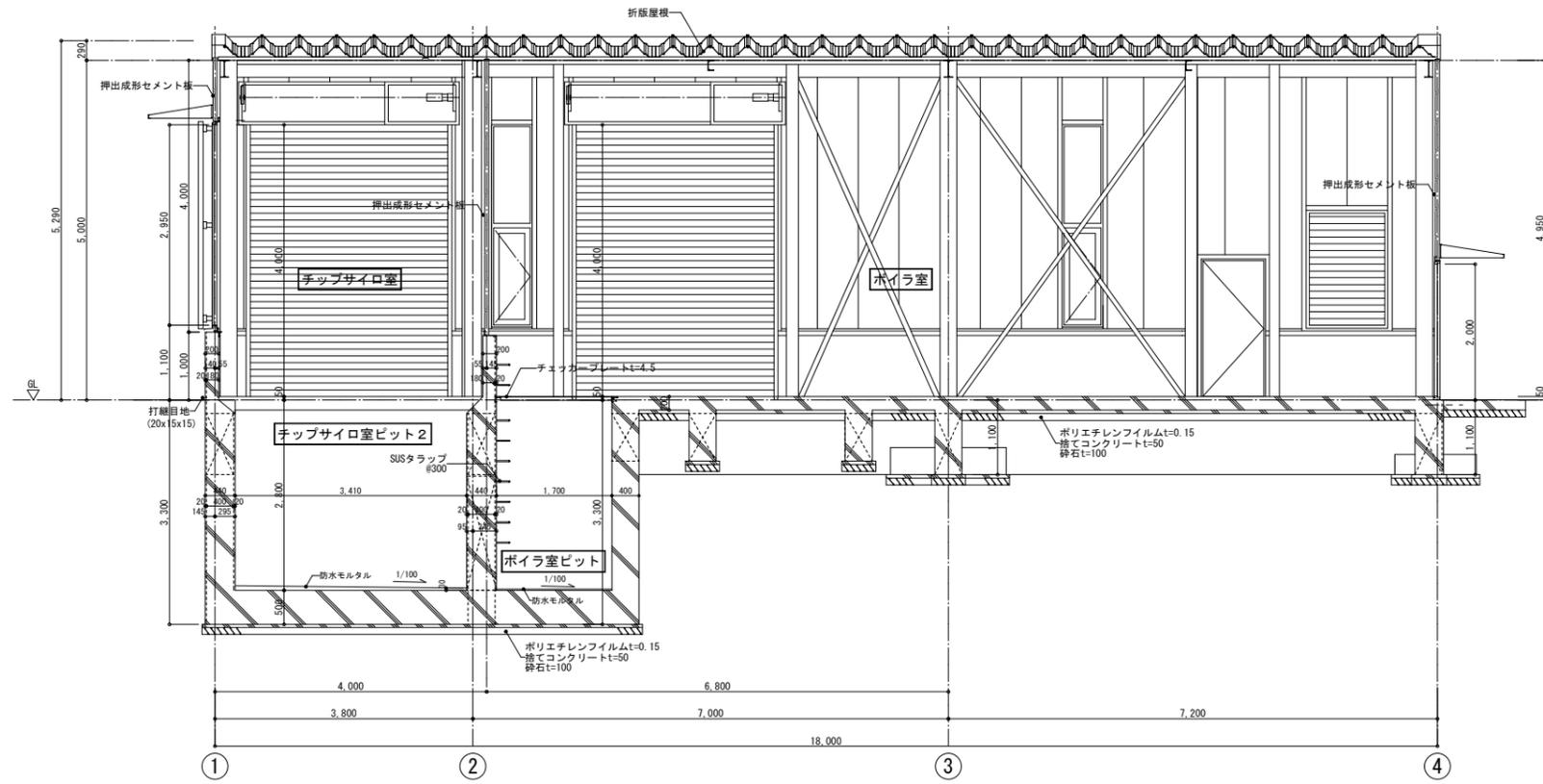
仕上表



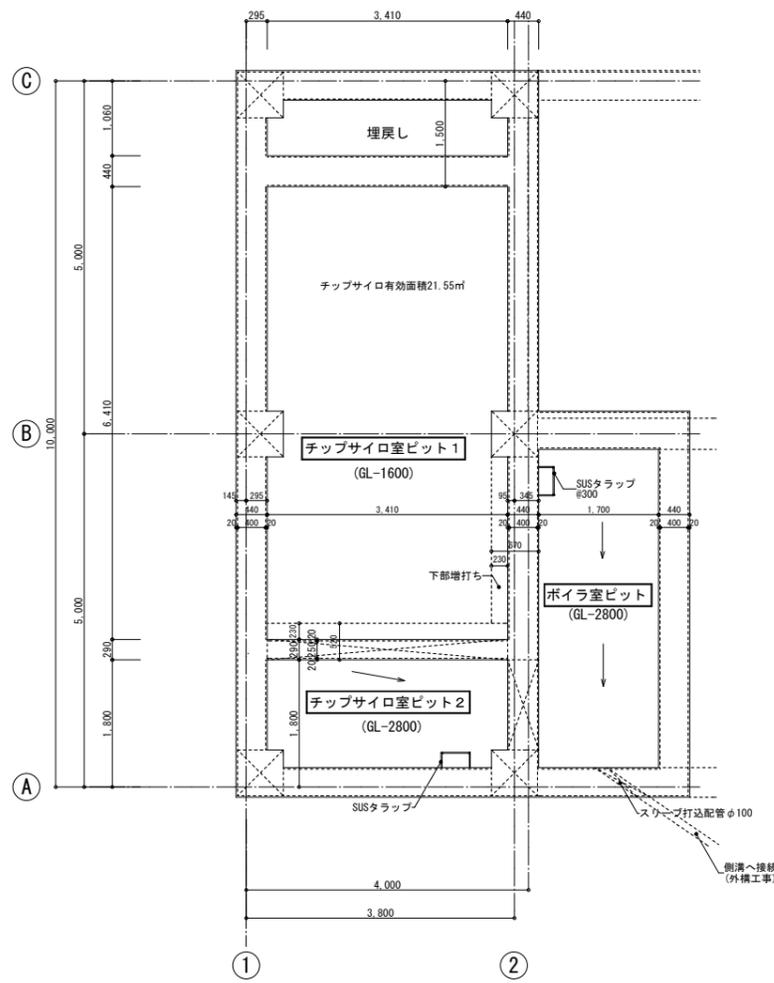
<b>京丹波町 企画政策課</b> 設計番号 設計年度 平成 年 月		課長 担当課長 副課長 担当	(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事 配置図	縮尺	図番
				A1 1/200 A3 1/400	No.A-012/ 020 枚の内



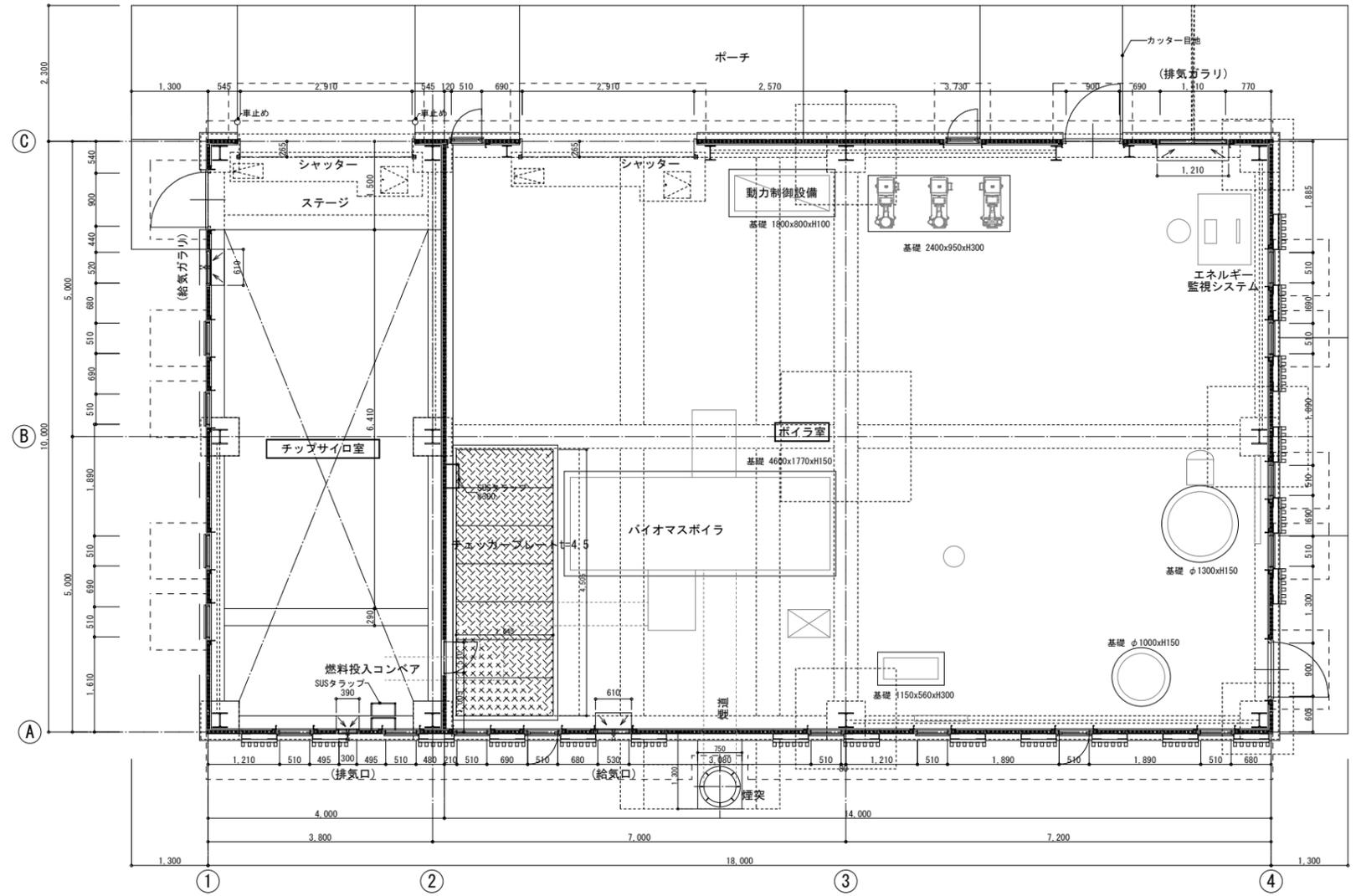
<b>京丹波町 企画政策課</b> 設計番号 設計年度 平成 年 月			決裁欄 課長 担当課長 副課長 担当	工事名 (仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
					A1 1/100	NoA-013
平面図・立面図・断面図					A3 1/200	020 枚の内



京丹波町 企画政策課 設計番号 設計年度 平成 年 月			決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工事名 (仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事 図名 矩形図	縮尺	図番
				A1 1/50	No.A-014					
									A3 1/100	020 枚の内

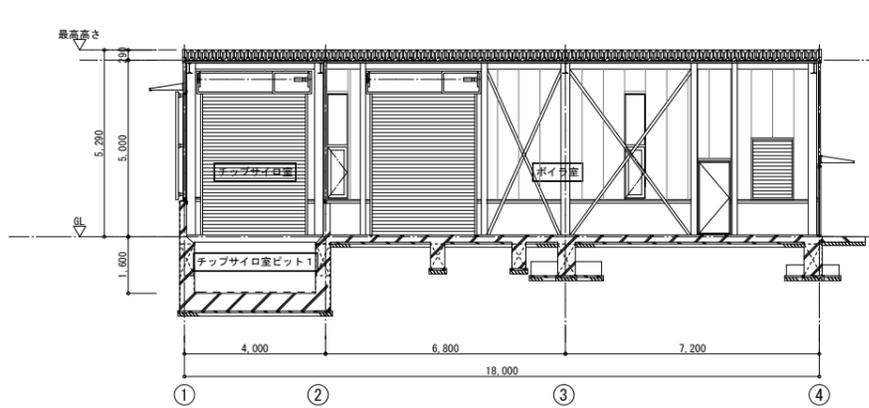


ピット平面詳細図

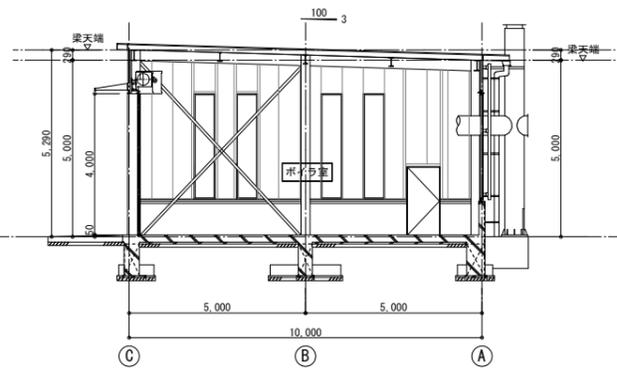


ボイラ室平面詳細図

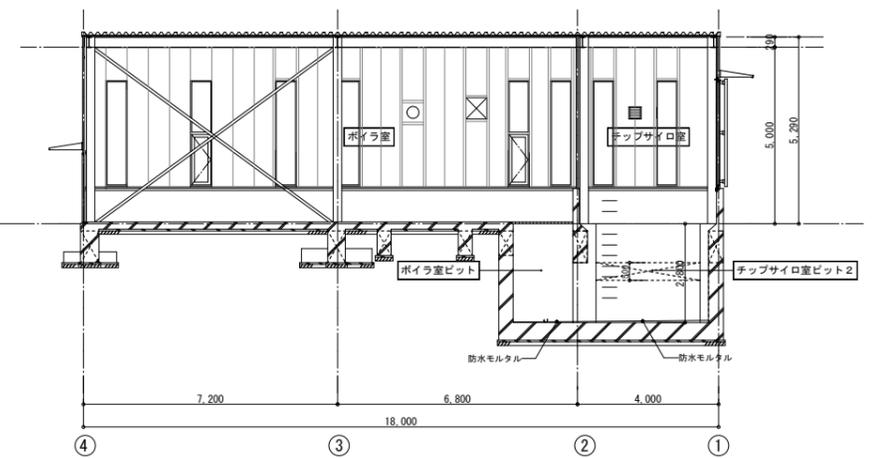
京丹波町 企画政策課 設計番号 設計年度 平成 年 月			決裁欄 課長 担当課長 副課長 担当	工事名 (仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
					平面詳細図	A1 1/50 A3 1/100



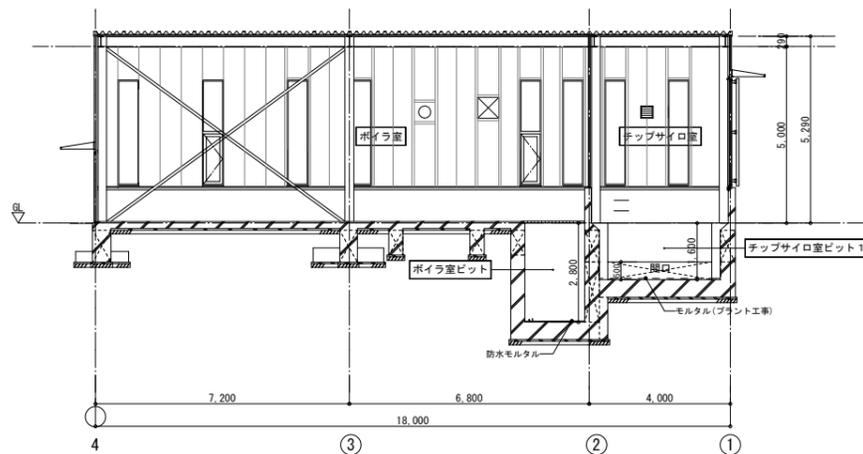
トップサイロ室、ボイラ室 A面



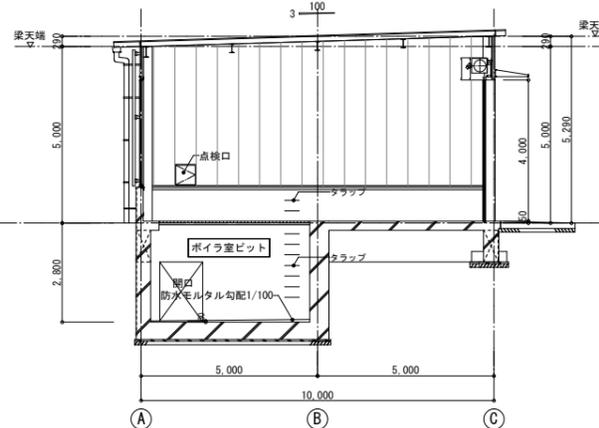
ボイラ室 B面



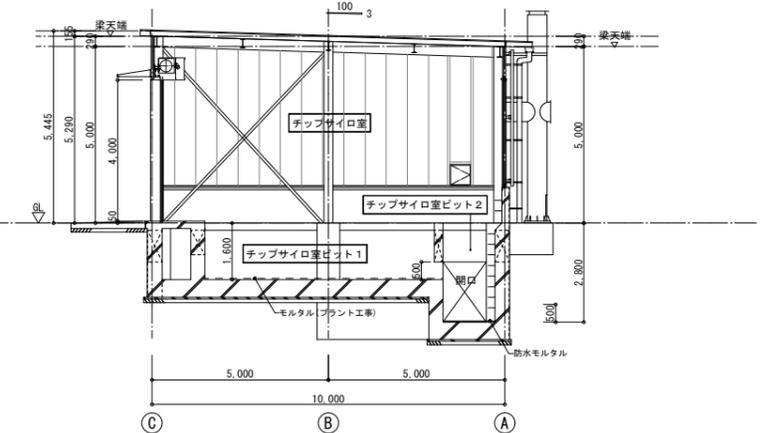
トップサイロ室、ボイラ室 C1面



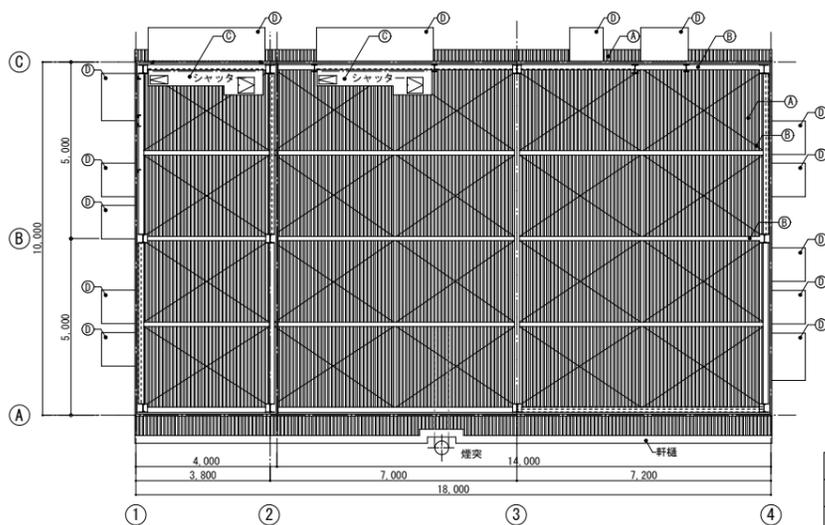
トップサイロ室、ボイラ室 C2面



ボイラ室 D面

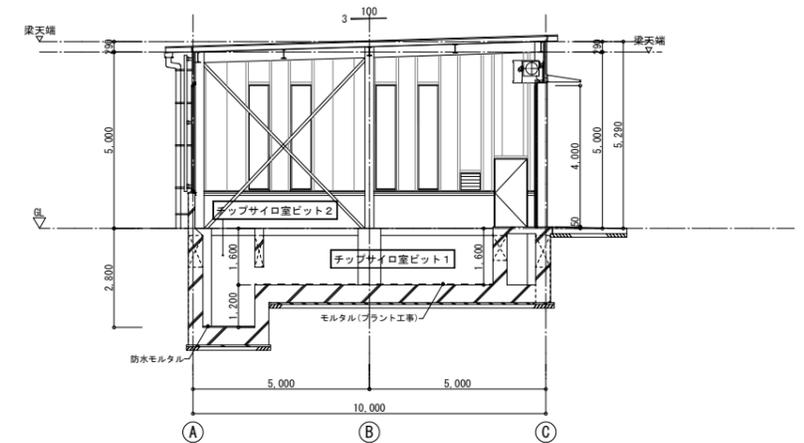


トップサイロ室 B面



天井伏図

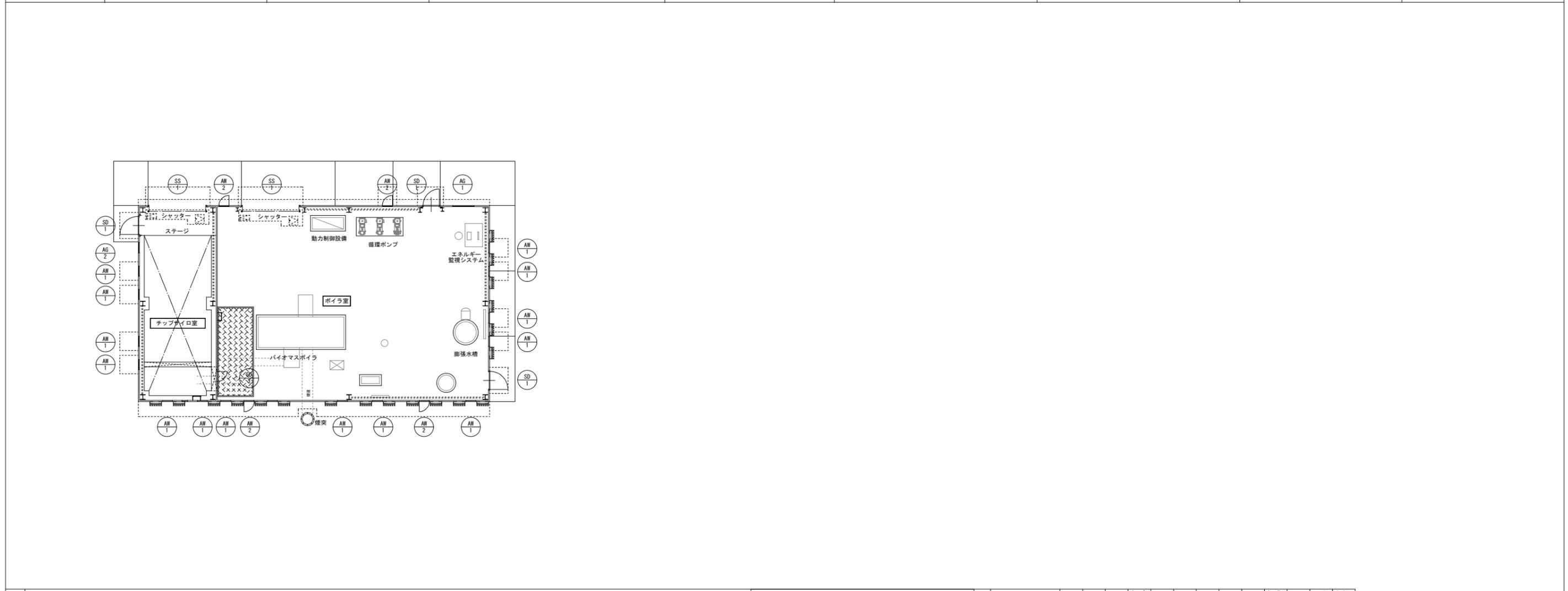
符号	仕上
Ⓐ	折板表し
Ⓑ	鉄部 SOP塗装
Ⓒ	シャッターボックス
Ⓓ	アルミ製庇



トップサイロ室 D面

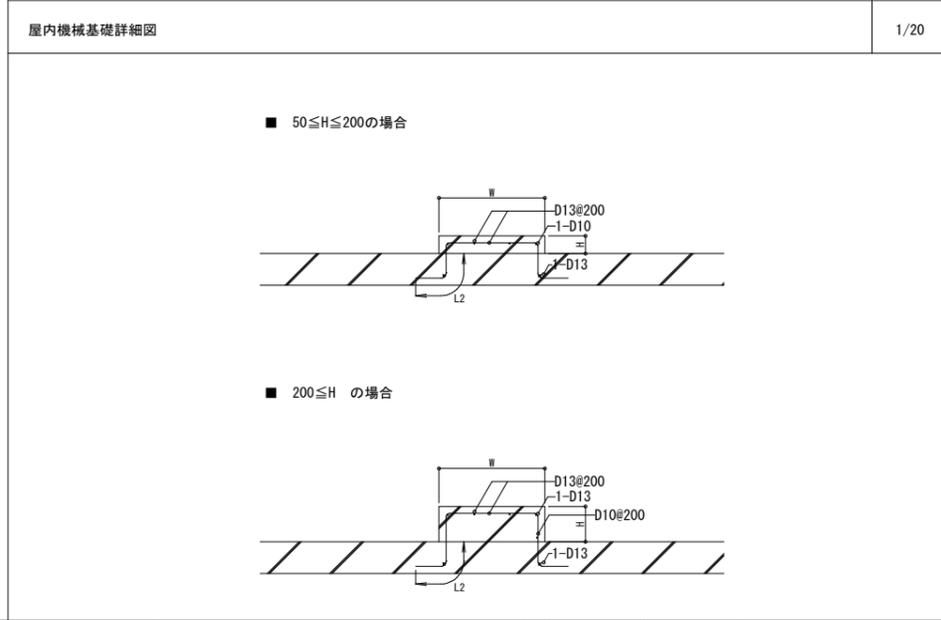
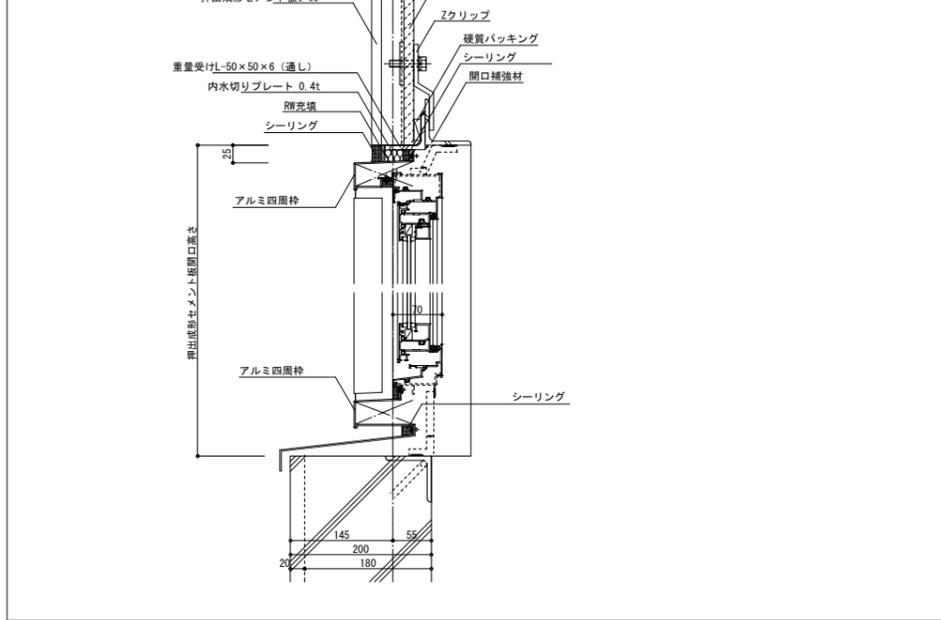
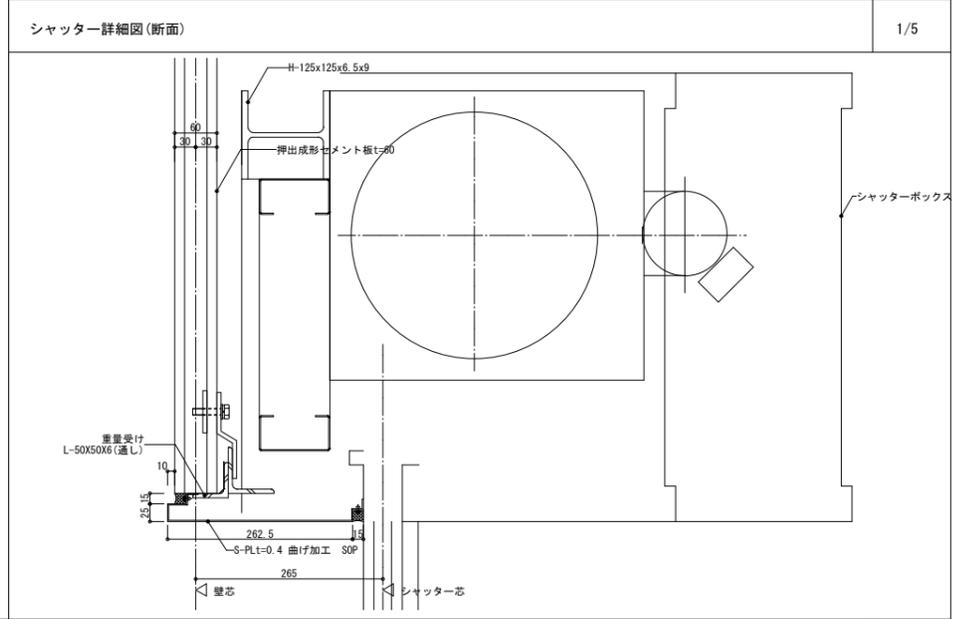
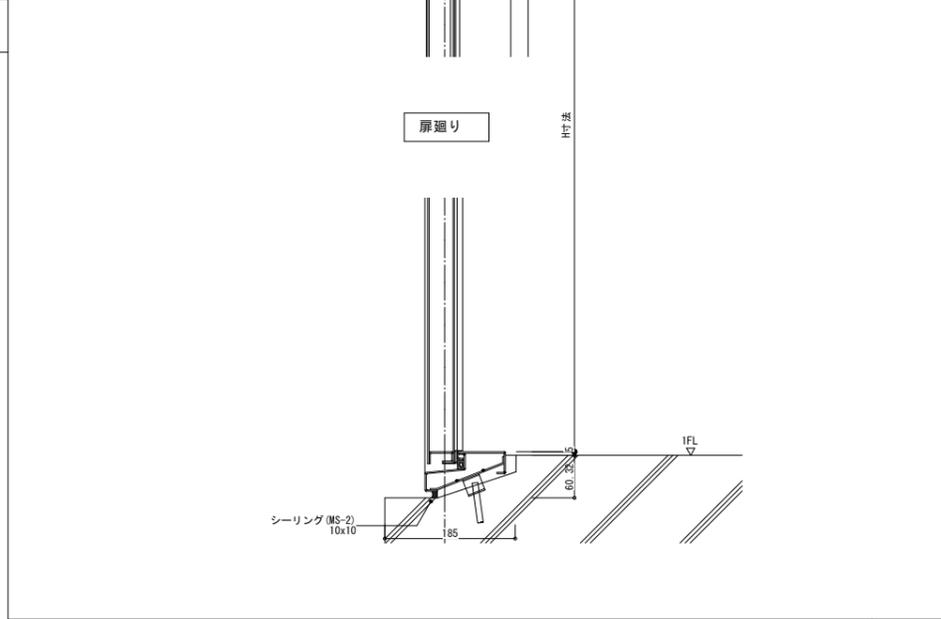
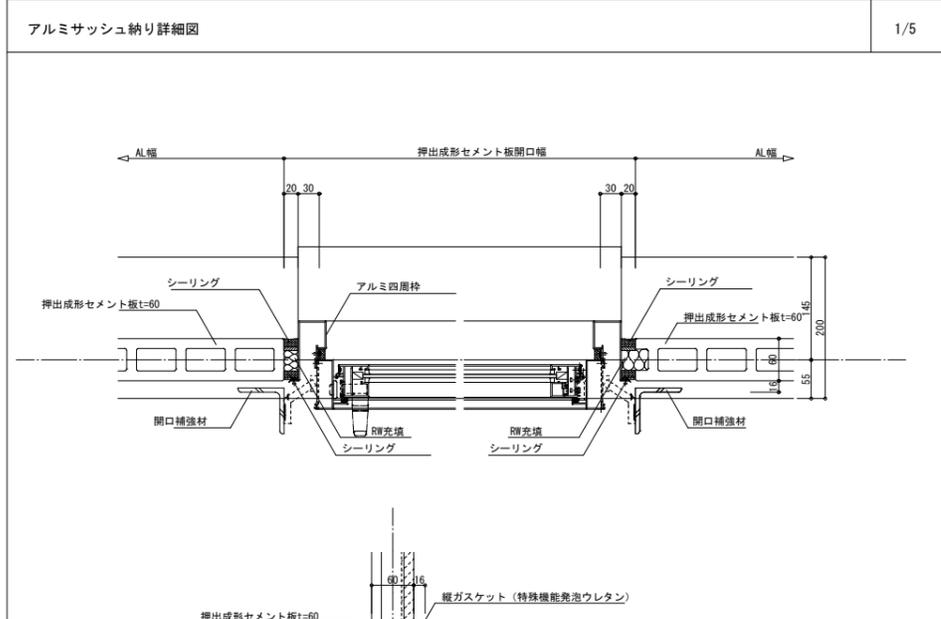
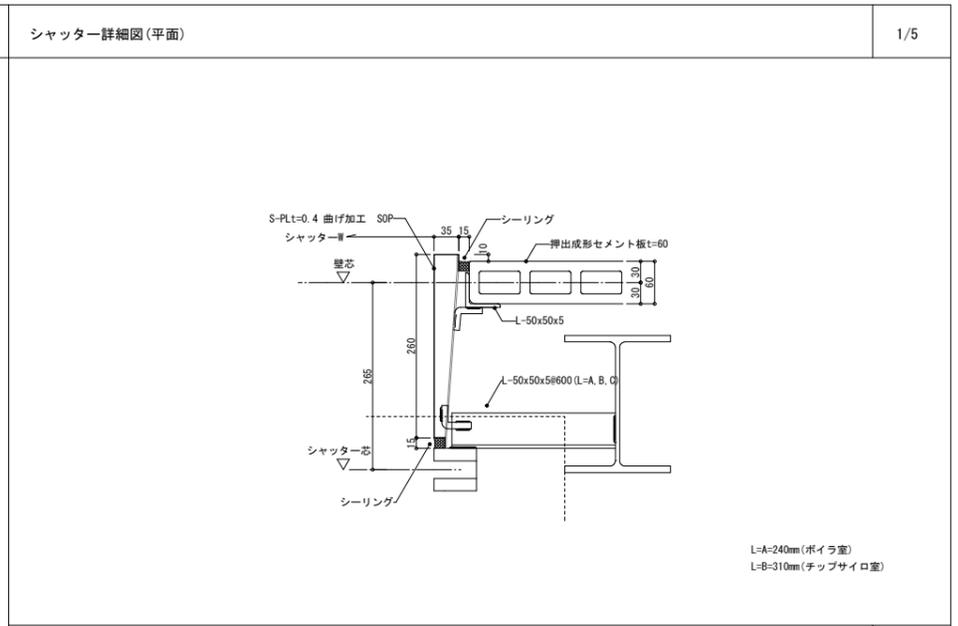
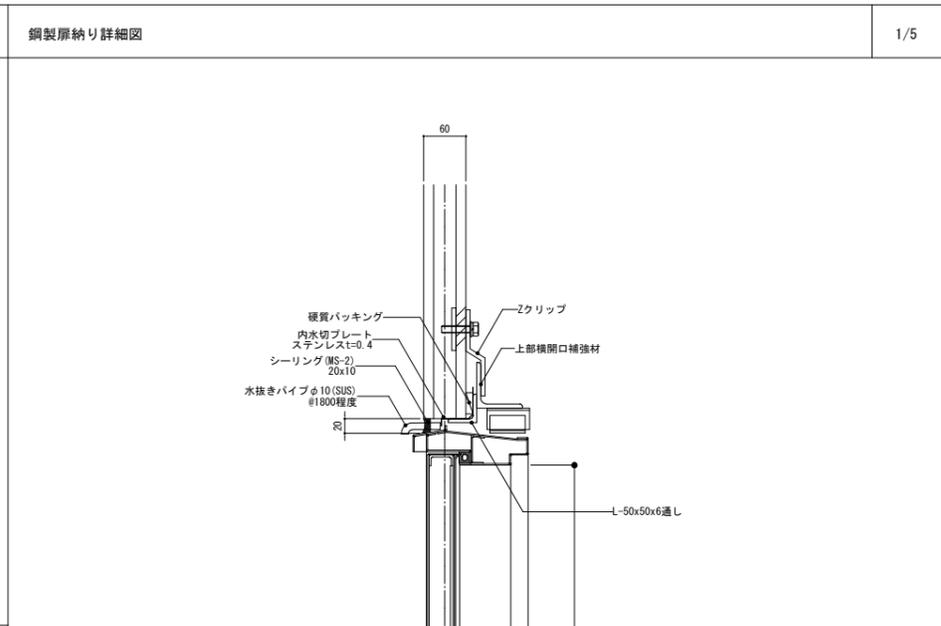
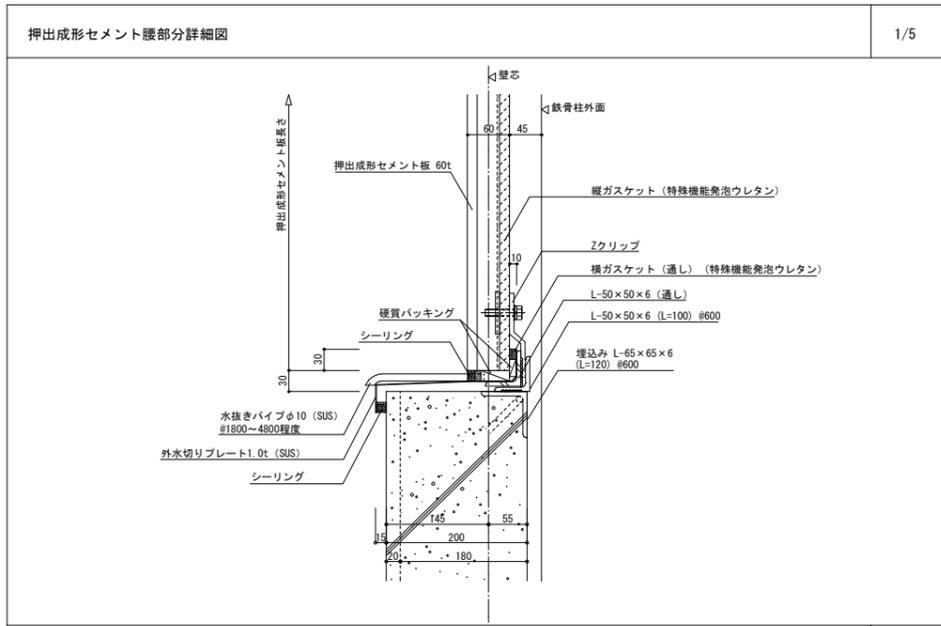
京丹波町 企画政策課			課長	担当課長	副課長	担当	工事名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成 年 月					(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	A1 1/100	No.A-016
展開図・天井伏図								A3 1/200	020 枚の内

符号・名称・個数	SD-1 鋼製片開フラッシュ戸 3	SD-3 鋼製片開フラッシュ戸 1	SS-1 電動重量シャッター 2	AW-1 FIX窓 14	AW-2 片開窓+FIX窓 4	AG-1 固定ガラリ 1	AG-2 固定ガラリ 1
場所	1F	1F	1F	1F	1F	1F	1F
仕上(特共)	スチール SOP	スチール SOP	カラー鋼板t=0.8	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)
建具	見込	40	30	30	30		
	硝子	P-6			P 6		
建具種	ガラリ					無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)	無着色陽極酸化塗装複合皮膜(C-2種)
	見込取合 音槽	100	45		70	70	70
特記号	音槽(水切)記号						
建具金物	DC、丁番、レバーハンドル、戸当り、シリンドー錠	丁番、点検口錠	ガイドレール、座板、マグサ、鋼製シャッターボックス、	付属金物一式	クレセント、網戸、付属金物一式		
その他	破壊窓		ガイドレール、座板、マグサはステンレス製とする。			防虫網	防虫網

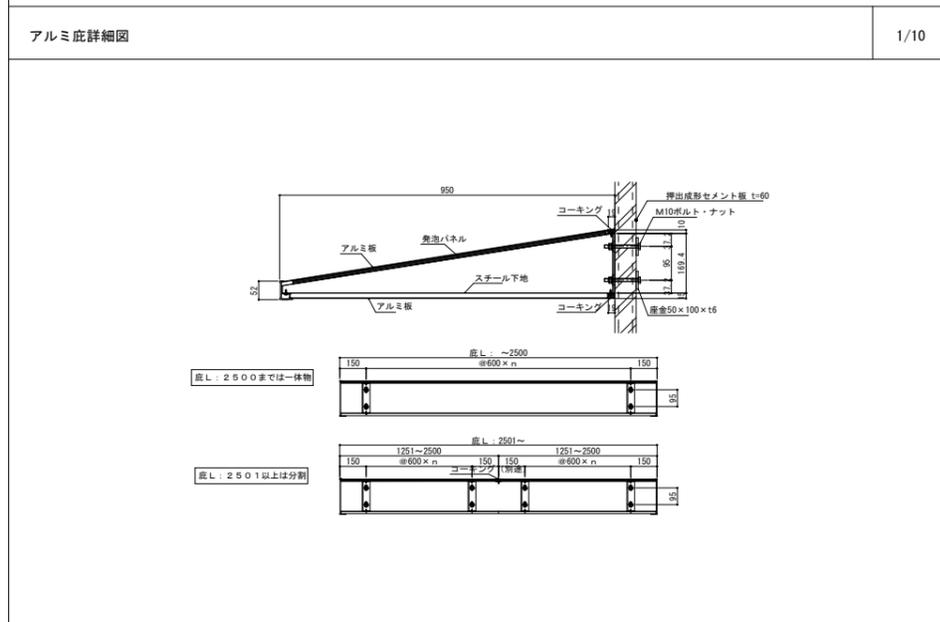
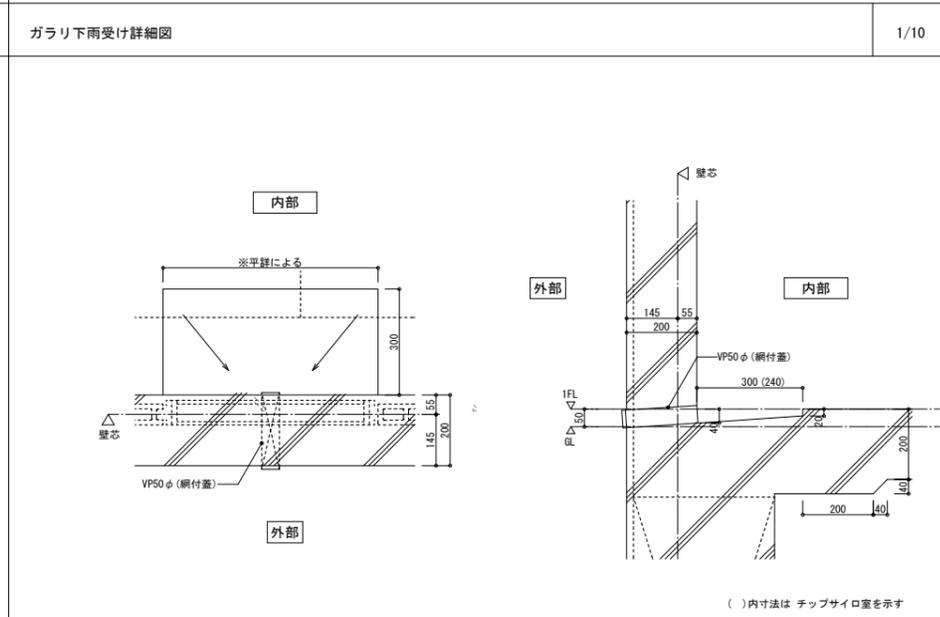
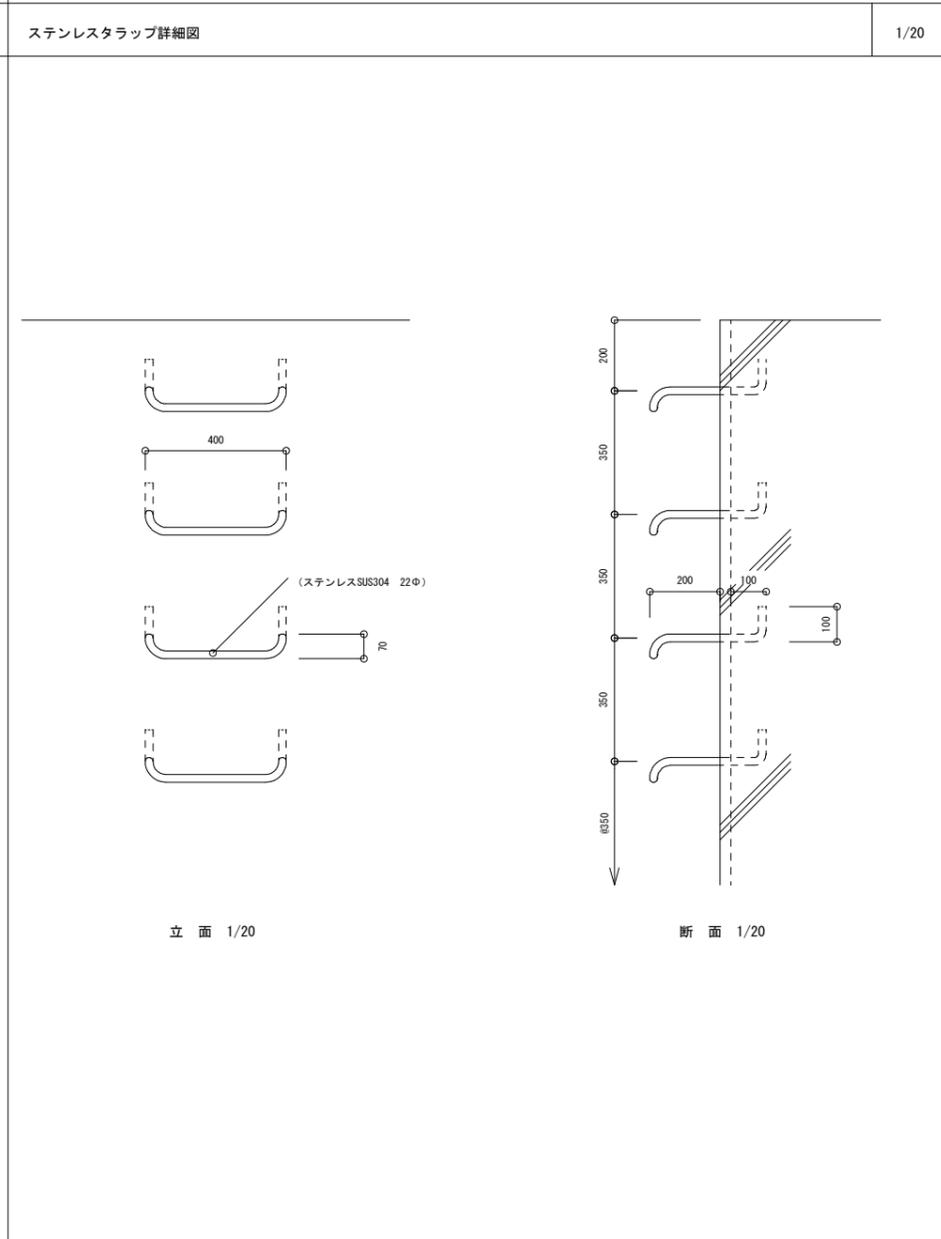
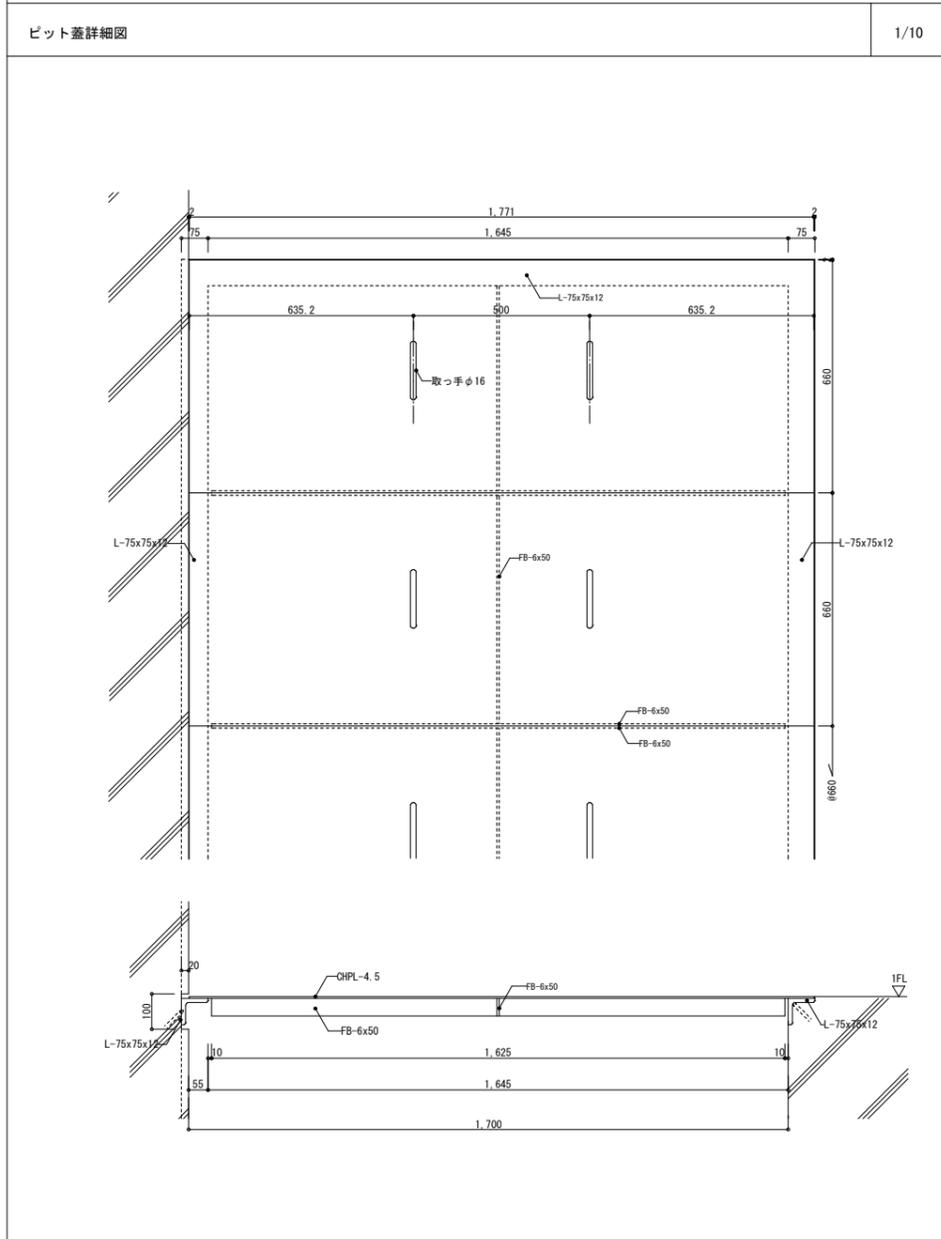
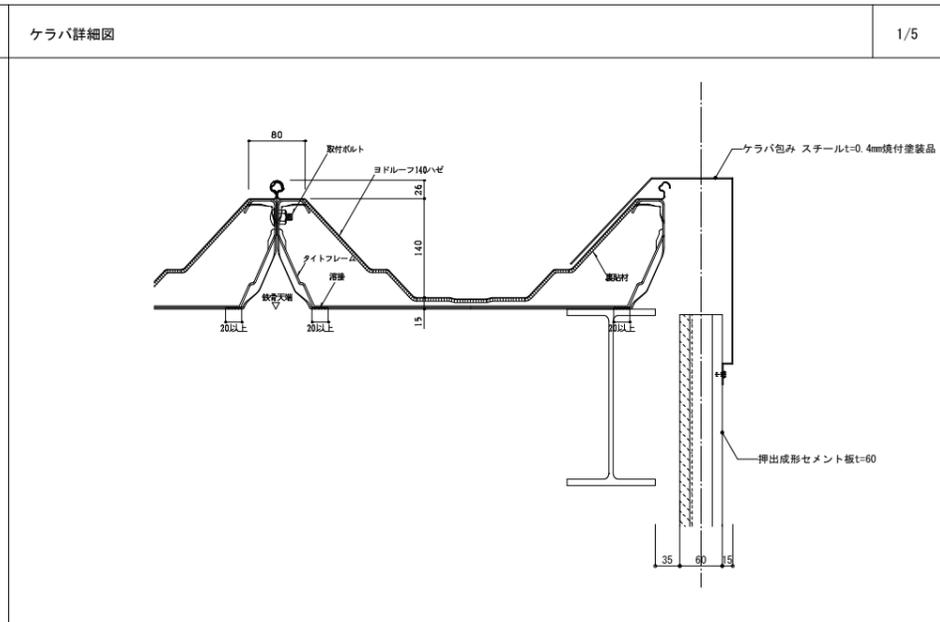
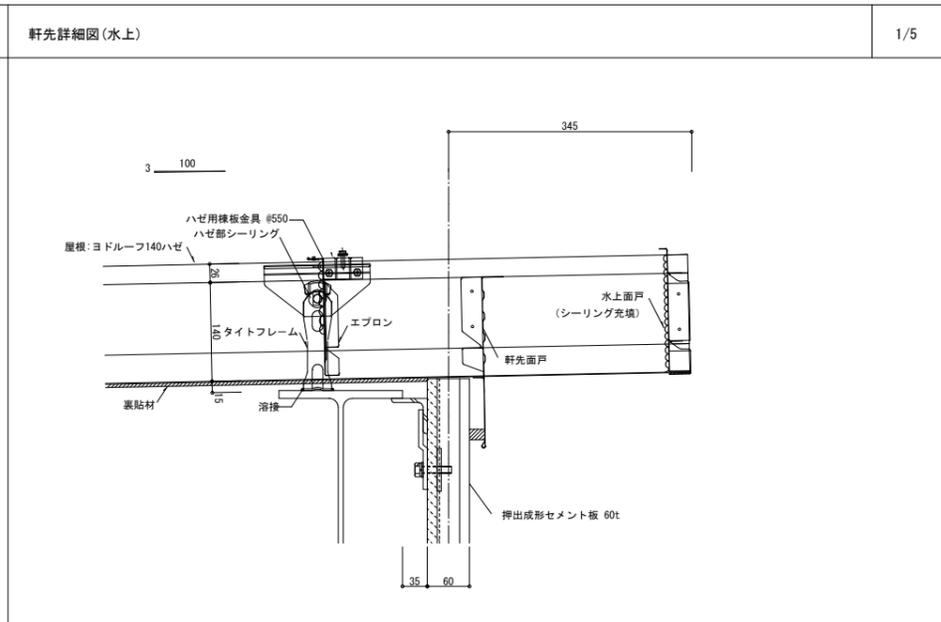
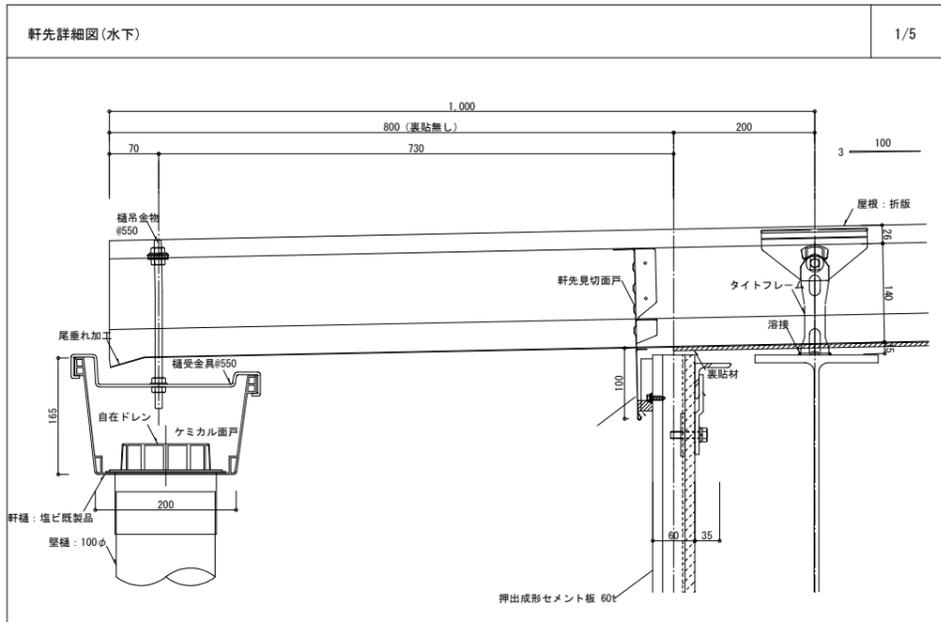


共 通 事 項	1. 特記なき限り外部はシリング箱錠(内部サムターン)とし内部は本締り付きモノロックとする。但し、押板、押棒の場合は、シリング本締りとする。	8. 特記なき限り内部建具ガラリはイ型とする。	9. 特記なき限り鋼製戸の見込みは40mmとする。	10. 防火戸の位置は建具配置図による。	11. 特記なき限り簡易気密扉の充填材の充填は行わないものとする。																		
	2. バイパスベース、ダクトスペースの点検扉はシリング本締り錠(特記なき限り同一キー)とする。	3. 便所等の施設を必要としない箇所は空錠とし、押板、押棒の場合は錠不要とする。	4. AH、FHを除きDCの有無にかかわらず出入口には戸当り、あおり止め(防火戸を除く)をつける。壁仕上げボード類等の場合は床付とする。(但し、通行に支障のあるものは除く。)	5. 特記なき限り外部に面するガラリ戸は防鳥網付きとする。	6. アルミニウム製窓の締り金物、排煙口操作レバーの位置は床から1、500以内とする。	7. 大型、気密鋼製建具はシリング本締り錠付きとする。																	
	気密建具分類																						
	種別	納まり	ガラス等	略号	種別	戸	窓	ガラリ	オーバーヘッドドア	紙障子	ふすま	シャッター	網戸	三方格	カーテンウェール	防鳥網付	防虫網	トリック					
	防音扉	AT	必要	SP (soundproof)	アルミニウム製	AD	AW	AG	AOD			AS	aW		CW	AP							
防臭扉	AT	不要	AT (airtight)	鋼製軽量	SD	SW	SG	SOD			SS		SF										
断熱扉	AT・一般	必要	HI (heat insulation)	ステンレス製	SSD	SSW	SSG				LS		SSF										
水密扉	AT	不要	WT (watertight)	木製	WD	WW	WG		P	H													
ガラス略号					F	型板ガラス			Low-E 日射熱遮蔽複層ガラス			金物			DC	ドアクローザー							
					P	フロート板ガラス			A			空気層			AH			オートヒンジ					
					N	網入型板ガラス			F			E			エッチングガラス			FH			フロアヒンジ		
					N	網入みがき板ガラス			F			K			耐熱ガラス			PH			ビボットヒンジ		

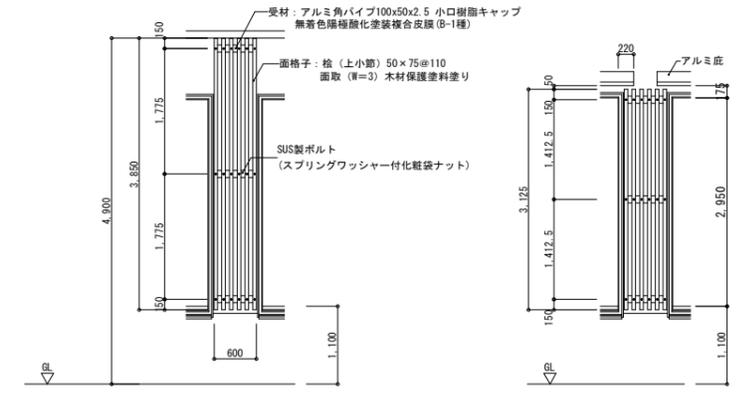
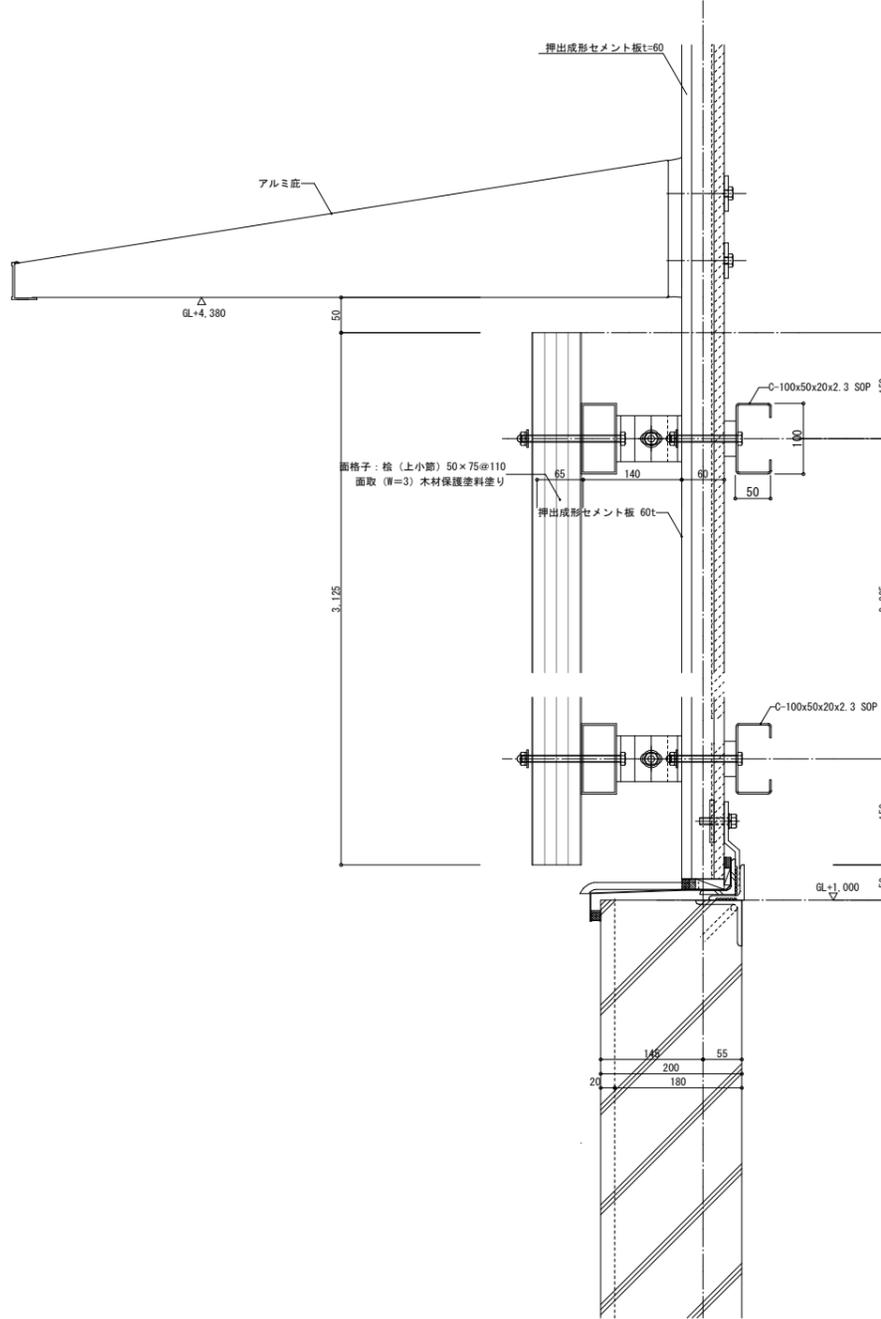
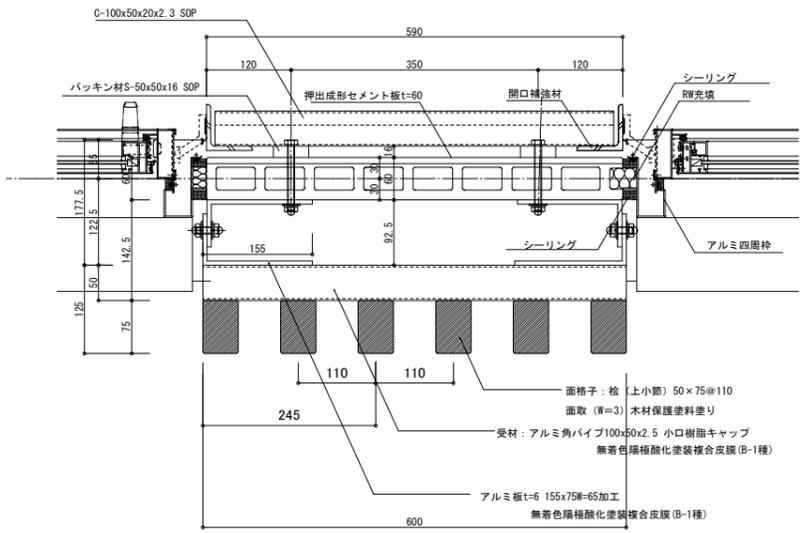
京丹波町 企画政策課			課長	担当課長	副課長	担当	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事			縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成 年 月					建具表			A1 1/50	No.A-017
										A3 1/100	020 枚の内



京丹波町 企画政策課	課長	担当課長	副課長	担当	工務名 (仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
	設計番号	設計年度	平成 年 月	決裁欄		図名	A1 1/5, 10, 20 A3 1/10, 20, 40
部分詳細図(1)							

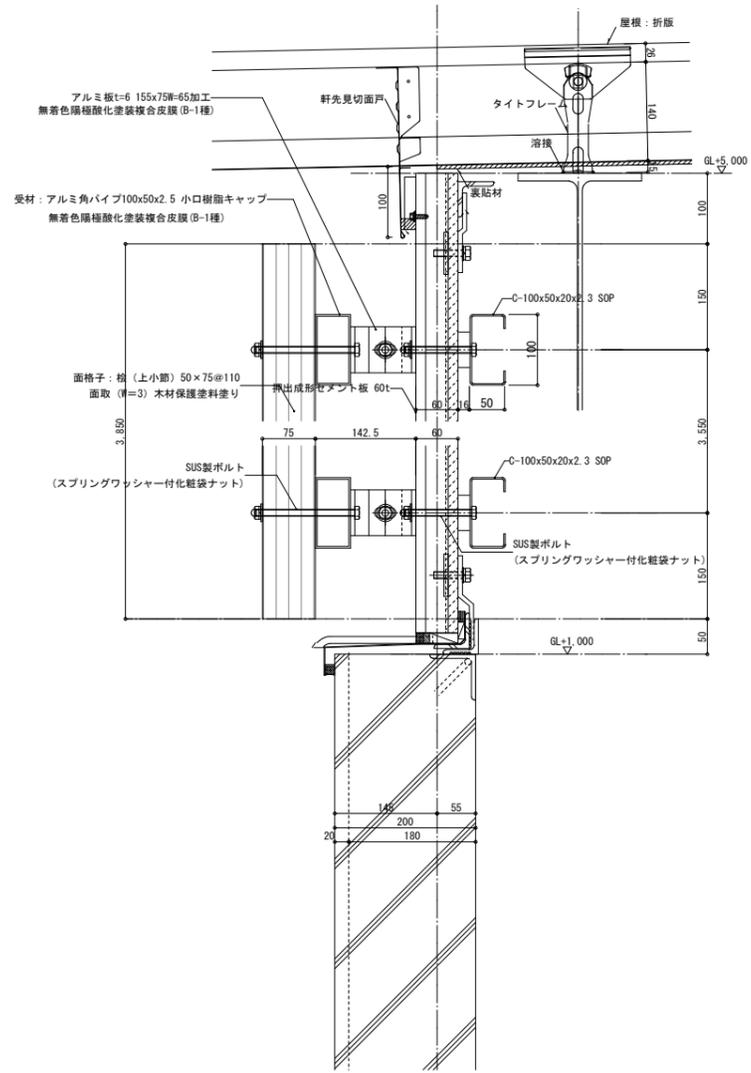


京丹波町 企画政策課				課長	担当課長	副課長	担当	工事名	(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成	年月	決裁欄				図名	部分詳細図(2)	A1	No.A-019
										A3	020
										1/5, 10, 20	
										1/10, 20, 40	
										枚の内	



姿図 S=1/50

姿図 S=1/50



京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年月

決裁欄

課長	担当課長	副課長	担当

(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事

部分詳細図(3)

縮尺	図番
A1 1/5.50	No.A-020
A3 1/10.100	020 枚の内

# 特記仕様 (構造関係)

## I 建物構造概要等

### 1. 建物概要

工事名称	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事
工事場所	京丹波町市場・大倉地内
主要用途	木質バイオマスボイラー建屋
階数	地上 1階 地下 0階 塔屋 0階
建物高さ	m
工事種別	<input type="radio"/> 新築 <input type="radio"/> 増築 <input type="radio"/> 改築 <input type="radio"/> 移転
増築計画	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し
構造種別	地上 鉄骨造 地下 ー造
架構形式	X方向 プレース構造 Y方向 プレース構造
耐震構造方式	<input checked="" type="radio"/> 耐震構造 <input type="radio"/> 免震構造 <input type="radio"/> 制振構造
耐震安全性の分類	Ⅰ類 (I=1.50) Ⅱ類 (I=1.25) Ⅲ類 (I=1.00)

### 2. 構造計算条件

a 耐震設計条件	
地震荷重	建物一次固有周期 ( 0.15 ) 秒 地盤種別 第 ( 2 ) 種地盤 地域係数 Z= 1.0
計算ルート	X方向 ※許容応力度計算 (ルート 1-2)
	Y方向 ※許容応力度計算 (ルート 1-2)
設計層間変形角	X方向 一次設計 1/200以内 二次設計
	Y方向 一次設計 1/200以内 二次設計
b 耐風設計条件	
基準風速 (V <sub>0</sub> )	( 32 ) m/秒
地表粗度区分	Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ
c 耐積雪設計条件	
建設地の標高	( 50 ) m
多雪区域の指定	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し
設計積雪積雪量	( 90 ) cm

## II 建築工事仕様 (構造関係)

### 1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成22年版)」(以下、「標準仕様」という)による。

### 2. 特記仕様

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。
- 特記事項に記載の( )内表示番号は、「標準仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- Ⓜ印は「図等による環境物品等の調達等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特記調達品目を示す。

適用範囲 特記仕様(構造関係)の適用範囲は下記の工事種目とする。  
○特記仕様書1 仕様書 I 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の工事種目番号 (番号○～番号○までの工事種目)

4 地業工事 1 支持力又は支持地盤の確認 支持地盤の位置及び種類 (4.3.4)(4.3.5)(4.5.4)  
・杭基礎(基礎ぐいの先端の位置含む)  
・構造図( )による  
○直接基礎(基礎底部の位置含む)  
・構造図( )による  
長期設計支持力 ( 200 )kN/m<sup>2</sup>

試験 杭の載荷試験 (4.2.1)(4.2.3)(4.2.5)  
・行わない  
・行う  
・構造図( )による  
地盤の載荷試験(平板載荷試験) (4.2.4)(4.2.5)  
・行わない  
○行う  
載荷荷重等仕様  
・構造図( )による (4.2.1)

2 液状化対策  
・行う (工法、施工範囲、仕様及び計測、試験等は構造図による。)  
○行わない

3 既製コンクリート杭地業	種類等 (4.3.2) ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490 材料 (4.3.2) 寸法、継手、性能等 (4.3.2)
試験杭	杭径 (mm) 杭長 (m) 及び種類等 (種類、記号、板厚 (mm)、杭長 (m)) セット数 コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 長期設計支持力 (kN/本) 備考
本杭	軸800 上杭 C種 8 部1000 中杭 C種 8 下杭 A種 8 66 7500
試験杭	試験杭の位置、本数及び寸法 (4.2.2)(4.3.4) ・構造図( )による 杭先端部形状 (4.3.2) ・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 施工方法 (4.3.3~4.3.5) ・セメントミルク工法 (4.3.4) ・スラスター工法の支持地盤への掘削深さ 1.5m程度 杭の支持地盤への掘削深さ 1.0m以上 杭の精度 ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・特定埋込杭工法 (4.3.5) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式の内 α、β、γが下記の値を採用できる工法 α=( )、β=( )、γ=( ) 工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘り拡大根固め工法 杭周囲固定 ・使用する ・使用しない 杭の精度 (4.3.5) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による
杭継手工法	試験杭の位置、本数及び寸法 (4.3.6) ・アーク溶接継手 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
杭頭の処理(切断方法)	(4.3.7) ・処理しない ・処理する 切断方法 ・構造図( )による 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調のもの
材料	寸法、継手、性能等 (4.4.2)(表4.4.1)
試験杭	杭径 (mm) 種類(記号、板厚 (mm)、杭長 (m)) セット数 長期設計支持力 (kN/本) 備考
本杭	上杭 中杭 下杭
試験杭	試験杭の位置、本数及び寸法 (4.2.2)(4.4.3) ・構造図( )による 杭先端部形状 (4.4.2) ・開放形
施工方法	(4.4.4) ・特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式の内 α、β、γが下記の値を採用できる工法 α=( )、β=( )、γ=( ) 工法 ・中掘り拡大根固め工法

杭の精度 (4.3.5) ・水平方向の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による	杭の現場継手 (4.4.5) ・アーク溶接継手 ・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの) 工法 ※審査(評定又は大臣認定)を受けた工法 検査 ※審査(評定又は大臣認定)により定められた項目 施工 ※審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
杭頭の処理(切断方法) (4.4.6) ・処理しない ・処理する 切断方法 ・構造図( )による 杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調のもの	セメントの種類 (4.5.3) ・高炉セメントB種 コンクリートの種類 (4.5.3)(表4.5.1) ・A種 ・B種 コンクリートの設計基準強度 ( )N/mm <sup>2</sup> (4.5.3)(4.5.4)(4.5.5) 構造体コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割り増し ・行わない ・行う ・3N/mm <sup>2</sup> 杭断面・長期許容支持力等
5 場所打ちコンクリート杭地業	試験杭 (4.5.3) 試験杭の位置、本数及び寸法 (4.5.3) ・構造図( )による 掘削工法 (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5) ・アースドリル工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4.5.1)(4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・STK400 ・STK490 鋼管径、板厚、長さ等 ・構造図( )による ・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない)
試験杭	軸径 (mm) 杭長 (m) セット数 長期設計支持力 (kN/本) 備考
本杭	
試験杭	試験杭の位置、本数及び寸法 (4.5.3) ・構造図( )による 掘削工法 (4.5.1)(4.5.4)(4.5.5) ・アースドリル工法 (安定液 ・使用する ・使用しない) ・リバース工法 ・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない) 併用する工法 (4.5.1)(4.5.5) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・STK400 ・STK490 鋼管径、板厚、長さ等 ・構造図( )による ・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない)
帯筋	(4.5.3) ・構造図( )による ・構造図( )による
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)	(4.5.3) ・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ、1節につき3箇所以上入れ、リングと組立用の鉄筋との接触部を溶接する。
鉄筋の最小かぶり厚さ	(4.5.3) ・100mm
鉄筋の重ね継手長さ、主筋の基礎底盤への定着長さ	(4.5.3) ・構造図( )による
孔壁測定	(4.5.4)(4.5.5) ・行わない ・行う 測定方法 ・超音波測定器 測定箇所数及び測定位置 試験杭( )箇所及び本杭( )箇所とし、位置は構造図( )による
杭の精度 (4.5.4)(4.5.5) ・水平方向の位置ずれ ・100mm以下 ・杭の傾斜 ・1/100以内 ・評定条件又は認定条件による	材料 (4.6.3) ※再生クラッシュラン [G] ・切込み砂利及び切込み砕石 厚さ及び適用範囲 厚さ 適用箇所 ○60 ○基礎スラブ下 ○基礎梁下 ・土間コンクリート下 ○土に接するスラブ下
6 砂利地業	厚さ及び適用範囲 (6.14.3) 厚さ 適用箇所 ○50 ○基礎スラブ下 ○基礎梁下 ○土に接するスラブ下
7 捨コンクリート地業	施工範囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下 (ビームを除く) 防湿工法 (4.6.5) ○ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 防湿層の位置 (4.6.5) ・図面( )による
8 床下防湿層	工法 (4.6.5) ・浅層混合処理工法 改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)は構造図( )による。 ・深層混合処理工法 改良範囲、仕様(計測、試験等含む。)は構造図( )による。
9 地盤改良	

10 置換コンクリート地業 (ラッフルコンクリート地業)	形状等 ( )による ・構造図( )による 支持地盤の長期設計支持力 ( )kN/m <sup>2</sup> 支持地盤 ・構造図( )による 型枠使用の有無 ・無し ・有り 型枠の使用箇所等は構造図( )による
5 鉄筋工事	1 鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1) 規格の名称 種類の記号 呼び径 (mm) 適用箇所 備考 鉄筋コンクリート ○SD295A ※D16以下 基礎・基礎梁・スラブ 用棒鋼 (異形鉄筋) ○SD345 ※D19以上 基礎梁 ・SD390 ※D29以上
2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類 種類の記号 網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm) 適用箇所 ・溶接金網 ・鉄筋椅子
3 圧接完了後の試験	外観試験 (5.4.9) ○行う (全数) 抜取試験 (5.4.9) ○超音波探傷試験 試験の箇所数等 ・標仕 5.4.9、5.4.10による ・引張試験 試験片の採取数は、1ロットに対して(※3本・5本)とする 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする 試験片を採取した箇所の処置：標仕5.4.9による
4 鉄筋の継手	継手方法 (5.3.4)(5.5.2) 適用箇所 継手方法及び適用径の範囲 ・柱主筋 ・梁主筋 ・耐力壁 ○基礎スラブ、耐任スラブ、 土圧壁など ・杭主筋 ・ガス圧接 (D19以上) ・ガス圧接 (D19以上) ・重ね継手 ・ガス圧接 ( ) ・重ね継手 ( ) ・重ね継手
5 主筋の継手位置等	カットオフ鉄筋の長さ (5.3.4) ○構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3による(○全て・下記以外全て) ・上記以外の位置 ・構造図( )による 基礎梁主筋の継手 ・構造関係共通図(配筋標準図)5.2による(○全て・構造図による) ○構造関係共通図(配筋標準図)5.3による(○全て・構造図による) ・構造関係共通図(配筋標準図)5.4による(○全て・構造図による) ・構造図( )による
6 鉄筋のかぶり厚さ	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5) ○構造関係共通図(配筋標準図)表4.1による ・構造図( )による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○無し ・有り 適用箇所( ) 主筋のかぶり厚さ ・最小かぶり厚さ ( )mm
7 特殊な鉄筋継手	特殊な要求性能におけるコンクリートの部分(耐久性上不利な部分) ・無し ・有り 適用箇所( ) ・構造関係共通図(配筋標準図)表4.1に加える厚さ ( )mm 適用箇所 (5.5.2) ・構造図( )による 性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.5.2) ・A級 機械式継手の種類( ) (5.5.2) カブラー等の接合部分の相互のあき、最小かぶり厚さ (5.3.5) ・構造図( )による 品質の確認方法、不良となった継手の修正方法等 (5.5.2) ・構造図( )による
8 各部配筋	○構造関係共通図(配筋標準図)による。 ・構造図( )による。 (5.3.7)
9 帯筋	組立の形の種別 ○構造関係共通図(配筋標準図)6.2( H 形 )による ・構造図( )による
10 壁開口部の補強	一般壁 ・構造関係共通図(配筋標準図)8.4( 形 )による ・構造図( )による 耐震壁 ・構造図( )による
11 梁貫通孔の補強	補強形式 ・構造関係共通図(配筋標準図)11.2( 形 )による ・構造図( )による 梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ・構造図( )による

京丹波町 企画政策課  
設計番号 設計年度 平成 年 月

課長 担当課長 副課長 担当

工事名 (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事  
図名 特記仕様書(構造関係)その1  
縮尺 A1 A3  
図番 No.001/015 枚の内

6 コンクリート工事	1 コンクリートの使用骨材による種類及び強度	<p>⑧ 普通コンクリート (6.1.3~4) (6.2.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ 21 ○ 24 ○ 27 ○ 30 ○ 33 ○ 36</td> <td>2.3程度</td> <td>⑨ 18</td> <td>Fc24：基礎・基礎梁・1階床・腰壁</td> </tr> <tr> <td>○ 18</td> <td>2.3程度</td> <td>⑩ 又は18</td> <td>ポーチ</td> </tr> </table>	設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所	○ 21 ○ 24 ○ 27 ○ 30 ○ 33 ○ 36	2.3程度	⑨ 18	Fc24：基礎・基礎梁・1階床・腰壁	○ 18	2.3程度	⑩ 又は18	ポーチ	15 コンクリートの単位水量測定	<p>・行わない ・行う</p> <p>実施要領 (1) 単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.2.4(1)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を写真(計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>	12 デッキプレート (7.2.7)	<p>工法の種別 ・合成スラブ ・床型特用</p> <p>材質、形状及び寸法 ・構造図( )による ・鉄骨部材への溶接方法 ・構造図( )による ・耐火認定 ・あり・なし</p>	1 軽微な変更の対応(あらかじめ検討)	<p>施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更事項への対応方法について、あらかじめの検討を行っている部分 本検討は、計画通知の変更を要しない範囲及び対応方法を定めるものであり、品質管理上の施工誤差を許容するものではない。</p> <p>・ くいのみずれを考慮した検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。</p> <p>・ くいのみ長さの変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。</p> <p>・ はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討 あらかじめ検討の範囲及び対応方法 ※ 構造図による。</p>																													
	設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所																																													
	○ 21 ○ 24 ○ 27 ○ 30 ○ 33 ○ 36	2.3程度	⑨ 18	Fc24：基礎・基礎梁・1階床・腰壁																																													
	○ 18	2.3程度	⑩ 又は18	ポーチ																																													
	2 レディミクストコンクリート	<p>類別 (6.1.5) (表6.1.1)</p> <p>⑧ I類 ・ II類</p>	16 入熱、バス間温度の溶接条件	<p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・構造図( )による ⑨ 構造関係共通図(鉄骨標準図) (5) (7) 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件による</p>	17 錆止め塗装 (7.8.3) (18.3.2)	<p>塗料の種類 鉄鋼面</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 標仕 表18.3.1 A種</td> <td>・ 屋外 (標仕7.8.2の範囲以外)</td> </tr> <tr> <td>○ 標仕 表18.3.1 B種</td> <td>○ 屋内 (標仕7.8.2の範囲以外)</td> </tr> <tr> <td>・ 標仕</td> <td>・</td> </tr> </table>	種別	適用箇所	・ 標仕 表18.3.1 A種	・ 屋外 (標仕7.8.2の範囲以外)	○ 標仕 表18.3.1 B種	○ 屋内 (標仕7.8.2の範囲以外)	・ 標仕	・																																			
	種別	適用箇所																																															
	・ 標仕 表18.3.1 A種	・ 屋外 (標仕7.8.2の範囲以外)																																															
	○ 標仕 表18.3.1 B種	○ 屋内 (標仕7.8.2の範囲以外)																																															
	・ 標仕	・																																															
	3 セメントの種類	<p>(6.3.2) (表6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>⑧ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G]</td> <td>下記以外全て ・ 1Fより下部(立ち上がり部含む) ・</td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。</p> <table border="1"> <tr> <th>水和熱</th> <th>7日</th> <th>35J/g以下</th> </tr> <tr> <th></th> <th>28日</th> <th>40J/g以下</th> </tr> </table>	セメントの種類	適用箇所	⑧ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G]	下記以外全て ・ 1Fより下部(立ち上がり部含む) ・	水和熱	7日	35J/g以下		28日	40J/g以下	17 鉄骨工事	<p>2 施工管理技術者 (7.1.3) (7.1.4) (7.6.2) (7.12.2)</p> <p>3 製作精度 ※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による。 (7.3.3)</p> <p>4 建方精度 ※ (社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」による。 (7.10.2)</p> <p>5 鋼材 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>柱・梁・ブレース</td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格による</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所	規格等	SS400	柱・梁・ブレース	※ JIS規格による			※ JIS規格による			※ JIS規格による			※ JIS規格による			※ JIS規格による	18 耐火被覆 (7.9.2~7)	<p>種別等 (7.9.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高耐熱ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ びり張り砂吹き</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。</p>	種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール		・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板		・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール		・ びり張り砂吹き	—	
	セメントの種類	適用箇所																																															
	⑧ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 [G] ・ フライアッシュセメントB種 [G]	下記以外全て ・ 1Fより下部(立ち上がり部含む) ・																																															
	水和熱	7日	35J/g以下																																														
		28日	40J/g以下																																														
	種類の記号	適用箇所	規格等																																														
	SS400	柱・梁・ブレース	※ JIS規格による																																														
		※ JIS規格による																																															
		※ JIS規格による																																															
		※ JIS規格による																																															
		※ JIS規格による																																															
種別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)																																															
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール																																																
・ 耐火板張り	・ 繊維混入けい酸カルシウム板																																																
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール																																																
・ びり張り砂吹き	—																																																
4 骨材の種類	<p>使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 (6.3.3) (6.11.2)</p> <p>○ A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m<sup>3</sup>以下)</p>	6 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) <p>区分 ○ トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ○ JIS形高力ボルト 2種 (F10T)</p> <p>高力ボルトの径 ⑧ 構造図による すべり係数試験 ⑧ 行わない・行う</p>	19 溶融垂れつき	<p>種別等 (7.12.3) (表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>垂れつきの種類</th> <th>材料</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>A種 (HD25)</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種 (HD24)</td> <td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> <td>※構造図による</td> </tr> <tr> <td>C種 (HD23)</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> <td></td> </tr> </table>	垂れつきの種類	材料	適用箇所	A種 (HD25)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板		B種 (HD24)	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	※構造図による	C種 (HD23)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																		
垂れつきの種類	材料	適用箇所																																															
A種 (HD25)	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板																																																
B種 (HD24)	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	※構造図による																																															
C種 (HD23)	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板																																																
5 混和材料	<p>・ 混和剤 (JIS A 6204に適合するAE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。) (6.3.5) ・ 混和材 (JIS A 6201に適合するフライアッシュのI種又はII種、JIS A 6206に適合する高炉スラグ微粉末又はJIS A 6202に適合する膨張材)</p>	7 縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.2) (7.3.2) <p>高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト径、ゲージ等 ⑧ 構造関係共通図(鉄骨標準図) 1 縁端距離及びボルト間隔による</p>	20 梁貫通孔の補強	<p>補強方法 ・ 補強プレート法 ・ 補強トラス法</p> <p>適用箇所 ※構造図( )による</p>																																													
6 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類 (6.14.1)~(6.14.3)</p> <p>※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※18</td> <td>※15 又は18</td> <td>・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	セメントの種類	適用箇所	※18	※15 又は18	・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		8 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) <p>セツの種類 ・ 1種 (F8T相当)</p> <p>摩擦面の処理 ※プラスチック処理 (表面粗度50µmRz以上) ・ りん酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ・ 構造図による</p>	21 ターンバックル (7.2.6) <p>種類 建築用ターンバックル ⑧ 割弁式 建築用ターンバックルボルト ⑧ 羽子板ボルト ねじの呼び ⑧ 構造図( )による</p>																																						
設計基準強度 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	セメントの種類	適用箇所																																														
※18	※15 又は18	・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種																																															
7 高い強度のコンクリート	<p>設計基準強度F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>) (6.15.3) ・ 27・30・33・36 適用箇所( )</p>	9 アンカーボルト (7.2.4) <p>材質 ○ 構造用：S1、SP244 ・ SNR400B ○ SNR490B ○ 建方用：SP194 ○ SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げ ○ 構造用 ※ JSS II 13-2004 「(社)日本鋼構造協会規格/建築構造用乾造ねじアンカーボルト・ナット・産金のセット」</p> <p>○ 建方用 ※ 普通ボルトによる</p> <p>保持及び埋込み工法 (7.10.3) (表7.10.1) ○ 構造用 ※ 構造図による ○ 型枠などに固定 ・ 建方用 ・ 標仕 表7.10.1 (・ A種 ・ B種 ・ C種)による</p>																																															
8 打継ぎ目地の寸法、位置及び形状	<p>目地寸法 (6.6.3) (6.9.2) (9.6.3) ・ 標仕 9.6.3による</p> <p>間隔 (6.9.2) ・ 意匠図による</p> <p>位置 (6.9.2) ・ 意匠図による</p> <p>※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目の深さ寸法は、躯体外側の打ち厚さ部で処理する</p>	10 柱底均しモルタル (7.2.9) <p>モルタルの種類 ○ 無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料及び調合材料、調合等 ○ 標仕 7.2.9による 品質及び試験方法 ○ 標仕 表7.2.6による</p> <p>工法の種別 ○ 標仕 表7.10.2 ○ A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30]</p>																																															
9 コンクリートの仕上げ	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上げ (6.2.5) (6.6.6) (6.9.3) (表6.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </table>	種別	適用箇所	・ A種		・ B種		・ C種		11 ターンバックル (7.2.6) <p>種類 建築用ターンバックル ⑧ 割弁式 建築用ターンバックルボルト ⑧ 羽子板ボルト ねじの呼び ⑧ 構造図( )による</p>																																							
種別	適用箇所																																																
・ A種																																																	
・ B種																																																	
・ C種																																																	
10 打増し厚さ	<p>打増し厚さ (6.9.2) ・ 打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm ・ 床型特用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理 プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行なう ・ 10mm ・ 20mm</p> <p>打増し範囲 ・ 意匠図による</p>																																																
11 型枠	<p>せき板の材料 (6.9.3) ・ 合板 ・ 床型特用鋼製デッキプレート 使用箇所等 ※構造図による</p> <p>スリーブの材質 (6.9.3) (表6.9.1) ・ 標仕 6.9.3(1) (2) 及び標仕 表6.9.1による</p>																																																
12 型枠の存置期間及び取外し	<p>標仕6.9.5による。 (6.9.5)</p>																																																
13 コンクリートの養生方法	<p>標仕第6章第7節による。 (6.7.1~3)</p>																																																
14 コンクリート強度及び試験方法	<p>標仕6.5.5、6.10.3、6.10.4、6.10.5による。 (6.5.5) (6.10.3~5)</p>																																																



5 基礎及び基礎梁の配筋

5.1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

- (a) 一般事項  
 (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等は折り曲げて定着する。  
 (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(a)(2)による。

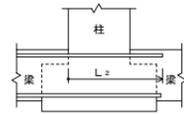
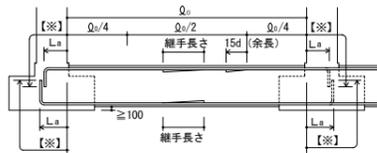


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。  
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。  
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし定着長さのうち大きい値とする

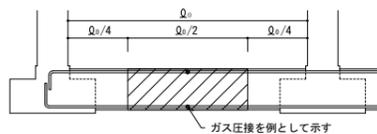
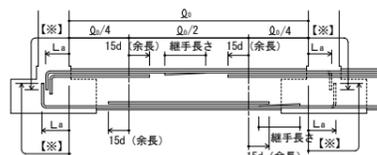


図5.2 主筋の継手、定着及び余長 (その1)

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長  
 ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。  
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。  
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし定着長さのうち大きい値とする

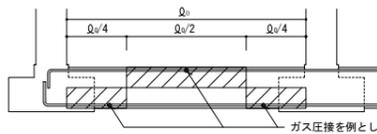
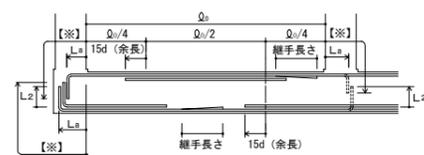


図5.3 主筋の継手、定着及び余長 (その2)

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



- (注) 1. 図示のない事項は、7.11による。  
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。  
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし定着長さのうち大きい値とする

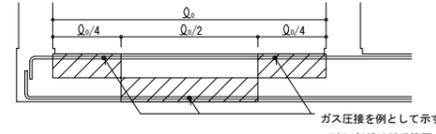


図5.4 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

5.2 基礎梁のあばら筋

- (a) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(a)による。ただし、梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることとする。

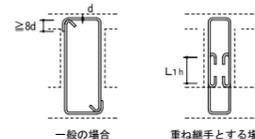


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

6 柱の配筋

6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

- (a) 柱主筋の継手、定着及び余長の一般事項  
 (1) 継手の中心位置は、梁上縁から500mm以上、1500mm以下、かつ、3ho/4 (hoは柱の内法高さ) 以下とする。  
 (2) 継手、定着及び余長は図6.1による。ただし、柱頭定着長さL2を確保できない場合は構造図による。

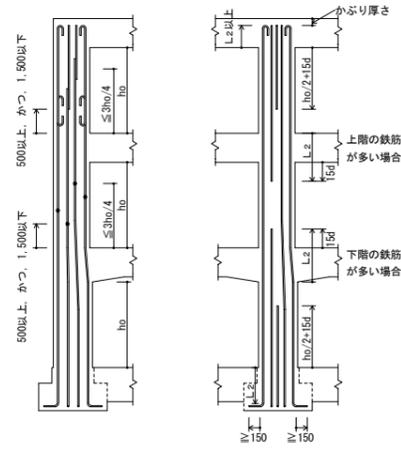
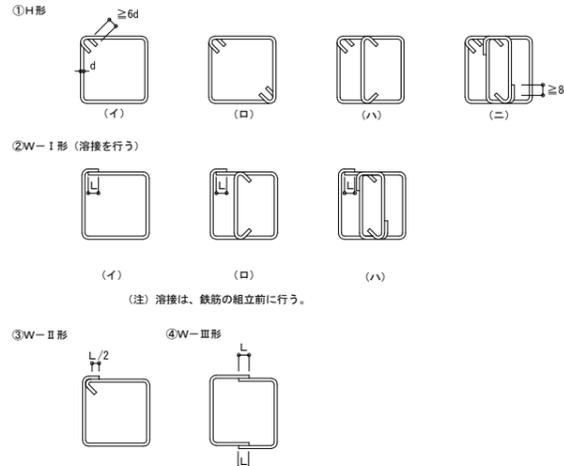


図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

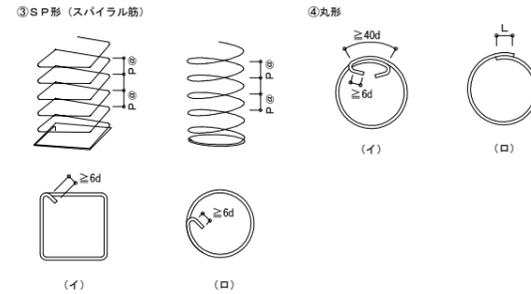
- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。  
 2. 隣り合う継手の位置は、表3.2による。

6.2 帯筋組立の形及び割付け

- (a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による



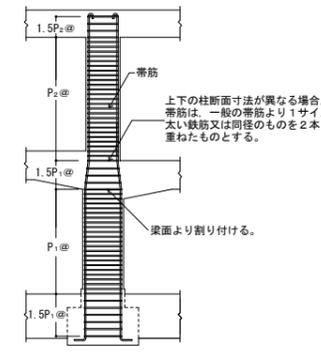
(注) 溶接は、鉄筋の組立前に行う。



- (注) 1. フック及び継手の位置は、交互とする。  
 2. 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。  
 3. S P形において、柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。  
 4. H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

- (b) 帯筋の割付けは、図6.3による。

図6.2 帯筋組立の形



- (注) 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P1または1.5P2とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。  
 なお、P1、P2は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.3 帯筋の割付け

6.3 柱の打増し部

- (a) 土に接する柱周囲の打増しは図6.4による。

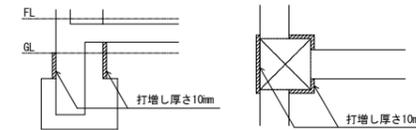


図6.4 柱打増し部

7 梁の配筋

7.1 大梁 (5.1基礎梁以外の大梁に限る) 主筋の継手、定着及び余長

- (a) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項  
 (1) 梁主筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等は折り曲げて定着する。



- ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし直線定着長さのうち大きい値とする

図7.1 梁主筋の梁内定着

- (2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。  
 なお、定着の方法は、3.1(b)(2)による。

上端筋：曲げ降ろす。  
 下端筋：原則として曲げ上げる。

- (3) 段違い梁は、図7.2による。

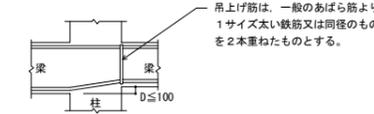
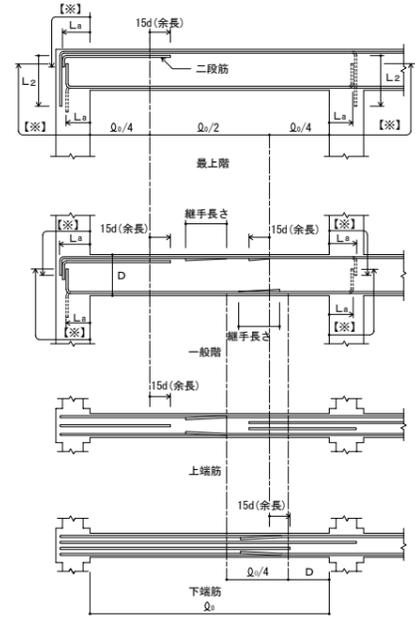


図7.2 段違い梁

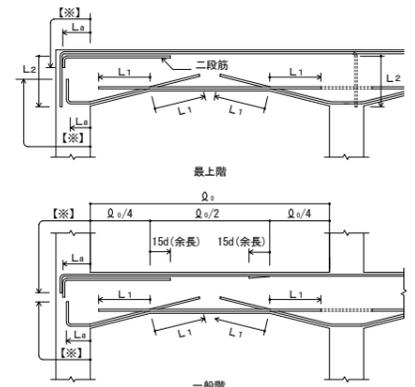
- (b) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長



- (注) 1. 継手中心位置は次による。  
 上端筋：中央 Qc/2 以内  
 下端筋：柱面より梁せい(D)以上離し、Qc/4を加えた範囲以内  
 2. 異形鉄筋の末端部(2)で定めた鉄筋には、フックを付ける。  
 3. 印は、継手及び余長位置を示す。  
 4. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし定着長さのうち大きい値とする

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

- (c) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長

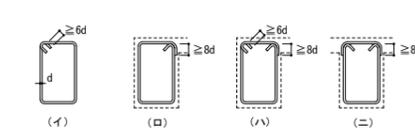


- (注) 1. 異形鉄筋の末端部(2)で定めた鉄筋には、フックを付ける。  
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。  
 3. 梁内定着の端部下縁筋が接近するときは、====のように引き通すことができる。  
 4. 破線は、柱内定着の場合を示す。  
 ※ 40d (軽量コンクリートの場合は、50d) と表3.3のフックなし定着長さのうち大きい値とする

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2 あばら筋 (5.2基礎梁のあばら筋以外に限る) の組立の形及び割付け等

- (a) あばら筋組立の形及びフックの位置

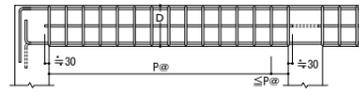


- (注) 1. (イ)形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)~(ニ)とすることができる。  
 2. フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。なお、(ハ)の場合は床板の付く側を90°折り曲げとする。

図7.5 あばら筋組立の形

課長	担当課長	副課長	担当	工事名	縮尺	図番
京丹波町 企画政策課				(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事	A1	No.004
設計番号	設計年度	平成 年 月		構造関係共通事項 (その2)	A3	015
						枚の内

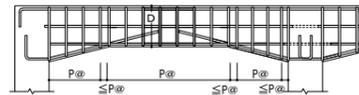
(b) あばら筋の割付け  
(1) 間隔が一律で、ハンチのない場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。  
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け(その1)

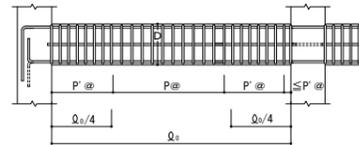
(2) 間隔が一律で、ハンチがある場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割り付ける。  
2. 図中のP@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け(その2)

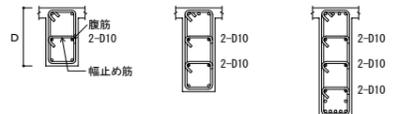
(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



(注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。  
2. 図中のP@、P'@は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

図7.8 あばら筋の割付け(その3)

(c) 腹筋及び幅止め筋



(注) 1. 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、柱等へののみこみ長さは図7.6による。  
2. 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000程度とする。

図7.9 腹筋及び幅止め筋

7.3 小梁主筋の継手、定着及び余長

(a) 連続小梁の場合

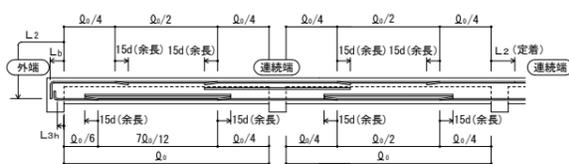


図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

(b) 単独小梁の場合

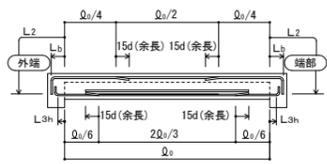
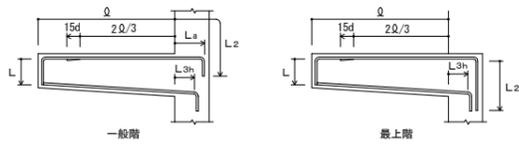


図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

(注) 1. 印は、余長位置を示す。  
2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。  
3. 図示のない事項は、5.1及び7.11に準ずる。

7.4 片持梁主筋の継手、定着及び余長

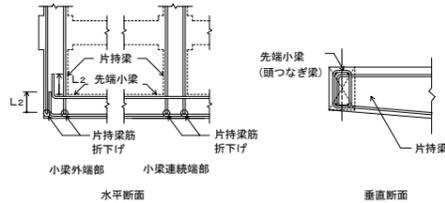
(a) 先端に小梁のない場合



(注) 1. 印は、余長位置を示す。  
2. 先端の折曲げの長さLは、梁せいからかり厚さを除いた長さとする。  
3. 図示のない事項は、7.11による。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

(b) 先端に小梁がある場合



(注) 1. 図示のない事項は、(a)による。  
2. 先端小梁連続端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。  
3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13 片持梁主筋の定着

8 壁及びその他の配筋

8.1 壁の基準配筋

(a) 壁の基準配筋は表8.1により、種別の適用は構造図による。

表8.1 壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200#シングル	120
W15A	D10-150#シングル	150
W15B	D10-100#シングル	150
W18A	D10-200#ダブル	180
W18B	D10-150#ダブル	180
W20A	D10-200#ダブル	200
W20B	D10-150#ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(b) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表8.2により、種別の適用は構造図による。

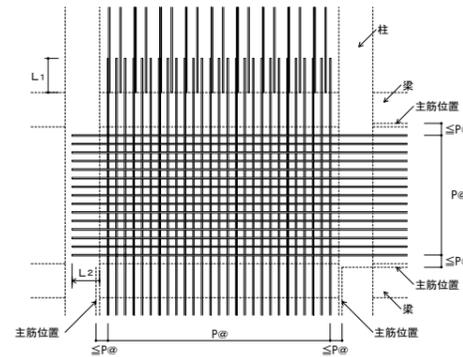
表8.2 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋 D13-200#ダブル	180	KA1
	横筋 D10-200#ダブル		KA3
KW2	縦筋 D13-150#ダブル	200	KA2
	横筋 D10-200#ダブル		KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

8.2 壁の継手及び定着

(a) 壁の継手及び定着の一般事項



(注) 1. 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。  
2. 壁配筋の重ね継手はL1とする。ただし耐力壁の重ね継手長さは、40d(軽量コンクリートの場合は50d)と表3.1のフックなし重ね継手長さのうち大きい値とする。  
3. 壁配筋の定着長さはL2とする。  
4. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。

図8.1 壁の配筋

8.3 壁の交差部及び端部の配筋

(a) 壁の交差部及び端部の配筋は図8.2による。

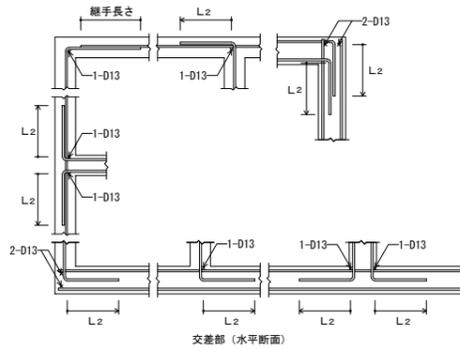


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.4 壁の開口部補強

(a) 耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋(A形)

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	1-D13	1-D13
W18, W20	2-D13	2-D13

表8.4 壁開口部補強筋(B形)

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12, W15	2-D13	1-D13
W18, W20	4-D13	2-D13

(b) 壁開口部補強筋の定着長さは図8.3による。

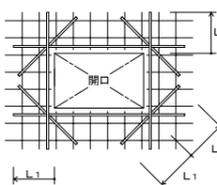


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

8.5 パラベット

(a) パラベットの配筋は図8.4による。  
(b) コンクリート厚さ、縦筋、横筋の径及び間隔は構造図による。

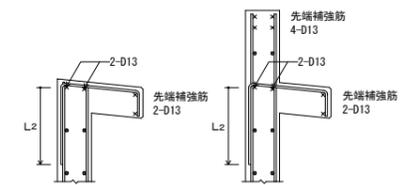


図8.4 パラベットの配筋

9 スラブの配筋

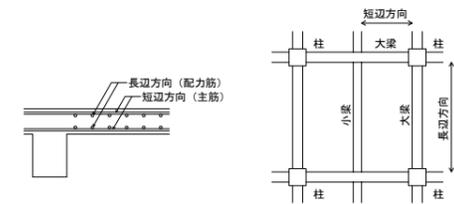
9.1 スラブの基準配筋

(a) スラブの基準配筋は表9.1により、種別の適用及びスラブ厚さは意匠図による。

表9.1 スラブの基準配筋(S形)

配筋種別	短辺方向(主筋) 全域		長辺方向(配力筋) 全域	
	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域
S1	D13-100#	D13-100#	S8	D10, D13-150#
S2	同上	D13-150#	S9	同上
S3	同上	D10, D13-150#	S10	D10, D13-200#
S4	D13-150#	D13-150#	S11	同上
S5	同上	D10, D13-150#	S12	同上
S6	同上	D10-150#	S13	D10-200#
S7	D10, D13-150#	D10, D13-150#	S14	同上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



(注) 1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。  
2. 鉄筋の重ね継手長さは40d(軽量コンクリートの場合は50d)と表3.1の重ね継手の長さのうち、大きい値とする。

図9.1 スラブの配筋

9.2 スラブ筋の定着及び受け筋

(a) スラブ筋の定着及び受け筋は図9.2により、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

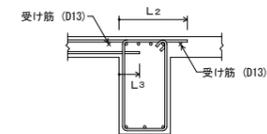
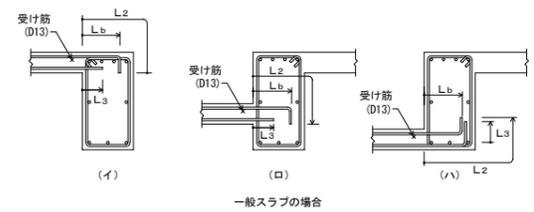
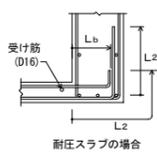


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)



一般スラブの場合



耐力スラブの場合

図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

図名

構造関係共通事項(その3)

縮尺

A1  
A3

図番

No.005

015

枚の内

9.3 片持スラブの基準配筋

(a) 片持スラブの基準配筋は表9.2により、種類の適用及びスラブ厚さは構造図による。

表9.2 片持スラブの基準配筋 (CS形)

配筋種別	主筋	配筋種別	主筋
CS1	上 D13-100φ	CS5	上 D10-200φ
	下 D13-200φ		下 D10-400φ
CS2	上 D13-150φ	CS6	上 D10, D13-200φ
	下 D13-300φ		下 —
CS3	上 D10, D13-150φ	CS7	上 D10-200φ
	下 D10, D13-300φ		下 —
CS4	上 D10, D13-200φ		
	下 D10-200φ		

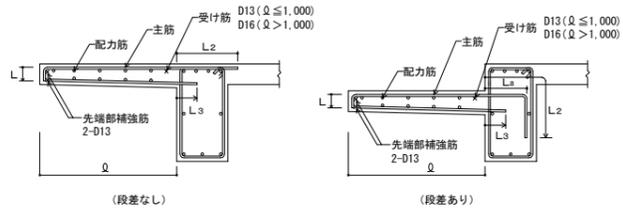


図9.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)

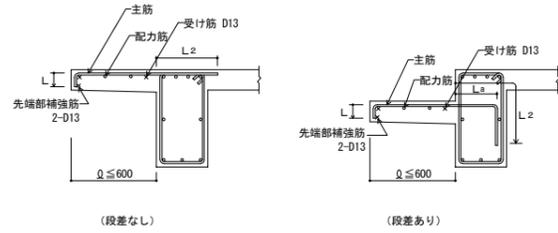


図9.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

(注) 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

9.4 片持ちスラブの先端に壁が付く場合の配筋

(a) 片持ちスラブの先端に壁が付く場合の配筋は図9.6による。

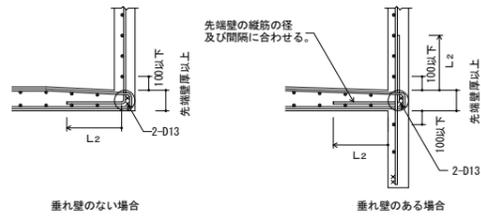
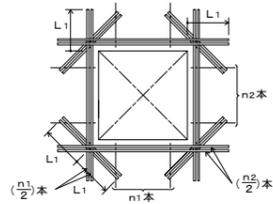


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

9.5 スラブの開口部の補強

(a) スラブ開口部の補強及び定着方法は構造図による。ただし構造図において軽微な開口として特記されたものの開口補強については下記による事ができる。軽微な開口の特記は構造図による。

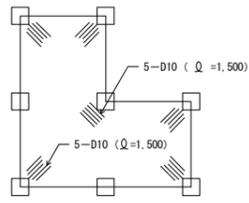


(注) 1. スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (Q=2L) シングルを上下筋の内側に配筋する。  
2. スラブ開口の最大径が同方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

図9.7 スラブ開口部の補強配筋

9.6 出隅部及び入隅部の補強

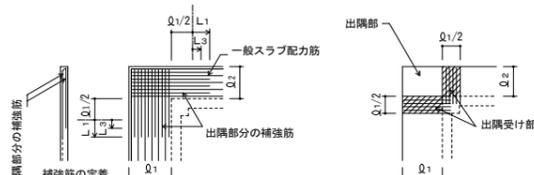
(a) 屋根スラブの出隅及び入隅部



(注) 補強筋を上端筋の下側に配置する。

図9.8 出隅及び入隅部の補強配筋

(b) 片持ちスラブの出隅部



(注)  $Q1 \geq Q2$  とする

(注) 1.  $Q1 \geq Q2$  とする  
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁(L1)に定着する。  
3. 出隅受け部分(斜線部分)の補強筋は構造図による。

図9.9 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.7 スラブの打継ぎ補強等

(a) 土間スラブの打継ぎ補強 (基礎梁とスラブを一体打ちとして打継ぎを設ける場合の補強) (土間スラブは土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。a>300の場合は構造図による。)

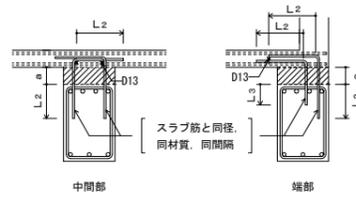


図9.10 打継ぎ補強配筋

(b) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋 (土間コンクリートの補強筋は構造図による。なお、基礎梁との接合部は図9.11による。a>300の場合は構造図による。)

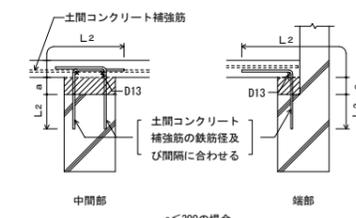


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10 階段の配筋

10.1 片持スラブ形階段の基準配筋

(a) 片持スラブ形階段の基準配筋は表10.1により、種類の適用及びスラブ厚さは構造図による

表10.1 片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図		
配筋種別	KA3	KA4
配筋図		

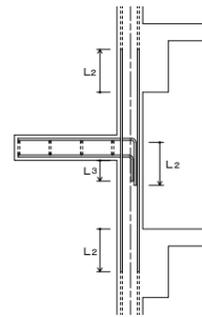


図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

(注) 1. 片持ちスラブ形階段を受ける壁配筋は、8.1(b)による。  
2. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。  
3. スラブ配筋の継手及び定着の長さは、表3.3のL3とする。

10.2 二辺固定スラブ形階段の基準配筋

(a) 二辺固定スラブ形階段の基準配筋は表10.2並びに図10.2、図10.3により、種類の適用、スラブ厚さは構造図による。

表10.2 二辺固定スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
KB1	D13-200φ
KB2	D13-150φ
KB3	D13-100φ
KB4	D13, D16-150φ
KB5	D16-150φ
KB6	D16-125φ
KB7	D16-100φ

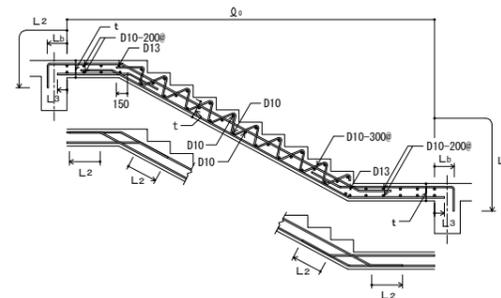
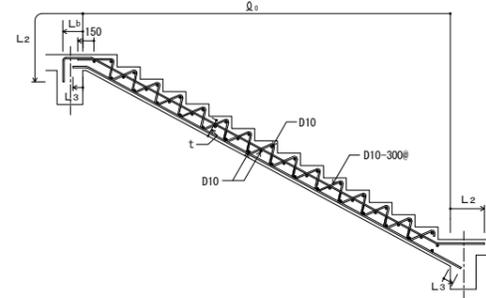


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)



(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

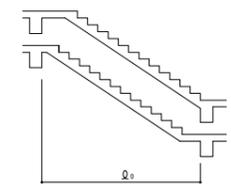


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

1.1 梁貫通孔その他の配筋

1.1.1 梁貫通孔の配筋

- (a) 梁貫通孔補強筋の名称等は図11.1による。
- (b) 孔の径は、梁せいりの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- (c) 孔の上下方向の位置は梁せいり中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より1/30の範囲には設けてはならない。
- (d) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せいり) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- (e) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (f) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (g) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
- (h) 孔の径が梁せいりの1/10以下、かつ、150mm未満のもの(軽微な開口)で鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋出来る場合において構造図に特記されたものは、補強を省略することができる。
- (i) 溶接金網の余長は1倍以上とし、突き出しは10mm以上とする。
- (j) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- (k) 溶接金網の附着点、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

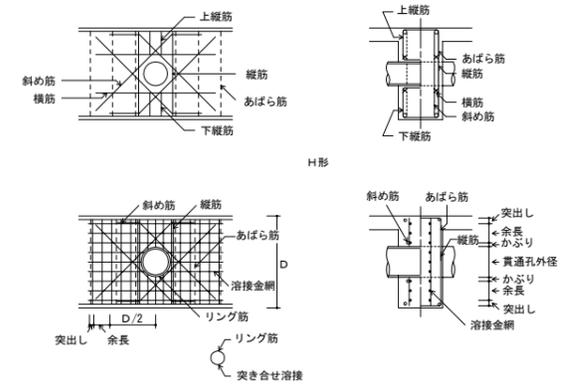


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

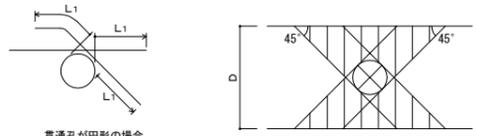


図11.2 補強筋の定着長さ

図11.3 他の開孔を設けない範囲

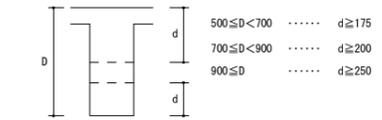


図11.4 孔の上下方向の位置の限度

1.1.2 梁貫通孔の補強形式

(a) 梁貫通孔の補強形式は表11.1~表11.3により、種類の適用、箇所数等は構造図による

表11.1 H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	2-2-D13	なし	なし	
	なし				
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2 M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100	
M4	6-2-D13		

(注) ---- は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3 MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100	
MH7	4-2-D19			

(注) ---- は、一般部分のあばら筋を示す。

11.3 コンクリートブロック帳壁との取合い

(a) 控壁の配筋は、図11.3とし、控壁の配置は意匠図による。

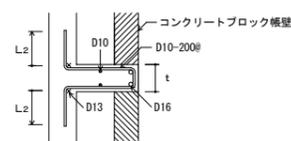


図11.3 控壁の配筋 (水平、垂直とも)

(b) 帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は図11.4により、帳壁の配筋の定着長等は意匠図による。

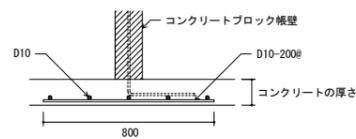


図11.4 壁付き土間コンクリートの補強配筋

# 構造関係共通図(鉄骨標準図)

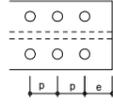
## 1 縁端距離及びボルト間隔等

### (1) 縁端距離及びボルト間隔

縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に3本以上並ばない場合の縁端距離は、特記による。特記がなければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。また、アンカーボルトの縁端距離は特記による。

表1.1 縁端距離及びボルト間隔 (単位: mm)

ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12	40	60
M16		
M20		
M22		
M24	45	70

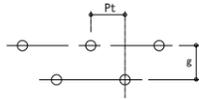


### (2) 千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔

千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

表1.2 千鳥のゲージ及びボルト間隔 (単位: mm)

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt		
	ねじの呼び		
	M12, M16, M20, M22	M24	
35	50	65	65
40	45	60	60
45	40	55	55
50	35	50	50
55	25	45	45
60	-	40	40



### (3) 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径

形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3 形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径 (単位: mm)

A又はB	g <sub>1</sub>	g <sub>2</sub>	最大軸径	B		最大軸径	B	g <sub>1</sub>	g <sub>2</sub>	最大軸径
				B	g <sub>1</sub>					
45	25	12	100	56	16	50	30	12		
50	28	16	125	75	16	65	35	20		
60	35	20	150	90	22	70	40	20		
65	35	20	175	105	22	75	40	22		
70	40	20	200	120	24	80	45	22		
75	40	22	250	150	24	90	50	24		
80	45	22	300	150	24	100	55	24		
90	50	24	350	140	24	90	50	24		
100	55	24	400	140	24					
125	50	35	24							
130	50	40	24	※1 千鳥打ちとした場合						
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

### (4) ボルト記号

表1.4 高力ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト (F10T, S10T)		●	◆	◆	◆	◆
溶融亜鉛めっき高力ボルト (F8T相当)				+	+	+

表1.5 普通ボルト径の記号

区分	径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト		○	○	○	○	○

## 2 溶接記号

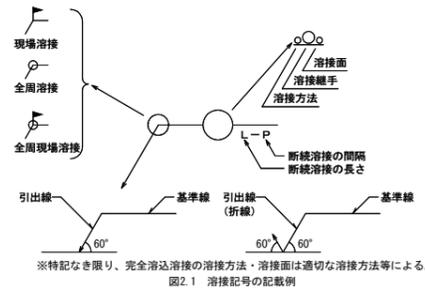
設計図中で使用する記号は、表2.1、表2.2、図2.1を標準とする。

表2.1 溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類記号

溶接方法	類		記号
	分	類	
溶接方法	アーク手溶接、ガスシールドアーク半自動溶接、セルフシールドアーク半自動溶接	H	H
	サブマージアーク自動溶接	A	
	エレクトロスラグ溶接	E	
溶接継手	完全溶込み溶接	突合せ継手	B
		T型継手	T
		かど継手	L
	隅肉溶接	F	F
	部分溶込み溶接	P	P
溶接面	片面溶接	FL	1
	両面溶接		2

表2.2 溶接の補助記号

区分	補助記号
現場溶接	▲
全周溶接	○
全周現場溶接	○
断続溶接の長さ及び間隔	L-P



※特記なき限り、完全溶込み溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。  
図2.1 溶接記号の記載例

## 3 溶接継手の種類別開先標準

突合せ継手の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

T型継手の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 22	
19 < t ≤ 40		22 < t ≤ 40	

部材が直交しない場合の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
6 < t ≤ 40	6 < t ≤ 19
19 < t ≤ 40	19 < t ≤ 40

かど継手の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		A (サブマージアーク自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 12	
6 < t ≤ 19		12 < t ≤ 19	
19 < t ≤ 40		19 < t ≤ 40	

隅肉溶接の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 16	t ≤ 16
16 < t ≤ 40	16 < t ≤ 40

隅肉溶接のサイズ

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
S	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接の開先標準

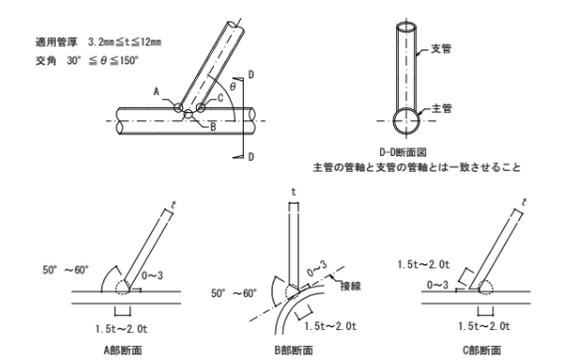
H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
12 ≤ t ≤ 40	16 ≤ t ≤ 40

フレア溶接の開先標準

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)			
1 (丸鋼等片面溶接)	2 (丸鋼等両面溶接)	3 (軽量形鋼V形溶接)	4 (軽量形鋼L形溶接)
d/2, d/2	d/2, d/2	t ≥ 3のとき S=t	t ≥ 3のとき S=t
		t < 3のとき S=3	t < 3のとき S=3

## 4 鋼管分岐継手

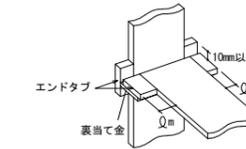
自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。



## 5 鉄骨溶接施工

### (1) エンドタブ等

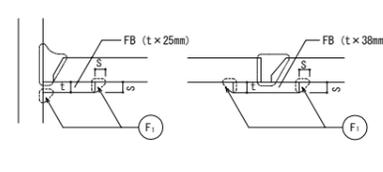
① エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。



エンドタブの長さ (単位: mm)	
溶接方法	Qm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

### (2) 裏当て金の溶接

① 裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置に行ってはならない。  
② 完全溶込み位置溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内部に設置する。  
裏当て金の鋼種、引張り強さによる区分は、母材と同等とする。



裏当て金の厚さ (単位: mm)	
溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ (単位: mm)	
裏当て金の厚さ	S
t ≤ 9	5
t > 9	9

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

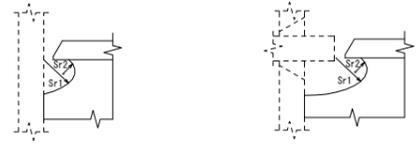
決裁欄

課長	担当課長	副課長	担当

（仮称）京丹波町地域熱供給施設新築工事  
縮尺 A1 A3  
図名 構造関係共通事項（その6）

図番 No.008 / 015 枚の内

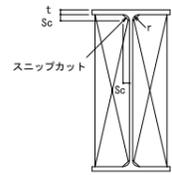
- (3) スカラップ  
改良型スカラップ  
①スカラップ半径Sr1は35mmとする。Sr2は10mmとする。  
②スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



- 従来型スカラップ  
①スカラップ半径Srは35mmとする。



- (4) スニップカット  
①スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

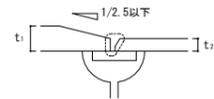


スニップカットの寸法 (単位: mm)

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

※ただし、既製鋼のスニップカットについては、 $Sc=t+2$ により求めるものとする。

- (5) 溶接部分の段差  
①完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段差が10mmを超える場合

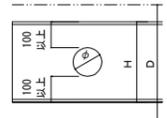


- (7) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス開温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
	JIS Z 3214		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
	YGM-18, 19		
	JIS Z 3214		
	YGA-50W, 50P		
520N級鋼	YGM-18, 19	30以下	250以下
	YGM-11, 15		
400N級STKR, BCR及びBCP	YGM-18, 19	40以下	350以下
	YGM-11, 15		
490N級STKR, 及びBCP	YGM-18, 19	30以下	250以下
	YGM-11, 15		

## 6 梁貫通孔補強

- 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部に貫通孔を設ける場合で貫通孔部分を補強する場合に適用する。
- 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せい1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
- 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。
- 梁貫通孔位置の限度は以下による。

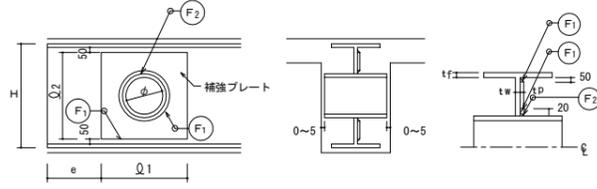


H: 鉄骨せい  
D: はりせい  
φ: 貫通孔内径寸法 (φ ≤ H/2かつφ ≤ D/3)

※ 梁端に貫通孔を設ける場合は、原則として、梁端から貫通孔の中心まで1.2D以上離し、梁継手位置等にも留意する。

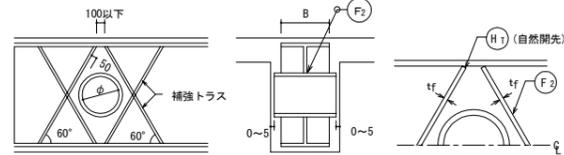
梁貫通孔位置の限度 (単位: mm)

## 補強プレート法



φ1は3φまたはφ2のうち小さい方とする。(e ≥ Hとする)  
e: 材端と補強プレートとの間隔

## 補強トラス法



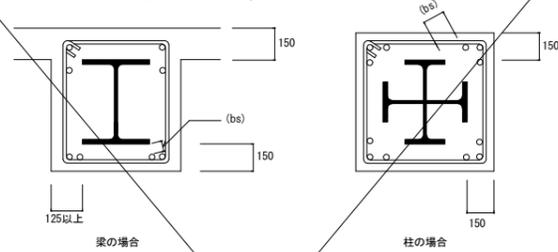
## 7 広幅平鋼の取り扱い

- 鋼材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートは、PL表記であってもFB又はPLとする。
- 鋼材のフランジ及びフランジに使用する外側スライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

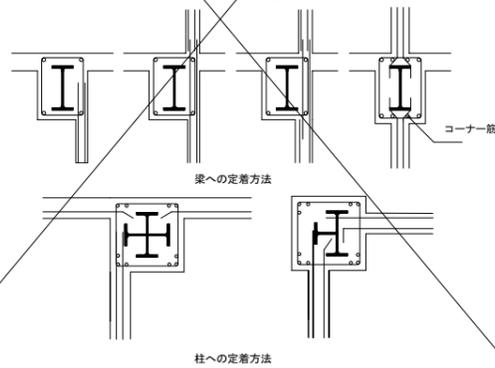
幅	厚さ										
	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300											
350											
400											
450											
500											

## 8 鉄骨と鉄筋コンクリート部分の取合い

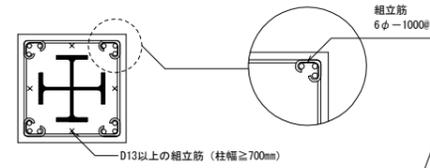
- 鉄骨のかぶり厚さ  
鉄筋と鉄骨相互のあき (bs) は、粗骨材の最大寸法の1.25倍以上とする。



- 壁筋の周辺部材への定着  
鉄筋を折り曲げる場合は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上直線に定着後、緩やかに折り曲げる。

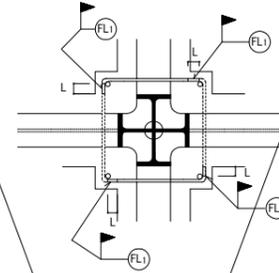


- (3) 柱組立筋



- (4) 仕口部内の帯筋の加工及び組立

方面溶接の有効長さ (L) は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフックとする。



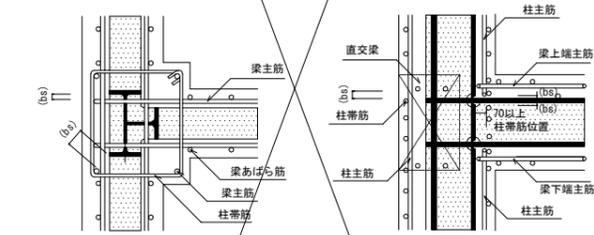
- (5) 鉄筋貫通孔の径及び位置

- 主筋の鉄筋貫通孔は、最大孔径に統一する。
- 鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

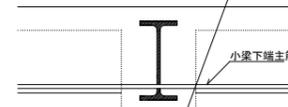
(単位: mm)

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

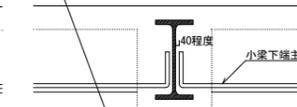
鉄筋貫通孔位置 (単位: mm)



小梁下端主筋が貫通する場合



小梁下端主筋が貫通しない場合 (単位: mm)



京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名  
図名

(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事

構造関係共通事項 (その7)

縮尺

A1

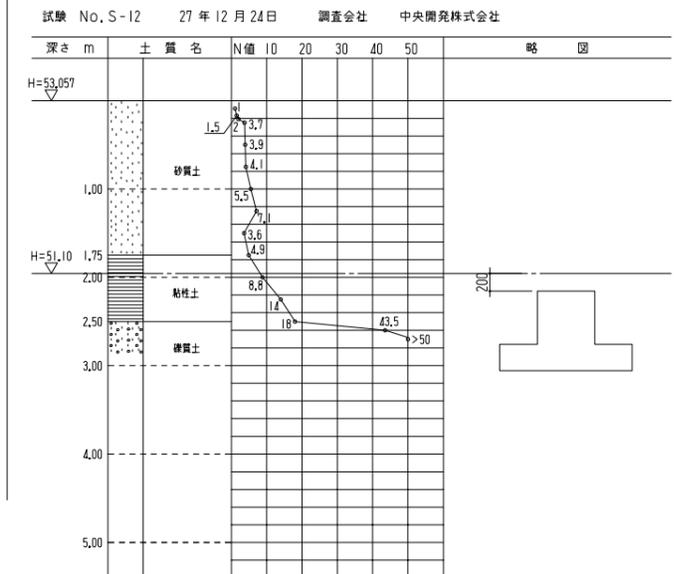
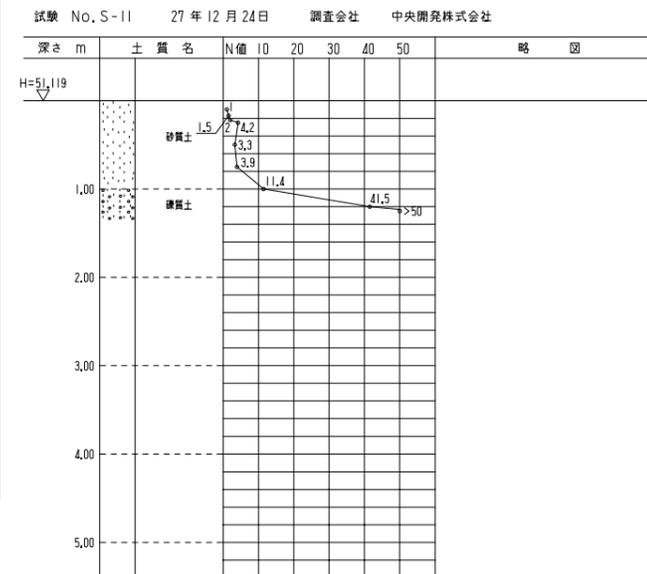
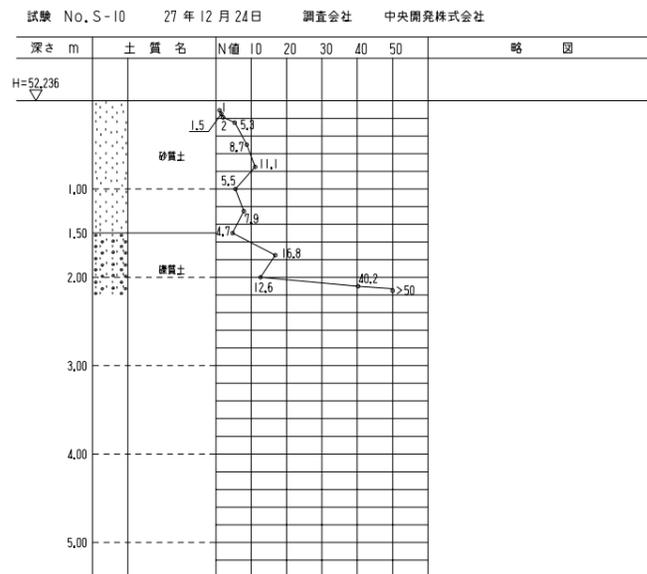
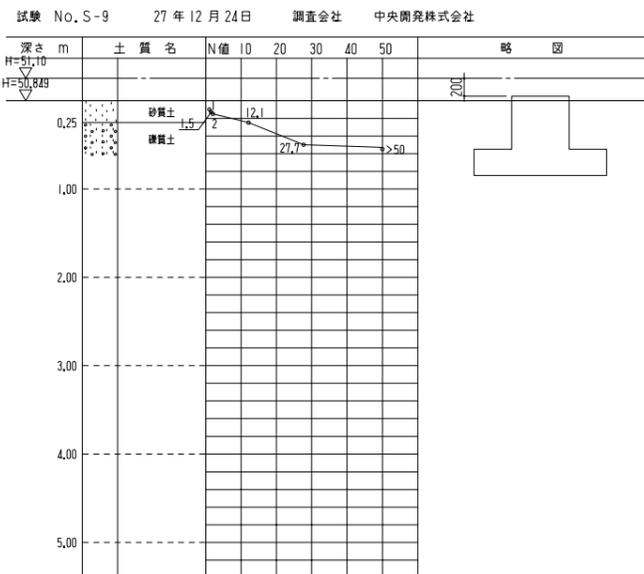
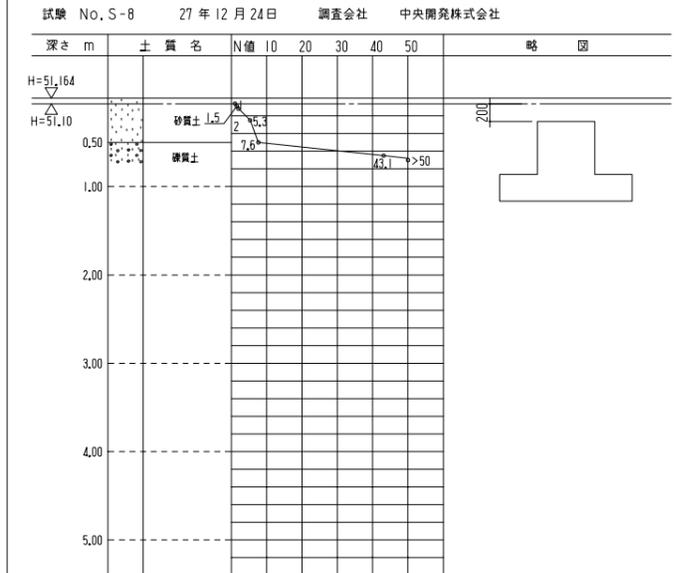
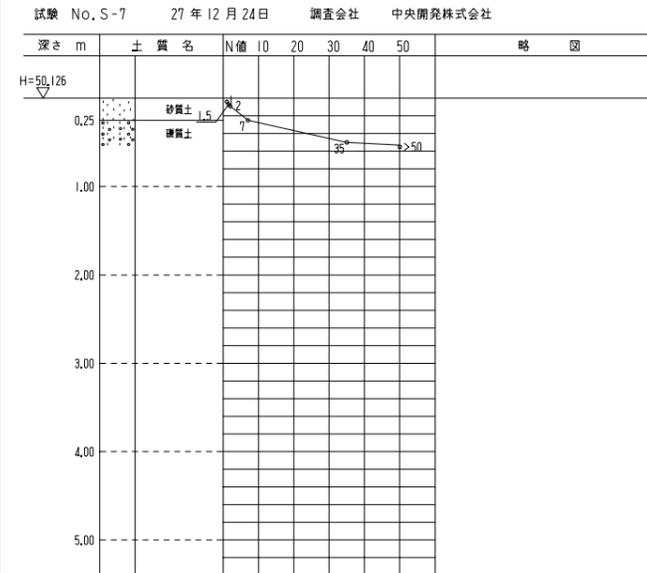
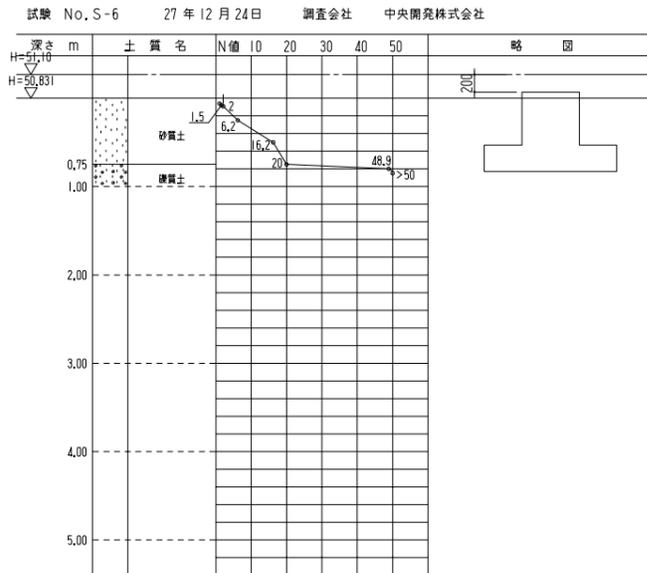
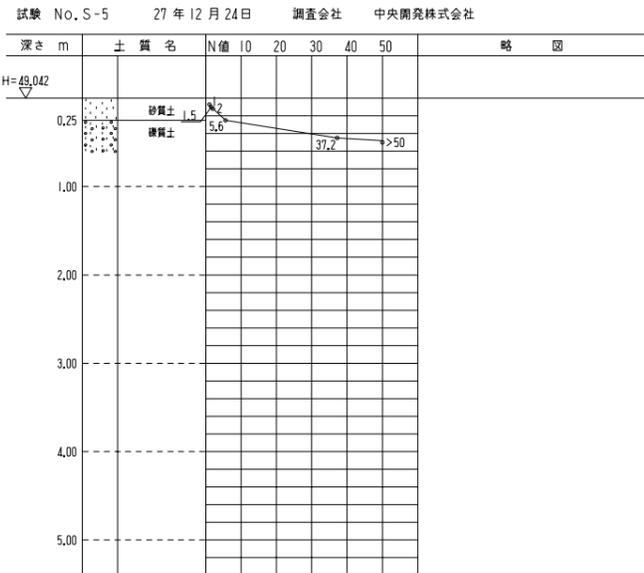
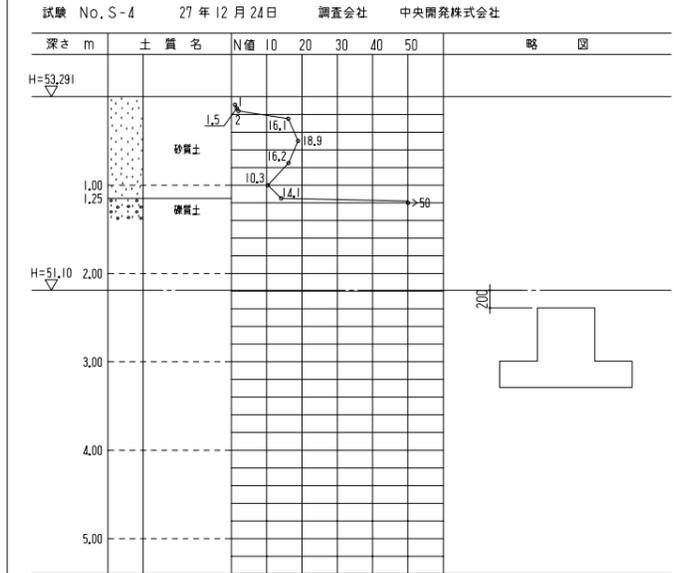
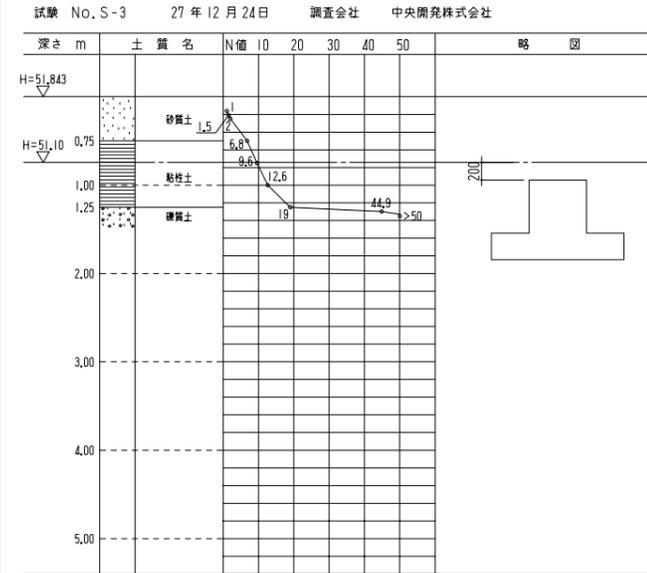
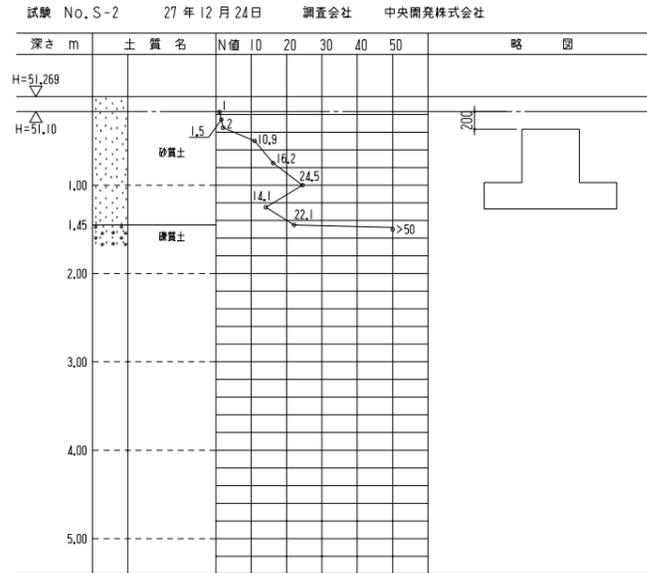
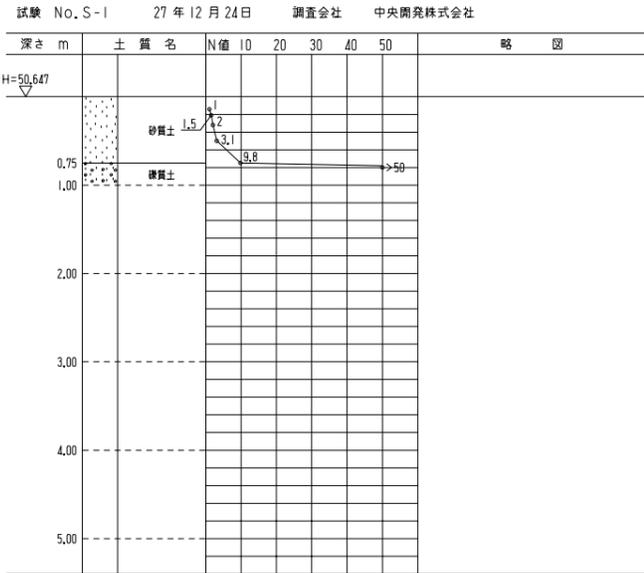
A3

図番

No.009

015

枚の内

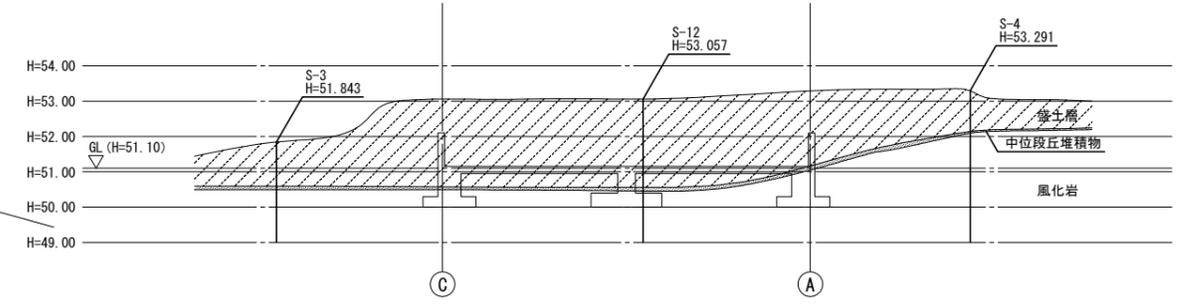
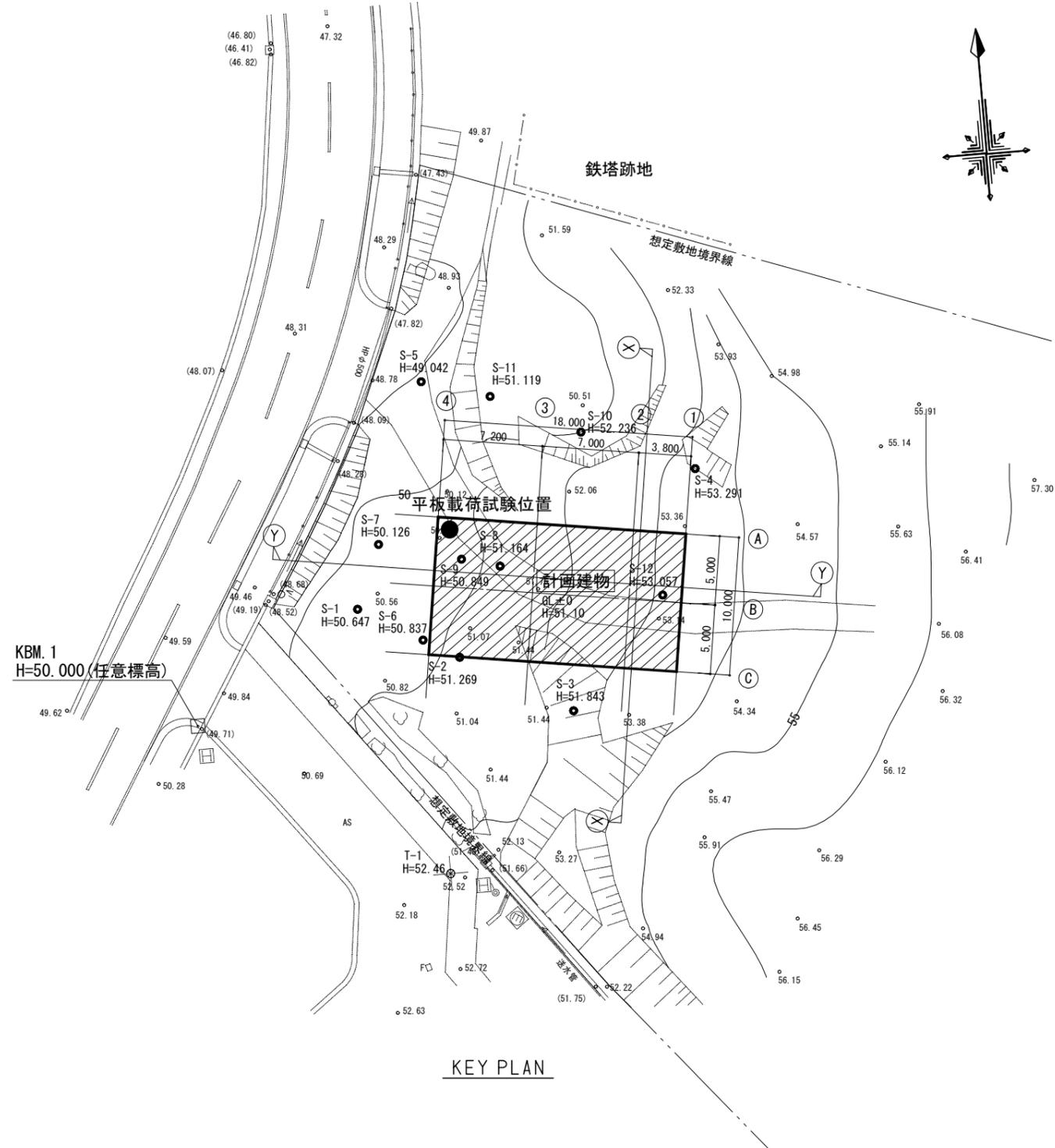


京丹波町 企画政策課  
 設計番号 設計年度 平成 年 月

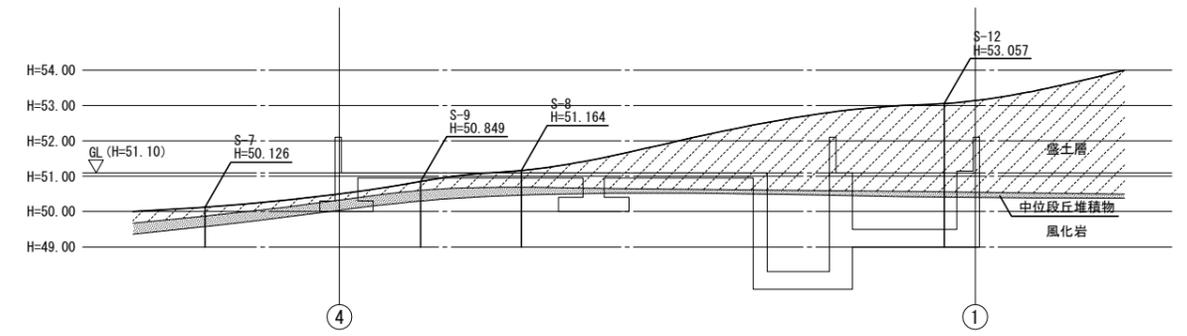
課長 担当課長 副課長 担当  
 決裁欄

工事名 (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事  
 図名 柱状図

縮尺 A1 1:50 A3 1:100  
 図番 No.010 015 枚の内



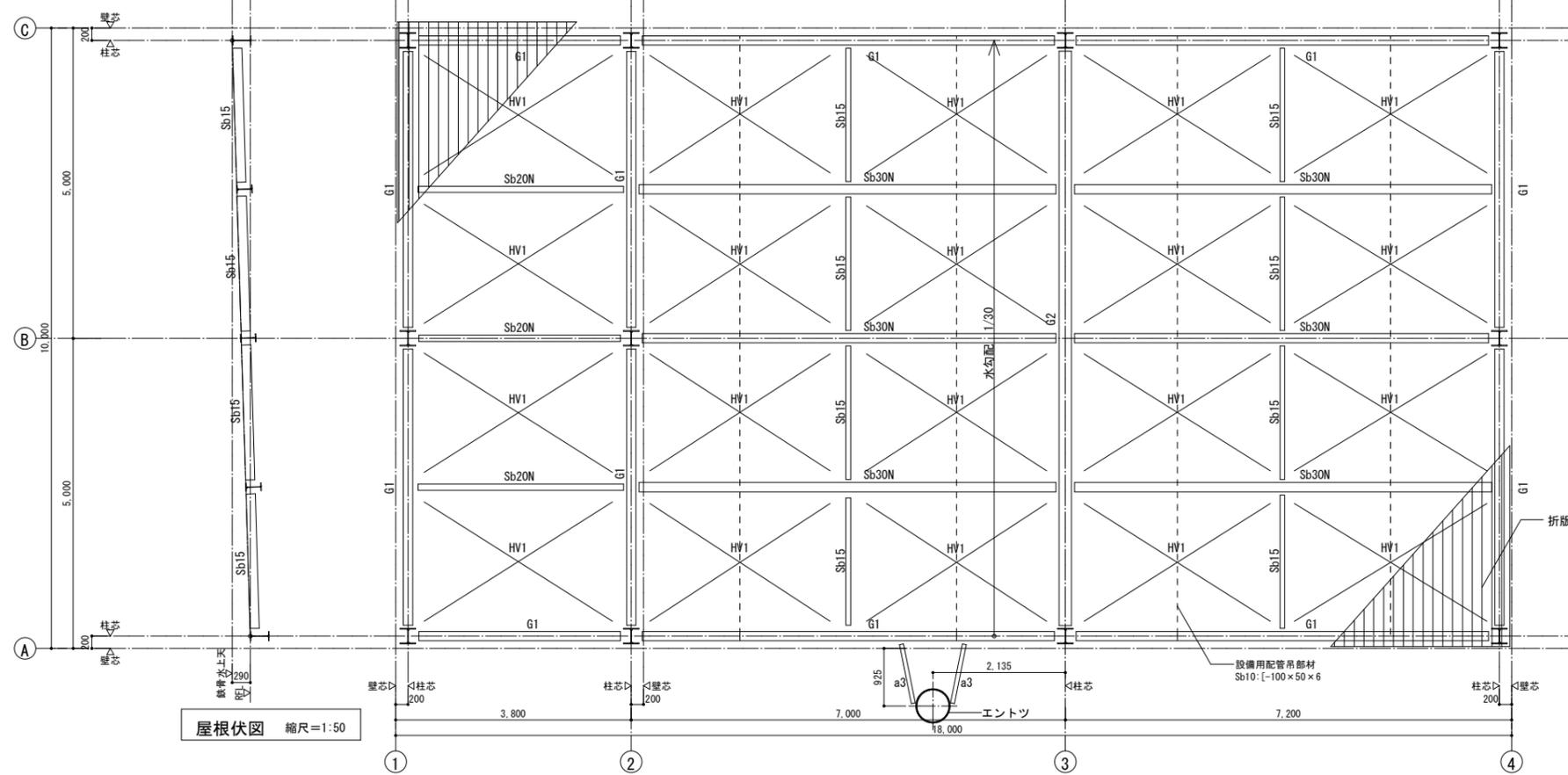
(X)-(X) 断面図



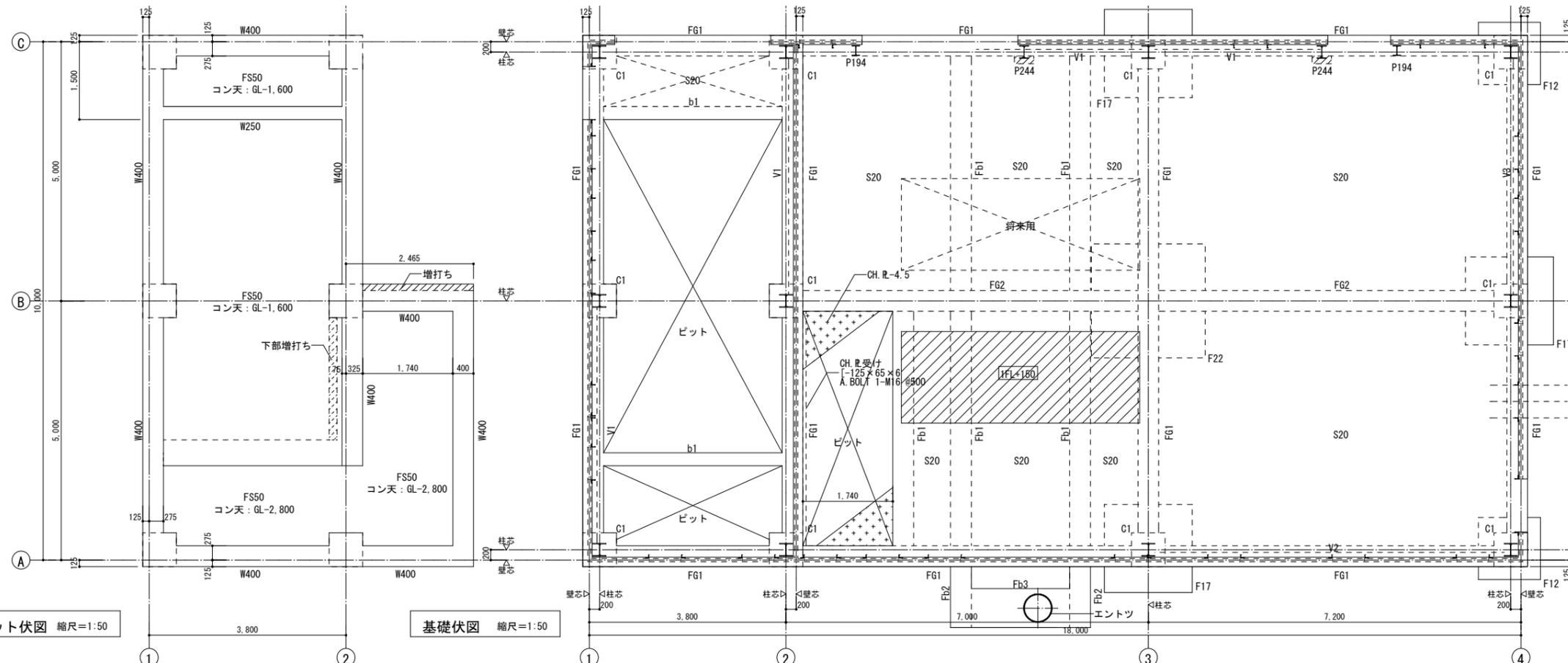
(Y)-(Y) 断面図

※平板載荷試験の実施は、発注者と協議の上、行うこと。

京丹波町 企画政策課				決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工事名 （仮称）京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番 No.011 015 枚の内
設計番号	設計年度	平成 年 月								A1 1:100 A3 1:200	
地盤調査位置図・想定断面図											



屋根伏図 縮尺=1:50

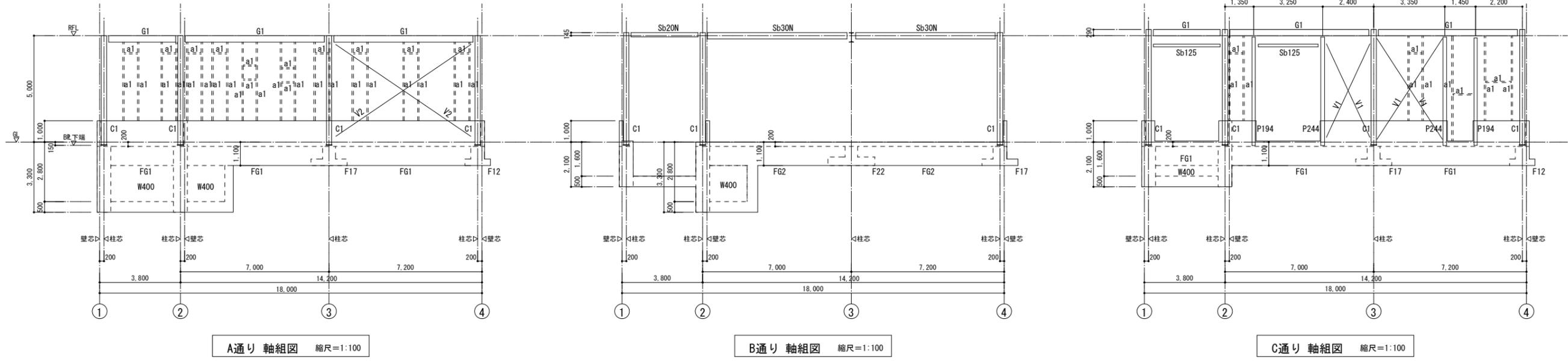
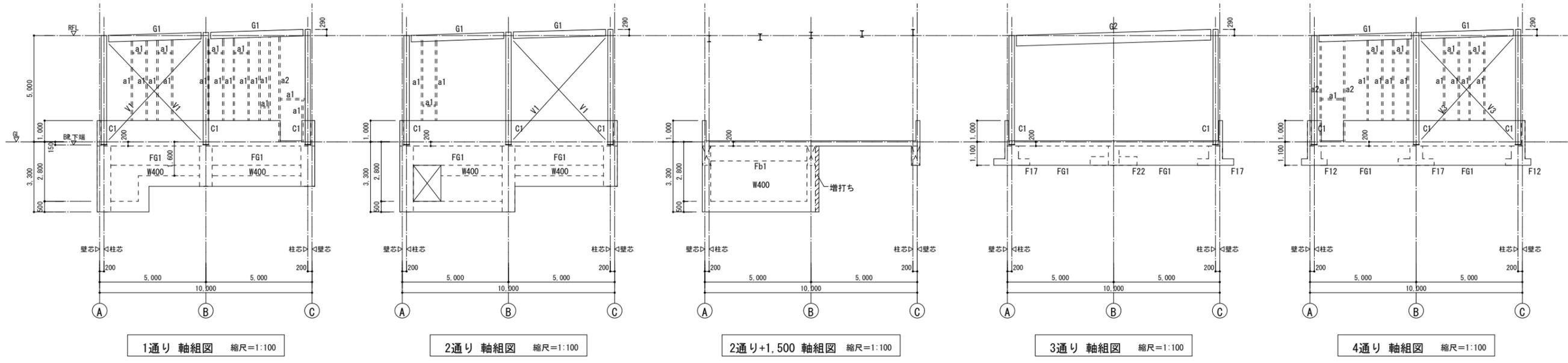


基礎伏図 縮尺=1:50

ピット伏図 縮尺=1:50

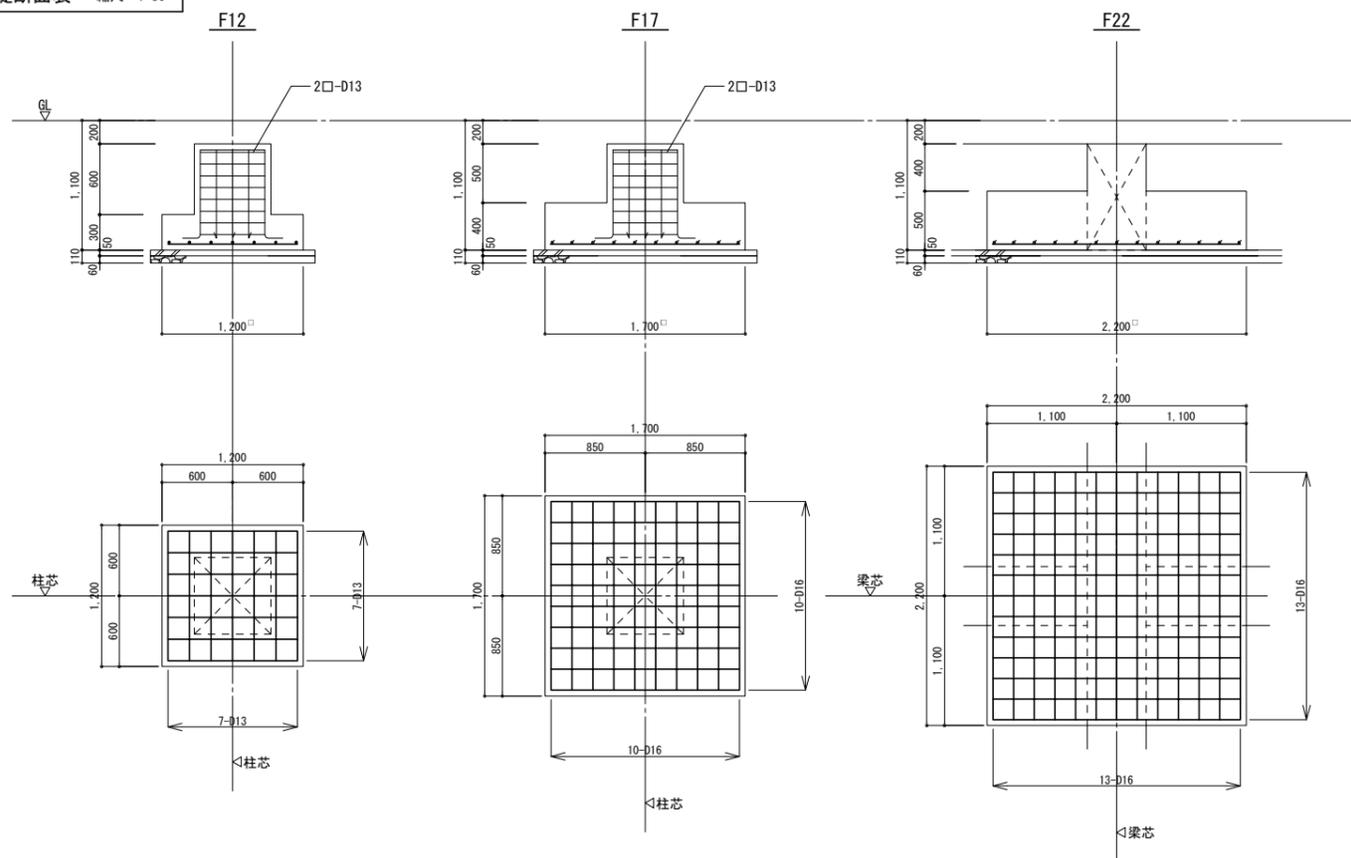
特記なき限り下記とする  
 1. コン天 = GL+50=1FL  
 2. 基礎梁天 = GL-200

京丹波町 企画政策課				決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成	年		月						A1 1:50
伏図										A3 1:100	015 枚の内



京丹波町 企画政策課				決裁欄	課長	担当課長	副課長	担当	工務課 図名 軸組図	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事		縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成 年 月								A1 1:100	No.013	015 枚の内	

基礎断面表 縮尺=1:30



鉄骨断面表

特記なき限り下記とする  
1. 使用鋼材：SS400 ボルトF10T又はS10Tとする。

符号	断面	WEB		備考
		G. R-	H. T. B	
C1	H-250×250×9×14	—	—	B. R-22×290×290 A. BOLT 4-M24(SNR490B) (二重ナット締め) Rib. R-12×300
P194	H-194×150×6×9	R-6	2-M16	B. R-12×230×180 A. BOLT 2-M16 (二重ナット締め)
P244	H-244×175×7×11	R-9	3-M20	B. R-22×290×220 A. BOLT 4-M24(SNR490B) (二重ナット締め) Rib. R-12×300
G1	H-300×150×6.5×9	R-9	3-M20	
G2	H-500×200×10×16	R-12	6-M20	
Sb10	[-100×50×5	R-6	2-M16	
Sb15	[-150×75×6.5	R-9	2-M16	
Sb125	H-125×125×6.5×9	R-9	2-M16	
Sb20N	H-200×100×5.5×8	R-6	2-M16	
Sb30N	H-300×150×6.5×9	R-9	3-M20	
V1	L-75×75×6	R-9	5-M16	
V2	L-90×90×7	R-9	5-M20	
V3	2L-65×65×6	R-9	5-M16	つづり材 R-9 1-M16 @600
HV1	1-M16	R-6	1-M16	ターンバックル付き
a1・a3	L-65×65×6	R-6	中ボルト 2-M12	開口補強、振れ止め
a2	L-90×90×7	R-9	中ボルト 2-M12	開口補強

礎柱断面表 縮尺=1:30



符号	C1				
断面					
B x D	650 x 650				
主筋	16-D22				
フープ	□-D13 @100				
備考					

梁断面表 縮尺=1:30

特記なき限り下記とする  
1. 幅止め筋はD10@1000とする。  
2. FG1, FG2下端筋かぶり厚は100以上とする。

符号	FG1	FG2	Fb1	Fb2	Fb3	b1
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面						
B x D	400 x 900	400 x 900	400 x 700	400 x 700	750 x 700	250 x 800
上端筋	3-D25	5-D25	5-D22	3-D22	5-D22	2-D19
下端筋	3-D25	5-D25	5-D22	3-D22	5-D22	4-D19
スラップ	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @150	□-D13 @200
腹筋	4-D13	4-D13	2-D13	2-D13	2-D13	4-D13
備考						

スラブ断面表

符号	t	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			中間部	周辺部	中間部	周辺部	
S20	200	上端筋 下端筋	D13 @200 D13 @200	← ←	D13 @200 D13 @200	← ←	
FS50	500	上端筋 下端筋	D19 @100 D16 @100	← ←	D19 @100 D16 @100	← ←	

壁断面表 縮尺=1:30

符号	W400	W250	腰壁		
断面					
壁厚 t	400	250	180		
縦筋	D16 @100	D13 @200	D13 @200		
横筋	D16 @200	D13 @200	D10 @200		
幅止め筋	D10 @1,000	D10 @1,000	D10 @1,000		
その他					

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名  
図名

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

部材断面表

縮尺

A1 1:30

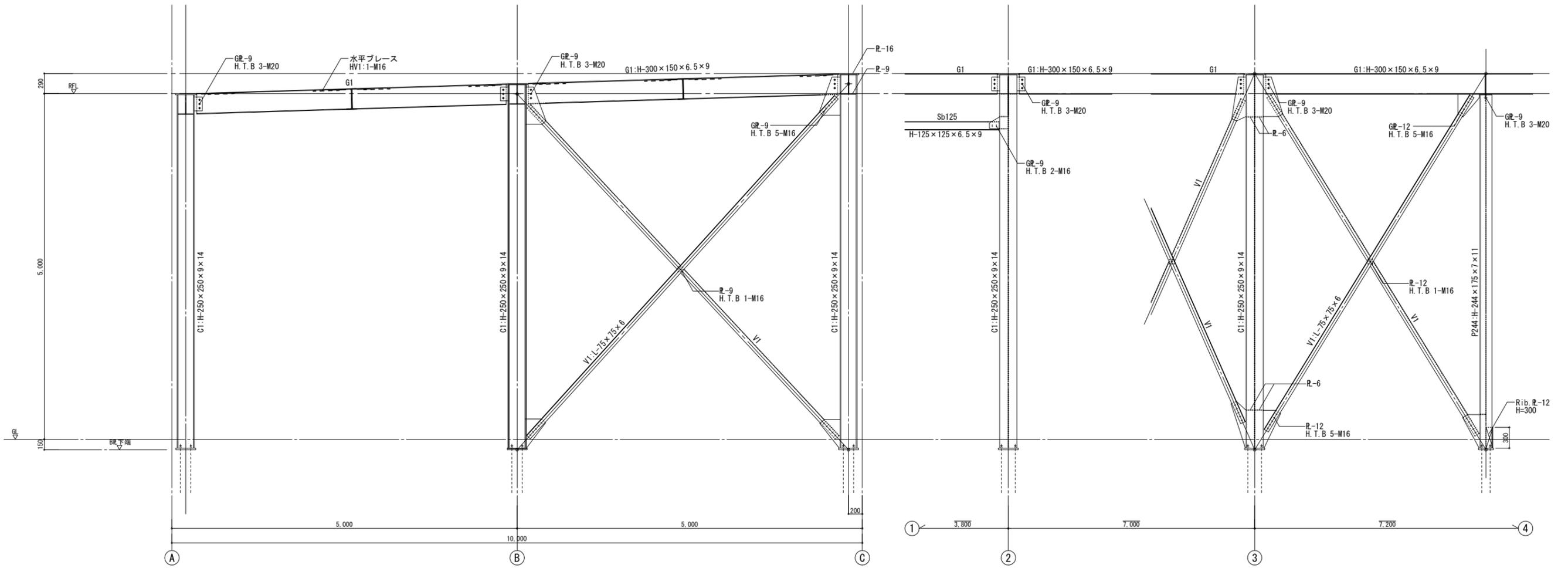
A3 1:60

図番

No.014

015  
枚の内

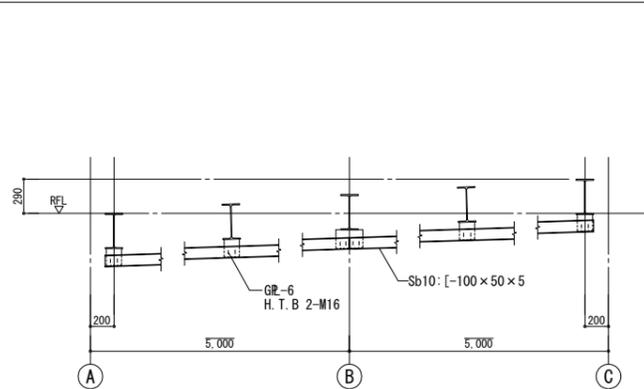
鉄骨架構詳細図



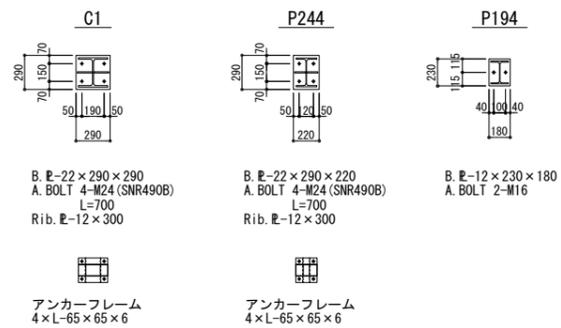
② 通り鉄骨架構詳細図

③ 通り鉄骨架構詳細図

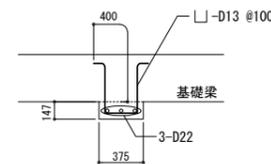
設備配管吊用下地 Sb10



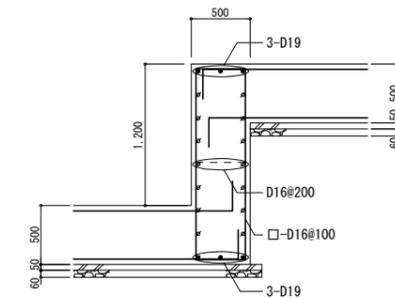
柱脚詳細図



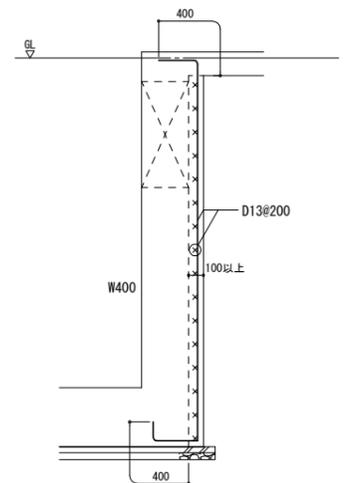
P244 礎柱



FS50 段差部配筋要領



ピット部 壁増打ち補強



京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名  
図名

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

詳細図

縮尺

A1 1:30

A3 1:60

図番

No.015

015

枚の内

電気設備工事特記仕様書 No.1

【工事概要】
1 工事場所 京都府 船井郡 京丹波町 市場・大倉 地内
2 建物概要
建物名 構造 階数 延床面積(m²) 消防法令別表第一 備考
ボイフ室 ALC 1 150.00 15項

3 工事項目 ●印をついたものを適用し、各一式とする。
工事科目 建物名称 ボイフ室 屋外
電灯設備 ● ○ ○ ○
動力設備 ○ ○ ○ ○
雷保護設備 ○ ○ ○ ○
受変電設備 ○ ○ ○ ○
電力貯蔵設備 ○ ○ ○ ○
発電設備 ○ ○ ○ ○
構内情報通信網設備 ○ ○ ○ ○
構内交換設備 ○ ○ ○ ○
情報表示設備 ○ ○ ○ ○
映像・音響設備 ○ ○ ○ ○
拡声設備 ○ ○ ○ ○
誘導支援設備 ○ ○ ○ ○
テレビ共同受信設備 ○ ○ ○ ○
監視カメラ設備 ○ ○ ○ ○
駐車場管制設備 ○ ○ ○ ○
防犯・入室管理設備 ○ ○ ○ ○
自動火災報知設備 ○ ○ ○ ○
中央監視制御設備 ○ ○ ○ ○
医療関係設備 ○ ○ ○ ○
構内配電線路(外灯設備) ○ ○ ● ○
構内通信線路 ○ ○ ○ ○
電波障害調査 ○ ○ ○ ○
撤去工事 ○ ○ ○ ○

【特記事項】
1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官務部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成二十五年版」(以下、「標準仕様書」という。)...

表形式の特記事項。項目: 設備材料等, 機材の品質・性能証明, グリーン調達適合品の確認, 現場代理人, 電気工士, 工事用電力・水その他, 官公署への手続き, 工事用仮設物, 足場・さん橋類, 監督職員事務所, 建設副産物の処理及び建設発生土の処理, 建設発生土処分, 再生資源利用促進, アスベスト処理計画書, アスベスト成形板の処理等, 確認範囲, 処理方法

表形式の特記事項。項目: 工事関係書類, 履行報告, 工事写真, 完成図書, 著作権等, 付属品及び予備品, 耐震施工, 風圧力に対する性能, 風圧力(耐風力), 電線類, 電線管, 電線本数・管路等, ボックス, フラッシュプレート, フロアプレート・ベース, 機器, 機器内配線等, ほか

表形式の特記事項。項目: 再使用機器, その他, 工事範囲, 電気方式, 照明制御による効果の評価, 照明制御装置(グ), 多重伝送制御システム, 蛍光灯安定器及びLED制御装置の種類, RFP又はMP形照明器具, 非常用照明の形式, フロアコンセント, 分電盤等, 照明用ポール, 一般照明の照度測定, 工事範囲, 電気方式, 制御盤, 監視方法, インターロック, インバータ装置の規約効率, 雷保護設備, 接地システム, 工事範囲, 電気方式, 配電盤形式, 変圧器の規格, 監視方式, 基礎, 付属品等, その他

電気設備工事特記仕様書 No.2

章	項目	特記事項	
電力 配線 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○直流電源装置	用途 ○建築基準法用 ○消防法用 ○受変電設備専用 その他 ○過放電防止保護装置(直流不定電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。	
	○交流無停電電源装置(UPS)	用途 ○簡易形 ○簡易形 方式 ○配管 ○配線 ○機器取付	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○形式	○オープン形 ○簡易形 ○キュービクル	
	○連続運転可能時間	○10時間(乙) ○72時間(甲) ○	
	○発電機	電気方式 三相3線式 電圧 ○210V ○6.6kV ○415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8	
	○原動機	種別 ○ガスタービン ○ディーゼル機関 ○ガスエンジン ○マイクロガスタービン ○燃料電池 ○コージェネレーション kW(PS)以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式 ○ラジエーター式 ○水循環環式	
	○燃料	種類 ○重油 ○軽油 ○灯油 ○ガス( ) ○燃料小出槽 ○主燃料槽 ?	
	○監視方式	※警報による代表監視 ○中央監視盤による監視	
備	○太陽光発電装置(グ)	太陽電池 アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m <sup>2</sup> 以下(長辺 m x 短辺 m) 系統連系 ○受動 ○能動 パワーコンディショナ出力 相 線式 V kW以上 逆潮流 ○有 ※無 交流出力電圧 ○100V ○200V 出力電気方式 ○三相3線式 ○単相3線式 ○単相2線式	
	○風力発電装置(定格出力20kW未満に適用)	系統連系 ○有 ○無 運転音 ※80dB(A)以下 ○ 移転用の遠方監視用接点 ○要 ○不要	
	○外部移報	※有 ○無	
	構造 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
		○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線
	構 内 交 換 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
		○保安器用接地	※本工事 ○別途工事
		○形式	○電子交換機 ○ボックステル装置
		○電話機への配線	電話機1台につき以下を見込む。 OEM-TIEF 0.65-20 20m(片側6極2心E7:30-0-E付) OEM-UTP 0.5-4P 20m(片側8極8心E7:30-0-E付) OEM-BTIEE 0.4-2P 20m(片側6極4心E7:30-0-E付) 02号ファイバプロテクタ 1.5m
	情 報 表 示 設 備	○工事種類	○マルチサイン装置 ○出退表示設備 ○時刻表示設備
○工事範囲		○配管 ○配線 ○機器取付	
○監視計及び付属装置		○CR-PM ○GW-PM ○プログラムタイマ(カード式) ○キ-式 ○	
映 像 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線	
広 声 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○増幅器	用途 ○全館放送用(※一般放送 ○非常放送) 形式 ○卓上形 ○フック組込形 定格出力 HI形 W以上 出力制御装置 ※有 回路 ○無 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 ○自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。	
	○マイクロホン	○卓上形 台 ○ハンド形 台 ○	
	○スピーカ	特記なきものは ※SC HI-1V 9-M ○	
誘 導 支 援 設 備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○工事内容	○音声誘導装置 検出方式 (○磁気式 ○無線式 ○画像認識) ○インターホン ○電話式 ○相互式 ○テレビモニターホン ○カラー ○白黒 ○外部受付用インターホン ○カラー ○白黒 ○トイレ等呼出し装置 空 呼出しボタン ○壁付ボタン (ツルスイッチの長さは、0.2m以上とする) ○壁付押しボタン(押しボタンの長さは、1.2m以上とする)	
	○受付呼出し装置	○誘導音	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
テ レ ビ 機 等 同 様 設 備	○アンテナ	○VHF用 ○UHF用 ○BS用 ○CS用 ○木枠用 ○FM用 ○CATV	
	○アンテナマスト	○壁面取付形 ○自立形 鋼管のアンテナマスト及びその支持材等は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。	
○電界強度測定	電界強度及び電圧は、最上階が打上ったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。		

章	項目	特記事項	
監視 カメラ 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○画像	○カラー ○白黒	
監視 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○車両検出方式	○ループコイル方式 ○光線方式	
防犯・ 入退室 管理 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
	○工事種類	○機械警備用配管 ○防犯装置 ○入退室管理制御装置	
自 動 火 災 報 知 設 備	○自動火災報知装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○電気方式 DC24V ただし、位置表示灯及び消火ポンプ運転表示は AC24V ○受信機 ○形 級 回路 ○壁掛形 ○自立形 ○単独形 ○複合形 ○副受信機 窓 ○盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。 ○消火ポンプ始動 ※消火栓内押ボタン ○受信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。) ○機器収容箱 消火栓一体形 単独形	
	○自動閉鎖装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○連動制御器 回路 【予備電源(蓄電池)内蔵】 ○単独 ○自火報受信機と一体 ○ダンパ等(全数)復調用の予備電源容量を持つこと。 ○自動閉鎖装置 防火戸用(DC24V 0.6A以下電磁式またはタッチ式) ○防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時電圧式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復調機構(電動式) DC24V 0.7A以下】 ○防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.8A以下】	
	○非常警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○電気方式 DC24V ○電源装置 ※非常電源(蓄電池) ○自動火災報知設備と兼用	
	○ガス漏れ火災警報装置	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付 ○受信機 ○形 級 回路(○壁掛形 ○自立形) (○単独形 ○自火報受信機と一体) (ガスの種類 ※都市ガス(13A) ○液化石油ガス)	
	○諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。	
	別 中央 監視 設備	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
		○監視方式	○警報盤 ○監視制御装置
	医 療 関 係 設 備	○警電池容量	※標準仕様書による ○30分間以上
		○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付
	構 内 配 線	○非接地電源用分電盤	キャビネット ※鋼製 ○ステンレス製
○ナースコール装置		トイレ及び浴室等の呼出押ボタン ○防滴 ○防湿	
○その他		オプション等の試験は、監督職員の指示による。	
●工事範囲 ●電気方式		●配管 ●配線 ●機器取付 高圧 ○三相3線式 6kV 低圧 ○三相3線式 200V ○ ○単相3線式 100/200V ●単2線式 (●100V ○200V)	
●小設方式	●地中線 ●管路式 ※波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面) -300mm以下とする。		
電 線 配 線	○区分開閉器	○架空線 電柱 ※遠心力プラスチックコンクリートポール ○高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○架空引込用 ○地中引込用 構造 ○耐中風じん用 ○耐重風じん用 形式 ○引外し装置付き(SOG形) ○引外し装置なし ○避雷器内蔵 ○制御電源用変圧器内蔵	
	○マンホール及びハンドホール	構造・寸法 ※標準図による ○図示による。 蓋の文字 ※蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	
	○余長	高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホール、又はキュービクル内等の1ヶ所で3m余長をとる。	
	○端子、高圧ケーブル 露出処理	○一般用 ○耐塩用 ○重耐塩用	
構 内 通 信 線 路	○避雷器	○壁外形 ○耐塩形 ○一般用 ○耐塩形	
	●外灯	基礎 ※本工事 ○別途工事 ○外灯ポールの材質が鋼製(SPC)の場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
	●構築シート	2倍長とする。	
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付	
構 内 通 信 線 路	○小設方式	○地中線 ●管路式 ※波付硬質合成樹脂管(FEP) ○ポリエチレン被覆管(PLP) ○埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面) -300mm以下とする。	
	○マンホール及びハンドホール	○架空線 電柱 ※遠心力プラスチックコンクリートポール 構造・寸法は (※標準図 ○図示)による。 蓋の用途表示は (※通信 ○)とする。	
	○構築シート	引込み管路に設ける。	

章	項目	特記事項
調 査	○調査範囲	※測定のみ ○対策工事実施設計書作成まで
	○測定時期	工事前-工事中-完成後
	○測定箇所	箇所
	○測定内容	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。

別表 1 付属品・予備品

○ウォールキャビネット(W= D= H= ) x 個	
○イーゼルキャビネット 箱 ○キーボックス ○テスター ○マンホールフック	
○工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スバー、ハンマー)	
照明器具	ランプ及びグロー球の予備品は、種別毎に1%とする。 ただし、諸数は切り上げることとし、最少個数を1個とする。
受変電設備・盤	ランプ及びヒューズの予備品は、20%とする。

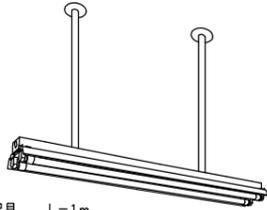
凡例

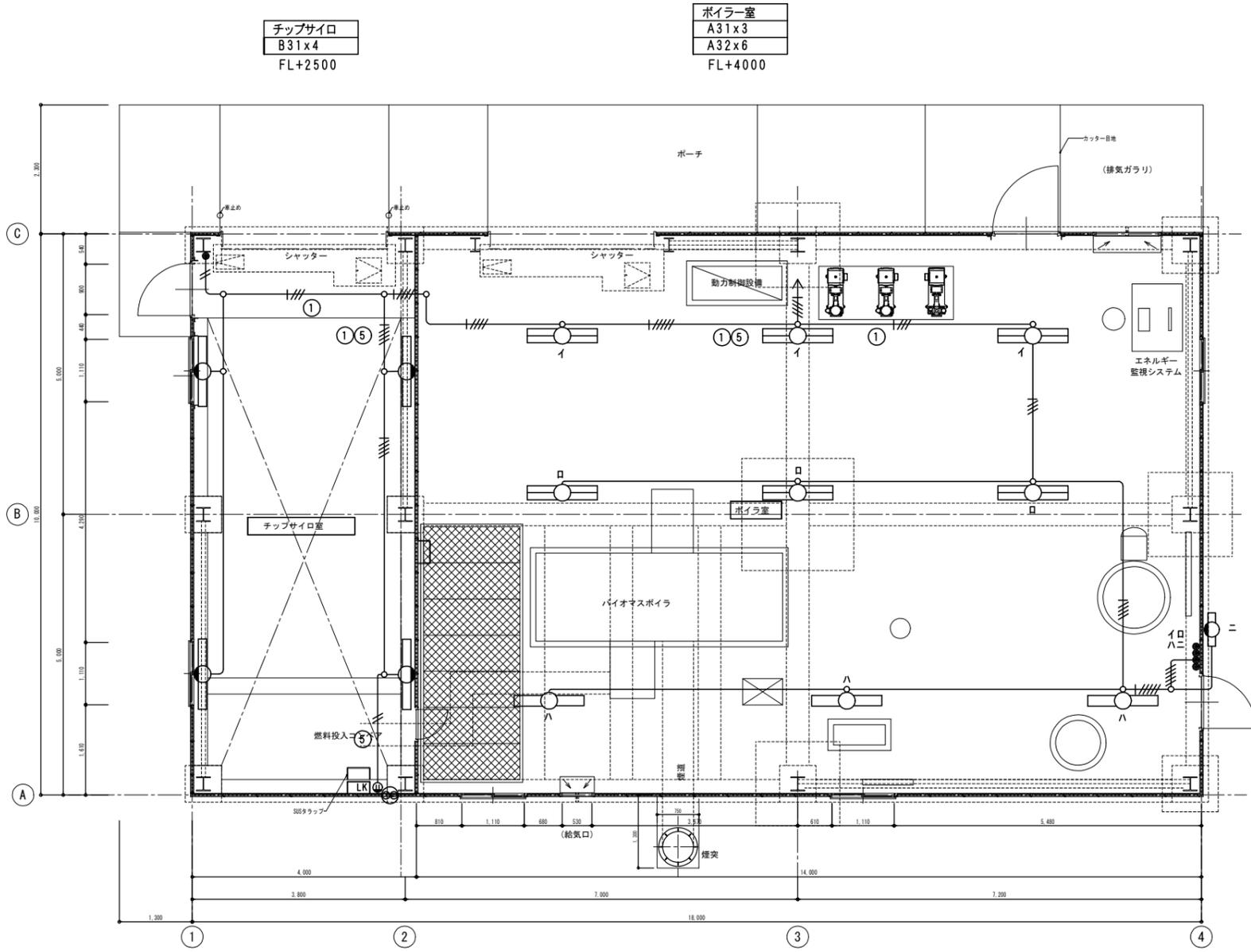
記号	名称	仕様
☒	動力制御盤	別図参照
☐	照明器具 A	照明器具姿図参照
○	照明器具 B	照明器具姿図参照
○	照明器具 C	照明器具姿図参照
●	埋込スイッチ	1P15Ax1 新金製プレート共
●L	埋込スイッチ	1P4Ax1 L付 新金製プレート共
⊕LK	埋込コンセント	2P15Ax1 抜止形 新金製プレート共
⊗	換気扇	機械設備
—	配管配線	露出配管
○	露出ボックス	
☒	ブルボックス	

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
- ・電灯, 換気扇
  - EM-IE1.6x2, E1.6 (E19) (露出配管)
  - EM-IE1.6x3, E1.6 (E19) (露出配管)
  - EM-IE1.6x4, E1.6 (E25) (露出配管)
  - EM-IE1.6x5, E1.6 (E25) (露出配管)
  - EM-IE1.6x2 (E19) (露出配管)
  - EM-IE1.6x4 (E19) (露出配管)
  - EM-IE1.6x5 (E25) (露出配管)

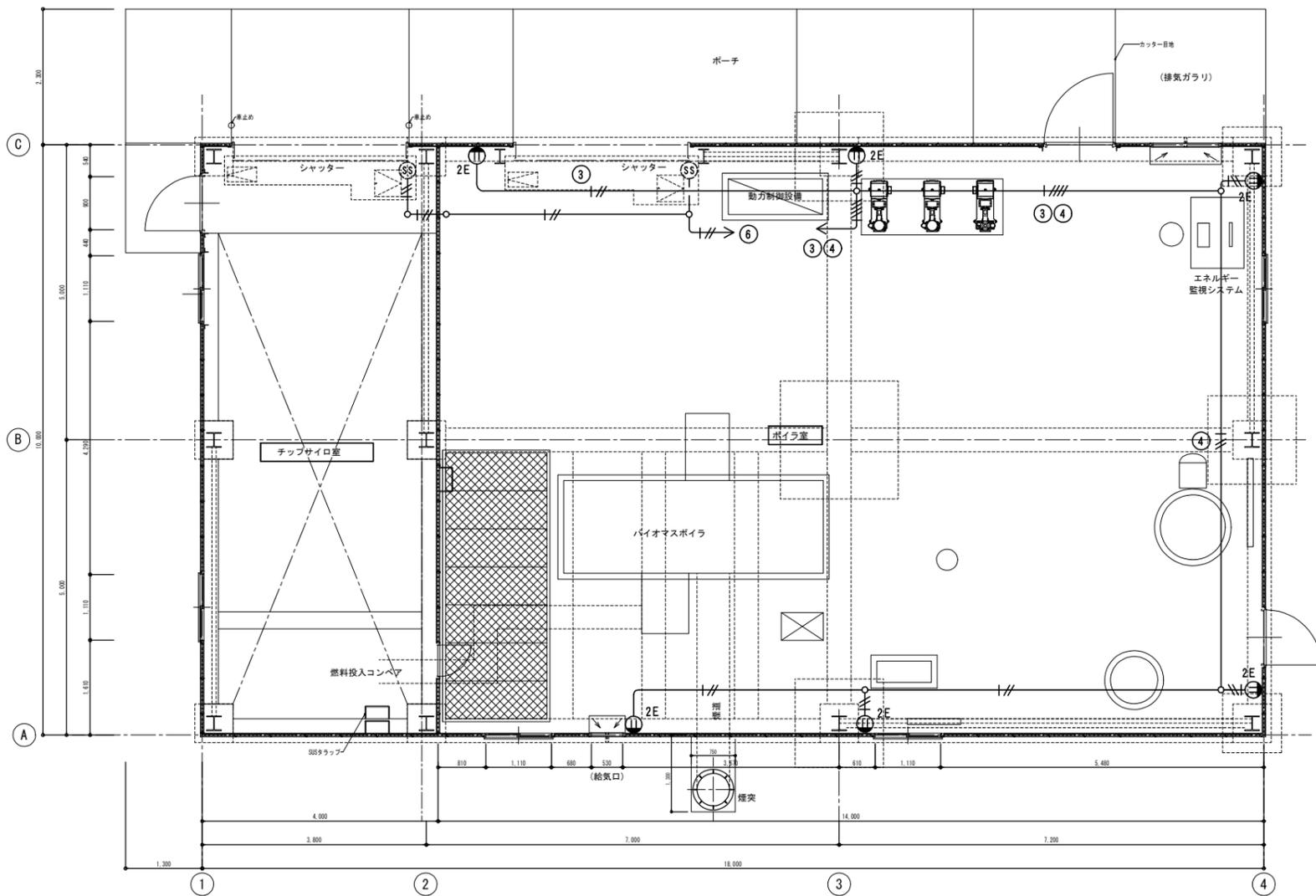
照明器具姿図

A31	FSR2-321PH パイプ吊	100V		B31	FBS5-321PH	100V	
A32	FSR2-322PH パイプ吊	100V		 <p>パイプ吊具 L=1m 吊具取付金具共 振れ止め金具 2組共</p>			
C20	ブラケットLED灯 LDL20x1	100V	防雨型				



ボイラ室平面図

外部  
C20x1  
FL+2100



ボイラ室平面図

凡例

記号	名称	仕様
☒	動力制御盤	別図参照
⊕2E	埋込コンセント	2P15A x 2 E付 新金製プレート共
Ⓢ	電動シャッター	建築工事
—	配管配線	露出配管
○	露出ボックス	
☒	プルボックス	

(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。
- ・コンセント
    - //— EM-1E2.0x2.E1.6(E19) (露出配管)
    - ///— EM-1E2.0x4.E1.6(E25) (露出配管)
  - ・電動シャッター
    - //— EM-1E2.0x2.E1.6(E19) (露出配管)



保育施設  
わちエンジェル

特養施設  
長老苑

ケーブルラン

凡例

記号	名称	仕様
☒	動力制御盤	別途プラント電気工事
○	照明器具 C	照明器具姿図参照
●A	自動点滅器	100V, 3A
—	配管配線	露出配管
- - -	配管配線	地中配管
○	露出ボックス	
☒	ブルボックス	

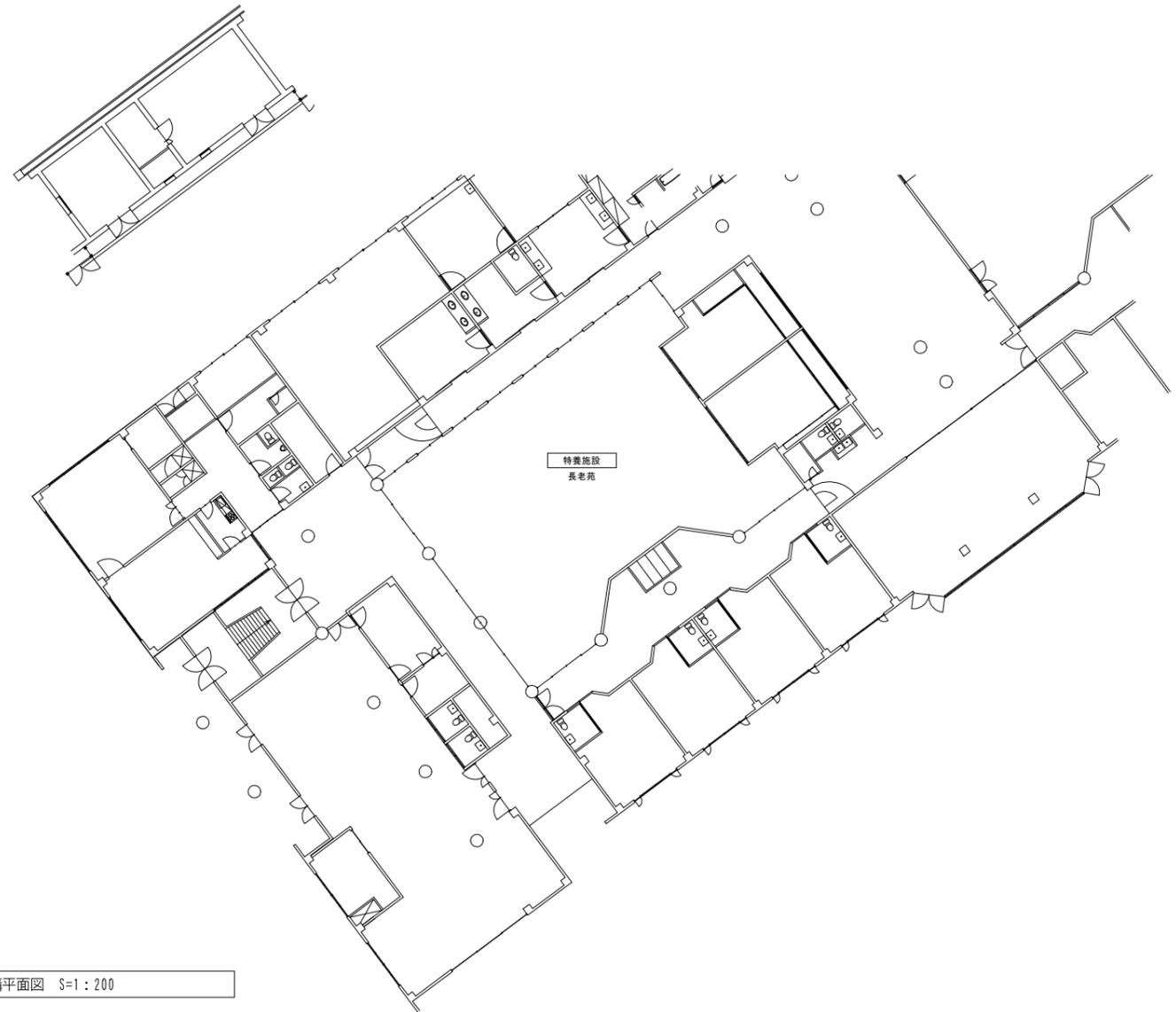
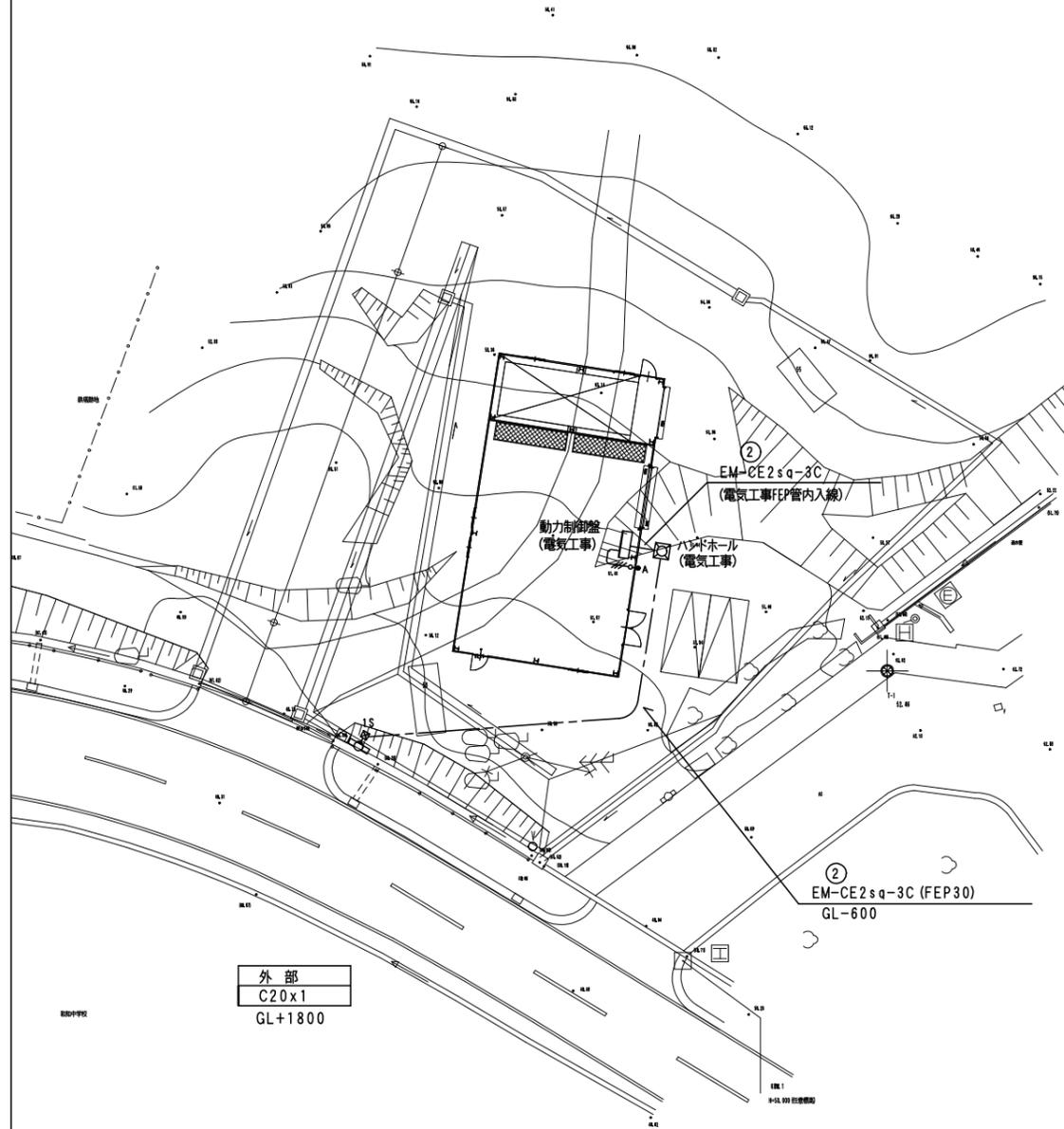
(注記)

1. 特記なき配管配線は下記とする。

EM-1E1.6x3 (E19) (露出配管)

2. ブルボックスは下記とする。

記号	サイズ
☒1S	150x150x100 SUS (WP)



外構平面図 S=1:200

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名

(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事

縮尺

図番

外灯設備図

A1 1:200

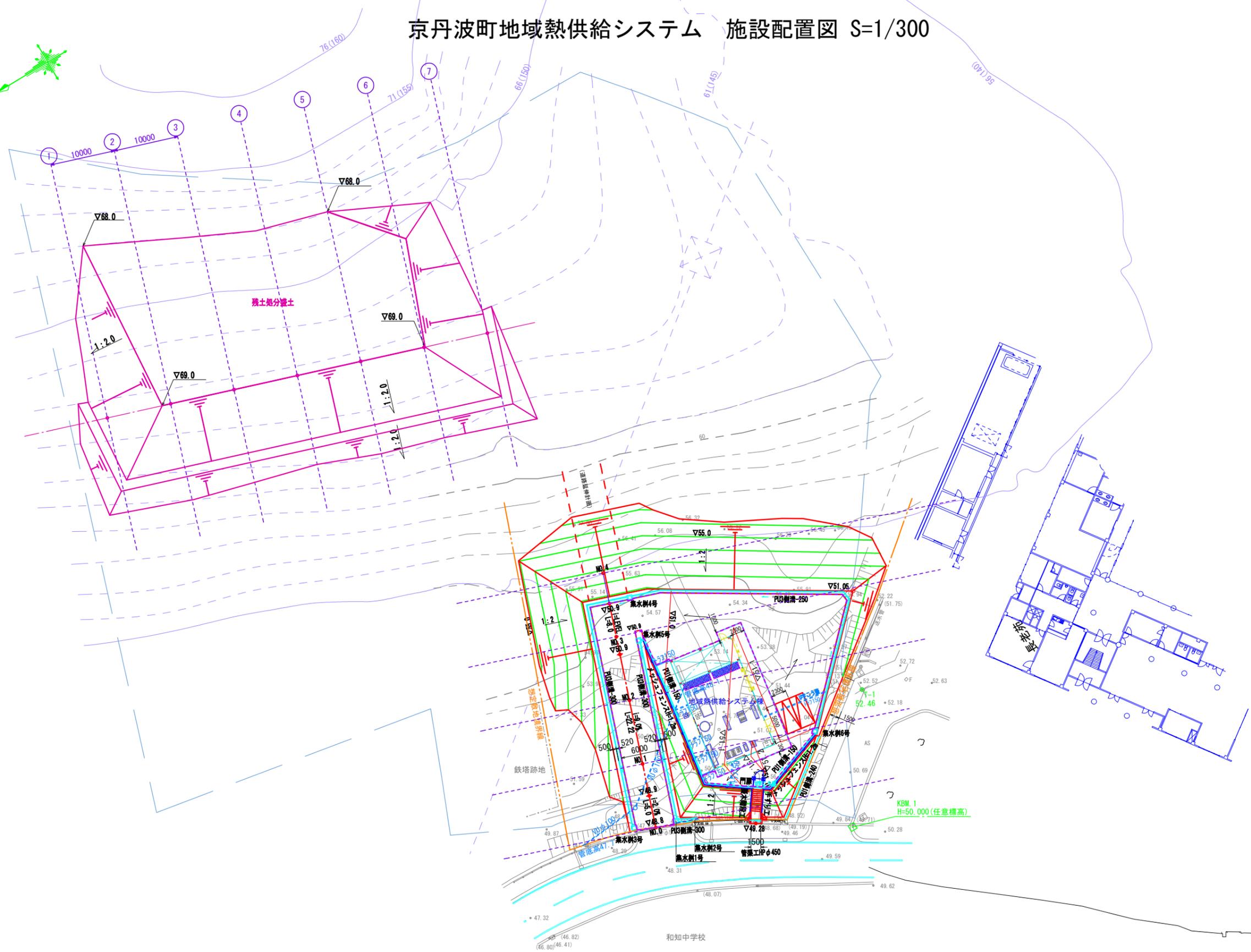
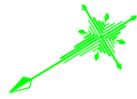
A3 1:400

No.E-005

005

枚の内

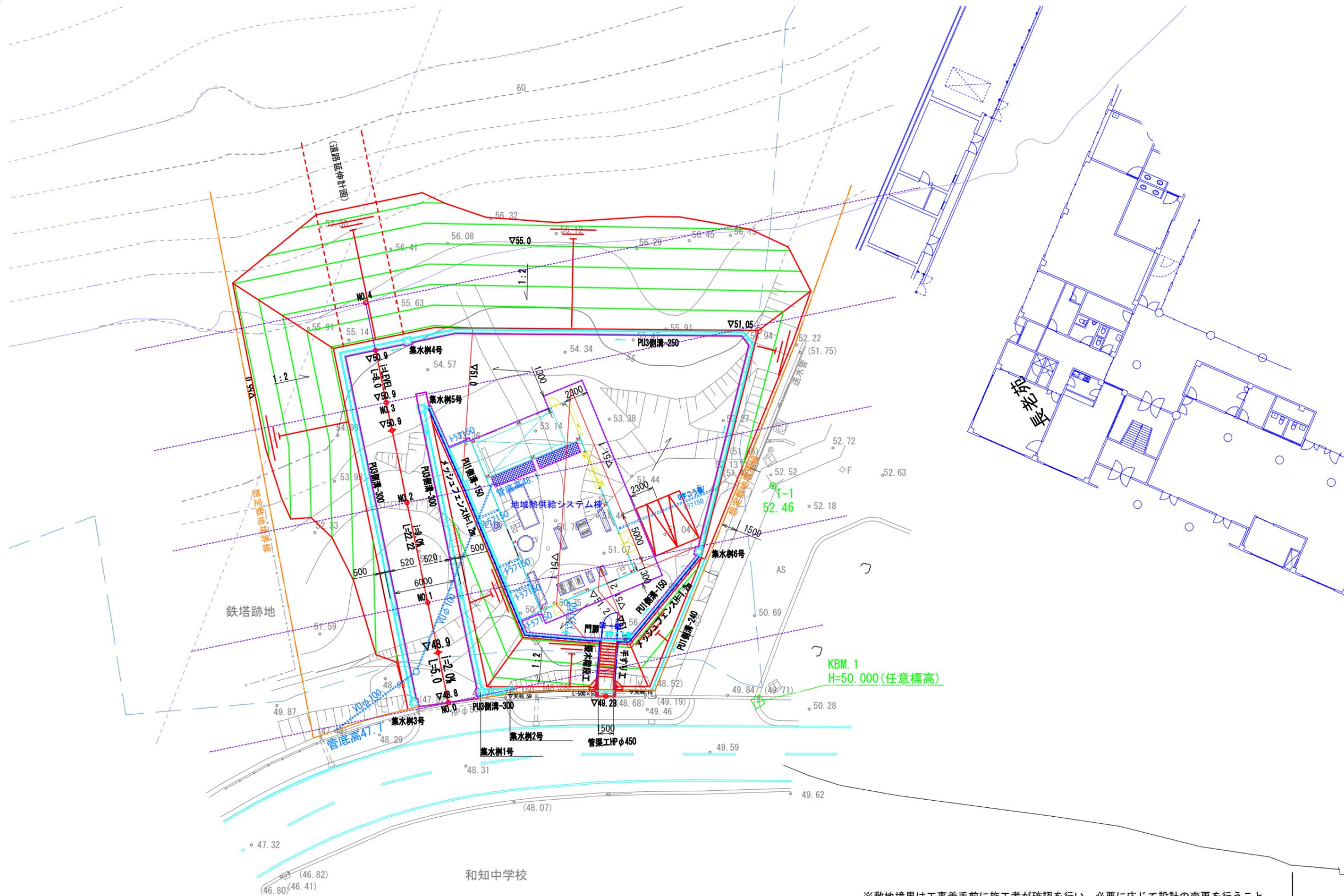
# 京丹波町地域熱供給システム 施設配置図 S=1/300



※敷地境界は工事着手前に施工者が確認を行い、必要に応じて設計の変更を行うこと。

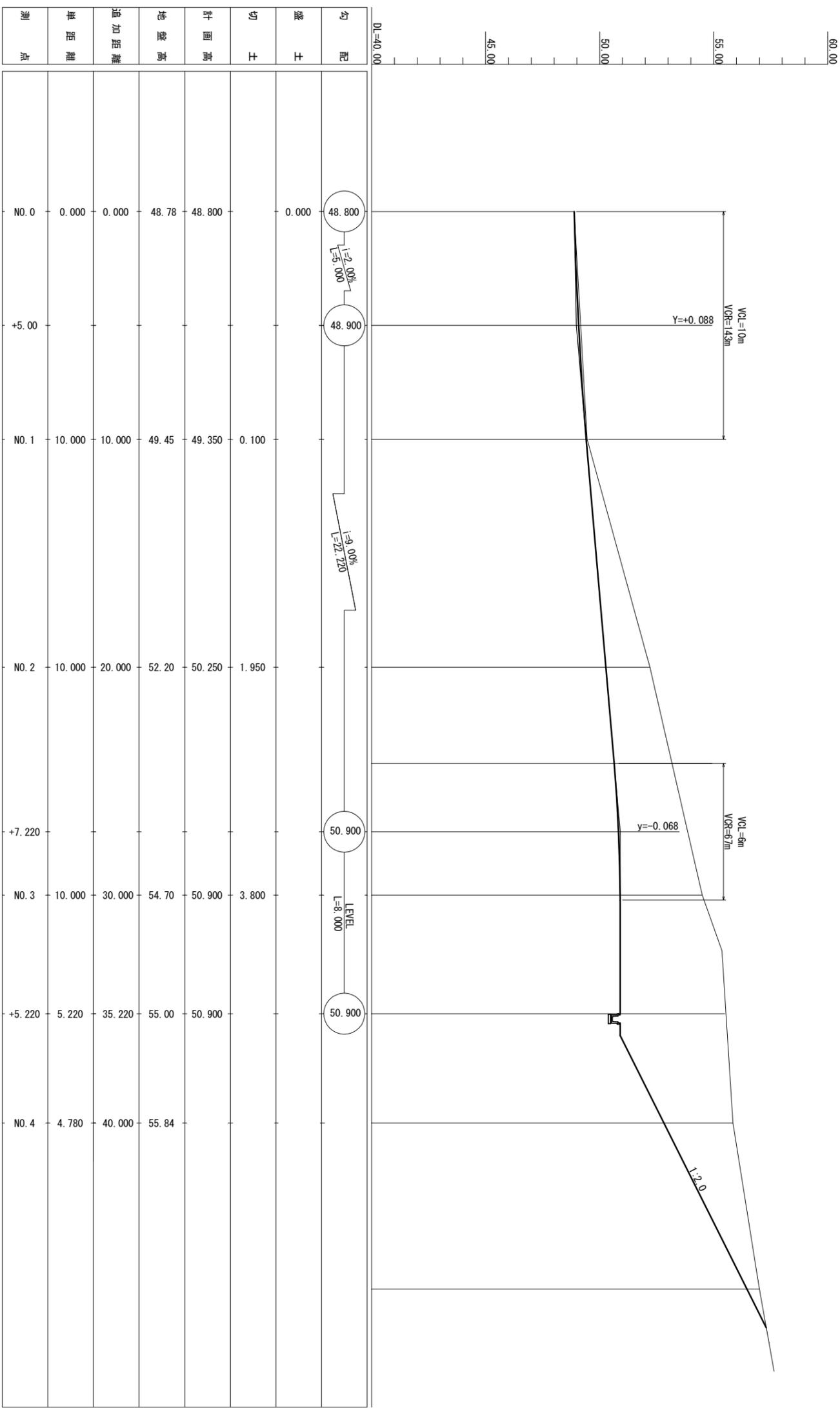
京丹波町 企画政策課				課長	担当課長	副課長	担当	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事 造成計画平面図	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成	年月						A1 1:100 A3 1:200	NaG-001 009 枚の内

基盤整備平面図 S=1:200



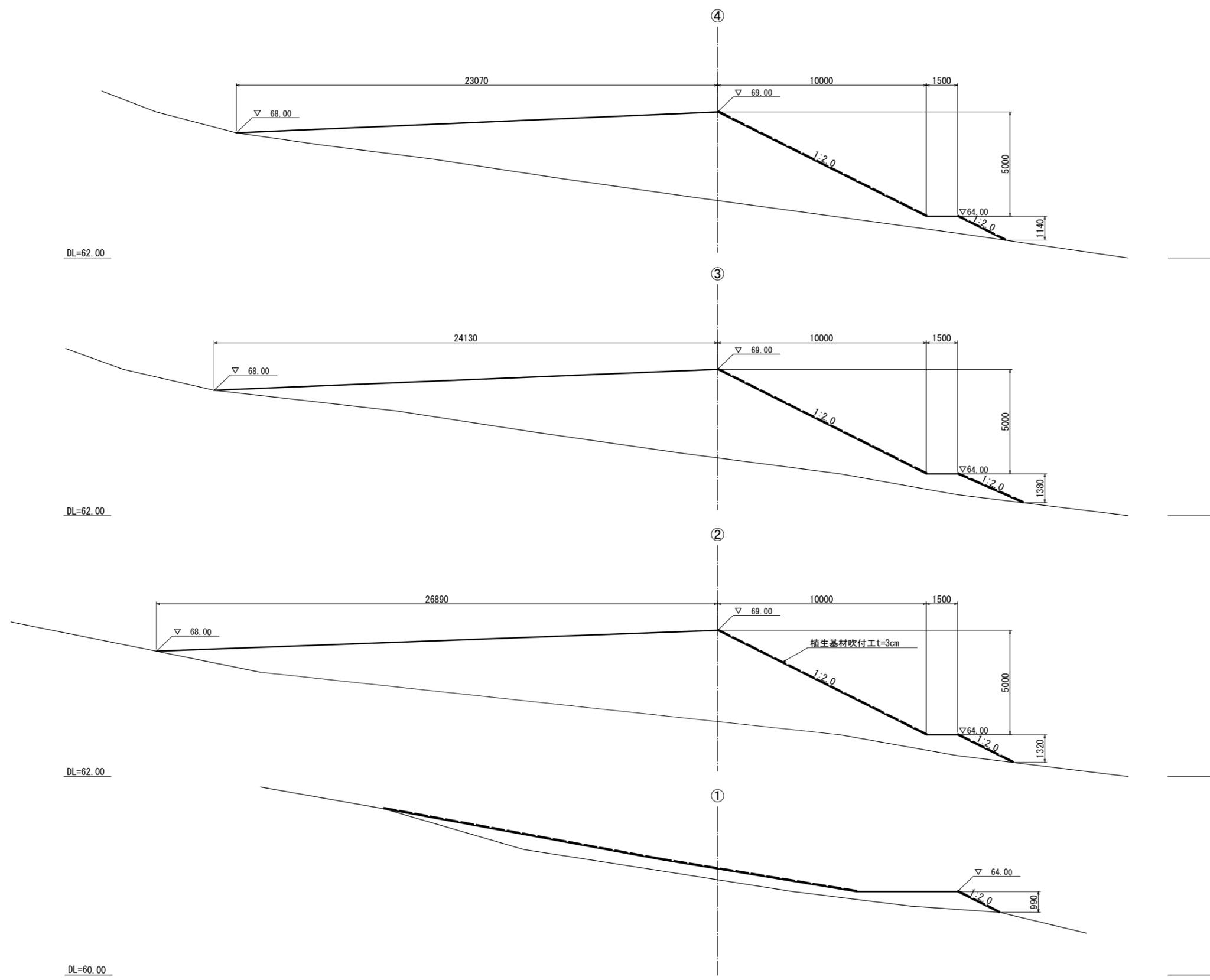
京丹波町 企画政策課				課長	担当課長	副課長	担当	工 事 名 目 (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成 年 月	決裁欄						A1 1:200 A3 1:400	No.G-002 009 枚の内
								基盤設備平面図		

道路縦断面図 S=1:100



京丹波町 企画政策課		課長	担当課長	副課長	担当	工事名	縮尺		図番
設計番号	設計年度					(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事	A1 1:100	N&G-003 009 取の内	
平成	年	月				道路縦断面図	A3 1:200		





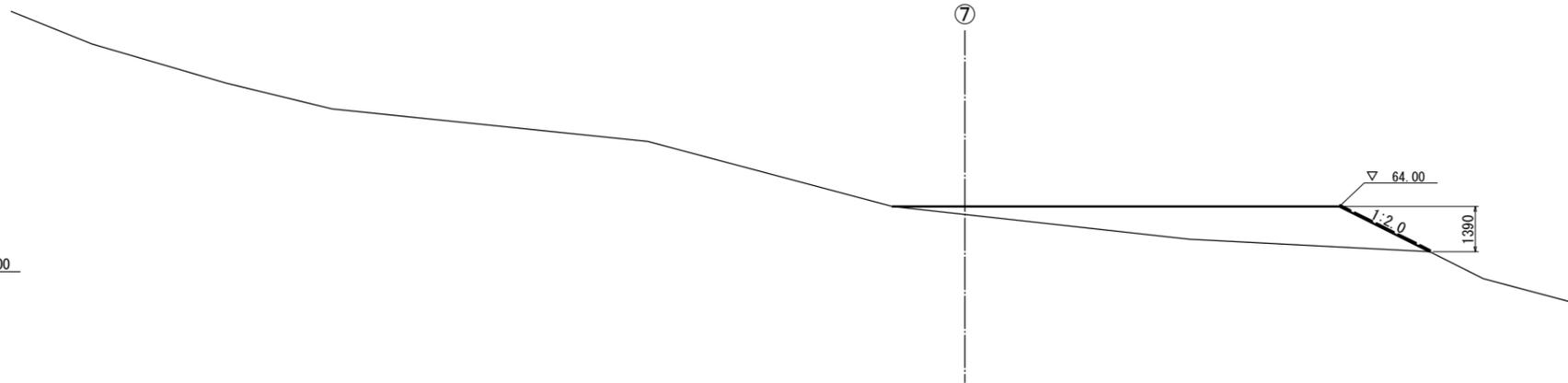
種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	—
盛土土砂	m <sup>3</sup>	74.9

種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	—
盛土土砂	m <sup>3</sup>	76.6

種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	—
盛土土砂	m <sup>3</sup>	91.0

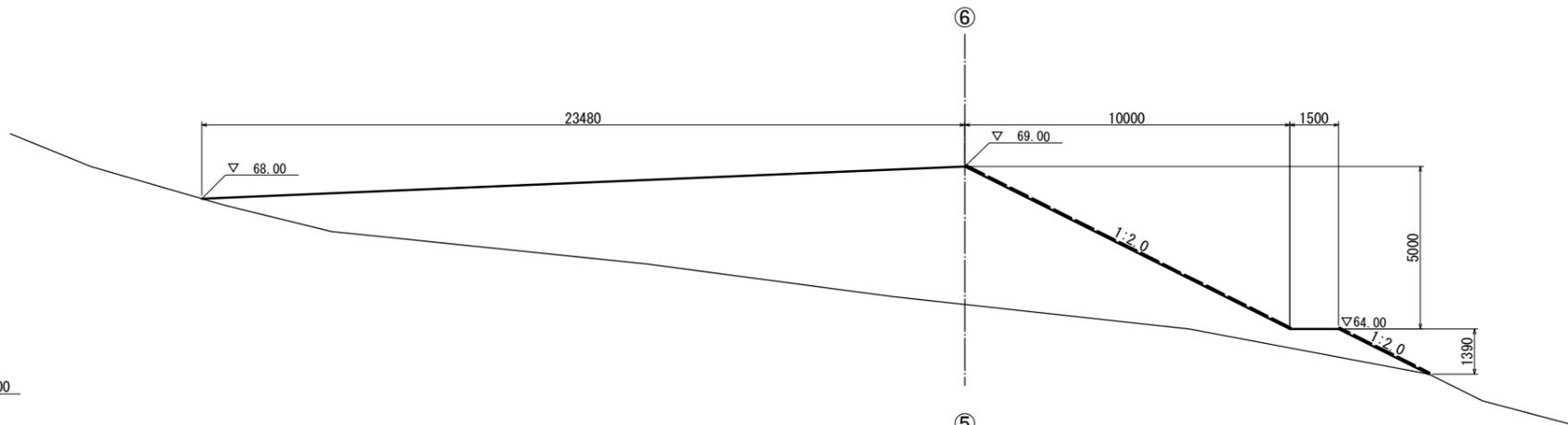
種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	—
盛土土砂	m <sup>3</sup>	16.2

DL=62.00



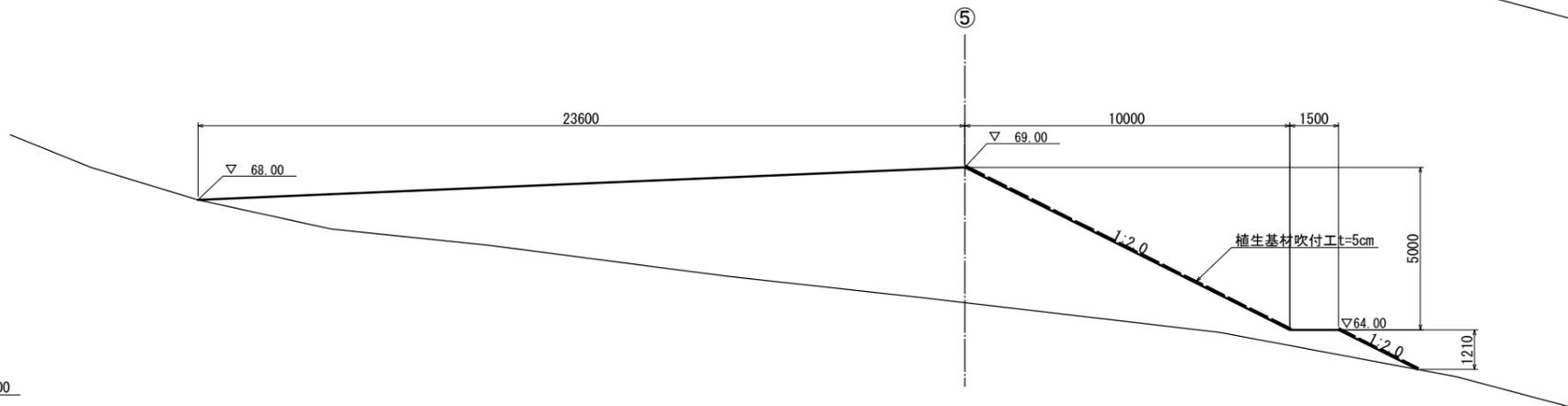
種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	-
盛土土砂	m <sup>3</sup>	11.5

DL=62.00



種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	-
盛土土砂	m <sup>3</sup>	79.0

DL=62.00

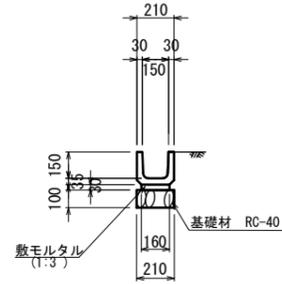


種別	単位	数量
掘削土砂	m <sup>3</sup>	-
盛土土砂	m <sup>3</sup>	77.5

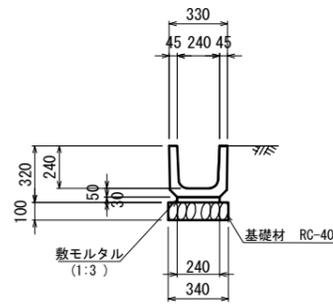
京丹波町 企画政策課				課長	担当課長	副課長	担当	工事名	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事		縮尺	図番
									設計番号	設計年度	平成 年 月	決裁欄

構造物詳細図(1) S=1:20

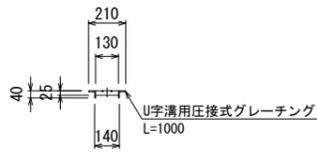
PU1側溝-150、トラフ150



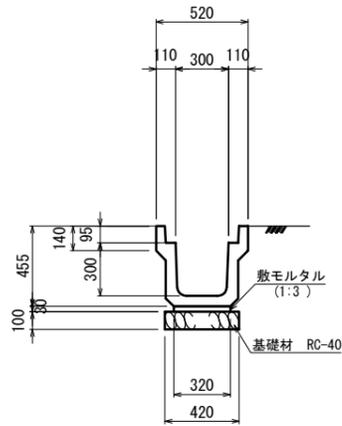
PU1側溝-240



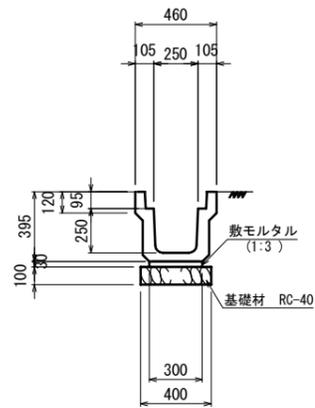
U字こう蓋



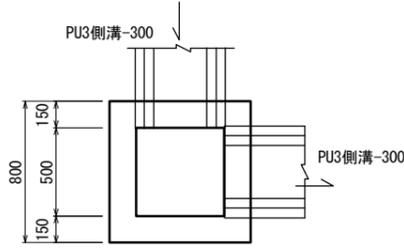
PU3側溝-300



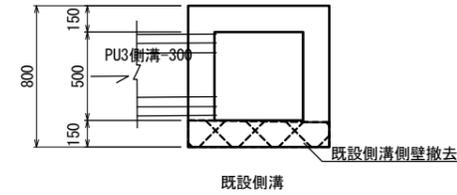
PU3側溝-250



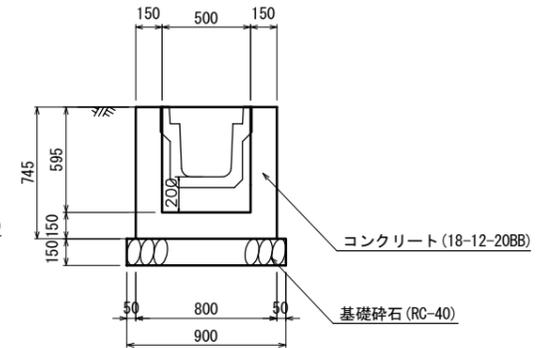
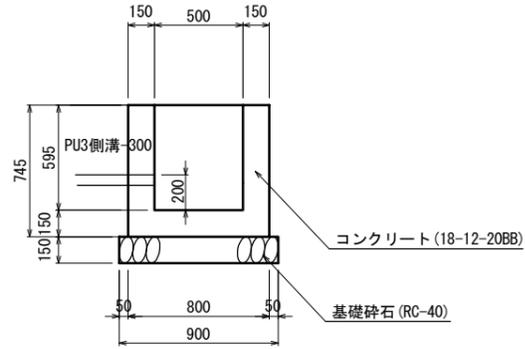
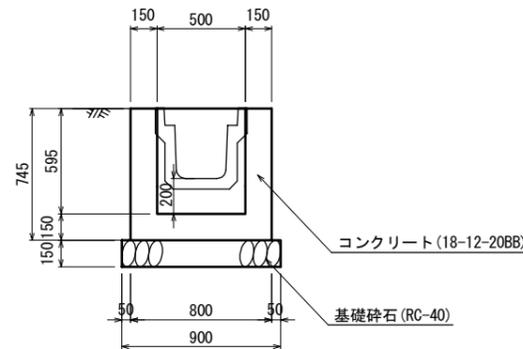
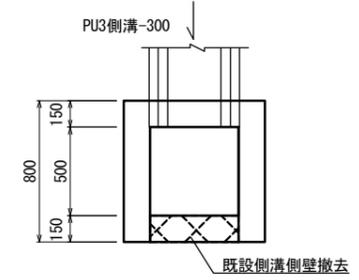
集水樹1号



集水樹2号



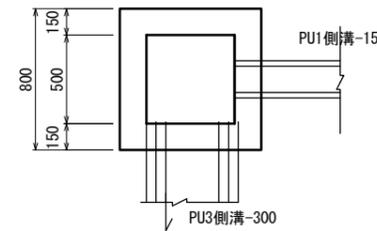
集水樹3号



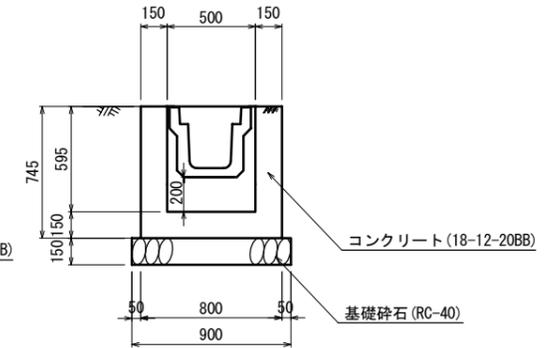
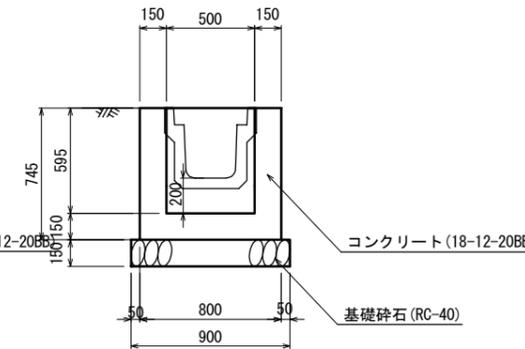
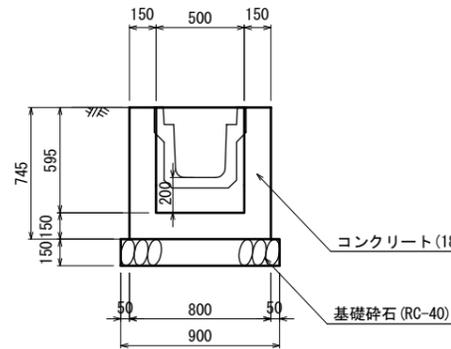
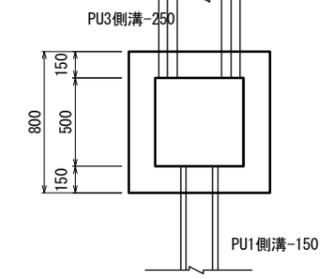
集水樹4号



集水樹5号



集水樹6号



京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長

担当課長

副課長

担当

工事名

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

図名

構造物詳細図(1)

縮尺

A1 1:20

A3 1:40

図番

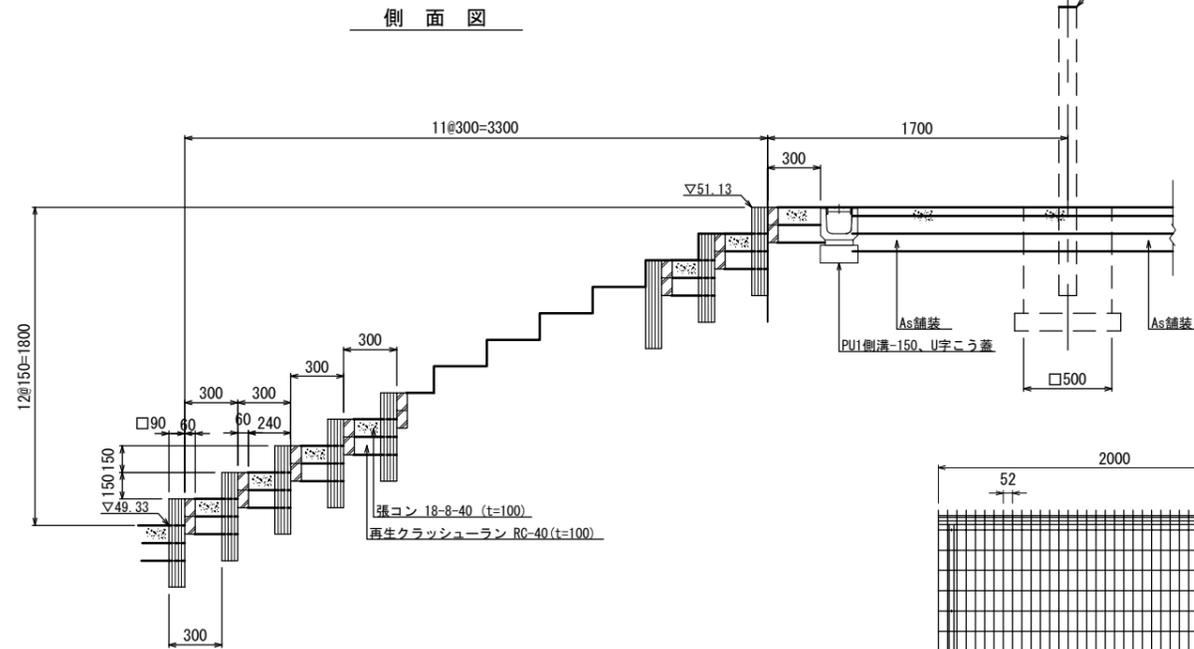
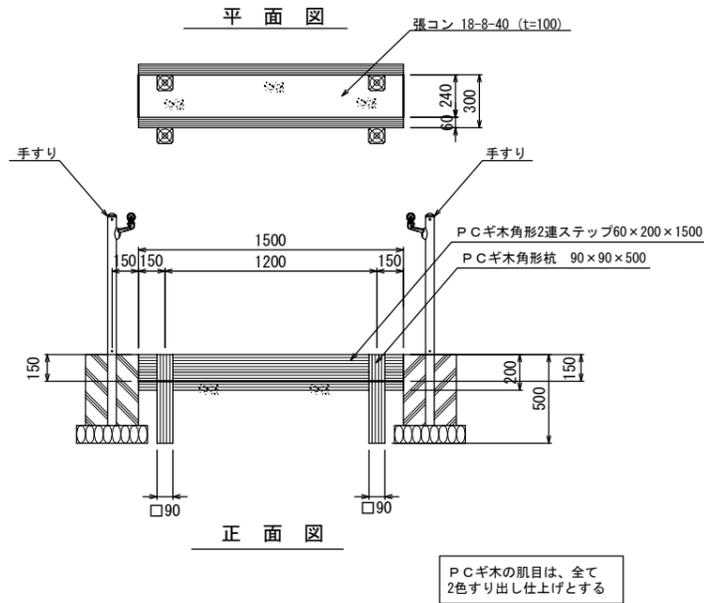
NaG-007

009

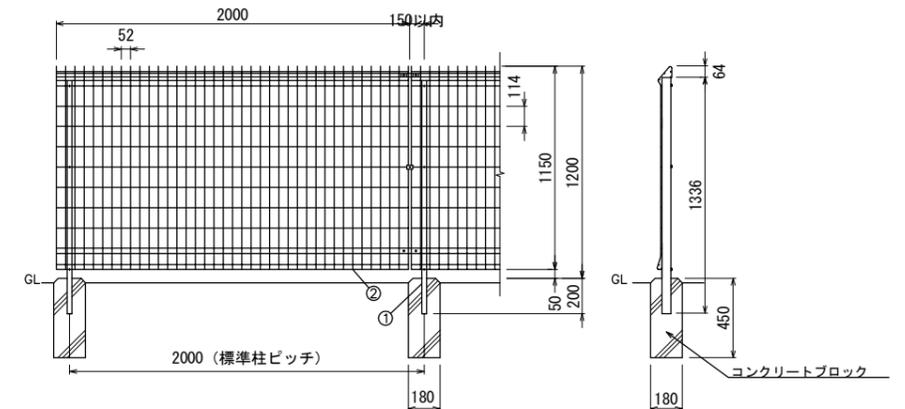
枚の内

擬木階段工

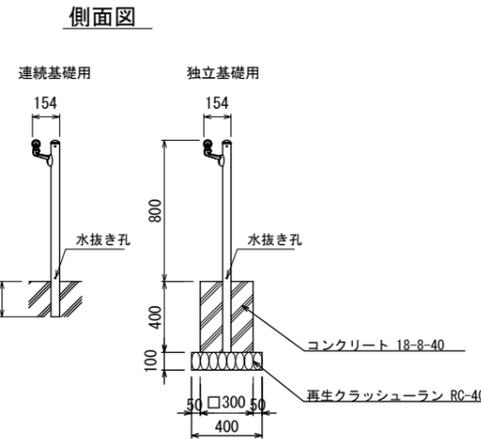
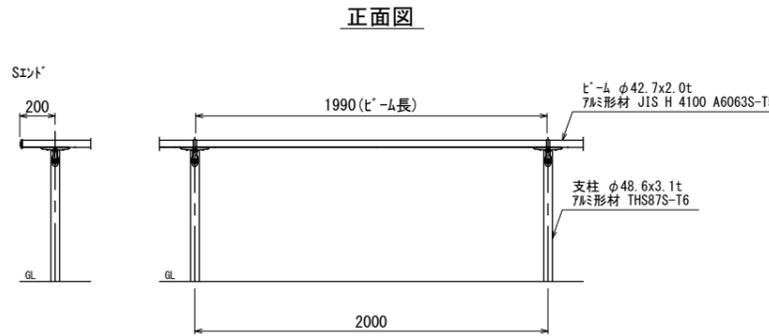
構造物詳細図(2) S=1:20



メッシュフェンスH=1.2m

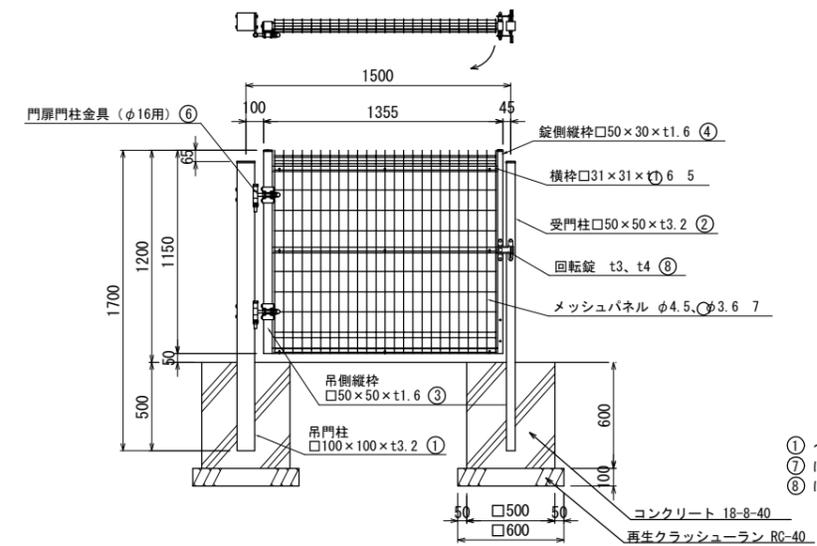


手すり工  
フロントヒール1段



部品	部材名	形 格	材 質	摘 要
1	柱	#1200	□50×26×1.0	垂鉛めっき+静電粉体塗装
2	本 体	≒3.6×4.5	SWMGH-3	垂鉛めっき+流動浸漬塗装

門 扉



- ① ~ ⑥ は、垂鉛めっき+静電粉体塗装
- ⑦ は、垂鉛めっき+流動浸漬塗装
- ⑧ は、ステンレス

主要部材寸法表

部 材 名	外径x厚さ	材 質	表面処理・塗装
支柱	φ48.6x3.1t	7mm形材 THS87S-T6 (JIS H 4100 A6061S-T6相当)	7mm形材 陽極酸化塗装複合皮膜
ヒール	φ42.7x2.0t	7mm形材 JIS H 4100 A6063S-T5	
ブラケット		7mmイカスト ADC12	焼付塗装
		7mm鋳物 AC3A-AC4C-T6	

※基礎は水平荷重390(N/m)、長期地耐力100(kN/m)の場合の参考寸法です。  
設置する地域、地盤条件等に合わせた検証してください  
※7mmミラビリンガ形材は樹脂シート貼りです。(レフィン系フィルム貼り)

(寸法単位:mm)

京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長	担当課長	副課長	担当
----	------	-----	----

工事名

(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事

図名

構造物詳細図(2)

縮尺

A1 1:20  
A3 1:40

図番

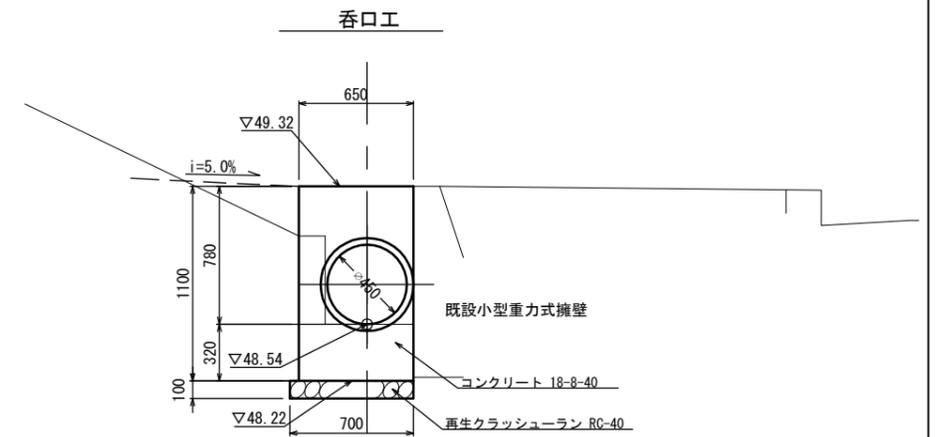
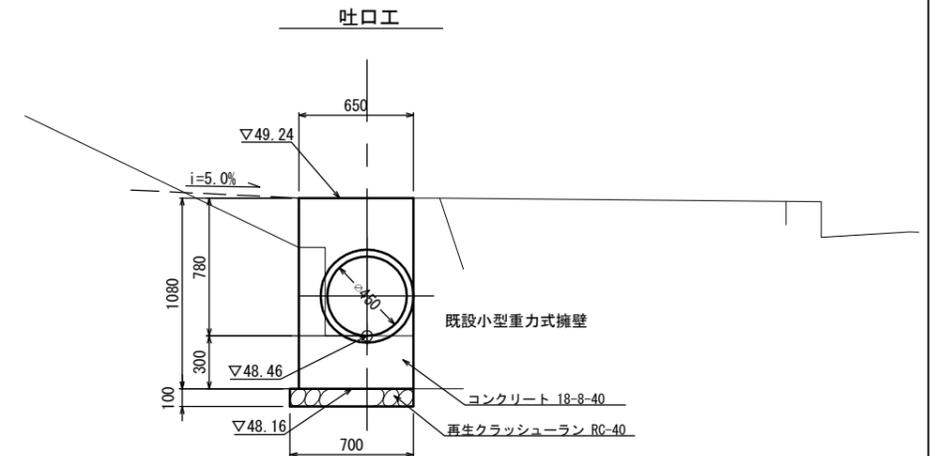
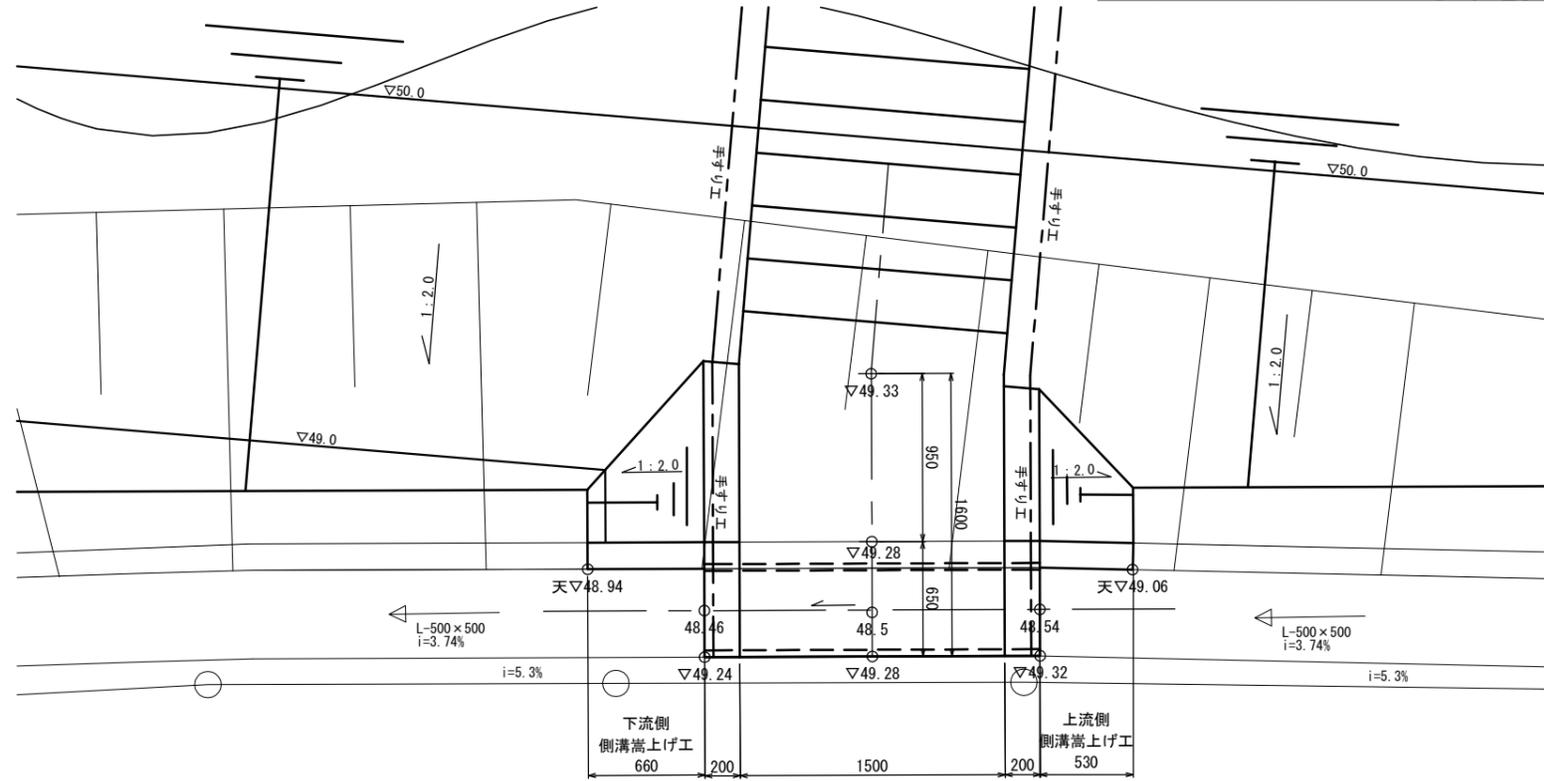
№G-008

009

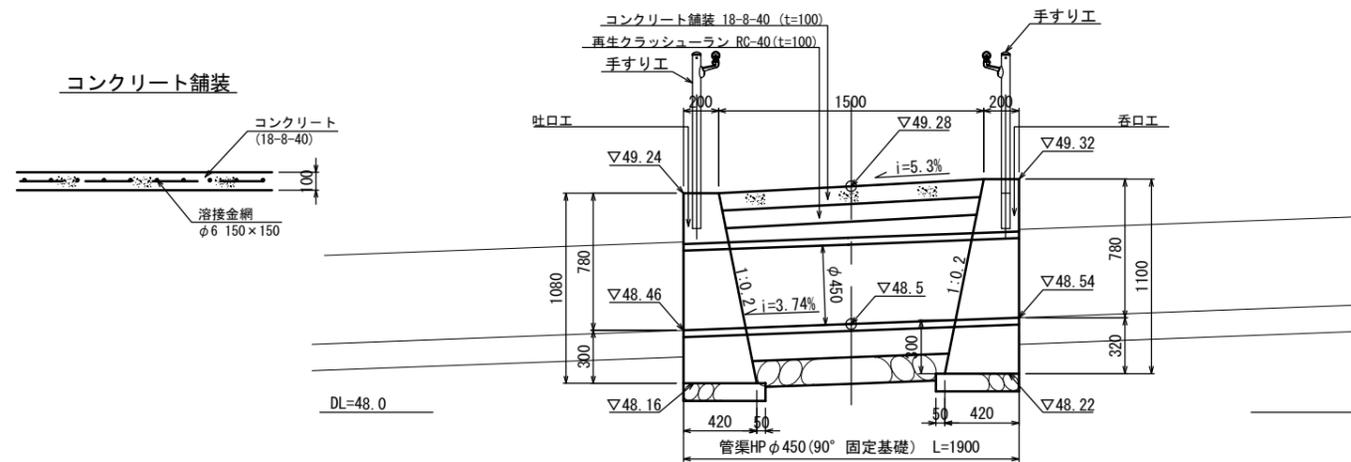
枚の内

横断管渠平面図

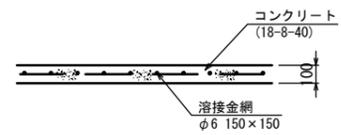
横断管渠構造図 S=1:20



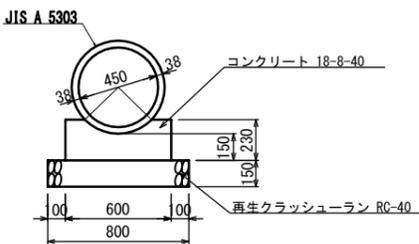
横断管渠縦断面図



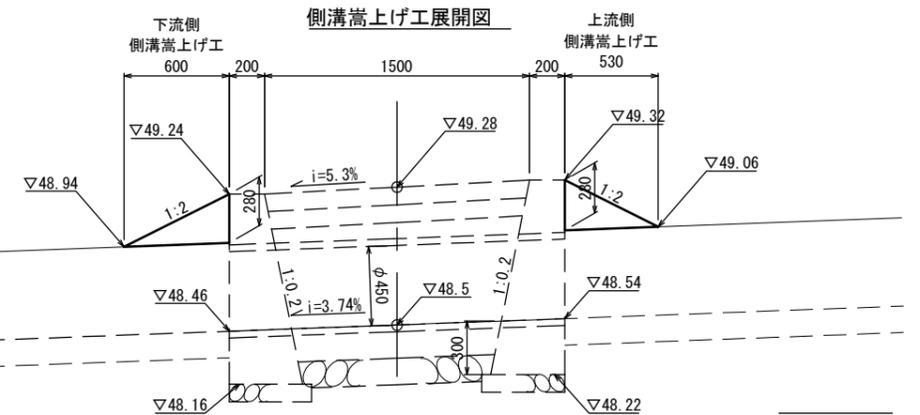
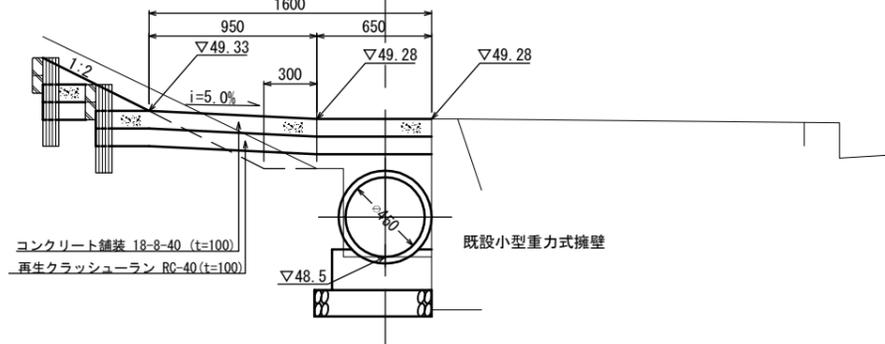
コンクリート舗装



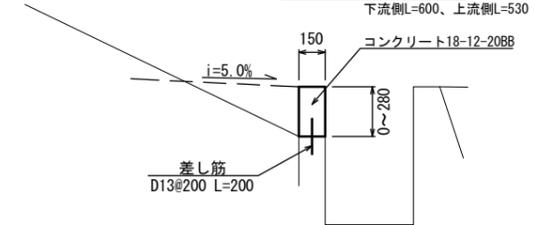
管渠HP φ450



横断管渠横断面図



側溝嵩上げ工断面図



京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

決裁欄

課長	担当課長	副課長	担当

工事名	(仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事
図名	横断管渠構造図

縮尺	図番
A1 1:20	№G-009
A3 1:40	009
	枚の内

建築整備工事 特記仕様書		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																
<p><b>【1】 工 事 概 要</b></p> <p>1. 工 事 場 所 ①特別養護老人ホーム長老苑 京都府船井郡京丹波町市場丸ヶ野8番地2号 ②わちエンジェル 京都府船井郡京丹波町大倉家田ノ上5番地7号</p> <p>2. 敷 地 面 積 14073.52 + 7163.99 m<sup>2</sup></p> <p>3. 建築物概要</p> <table border="1"> <tr> <th>棟 名</th> <th>構 造</th> <th>階 数</th> <th>建築面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>延べ面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>①特別養護老人ホーム長老苑</td> <td>RC造+S造</td> <td>地上1階</td> <td>3068.38</td> <td>2800.12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②わちエンジェル</td> <td>木造(一部鉄筋コンクリート・S造)</td> <td>地上1階</td> <td>1169.86</td> <td>1162.56</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4. そ の 他</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p><b>【2】 適 用 範 囲</b></p> <p>現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)をいう。(以下、これを「改修仕様」という。)</p> <p>本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修仕様」の適用を受けるものとする。</p> <p><b>【3】 工 事 区 分</b></p> <p>設計図書による。 別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p> <p><b>【4】 工 事 仕 様</b></p> <p>1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修仕様」のほか別記の適用基準による。 2. 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 3. 特記事項は、●印の付いたものを適用する。●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※印と●印の付いた場合は、共に適用する。※印が抹消された場合は、●印のみ適用する。 4. 項目及び特記事項に記載の( ) 内表示番号は「改修仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	備 考	①特別養護老人ホーム長老苑	RC造+S造	地上1階	3068.38	2800.12		②わちエンジェル	木造(一部鉄筋コンクリート・S造)	地上1階	1169.86	1162.56								<p>1 ③ 特別な材料の工法 ※ 設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>④ 風圧力及び積雪に対する性能</p> <p>⑤ 現場代理人 ※ 本工事の施工にあたっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。</p> <p>⑥ 工事工程報告 ※ 月報は毎月末日にめ、翌月5日までに提出する。 ○ 日報は監督職員の指示による。 ○ 週報は毎週( ) 曜日に提出する。</p> <p>⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4) ※ 適用する (適用事項は、現場説明書による) ○ 適用しない</p> <p>⑧ 設備工事との取合い</p> <p>⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3)</p> <p>⑩ 工事写真 (1.2.4) ※ 工事写真の撮り方(改訂3版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 ※ 下記ものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <tr> <th>着 工 前</th> <th>部 数(ナガ1枚につき)</th> <th>分 類 ・ 規 格</th> <th>原 版 の 大 き さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>工 事 中</td> <td>※ 1 ○</td> <td>※ カラーサービス版</td> <td>※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完 成 時</td> <td>屋 内</td> <td>※ 2 ○</td> <td>※ カラーサービス版 ※ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>( ) 箇所</td> <td>○ カラーキャビネ版</td> <td>○ 60×70以上</td> </tr> <tr> <td>外 観</td> <td>※ 2 ○</td> <td>※ カラーキャビネ版</td> <td>○ 24×36以上</td> </tr> <tr> <td>( ) 箇所</td> <td></td> <td>○ カラーパネル半切</td> <td>※ 60×70以上</td> </tr> </table> <p>※ 写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 ※ 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 ○ 完成写真撮影業者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。</p> <p>11 電気保安技術者 (1.3.3) ※ 適用する ○ 適用しない</p> <p>⑫ 施工条件 (1.3.5) ※ 現場説明書による。</p> <p>13 発生材の処理等 (1.3.8)</p> <p>○ 引渡しを要するもの ( ) ○ 現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの ( ) ○ 指定副産物の搬出 (詳細は現場説明書による) ○ アスファルトコンクリート塊 ○ セメントコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ○ 指定副産物の処分地 (詳細は現場説明書による) ○ 指定地処分 ( ) ○ 自由処分 ( 最寄りの再資源化施設へ搬出すること ) ○ 指定副産物以外の搬出 ※ 構外搬出適切処理 ○ ( ) ○ 特別管理産業廃棄物の処理 ○ 廃石綿等 ○ PCBを含む機器類 ○ PCB含有シーリング ○ 廃油 ○ 廃酸・廃アルカリ ( ○ 臭化リチウム ○ 蓄電池電解液 ) ○ SF6ガス使用機器 ※ 廃石綿の処分地 ( 東京都環境保全公社増穂センター )</p> <p>せっこうボードの処理方法 ○ 石綿含有せっこうボードの処理 改修仕様9.1.5による ○ ひま、カドミウム含有のせっこうボードの処理 ○ 製造業者にて回収 ○ 埋立処分 ○ その他せっこうボードの処理 ○ 最終処分 ○ 再資源化</p> <p>PCB含有シーリング材の分析調査 ○ 行う ( ) 箇所 ○ 行わない PCB含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱い」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 ○ 蛍光灯ランプ ○ HIDランプ ○ 硬質塩化ビニル管・継手</p>	着 工 前	部 数(ナガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原 版 の 大 き さ (mm)	工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上	完 成 時	屋 内	※ 2 ○	※ カラーサービス版 ※ 24×36以上	( ) 箇所	○ カラーキャビネ版	○ 60×70以上	外 観	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	○ 24×36以上	( ) 箇所		○ カラーパネル半切	※ 60×70以上	<p>1 ④ 風圧力及び積雪に対する性能</p> <p>⑤ 現場代理人</p> <p>⑥ 工事工程報告</p> <p>⑦ 工事実績情報の登録 (1.1.4)</p> <p>⑧ 設備工事との取合い</p> <p>⑨ 施工図等の取扱い (1.2.3)</p> <p>⑩ 工事写真 (1.2.4)</p> <p>11 電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>⑫ 施工条件 (1.3.5)</p> <p>13 発生材の処理等 (1.3.8)</p> <p>14 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)</p> <p>15 技能士 (1.6.2)</p> <p>16 施工の検査等 (1.6.5)</p> <p>⑬ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)</p> <p>⑭ 完成図 (1.8.2)</p> <p>⑮ 保全に関する資料 (1.8.3)</p> <p>1 足場その他 (2.2.1)</p> <p>2 仮設工事</p>	<p>処理計画書等の提出 ※ 再生资源利用促進計画書、実施書を「CREDAS入力システム」により作成し、提出用ファイルと共に提出すること。 ※ 建設発生土及び建設副産物処理計画書、報告書 を提出すること。 マニフェスト制度 ※ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 ※ 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p> <p>既存破壊部分の補修方法 ※ 図示による ○ _____</p> <table border="1"> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>○ 鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業</td> </tr> <tr> <td>アロク及びALC等補工事</td> <td>○ コンクリートアロク工事作業 ○ ALC等補工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>○ フラット防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ アクリル系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリルシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>○ 石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>○ タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>○ 大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>○ 左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>○ 建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 木目仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>○ 建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>○ 溶融・イントロドマーカー工事作業 ○ 加熱・イントロドマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>○ 造園工事作業</td> </tr> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p> <p>見本施工の実施 ※ 適用する ( ) ○ 適用しない</p> <p>※ 適用する (適用事項は、現場説明書による) ○ 適用しない</p> <p>※ 作成する (提出部数※2部 ○部) 詳細は監督職員の指示による。 ※ 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。</p> <p>※ 作成する (提出部数※2部 ○部) ○ 作成しない ○ 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 ○ 建物を使用する上での注意事項 ○ 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げる概要説明 ○ 建物、工物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 ○ 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。</p> <p>※ 足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 基発第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能をもつ足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2(2)手すり掘置方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	○ とび作業	鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業	コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業	アロク及びALC等補工事	○ コンクリートアロク工事作業 ○ ALC等補工事作業	カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業	防水工事	○ フラット防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ アクリル系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリルシート工法防水工事作業	石工事	○ 石張り作業	タイル工事	○ タイル張り作業	木工事	○ 大工工事作業	屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業	金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業	左官工事	○ 左官作業	塗装工事	○ 建築塗装作業	建具工事	○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業	内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 木目仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業	排水工事	○ 建築配管作業	舗装工事	○ 溶融・イントロドマーカー工事作業 ○ 加熱・イントロドマーカー工事作業	植栽工事	○ 造園工事作業	<p>2 ② 既存部分の養生 (2.3.1)</p> <p>既存部分の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない 既存家具等の養生 ※ 行う (※ ビニールシート ○ _____) ○ 行わない</p> <p>既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ※ 行う ○ 行わない 養生の方法 ※ 取り外しの上清掃 ○ _____ 保管場所 ※ 室内にてカバー掛の上、適切保管 ○ _____ 家具の移動 ※ 行う ○ 行わない</p> <p>3 仮設間仕切り (2.3.2)</p> <p>○ 設ける ( 図示 ) ○ A種 ○ B種 ※ C種 ○ 設けない</p> <p>4 監督職員事務所 (2.4.1)</p> <p>規模 ○ 10m<sup>2</sup>程度 ○ 20m<sup>2</sup>程度 ○ 35m<sup>2</sup>程度 ○ 65m<sup>2</sup>程度 ○ 100m<sup>2</sup>程度 仕上 床 ○ 合板張り素地 ○ ビニール床シートの敷き ○ パンクベットの敷き 内壁、天井 ○ 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エポキシ塗料塗り 屋根 ○ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り ○ 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 ○ 設けない ○ 設ける(畳敷き) ○ _____ 備品 ○ 机 ○ いす ○ 保護帽 ○ ゴム長靴 ○ 雨がっぱ ○ 衣類カバン(上記6品、1人分程度) ○ 書棚 ○ 黒板 ○ 製図板 ○ 掛時計 ○ 温度計 ○ 消火器 ○ 掃除機 ○ 懐中電灯 ○ 湯沸器 ○ 加入電話機 ○ 冷暖房機器 ○ コピー機 ○ ネット回線 ○ 流し台 ○ _____ ※ 改修仕様(平成25年版) ※ 建築改修工事監理指針(平成25年版) ※ 建築工事施工チェックシート ○ 建築工事標準詳細図(平成22年版) ○ 工事写真の撮り方(改訂3版)建築編</p> <p>5 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる ( ○ 有償 ○ 無償 )</p> <p>6 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できない ○ 利用できる ( ○ 有償 ○ 無償 )</p> <p>7 仮囲い等</p> <p>※ 図示による ○ _____</p> <p>8 設計G.L.</p> <p>※ 図示による ○ 設計G.L.=現状G.L.</p> <p>1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>○ A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) ※ B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め ○ C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め ○ D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め ○ 建設発生土(盛土材)の外部からの受入土量 ( m<sup>3</sup> ) 発生場所 ( )</p> <p>2 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>※ 下記に定めるほかは、現場説明書による ○ 構外指示の受入場所に処分 受入場所 ※ (一財)城陽山砂利採取地整備公社 ○ _____ 土壌調査 ※ 行う (受入場所指定の検査) ○ _____ ○ 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 ○ _____ ○ 構内指示の場所に敷き均し ○ 構内指示の場所にたい積 ○ 構外搬出適切処理 ※ 中丹東土木事務所管内及び丹後土木事務所管内で、搬出土量が少量(5.0m<sup>3</sup>以内)かつ緊急の場合等 (表5.2.1)</p> <p>3 鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">異形鉄筋</td> <td>※ SD295A</td> <td>D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm</p> <p>5 コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>種類 ※ 普通コンクリート ○ _____ (表6.2.1) 類別 ※ I類 ○ II類</p> <p>6 コンクリートの強度 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>打 設 部 位</th> <th>F<sub>c</sub> (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">構造体</td> <td>基礎</td> <td>※ 15 ○</td> <td>※ 1.8 ○ 1.8</td> </tr> <tr> <td>上部</td> <td>※ 21 ○</td> <td>○ 15 ※ 1.8</td> <td>土間スラブを含む</td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート</td> <td>※ 18 ○</td> <td>※ 15 ○ 1.8</td> <td>側溝・犬走り</td> </tr> <tr> <td>捨コンクリート</td> <td>※ 18 ○</td> <td>※ 15 ○ 1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽量コンクリート</td> <td>※ 21 ○</td> <td>※ 15 ○ 1.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無筋コンクリート</td> <td>※ 18 ○</td> <td>※ 15 ○ 1.8</td> <td>標高6.11による</td> </tr> </table> <p>※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 【F<sub>c</sub>+構造体強度補正值(S)】N/mm<sup>2</sup> (6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)</p>		種類の記号	径(mm)	備 考	異形鉄筋	※ SD295A	D16以下		※ SD345	D19以上		○			打 設 部 位	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	備 考	構造体	基礎	※ 15 ○	※ 1.8 ○ 1.8	上部	※ 21 ○	○ 15 ※ 1.8	土間スラブを含む	土間コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8	側溝・犬走り	捨コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8		軽量コンクリート	※ 21 ○	※ 15 ○ 1.8		無筋コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8	標高6.11による	<p>工 事 名 (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事</p> <p>縮 尺 A1 1:100 No.A-001 A3 1:200</p> <p>図 番 建築整備工事特記仕様書 1 014枚の内</p>
棟 名	構 造	階 数	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延べ面積 (m <sup>2</sup> )	備 考																																																																																																																																		
①特別養護老人ホーム長老苑	RC造+S造	地上1階	3068.38	2800.12																																																																																																																																			
②わちエンジェル	木造(一部鉄筋コンクリート・S造)	地上1階	1169.86	1162.56																																																																																																																																			
着 工 前	部 数(ナガ1枚につき)	分 類 ・ 規 格	原 版 の 大 き さ (mm)																																																																																																																																				
工 事 中	※ 1 ○	※ カラーサービス版	※ 24×36以上																																																																																																																																				
完 成 時	屋 内	※ 2 ○	※ カラーサービス版 ※ 24×36以上																																																																																																																																				
	( ) 箇所	○ カラーキャビネ版	○ 60×70以上																																																																																																																																				
外 観	※ 2 ○	※ カラーキャビネ版	○ 24×36以上																																																																																																																																				
( ) 箇所		○ カラーパネル半切	※ 60×70以上																																																																																																																																				
工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																																																																																																																						
仮設工事	○ とび作業																																																																																																																																						
鉄筋工事	○ 鉄筋組立作業																																																																																																																																						
コンクリート工事	○ 左官作業 ○ 型枠工事作業 ○ コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																						
鉄骨工事	○ 構造物鉄工作業 ○ とび作業																																																																																																																																						
アロク及びALC等補工事	○ コンクリートアロク工事作業 ○ ALC等補工事作業																																																																																																																																						
カーテンウォール工事	○ 金属製カーテンウォール施工作業 ○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業																																																																																																																																						
防水工事	○ フラット防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ○ ウレタン系塗膜防水工事作業 ○ セメント系防水工事作業 ○ アクリル系塗膜防水工事作業 ○ FRP防水工事作業 ○ 合成ゴムシート防水工事作業 ○ 塩化ビニル系防水工事作業 ○ 改質アクリルシート工法防水工事作業																																																																																																																																						
石工事	○ 石張り作業																																																																																																																																						
タイル工事	○ タイル張り作業																																																																																																																																						
木工事	○ 大工工事作業																																																																																																																																						
屋根及びとい工事	○ 内外装板金作業 ○ かわらぶき作業 ○ スレート工事作業																																																																																																																																						
金属工事	○ 鋼製下地工事作業 ○ 内外装板金作業																																																																																																																																						
左官工事	○ 左官作業																																																																																																																																						
塗装工事	○ 建築塗装作業																																																																																																																																						
建具工事	○ ビル用ガラス施工作業 ○ ガラス工事作業 ○ 自動ドア施工作業																																																																																																																																						
内装工事	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ○ 木目仕上げ工事作業 ○ カーペット系床仕上げ工事作業 ○ 壁装作業																																																																																																																																						
排水工事	○ 建築配管作業																																																																																																																																						
舗装工事	○ 溶融・イントロドマーカー工事作業 ○ 加熱・イントロドマーカー工事作業																																																																																																																																						
植栽工事	○ 造園工事作業																																																																																																																																						
	種類の記号	径(mm)	備 考																																																																																																																																				
異形鉄筋	※ SD295A	D16以下																																																																																																																																					
	※ SD345	D19以上																																																																																																																																					
	○																																																																																																																																						
打 設 部 位	F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	備 考																																																																																																																																				
構造体	基礎	※ 15 ○	※ 1.8 ○ 1.8																																																																																																																																				
	上部	※ 21 ○	○ 15 ※ 1.8	土間スラブを含む																																																																																																																																			
土間コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8	側溝・犬走り																																																																																																																																				
捨コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8																																																																																																																																					
軽量コンクリート	※ 21 ○	※ 15 ○ 1.8																																																																																																																																					
無筋コンクリート	※ 18 ○	※ 15 ○ 1.8	標高6.11による																																																																																																																																				
<p>京丹波町 企画政策課</p> <p>設 計 番 号 _____ 設 計 年 度 _____ 平 成 _____ 年 _____ 月 _____</p>				決 裁 欄	課 長 _____ 担当課長 _____ 副 課 長 _____ 担 当 _____	工 事 名 _____ 図 名 _____																																																																																																																																	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項					
2	7 セメントの種類 (6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○ 高炉セメントのB種 (適用箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントのB種 (施工箇所 _____)	3	防水改修工事	○ 断熱材 (保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板3種b (2枚あり) (ただし、特定フロンを含まないものとする) ○ ○ 断熱材 (露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 (JIS A 9511) (ただし、透湿係数を除く規格に適合するものとする) ○ ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○ ○ 絶縁用シート ※ ポリエチレンフィルム厚0.15 (保護防水工法) ※ フラットヤーンクロス (70g/m <sup>2</sup> 程度) (保護防水断熱工法) ○ ○ 押え金物 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0 ○ ○ 立上がり部の保護 ○ 乾式保護材 ○ 普通れんが ○ 化粧れんが ○ ○ 保護層 平場のコンクリート厚さ ○ mm ○ こて仕上げ mm ○ 床タイル張り等仕上げ mm ○ 脱気装置 材 種 ( ) 設置数量 (1箇所/ _____ m <sup>2</sup> ) ○ 伸縮調整目地 ※ 成形伸縮目地材 ○ ○ 成形緩衝材 ※ M-フック <sup>®</sup> 類製造所の指定品 ○ ○ 壁上排水溝 ※ 図示による	4	塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 0 X 工法 ※ X-1 ○ L 4 X 工法 ※ X-2 表3.6.1 ○ 脱気装置 (X-1) 材種 ( ) 設置数量 (1箇所/ _____ m <sup>2</sup> ) 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 Y 工法 ※ Y-2 ○ P 2 Y 工法 ○ _____ 表3.6.2 保護層 ○ 設ける ○ 設けない ※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外) ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事的物引渡しより10年以上とする。) 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ 設置数量 ( ) 箇所 8 シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8) シーリング材の種類 ※ 改修仕様表3.7.11による シーリング改修工法及び施工箇所 改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所 ○ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ○ 拡張シーリング再充填工法 ○ ブリッジ工法 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験 (部位 _____) ○ 引張接着性試験 (部位 _____)	4	1 施工数量調査 (1.5.2)	※ 行う (○ ひび割れ ○ 欠損 ○ 浮き ○ _____) ※ 施工に先立ち、建築仕上診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 ○ 行わない ○ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 ※ 樹脂注入工法 ○ 低粘度形エポキシ樹脂 ○ 中粘度形エポキシ樹脂 ○ Uカットシール材充填工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 ○ シーリング材 ○ ポリマーセメントモルタル ○ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ○ 可とう性エポキシ樹脂 ○ モルタル塗り仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 ※ 樹脂注入工法 ○ 低粘度形エポキシ樹脂 ○ 中粘度形エポキシ樹脂 ○ Uカットシール材充填工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 ○ シーリング材 ○ ポリマーセメントモルタル ○ シール工法 ※ パテ状エポキシ樹脂 ○ 可とう性エポキシ樹脂 ○ タイル張り仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 ※ 樹脂注入工法 ○ 低粘度形エポキシ樹脂 ○ 中粘度形エポキシ樹脂 ○ Uカットシール材充填工法 ※ 可とう性エポキシ樹脂 ○ シーリング材 ○ ポリマーセメントモルタル タイル撤去後の補修 工 法 材 料 施 工 箇 所 ○ タイル部分張替え工法 ○ ポリマーセメントモルタル ○ 変成シリコーン樹脂 ○ ウレタン樹脂 ○ タイル張替え工法 ○ コンクリート打放し仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 ○ 充填工法 ※ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル ○ モルタル塗替え工法 ※ 改修仕様表4.4.1による ○ タイル張り仕上げ 工 法 材 料 施 工 箇 所 ○ タイル部分張替え工法 ○ ポリマーセメントモルタル ○ 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による) ○ カクシ樹脂系接着剤 (JIS A 5557による) ○ タイル張替え工法 ○ ポリマーセメントモルタル ○ 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による) ○ カクシ樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)					
	8 骨材 (6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉砂 <sup>®</sup> ○ 電気炉酸化砂 <sup>®</sup> ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉砂 <sup>®</sup> ○ 電気炉酸化砂 <sup>®</sup> ○ 鋼砂 <sup>®</sup> ○ フロツカ <sup>®</sup> 砂 <sup>®</sup> ○ 再生骨材H										○ 断熱材 (露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 (JIS A 9511) (ただし、透湿係数を除く規格に適合するものとする) ○ ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による ○	○ 4 塗膜防水 (3.6.2) ~ (3.6.3)	○ 1 施工数量調査 (1.5.2)		
	9 混和材料 (6.3.1)	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A 6204) 防錆剤 ※ 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A 6201) I種、II種若しくはIV種 ○ コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) ○ コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207) ○ コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)										○ 断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 材質 ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号 (JIS A 9511) (ただし、透湿係数を除く規格に適合するものとする) (機械的固定工法) ※ A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板 (機械的固定工法) ※ A種 <sup>®</sup> リフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの (接着工法) ○	○ 5 漏水試験 ※ 水張り試験を行う (○ 屋内 ○ 屋外)	○ 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	○ 2 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	10 構造体強度補正值 (6.3.2)	※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)										○ 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	○ 6 保証書 ※ 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事的物引渡しより10年以上とする。)	○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する										○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 7 施工標識 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 ※ 真鍮製エッチング仕上 150×100 ○ 設置数量 ( ) 箇所	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	12 軽量コンクリート (6.10.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 ○ 可 ○ 不可 種別 ○ 1種 ※ 2種 施工箇所 _____ 所要気乾単位容積質量 _____ t/m <sup>3</sup>										○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 8 シーリング (3.7.2) ~ (3.7.8) シーリング材の種類 ※ 改修仕様表3.7.11による シーリング改修工法及び施工箇所 改 修 工 法 の 種 別 施 工 箇 所 ○ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ○ 拡張シーリング再充填工法 ○ ブリッジ工法 目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ 幅20mm以上、深さ10mm以上 ○ ガラス回りの目地 ※ 幅5mm以上、深さ5mm以上 ○ その他の目地 ※ 幅10mm以上、深さ10mm以上 ○ シーリングの試験 ※ 簡易接着性試験 (部位 _____) ○ 引張接着性試験 (部位 _____)	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	13 寒中コンクリート	※ 予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第1.1節 (寒中コンクリート) による。										○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 9 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3) ※ 外とい (外気に接するとい) ルーフドレン等 ※ 鋳鉄製 ○ 軒どい ※ 硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm たてとい ※ 硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm 谷どい ○ とい受け金物 ※ 亜鉛めっき鋼板 ○ ○ 内とい (VP管は使用しない) たてとい及び横走り管 ※ SGP ○ 径 75mm とい受け金物 ※ 亜鉛めっき鋼板 防露巻き ※ 改修仕様表3.8.4による ※ F☆☆☆☆ ※ 掃除口を設ける (開放性のある自転車置き場のといを除く) ○ 養生鉄管を設ける (径 _____ 厚さ _____ 長さ _____) ○ 既存といの撤去及び養生 ( ) ○ 鋼管製といの防露巻き (※表3.8.5 ○ _____) ○ たてとい受け金物 ( )	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	14 暑中コンクリート (6.12.2)	※ 暑中における構造体強度補正值 (S)										○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (3.9.3) 種 類 板厚(mm) 表面処理 備 考 ○ 250 形 1.6 ○ A-1種 (無着色) 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所達の仕様による。 ○ 300 形 1.8 ○ A-2種 (着色) ○ 350 形 2.0 ○ B-1種 (無着色) ○ ○ B-2種 (着色) ○ 曲げ材 ※ 2.0 ○ ○ _____	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。										○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (3.9.3) 種 類 板厚(mm) 表面処理 備 考 ○ 250 形 1.6 ○ A-1種 (無着色) 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所達の仕様による。 ○ 300 形 1.8 ○ A-2種 (着色) ○ 350 形 2.0 ○ B-1種 (無着色) ○ ○ B-2種 (着色) ○ 曲げ材 ※ 2.0 ○ ○ _____	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)	
	3	1 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)										○ 保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 B 工法 ○ B-1 ※ B-2 表3.3.3 ○ B-3 ○ P 1 B I 工法 ○ B1-1 ※ B1-2 表3.3.4 ○ T 1 B I 工法 ○ B1-3 ○ P 2 A I 工法 ○ A1-1 ※ A1-2 表3.3.5 ○ A1-3 ○ P 2 A 工法 ○ A-1 ※ A-2 表3.3.6 ○ A-3 ○ 露出防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ M 4 C 工法 ○ C-1 ※ C-2 表3.3.7 ○ C-3 ○ C-4 ○ M 3 D 工法 ○ D-1 ※ D-2 表3.3.8 ○ D-3 ○ D-4 ○ P 0 D 工法 ○ D-3 ○ D-4 ○ 露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 0 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ M 3 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ M 4 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 E 工法 ○ E-1 ※ E-2 表3.3.10 ○ P 2 E 工法 ○ E-1 ※ E-2 表3.3.10	○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (3.9.3) 種 類 板厚(mm) 表面処理 備 考 ○ 250 形 1.6 ○ A-1種 (無着色) 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所達の仕様による。 ○ 300 形 1.8 ○ A-2種 (着色) ○ 350 形 2.0 ○ B-1種 (無着色) ○ ○ B-2種 (着色) ○ 曲げ材 ※ 2.0 ○ ○ _____	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)
	3	1 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)										○ 保護防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 B 工法 ○ B-1 ※ B-2 表3.3.3 ○ B-3 ○ P 1 B I 工法 ○ B1-1 ※ B1-2 表3.3.4 ○ T 1 B I 工法 ○ B1-3 ○ P 2 A I 工法 ○ A1-1 ※ A1-2 表3.3.5 ○ A1-3 ○ P 2 A 工法 ○ A-1 ※ A-2 表3.3.6 ○ A-3 ○ 露出防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ M 4 C 工法 ○ C-1 ※ C-2 表3.3.7 ○ C-3 ○ C-4 ○ M 3 D 工法 ○ D-1 ※ D-2 表3.3.8 ○ D-3 ○ D-4 ○ P 0 D 工法 ○ D-3 ○ D-4 ○ 露出防水絶縁断熱工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 0 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ M 3 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ M 4 D I 工法 ○ DI-1 ※ DI-2 表3.3.9 ○ 屋内防水工法 種 別 防水層 施 工 箇 所 ○ P 1 E 工法 ○ E-1 ※ E-2 表3.3.10 ○ P 2 E 工法 ○ E-1 ※ E-2 表3.3.10	○ 3 合成高分子系 <sup>®</sup> フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	○ 10 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (3.9.3) 種 類 板厚(mm) 表面処理 備 考 ○ 250 形 1.6 ○ A-1種 (無着色) 隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所達の仕様による。 ○ 300 形 1.8 ○ A-2種 (着色) ○ 350 形 2.0 ○ B-1種 (無着色) ○ ○ B-2種 (着色) ○ 曲げ材 ※ 2.0 ○ ○ _____	○ 15 コンクリートミキサ車の過積載防止対策等	○ 3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.2)

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																								
4	4 浮き部改修工法 (4.4.10) ~ (4.4.15)	<p>○モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>1箇所 の面積 (㎡)</th> <th>浮き代 (mm)</th> <th>フカビ (本/㎡) 一般部 指定部</th> <th>注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部</th> <th>充填量 (箇所 /ml)</th> <th>注入量 (箇所 /ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>※16</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0</td> <td>※13</td> <td>○</td> <td>※12</td> <td>○</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0を 以上</td> <td>※20</td> <td>○</td> <td>※20</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0を 以上</td> <td>※13</td> <td>○</td> <td>※12</td> <td>○</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>○注入口付フカビ部分 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td></td> <td>※9</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0</td> <td>※9</td> <td>○</td> <td>※9</td> <td>○</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0を 以上</td> <td>※9</td> <td>○</td> <td>※9</td> <td>○</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>○注入口付フカビ 球樹脂注入工法</td> <td>0.25</td> <td>1.0を 以上</td> <td>※10</td> <td>○</td> <td>※10</td> <td>○</td> <td>※50</td> </tr> </table> <p>工法 1箇所の面積 (㎡) 材料 施工箇所</p> <p>○充填工法 0.25 ※エポキシ樹脂モルタル 未満 ○ポリマーセメントモルタル</p> <p>○モルタル塗替え工法 0.25 ※改修仕様表4.4.11による 以上</p>	工法	1箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	フカビ (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所	○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法	0.25	※16	○					○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※13	○	※12	○	※25	○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※20	○	※20	○	○	○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※13	○	※12	○	※25	○注入口付フカビ部分 球樹脂注入工法	0.25		※9	○		○	※25	○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※9	○	※9	○	※25	○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※9	○	※9	○	※25	○注入口付フカビ 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※10	○	※10	○	※50	4	7 Uカットシール材 充填工法 (4.3.5)	<p>シーリング材の上にポリマーセメントモルタル ○行</p> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒 ○</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm ○</p> <p>既製目地材 ○使用する (形状 _____)</p>	4	14 既存塗膜等の除去 及び下地処理 (4.6.3) (4.6.4)	<p>既存塗膜の除去方法 ※ 試験施工実施</p> <p>○サンダー工法 ○高圧水洗工法 (試験施工実施) (加圧力 ○ 30Mpa ○ _____)</p> <p>○塗膜はく離剤工法 (製造所: _____)</p> <p>○水洗い工法 (○デソルバ ○ 高圧ホース 10~15pa)</p> <p>既存塗膜の除去範囲</p> <p>※ 既存仕上げ面全体 ○ 既存壁面の ( _____ % ) ○ 別図に示す範囲</p> <p>下地処理</p> <p>下地調整材 ※セメント系下地調整材 (JIS A 6916) ○ポリマーセメントモルタル ○防水形仕上げ塗材主材 (JIS A 6910(複層仕上げ塗材))</p>	5	10 鋼製建具 (5.4.2) ~(5.4.4)	<p>外部に面する建具の耐風圧性 ○ S-4 ○ S-5 ○ S-6 (表5.2.1) 簡易気密性の気密性、水密性 ※ 適用する ○ 適用しない (表5.4.1)</p> <p>○ 防音ドアセット、防音サッシの適用 (遮音性の等級 _____)</p> <p>○ 断熱ドアセット、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 _____)</p> <p>○ 耐震ドアセットの適用 (面内変形追従性の等級 _____)</p> <p>JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は改修仕様による)</p> <p>※ 製造所標準製作規定寸法許容差による</p> <p>鋼板 ○ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板 (JIS G 3302による) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ○ _____ ○ 溶融亜鉛-5%7%ニッケル合金めっき鋼板及び鋼板 (JIS G 3317による) めっきの付着量 ※ Y08を満足するもの ○ _____</p> <p>鋼板類の厚さ ※表5.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅 が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ○ _____mm</p>
		工法	1箇所 の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	フカビ (本/㎡) 一般部 指定部	注入口 (箇所/㎡) 一般部 指定部	充填量 (箇所 /ml)	注入量 (箇所 /ml)	施工箇所																																																																										
○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法	0.25	※16	○																																																																																
○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※13	○	※12	○	※25																																																																												
○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※20	○	※20	○	○																																																																												
○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※13	○	※12	○	※25																																																																												
○注入口付フカビ部分 球樹脂注入工法	0.25		※9	○		○	※25																																																																												
○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※9	○	※9	○	※25																																																																												
○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※9	○	※9	○	※25																																																																												
○注入口付フカビ 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※10	○	※10	○	※50																																																																												
<p>○フカビ「フカビ」部分 球樹脂注入工法</p>	0.25	※16	○																																																																																
○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※13	○	※12	○	※25																																																																												
○フカビ「フカビ」全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※20	○	※20	○	○																																																																												
○注入口付フカビ部分 球樹脂注入工法	0.25		※9	○		○	※25																																																																												
○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0	※9	○	※9	○	※25																																																																												
○注入口付フカビ全面 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※9	○	※9	○	※25																																																																												
○注入口付フカビ 球樹脂注入工法	0.25	1.0を 以上	※10	○	※10	○	※50																																																																												

Table with 3 columns: Item, Description, and Remarks. Includes sections for building renovation (建具改修工事), window/door specifications (自動ドア, シャッター, オーバーヘッドドア, ガラス), and glass specifications (ガラス, ガラス留め材).

Table with 3 columns: Item, Description, and Remarks. Includes sections for building renovation (建具改修工事), wall removal (既存壁の撤去等), and floor removal (既存床の撤去等).

Table with 3 columns: Item, Description, and Remarks. Includes sections for floor renovation (木下地等), interior wall renovation (内装改修工事), and floor covering (ビニル床シート, タイル).

Table with 3 columns: Item, Description, and Remarks. Includes sections for floor covering (床張り用合板等), wall treatment (防霉・防蟻処理), and floor covering (ビニル床シート, タイル).

章	項目	特記事項
6	内装改修工事	○ 耐動荷重性床シート 種 類 厚 さ (mm) 備 考 ○ ○ ○
		○ 防滑性シート又は床タイル 種 類 性 能 厚 さ (mm) ○ ○ ○
		○ ビニル幅木 種 類 寸 法 (mm) 厚 さ (mm) ○ 軟質 ○ 硬質 ※60 ○75 ○100 ○ ※1.5 ○2.0
		○ ゴム床タイル張り 色 柄 厚 さ (mm) 寸 法 (mm) 品 質 ・ 規 格
		○ 織じゅうたん 種 別 織り方 パイル形状 帯電性 施 工 箇 所 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 適用
		○ タフテッドカーペット パイル形状 パイル長さ(mm) 工 法 帯電性 施 工 箇 所 ※ケリバ-工法 ○ 適用 ○ 全面接着工法
		○ ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) 帯電性 施 工 箇 所 ○ 適用
		○ タイルカーペット 種別 パイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施 工 箇 所 ※1種 ※ルーフパイル ※500×500 ※6.5
		○ タイルカーペットの敷き方 平場部分 ※市松敷き ○ 階段部分 ※模様流し ○
		○ 下敷き材 ※JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm ○ 見切り、押さえ金物 材質、形状等 ※ 図示による ○
10	合成樹脂塗床	厚膜型塗床材 ○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ※平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ○ つや消し仕上げ 塗厚 (mm) ○ ○ エポキシ樹脂系塗床材 ※ 薄膜流し展べ仕上げ ○ 厚膜流し展べ仕上げ (○ 平滑 ○ 防滑) ○ 樹脂モルタル仕上げ (○ 平滑 ○ 防滑) 薄膜型塗床材 ○ エポキシ樹脂系塗床材
		単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.6) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 ○ フローリング ※ なら ○8 ※ あり 釘留め工法 ボード ○ ○12 ○なし ○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法 ○ フローリング ※ なら ○8 ○ 特殊埋込工法 ○ 防水処理足金物付 ブロック ○ ○15 ○ 接着工法 ○ モザイク ○ ○ 接着工法 パーケット 複合フローリング (種別 ○1種 ○2種 ○3種) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 ○ 1×6タイプ ○8 ○ 釘留め工法 ○ フローリング ※ なら ○15 ※ あり ○ 根太張り工法 ボードタイプ ○ ○なし ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 直張り工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 接着工法 ※ 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ 仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地そのままワックス塗り
11	フローリング張り	種別 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 ○ フローリング ※ なら ○8 ※ あり 釘留め工法 ボード ○ ○12 ○なし ○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法 ○ フローリング ※ なら ○8 ○ 特殊埋込工法 ○ 防水処理足金物付 ブロック ○ ○15 ○ 接着工法 ○ モザイク ○ ○ 接着工法 パーケット 複合フローリング (種別 ○1種 ○2種 ○3種) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 ○ 1×6タイプ ○8 ○ 釘留め工法 ○ フローリング ※ なら ○15 ※ あり ○ 根太張り工法 ボードタイプ ○ ○なし ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 直張り工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 接着工法 ※ 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ 仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地そのままワックス塗り
		種別 樹種 厚さ(mm) 下張り 工法 備考 ○ フローリング ※ なら ○8 ※ あり 釘留め工法 ボード ○ ○12 ○なし ○ 根太張り工法 ○ 直張り工法 ○ 接着工法 ○ フローリング ※ なら ○8 ○ 特殊埋込工法 ○ 防水処理足金物付 ブロック ○ ○15 ○ 接着工法 ○ モザイク ○ ○ 接着工法 パーケット 複合フローリング (種別 ○1種 ○2種 ○3種) 種 別 樹 種 厚さ(mm) 下張り 工 法 備 考 ○ 1×6タイプ ○8 ○ 釘留め工法 ○ フローリング ※ なら ○15 ※ あり ○ 根太張り工法 ボードタイプ ○ ○なし ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 直張り工法 ○ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 接着工法 ※ 下張りは合板張りによる。ただし、C種釘留め工法は下張りなしとする。 接着工法のフローリング裏面の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ○ 仕上げ塗装 ※ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 ○ オイルステインの上ワックス塗り ○ 生地そのままワックス塗り

章	項目	特記事項
6	内装改修工事	12 畳敷き (6.12.2) 種別 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 (表6.12.1)
		⑬せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2)(6.13.3) 種別 ※表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1) 種 類 規 格 、 厚 さ (mm) 等 ●せっこうボード(GB-R) ※12.5(不燃) ○9.5(準不燃) ●化粧せっこうボード(GB-D) ○杉葎模様 ○12.5(不燃) ○トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする) ○不燃積層せっこうボード(GB-NC) ○トラバーチン模様 ※9.5(不燃) ○模様なし ○シージングせっこうボード(GB-S) ○15(不燃) ○12.5(準不燃) ※9.5(準不燃) ○強化せっこうボード(GB-F) ○21(不燃) ○15(不燃) ○12.5(不燃) ○ロックウール吸音ボード(RW-B) ※25 ○ ○グラスウール吸音ボード(GW-B) ※25 ○ ○吸音あなきせっこうボード(GB-P) ○9.5(準不燃) ○ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット ○12(不燃) ※9(不燃) 立休模様 ○15(不燃) ※12(不燃) 軒天用 フラット ○12(不燃) ※9(不燃) 立休模様 ○15(不燃) ※12(不燃) ●けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2 (無石綿) ○8.0 ●6.0 ○ ○メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による ※1.2 ○難燃木毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15 ○断熱木毛セメント板 ○30 ○25 ○20 ○15 ○普通合板 厚さ 接着の程度 表板樹種 (※難燃処理○防火処理) 板面の品質 防虫処理○行う ○天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 (※難燃処理○防火処理) 化粧板樹種 ○なら ○しおし 防虫処理○行う ○特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 (※難燃処理○防火処理) 表面性能 ○F ○FW ○W ○WS 防虫処理○行う ○その他下張り用合板
		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※アクリル系シーリング ○ウレタン系シーリング ○ジョイントコンパウンド 合板類の張付け ○A種 ※B種 せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) ○継目処理 ○突付け ○目透かし
		防火性能・品質・規格・施工箇所 ※ 図示による ○ 下表による 施 行 箇 所 防火性能 品 質 ・ 規 格
		下地調整 モルタル及びプラスチック面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.4) コンクリート面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.5) せっこうボード面 ○RA種 ※RB種 (表7.2.7)
		15 天井廻り線 材質 ○アルミニウム製 ○塩化ビニル製
		16 モルタル塗り (6.15.2)~(6.15.6) 既製目地材 ○適用する (形状 _____) 床塗り 目地の設置 ※有り (※押目地 ○ _____) ○無し
		17 タイル張り (6.16.2)~(6.16.5) 伸縮調整目地等 床面 ※縦・横とも4m以内ごと ○ 壁面 ※ 図示による ○ 施工後の確認及試験 浮きの確認 ※ 全面打診による確認を行う 接着力の試験 ※ 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う ○行わない
		18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ※種類及び品質は表6.17.1による ○せっこう系 ○セメント系 厚さ (mm) ○10 ○15 ○ _____
		7 塗装改修工事 ①塗装業者 ○日本塗装工業会の会員 ○監督職員の承諾する塗装業者 ②塗装材料 (7.1.3) 塗料のホルムアルデヒド等の放散量 ※F☆☆☆☆ ○ _____ ③下地調整 (7.2.2)~(7.2.7) 4 錆止め塗料塗り (7.3.2)(7.3.3) 錆止め塗料の種類 (表7.3.1)~(表7.3.4) 塗面 種別 屋外 屋内 規格名称 塗料種類 塗装工程種別 備考 鉄 A種 ※ ※ 鉛・加ムリ・さび止め 1種 新規鉄鋼面 見え掛り部分 ※A種 ○B種 ○C種 鋼 B種 - ○ 水系さび止め - 見え隠れ部分 ※A種 ※B種 ○C種 EP-G塗 面 - ○ 鉛・加ムリ・さび止め 2種 塗替え ※A種 ○B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ※ ※ 鉛酸加ムリ・さび止め - ○A種 ○B種 ○C種 鋼製建具 ※A種 ○B種 ○C種 B種 ○ ○ 変成球*杉樹脂*ラバー - 塗替え ※A種 ○B種 ○C種 C種 - ○ 水系さび止め - ○A種 ○B種 ※C種 EP-G塗
5 塗装工程 (7.4.2)~(7.15.2) 工程の種類 (表7.4.1)~(表7.14.1) 記号 名称 種 別 SOP 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 新規外部 ※A種 ○B種 ○C種 新規内部 ○A種 ※B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 (外部の場合)工程2、 工程4は行わない) ○C種 鉄鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 ※A種 ○B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 ○C種 その他塗替え・新規 ○A種 ※B種 ○C種 CL ラッカー塗り ○A種 ※B種 FE アクリル樹脂エポキシ塗り 木部 表7.6.1 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面 表7.6.2 NAD アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り ○A種 ※B種 DP 耐水性塗料塗り 鉄鋼面 ○A種 ○B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 ○A種 ○B種 ○C種 コンクリート面及び押出成形セメント板面 ○A-1種 ○B-1種 ○C-1種 ○A-2種 ○B-2種 ○C-2種 コンクリート面、プラスチック面、モルタル、せっこうボード、面、しみ止め ○ その他ボード面 ※しみ止め剤 (B種及びC種の場合) 木部 新規 ※A種 ○B種 ○C種 塗替え ○A種 ※B種 ○C種 鉄鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 亜鉛めっき鋼面 ○A種 ※B種 ○C種 EP 合成樹脂エポキシペイント塗り ○A種 ※B種 ○C種 しみ止め ○ ※しみ止め剤 (B種及びC種の場合) EPT 合成樹脂エポキシ樹脂模倣塗料塗り ○A種 ※B種 ○C種 UC ルル樹脂ワニス塗り ○A種 ※B種 LE ラッカー塗り ○A種 ※B種 OS オイルワニス塗り 表7.14.1 WP 木材保護塗料塗り ○A種 ※B種		

章	項目	特記事項
8	耐震補強工事 (鉄筋工事)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) 異形鉄筋 種類 記号 径 (mm) 備 考 ※SD295A D16以下 ※SD345 D19以上 ○ ※SD295AはFc>21の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する
		2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm)
		3 鉄筋の継手 (8.3.4)(8.4.2)(8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手の長さ ○ ○ 重ね継手 ※ガス圧接継手 D19以上 ※ 改修標仕 ○ ○ 機械式継手 ○ 溶接継手 D16以下 8.3.4(c)による ○ ※ 重ね継手 ○ ガス圧接継手 D16以下 ○ 別図表による ○ 機械式継手 種類 ○ 工法 ○ 品質確認方法、修正方法等 ○ ○ 溶接継手 種類 工法 品質確認方法、修正方法等
		4 柱の帯筋 (8.3.4) ○H型 ※W-I型 ○W-II型 ○ 図示
		5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) ※ 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 等 最 小 か ぶり 厚 さ (mm)
		6 壁の配筋及び補強 (8.3.7) ※ 構造特記による
		7 圧接完了後の試験 (8.3.8) 試験方法 ※超音波探傷試験 ○引張試験
		1 コンクリートの強度 (8.1.3)(8.1.4) コンクリートの種類 ※I類 ○II類 ○ 普通コンクリート 打 設 部 位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 備 考 構造体 基礎 ※21 ○ ※15 ○18 上部 ※21 ○ ○15 ※18 ○ 軽量コンクリート 打 設 部 位 Fc(N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 備 考 ※21 ○ ※15 ○18 ※ 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 [Fc + 構造体強度補正值(S)] N/mm <sup>2</sup> (標仕6.14.11によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)
		2 普通コンクリートの材料 (8.2.5) ※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ○ 高炉セメントのB種 (施工箇所 _____) ○ シリカセメント ○ フライアッシュセメントのB種 (施工箇所 _____) 骨材 粗骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 鋼スラグ ○ フロツカスラグ ○ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※A (無害) ○
		3 構造体強度補正值 (8.2.5) ※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表8.2.4) 予想平均気温 (°C) 補正值 (S) 期 間 (打 設 日) 普通 : 早強 (S) 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 : 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 : 5以上 N/mm <sup>2</sup> 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 0以上 : 0以上 6 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 8未満 : 5未満 N/mm <sup>2</sup> 南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む)

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8-2	4 構造体用モルタル (8.2.6)	モルタル圧縮強度 フロー値	8-4	1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)	○ 監督職員の承諾する工場 ※ 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(OS OH OM OR OJ) グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場	8-4	13 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) ※公共建築工事標準仕様書(H25版)による。	適用 ○ 構造用アンカーボルト 材質 ○ SMR400B アンカーフレームの形状及び寸法 ○ 図示による ○ 逆方用アンカーボルト 材質 ○ SS400 アンカーボルトの保持及び埋め込み工法 (表7.10.1) 種別 ○ A種 ○ B種 ○ C種 柱底均しモルタルの厚さ ○ 50mm ○ 30mm	8-7	6 既存構造体との取合い (8.19.9)	※ 8.19.9の方法による他、以下に注意する ※ 開口周囲の既存壁をはずり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 ※ 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚くW配筋の場合) ※ 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) ○ 図示による
	5 型枠(せき板) (8.1.4) (8.2.6) (8.2.7) (8.7.8)	合板の規格 ※ 「合板の日本農林規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 ○ 合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ(mm) ※ 12 ○ 打放し仕上げのせき板 ※ 合板せき板を用いる場合 (表8.1.3) 種別 板面の品質 施工箇所 ○ A種 ※8.2.7(b)(1) ○ ○ B種 ※8.2.7(b)(2) ○ ○ C種 ※8.2.7(b)(2) ○ ○ 合板せき板を用いない場合 せき板の種類		2 施工管理技術者 (8.1.5)	※ 適用する ○ 適用しない		14 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) ※公共建築工事標準仕様書(H25版)による。	モルタルの種類 ※ 無収縮モルタル ○ 厚さ ※ 図示による ○ 工法 ※ A種 ○ B種		7 仕上げ (8.19.10)	※ 図示による ○
	6 コンクリートの試験 (8.8.2) ~ (8.8.6)	※ フレッシュコンクリートの試験 ○ 省略する		3 鋼材の種類 (8.2.8)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 JIS G 3101 SM400A JIS G 3106 SN400A JIS G 3136 ※ 図示による		1 補強工法	○ 内側補強工法 ○ 枠付き鉄骨K型ブレース ○ 枠付き鉄骨X型ブレース ○ 枠付き鉄骨傾付ブレース ○ 枠付き鉄骨マンサード型ブレース ○ 枠付き有開口鉄板パネル ○ 枠付き無開口鉄板パネル 製造所及び専門業者 ( ) ○ 外側補強工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース直付け工法 ○ 枠付き鉄骨ブレース架構増設工法 製造所及び専門業者 ( )			
	7 軽量コンクリート (8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 種類 ○ 1種 ○ 2種 施工箇所 所要気乾単位容積質量 t/m3		4 高力ボルト (8.2.9) (8.13.2) (8.13.7)	ボルトの種類 ※ トルシア形高力ボルト(建築基準法の認定品) ○ JIS形高力ボルト(JIS B 1186) ボルト径 ○ すべり係数試験 ※ 行わない ○ 行う 試験方法等 ○ 図示による		2 既存部分の撤去 (8.20.2)	既存仕上げの撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-21による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-21による。 既存構造体の撤去範囲 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-21による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-21による。			
	8 暑中コンクリート (8.10.2)	※ 暑中における構造強度補正值(S) 地域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補正值 北部地域 7月11日~8月31日 ※ 6N/mm2 中部地域 7月21日~8月31日 ○ 3N/mm2 南部地域 7月1日~9月10日		5 溶融亜鉛めっき高力ボルト (8.2.9)	セットの種類 ○ 1種(F8T) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理(表面粗度5.0µmRz以上) ○ リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 ※ すべり耐力試験 試験方法等 ○ 図示による ○		3 既存部分の処理 (8.20.3)	目荒しの程度 ○ 図示による ※ 本特記仕様書8-6-31による。			
	9 寒中コンクリート	※ 予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には欄位第6章第11節(寒中コンクリート)による。		6 工作図 (8.1.6)	高力ボルト、普通ボルト及びワカボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※ 図示による(図に無い場合は鉄骨設計基準による)		4 既存構造体との取合い (8.20.7)	割製補強筋 ※ 以下のスバイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) ○ 図示による			
	10 コンクリートミキサー車の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる集計表を検査時に提出しなければならない。		7 仮組 (8.12.9)	○ 実施する 部位 ( ) ○ 実施しない		5 仕上げ (8.20.9)	※ 図示による ○			
	11 錆止め塗料 (7.3.2) (8.16.3)	塗料の種類 ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ 垂鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.2による ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ○ 表7.3.1による ※ A種 ○ B種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う		8 溶接作業における技能資格者 (8.14.3)	溶接作業者の技量付加試験 ※ 行わない ○ 行う 試験の要領 ○ 図示による ○		1 補強工法	○ 溶接金網巻き工法 ○ 溶接閉鎖フープ巻き工法 ○ 鋼板巻き工法 ○ 帯板巻き付け工法 ○ 連続繊維補強工法 ○			
	12 耐火被覆 (8.17.2) ~ (8.17.9)	種類 種別 材料・工法 適用箇所(部位・部分) ○ 耐火材吹付け ○ 乾式吹付ロックウール ○ 耐火材張り ○ 半乾式吹付ロックウール ○ 繊維混入ケイ酸カルシウム板 ○ 湿式ロックウール ○ 耐火材巻付け ○ 高断熱ロックウール ○ 5mm張り材塗り - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性能 適用箇所(部位・部分) ○ 30分耐火 ○ 1時間耐火 ○ 2時間耐火 ○ 3時間耐火		9 溶接接合 (8.14.4) (8.14.7) (8.14.10)	開先の形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による ○ エンドタブの切除 ○ 有 ○ 無 適用箇所 ※ 図示による ○ スカラップの形状 ○ 図示による ○ 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による ○ 改良型スカラップ		2 既存部分の撤去 (8.19.2)	既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示による ○ 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。 設備機器・配管等の撤去及び移設 ※ 図示による ○ 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ○ はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は発泡スチロール等で養生する。 ○ 図示による			
	13 1と施工アンカー (8.2.4) (8.11.2)	○ 金属系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____ 径 _____ 埋込み深さ _____ セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ○ 接合筋 種類 _____ 長さ _____ 径 _____ ○ 接着系アンカー 引張耐力 _____ せん断耐力 _____ 種類 ※ カプセル型回転・打撃式 ○ アンカー筋 ※ 改修仕様表8.2.1の異形棒鋼 径 _____ 埋込み深さ _____ 新設壁内への定着長さ _____ 埋め込み配管等の探索 範囲 ※ あと施工アンカー施工部分全て ○ 図示による 方法 ※ 鉄筋探知機(金属探知機)により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ○ 図示による		10 溶接部の試験 (8.14.11)	○ 浸透探傷試験(JIS Z 2343-1) ○ 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) ※ 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) ※ 4.0% ○ 2.5% 検査水準 ※ 第6水準 ○ 第水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) ※ 4.0% ○ 2.5%		3 既存部分の処理 (8.19.3)	目荒しの程度 既存柱・梁 ※ 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) ※ 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 ○ 図示による			
14 2と施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.11.5)	性能確認試験 ※ 行わない ○ 行う 施工確認試験 ※ 行う(引張試験機による引張試験 確認強度 _____) ○ 行わない	11 錆止め塗料 (7.3.2) (8.16.3)	塗料の種類 ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.1による ※ A種 ○ B種 ○ 垂鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 表7.3.2による ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) ○ 表7.3.1による ※ A種 ○ B種 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う	4 鉄筋の加工及び組立て (8.19.6)	割製補強筋 ※ 「スバイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 スバイラル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 ○ 図示による 開口付増設壁の開口端部鉄筋及び増設で壁の端部横筋 ※ ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き ○ 図示による						
15 8-3 耐震補強工事(あと施工アンカー工事)											

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
																												8	10	9	9	11	10	8	10	8	10	8	10	8	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
6 連続繊維補強工法 (8.2.12)(8.21.7)			工法 ※(一)財日本建築防災協会の評価を受けた工法 <input type="checkbox"/> _____ 材料 ※炭素繊維 <input type="checkbox"/> アラミド繊維 <input type="checkbox"/> ガラス繊維 性能 _____ 製造所 _____ 製品名 _____ 柱隅角部の面取りの大きさ 炭素繊維シート ※20mm以上 <input type="checkbox"/> _____ アラミド繊維シート ※10mm以上 <input type="checkbox"/> _____ 仕上げモルタルの除去 ※構造体まで除去する <input type="checkbox"/> もみ除去は行わない ひび割れ部改修 <input type="checkbox"/> 行う ( <input type="checkbox"/> 樹脂注入工法 <input type="checkbox"/> Uカット材充填工法 ) <input type="checkbox"/> シール工法 <input type="checkbox"/> _____ <input type="checkbox"/> 行わない 炭素繊維の目付量 ※図示による <input type="checkbox"/> _____ 炭素繊維シートの巻数 ※図示による <input type="checkbox"/> _____ 引張り試験 ※行う 判定基準 ( _____ ) <input type="checkbox"/> 行わない 付着試験 ※行う 判定基準 ( _____ ) <input type="checkbox"/> 行わない 7 仕上げ (8.21.8) ※図示による <input type="checkbox"/> _____			4 仕上げ (8.23.13) ※図示による <input type="checkbox"/> _____ 5 耐火被覆 (8.23.14) 仕様 _____ 6 エキスパンジョイント (8.23.15) 仕様 _____ 工法 _____ 7 検査 (8.23.16) 項目 _____ 数量 _____ 8 維持管理要領 (8.23.17) 維持管理要領に記載する項目 ※維持管理の目的 ※点検種別( <input type="checkbox"/> 定期点検 <input type="checkbox"/> 応急点検 <input type="checkbox"/> 詳細点検 ) ※点検の実施時期 ※点検項目 ※統括管理体制 ※点検・検査結果の保管 <input type="checkbox"/> _____ 維持管理に必要な計測機器の設置 <input type="checkbox"/> 地震計 (仕様 _____ ) <input type="checkbox"/> 下げ振り (仕様 _____ ) <input type="checkbox"/> けがき板 (仕様 _____ ) <input type="checkbox"/> 別置き試験体 (仕様 _____ ) <input type="checkbox"/> _____ (仕様 _____ )			1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 ※建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能 漏えい抵抗 寸法 (mm) 高さ(mm) _____ _____ _____ _____ _____ _____ スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 <input type="checkbox"/> 図示による コンセント等の取付け ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル <input type="checkbox"/> あり (※固定式 <input type="checkbox"/> 可変式 施工箇所は図示) ※表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 <input type="checkbox"/> _____ 耐衝撃性能 <input type="checkbox"/> _____ ローリングロード性能 <input type="checkbox"/> _____ 耐燃焼性能 <input type="checkbox"/> _____ 3 可動間仕切 (20.2.3) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">H<sup>1</sup>以内に取付ける建具</th> </tr> <tr> <td>構造形式</td> <td>構成基材</td> <td>表面仕上</td> <td>遮音性 寸法・形状</td> </tr> <tr> <td>※パネル式</td> <td></td> <td>※メラミン樹脂又は</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○スタッド式</td> <td></td> <td>アクリル樹脂焼付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○スタッドパネル式</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> 4 移動間仕切 (20.2.4) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">パネル操作法による種類</th> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>遮音性能</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 5 トイレブース (20.2.5) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材</th> <th colspan="2">ポリエステル樹脂系化粧板</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板</td> <td>○ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td colspan="2">(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">( <input type="checkbox"/> _____ )</td> </tr> <tr> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">足金物型</th> </tr> <tr> <td>※幅木型</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th colspan="2">ヒンジ</th> <th colspan="2">グレピティーヒンジ</th> </tr> <tr> <td>※</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> 6 階段滑り止め (20.2.6) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">材種</th> <th colspan="2">幅</th> </tr> <tr> <td>※ステンレス製 (SUS304)</td> <td>○</td> <td colspan="2">※約35mm</td> </tr> <tr> <th colspan="2">形状</th> <th colspan="2">※あり (※ビニル ○ SUS304)</th> </tr> <tr> <td>※ビニルタイヤ入り 両端フット</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th colspan="2">取付工法</th> <th colspan="2">※接着工法 ○埋込み工法</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> 7 階段手すり <input type="checkbox"/> ステンレス製 (SUS304 H <sup>1</sup> L <sup>1</sup> 仕上) 径 _____mm (仕様は金属工事参照) <input type="checkbox"/> 集成材クアラッカー仕上げ 径 _____mm <input type="checkbox"/> ビニル製ハンドレール ※丸型 径 _____mm ○平型 幅 _____mm			種類		H <sup>1</sup> 以内に取付ける建具		構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性 寸法・形状	※パネル式		※メラミン樹脂又は		○スタッド式		アクリル樹脂焼付		○スタッドパネル式		○		パネル操作法による種類		パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能						表面材		ポリエステル樹脂系化粧板		※メラミン樹脂系化粧板	○ ポリエステル樹脂系化粧板	(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)				( <input type="checkbox"/> _____ )		脚部		足金物型		※幅木型	○			ヒンジ		グレピティーヒンジ		※	○			材種		幅		※ステンレス製 (SUS304)	○	※約35mm		形状		※あり (※ビニル ○ SUS304)		※ビニルタイヤ入り 両端フット	○			取付工法		※接着工法 ○埋込み工法						1 既存部分の撤去 (8.24.2) <table border="1"> <tr> <th>方向</th> <th>タイプ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> </tr> <tr> <td>○垂直方向</td> <td>※完全(全貫通型)スリット</td> <td>○耐火型</td> <td>○有り</td> </tr> <tr> <td>○水平方向</td> <td>○せん断型部分スリット</td> <td>○非耐火型</td> <td>○無し</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○ <input type="checkbox"/></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ 既存仕上げの撤去範囲 <input type="checkbox"/> 図示による ※本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 <input type="checkbox"/> 図示による ※本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の処理 <input type="checkbox"/> はつり出し <input type="checkbox"/> 切断 <input type="checkbox"/> 存置(部分スリット) スリットの幅及び深さ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> _____ スリットの充填材 _____ 耐火材の使用 <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない 適用箇所 <input type="checkbox"/> 図示による 遮音材の使用 <input type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない 適用箇所 <input type="checkbox"/> 図示による 既存部分の撤去の補修 ※図示による <input type="checkbox"/> _____ 2 既存部分の処理 (8.24.3)         既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 <input type="checkbox"/> 図示による ※本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) <input type="checkbox"/> 図示による ※本特記仕様書8-6-3による。 3 減衰材 (8.24.4)(8.24.6)         減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 _____ 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 ※「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」 H <sup>1</sup> 又は H <sup>2</sup> 筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 <input type="checkbox"/> 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 ※以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) <input type="checkbox"/> 図示による 4 仕上げ (8.24.8) ※図示による <input type="checkbox"/> _____ 5 検査 (8.24.9) 項目 _____ 数量 _____			方向	タイプ	耐火性能	防水性能	○垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	○耐火型	○有り	○水平方向	○せん断型部分スリット	○非耐火型	○無し	○ <input type="checkbox"/>				9 ユニット及びその他の工事 11 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 ※建設技術評価制度「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 施工箇所 寸法 フロア 耐震性能 所定荷重 帯電防止性能 漏えい抵抗 寸法 (mm) 高さ(mm) _____ _____ _____ _____ _____ _____ スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 <input type="checkbox"/> 図示による コンセント等の取付け ※製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 ※対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル <input type="checkbox"/> あり (※固定式 <input type="checkbox"/> 可変式 施工箇所は図示) ※表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 <input type="checkbox"/> _____ 耐衝撃性能 <input type="checkbox"/> _____ ローリングロード性能 <input type="checkbox"/> _____ 耐燃焼性能 <input type="checkbox"/> _____ 3 可動間仕切 (20.2.3) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> <th colspan="2">H<sup>1</sup>以内に取付ける建具</th> </tr> <tr> <td>構造形式</td> <td>構成基材</td> <td>表面仕上</td> <td>遮音性 寸法・形状</td> </tr> <tr> <td>※パネル式</td> <td></td> <td>※メラミン樹脂又は</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○スタッド式</td> <td></td> <td>アクリル樹脂焼付</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○スタッドパネル式</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> 4 移動間仕切 (20.2.4) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">パネル操作法による種類</th> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>遮音性能</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 5 トイレブース (20.2.5) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面材</th> <th colspan="2">ポリエステル樹脂系化粧板</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板</td> <td>○ ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td colspan="2">(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">( <input type="checkbox"/> _____ )</td> </tr> <tr> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">足金物型</th> </tr> <tr> <td>※幅木型</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th colspan="2">ヒンジ</th> <th colspan="2">グレピティーヒンジ</th> </tr> <tr> <td>※</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> 6 階段滑り止め (20.2.6) <table border="1"> <tr> <th colspan="2">材種</th> <th colspan="2">幅</th> </tr> <tr> <td>※ステンレス製 (SUS304)</td> <td>○</td> <td colspan="2">※約35mm</td> </tr> <tr> <th colspan="2">形状</th> <th colspan="2">※あり (※ビニル ○ SUS304)</th> </tr> <tr> <td>※ビニルタイヤ入り 両端フット</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <th colspan="2">取付工法</th> <th colspan="2">※接着工法 ○埋込み工法</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> 7 階段手すり <input type="checkbox"/> ステンレス製 (SUS304 H <sup>1</sup> L <sup>1</sup> 仕上) 径 _____mm (仕様は金属工事参照) <input type="checkbox"/> 集成材クアラッカー仕上げ 径 _____mm <input type="checkbox"/> ビニル製ハンドレール ※丸型 径 _____mm ○平型 幅 _____mm			種類		H <sup>1</sup> 以内に取付ける建具		構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性 寸法・形状	※パネル式		※メラミン樹脂又は		○スタッド式		アクリル樹脂焼付		○スタッドパネル式		○		パネル操作法による種類		パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能						表面材		ポリエステル樹脂系化粧板		※メラミン樹脂系化粧板	○ ポリエステル樹脂系化粧板	(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)				( <input type="checkbox"/> _____ )		脚部		足金物型		※幅木型	○			ヒンジ		グレピティーヒンジ		※	○			材種		幅		※ステンレス製 (SUS304)	○	※約35mm		形状		※あり (※ビニル ○ SUS304)		※ビニルタイヤ入り 両端フット	○			取付工法		※接着工法 ○埋込み工法						11 ブラインド (20.2.12) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>スラットの材種</th> <th>開閉方式</th> <th>スラットの幅(mm)</th> </tr> <tr> <td>※横形</td> <td>※アルミニウム合金 <input type="checkbox"/></td> <td>※ギヤ式 <input type="checkbox"/> コード式</td> <td>※25 <input type="checkbox"/> 35</td> </tr> <tr> <td>○縦形</td> <td>○アルミブラインド <input type="checkbox"/> 樹脂ブラインド</td> <td>○</td> <td>○80 ※100</td> </tr> </table> 12 ロールスクリーン (20.2.13)         操作方法 <input type="checkbox"/> スプリング式 <input type="checkbox"/> チェーン式 幅及び高さ _____ スクリーンの材種 <input type="checkbox"/> 布製 <input type="checkbox"/> ガラス繊維製 <input type="checkbox"/> 木製 品質・規格 _____ 13 カーテン (20.2.14) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">取得箇所</th> <th colspan="4">形式</th> <th rowspan="2">カーテン用切れ地の種類・品質・特殊加工等</th> <th rowspan="2">ひだの種類</th> </tr> <tr> <th>シグナル</th> <th>引分</th> <th>電動</th> <th>ひも引</th> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 防火法で定める防火性能の表示があるもの 14 カーテンレール (20.2.14)         材種 <input type="checkbox"/> アルミニウム製 <input type="checkbox"/> ステンレス製 <input type="checkbox"/> _____ 形式 <input type="checkbox"/> 片引き <input type="checkbox"/> 引分け(暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 <input type="checkbox"/> C型 <input type="checkbox"/> D型 <input type="checkbox"/> 角型 15 ブラインドボックスカーテンボックス <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 市販品(アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) ※90×150 <input type="checkbox"/> 150×80 <input type="checkbox"/> 120×80 <input type="checkbox"/> _____ 表面処理 <input type="checkbox"/> C-1(無着色) <input type="checkbox"/> C-2(着色) 16 くつふきマット 材種 <input type="checkbox"/> 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) <input type="checkbox"/> 硬質アルミニウム合金(受枠とも) <input type="checkbox"/> ステンレス製(SUS304)(受枠とも) <input type="checkbox"/> ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠) 17 鋼製書架及び棚 品質・規格 _____ 18 収納家具(木製) 品質・規格 _____ 19 掲示板 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">枠の材質</th> <th>表面の材質</th> <th>照明器具</th> <th>施錠</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>○屋内</td> <td>※アルミニウム製(B-2)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○屋外</td> <td>※アルミニウム製(B-2)</td> <td></td> <td>※あり</td> <td>※あり</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td>○なし</td> <td>○なし</td> <td></td> </tr> </table> 20 カウンター 品質・規格 _____ 21 洗面カウンター 材 種 <input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) <input type="checkbox"/> 人工大理石(品質 図示) 実行径(mm) <input type="checkbox"/> 約450 <input type="checkbox"/> 約600 <input type="checkbox"/> _____ 22 流し台ユニット <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部品寸法(mm)</th> <th>規格</th> <th>仕様</th> <th>仕様</th> </tr> <tr> <td>○流し台</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○コンロ台</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○吊戸棚</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>高さ 約500mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○水切り棚</td> <td></td> <td>○優良住宅部品</td> <td>ステンレス製1段式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 23 非常用救助袋等 ※垂直降下式緩下機は防火法に基づく国家検定に合格したものである。 形式 <input type="checkbox"/> 傾斜式 <input type="checkbox"/> 垂直式 品質・規格 _____ 24 鍵箱 市販品 形式 <input type="checkbox"/> 釣下式 <input type="checkbox"/> 差込式 ( <input type="checkbox"/> 30 <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 120 <input type="checkbox"/> _____ ) 組用 ( <input type="checkbox"/> _____ ) 個 25 車止め <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>※上下式鎖内蔵型</td> <td>※ステンレス製(SUS304)</td> <td>※φ76.3 t=2.0</td> <td>※GL+700</td> </tr> <tr> <td>( <input type="checkbox"/> スリット付き )</td> <td></td> <td>○φ114.3 t=2.5</td> <td>○GL+850</td> </tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度 26 フェンス <table border="1"> <tr> <th colspan="2">表面仕上等</th> <th colspan="2">種類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>※垂れ幕つき</td> <td>○ 樹脂塗装</td> <td>○ シンクス</td> <td>○ エキスパンクス</td> <td>○ 片開き</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル被覆</td> <td>○</td> <td>○ ネット</td> <td>○</td> <td>○ 両開き</td> </tr> </table>			形式	スラットの材種	開閉方式	スラットの幅(mm)	※横形	※アルミニウム合金 <input type="checkbox"/>	※ギヤ式 <input type="checkbox"/> コード式	※25 <input type="checkbox"/> 35	○縦形	○アルミブラインド <input type="checkbox"/> 樹脂ブラインド	○	○80 ※100	取得箇所	形式				カーテン用切れ地の種類・品質・特殊加工等	ひだの種類	シグナル	引分	電動	ひも引		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			枠の材質		表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格	○屋内	※アルミニウム製(B-2)		—	—			○ステンレス製(SUS304)					○屋外	※アルミニウム製(B-2)		※あり	※あり			○ステンレス製(SUS304)		○なし	○なし		種類	部品寸法(mm)	規格	仕様	仕様	○流し台		○優良住宅部品	トラップ付き		○コンロ台		○優良住宅部品	バックガード有り		○吊戸棚		○優良住宅部品	高さ 約500mm		○水切り棚		○優良住宅部品	ステンレス製1段式		○					形式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	※上下式鎖内蔵型	※ステンレス製(SUS304)	※φ76.3 t=2.0	※GL+700	( <input type="checkbox"/> スリット付き )		○φ114.3 t=2.5	○GL+850	表面仕上等		種類		門扉の仕様	※垂れ幕つき	○ 樹脂塗装	○ シンクス	○ エキスパンクス	○ 片開き	○ ビニル被覆	○	○ ネット	○	○ 両開き	京丹波町 企画政策課 設計番号 _____ 設計年度 _____ 平成 ____年 ____月 ____日 課長 _____ 担当課長 _____ 副課長 _____ 担当 _____ 工務名 _____ 図名 _____ (仮称)京丹波町地域熱供給施設新築工事 縮尺 A1 1:100 A3 1:200 図番 No.A-007/014 枚の内		
種類		H <sup>1</sup> 以内に取付ける建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性 寸法・形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※パネル式		※メラミン樹脂又は																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○スタッド式		アクリル樹脂焼付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○スタッドパネル式		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
パネル操作法による種類		パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
表面材		ポリエステル樹脂系化粧板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※メラミン樹脂系化粧板	○ ポリエステル樹脂系化粧板	(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		( <input type="checkbox"/> _____ )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
脚部		足金物型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※幅木型	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ヒンジ		グレピティーヒンジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材種		幅																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ステンレス製 (SUS304)	○	※約35mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
形状		※あり (※ビニル ○ SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ビニルタイヤ入り 両端フット	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
取付工法		※接着工法 ○埋込み工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
方向	タイプ	耐火性能	防水性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○垂直方向	※完全(全貫通型)スリット	○耐火型	○有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○水平方向	○せん断型部分スリット	○非耐火型	○無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○ <input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類		H <sup>1</sup> 以内に取付ける建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
構造形式	構成基材	表面仕上	遮音性 寸法・形状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※パネル式		※メラミン樹脂又は																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○スタッド式		アクリル樹脂焼付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○スタッドパネル式		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
パネル操作法による種類		パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
表面材		ポリエステル樹脂系化粧板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※メラミン樹脂系化粧板	○ ポリエステル樹脂系化粧板	(※標準色、アルミ製コーナーエッジ付き)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		( <input type="checkbox"/> _____ )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
脚部		足金物型																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※幅木型	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
ヒンジ		グレピティーヒンジ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材種		幅																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ステンレス製 (SUS304)	○	※約35mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
形状		※あり (※ビニル ○ SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ビニルタイヤ入り 両端フット	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
取付工法		※接着工法 ○埋込み工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
形式	スラットの材種	開閉方式	スラットの幅(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※横形	※アルミニウム合金 <input type="checkbox"/>	※ギヤ式 <input type="checkbox"/> コード式	※25 <input type="checkbox"/> 35																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○縦形	○アルミブラインド <input type="checkbox"/> 樹脂ブラインド	○	○80 ※100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
取得箇所	形式				カーテン用切れ地の種類・品質・特殊加工等	ひだの種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	シグナル	引分	電動	ひも引																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
枠の材質		表面の材質	照明器具	施錠	品質・規格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○屋内	※アルミニウム製(B-2)		—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ステンレス製(SUS304)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
○屋外	※アルミニウム製(B-2)		※あり	※あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ステンレス製(SUS304)		○なし	○なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	部品寸法(mm)	規格	仕様	仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○流し台		○優良住宅部品	トラップ付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○コンロ台		○優良住宅部品	バックガード有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○吊戸棚		○優良住宅部品	高さ 約500mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○水切り棚		○優良住宅部品	ステンレス製1段式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
形式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※上下式鎖内蔵型	※ステンレス製(SUS304)	※φ76.3 t=2.0	※GL+700																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
( <input type="checkbox"/> スリット付き )		○φ114.3 t=2.5	○GL+850																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面仕上等		種類		門扉の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※垂れ幕つき	○ 樹脂塗装	○ シンクス	○ エキスパンクス	○ 片開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
○ ビニル被覆	○	○ ネット	○	○ 両開き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																	
10 排水工事	<p>本章の項目及び特記事項の( )内表示番号は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(平成25年版)の該当項目、該当図又は該当表を示す。</p> <p>1 排水管 (21.2.1) (21.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種 (表21.2.1)</th> <th>管 の 種 類</th> <th>呼び径</th> <th>基床の厚さ</th> </tr> <tr> <td>○ 遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管(※ 1種 ○ 2種)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>※ V P ○ V U</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手</td> <td>※ D V</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2 側溝、排水樹及ふた (21.2.2)</p> <p>○ 側溝の形状および寸法 ※ 図示による ○ _____</p> <p>○ 排水柵の種類 ※ 図示による ○ _____</p> <p>○ 鋼鉄製マンホールふたの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適 用 荷 重 (安全荷重)</th> </tr> <tr> <td>○ 水封形 ○ 密閉形(7-バ-ハツ式)</td> <td>○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)</td> </tr> <tr> <td>○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(ハツ式)</td> <td>○ T-20用 (50KN)</td> </tr> </table> <p>○ グレーチングふた</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>適用荷重</th> <th>タイプ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○ 溝ふた用</td> <td>○ 鋼製</td> <td>受枠 ※ なし</td> <td>○ 歩行用</td> <td>○ 普通目</td> <td>○ 平形</td> </tr> <tr> <td>○ 樹ふた用</td> <td>○ ステン製</td> <td>○ あり</td> <td>○ T-2用</td> <td>※ 細目</td> <td>○ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>○ 嵩上げ用</td> <td>○ 鋼鉄製</td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-6用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ U字溝用</td> <td>○ 樹脂製</td> <td>ボルト固定 ※ なし</td> <td>○ T-14用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-20用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3 緑石 (21.4.2)</p> <p>歩車道境界ブロックのJIS による呼び名 ※ A ○ _____</p> <p>地先境界ブロックのJIS による呼び名 ○ A ○ C ○ _____</p> <p>砂利地業の厚さ ※ 100mm ○ _____</p> <p>4 コンクリート側溝 (21.4.2)</p> <p>鉄筋コンクリートL形 のJIS による呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____</p> <p>コンクリートL形 のJIS による呼び名 ○ 250A ※ 250B ○ _____</p> <p>鉄筋コンクリートU形 のJIS による呼び名 ○ 240 ○ 300A ○ 360A ○ _____</p> <p>現場打ちコンクリートの設計基準強度 <math>F_c(N/mm^2)</math> ○ 1.8 ○ _____</p> <p>地業の材料 ○ C-40 ※ RC-40 ○ C-30 ○ RC-30 ○ C-20 ○ RC-20</p>	材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ	○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管(※ 1種 ○ 2種)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ V P ○ V U			○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	※ D V			種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)	○ 水封形 ○ 密閉形(7-バ-ハツ式)	○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)	○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(ハツ式)	○ T-20用 (50KN)	種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状	○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠 ※ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形	○ 樹ふた用	○ ステン製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形	○ 嵩上げ用	○ 鋼鉄製	○ 図示	○ T-6用			○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※ なし	○ T-14用					○ 図示	○ T-20用			11 舗装工事	<p>4 コンクリート舗装 (22.5.2) ~ (22.5.6)</p> <p>構成</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部 位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>設計基準強度(N/m<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ(cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>早強セメント ※ 使用しない ○ 使用する</p> <p>目地</p> <p>注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ○ 高弾性タイプ</p> <p>種類 ○ 突合せ目地 ○ 収縮目地 ○ 伸縮調整目地 ○ _____</p> <p>間隔 ○ 5m程度ごと ○ 4m程度ごと ○ 3m程度ごと ○ _____</p> <p>コンクリート版厚さの試験 ○ 行う ※ 行わない</p> <p>5 カラー塗装 (22.6.3) ~ (22.6.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系7777混合物</td> <td>○ 車道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石</td> <td>○ 歩道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○ 7777ト ○ 石油樹脂(添加量 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7777混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車道部の基層</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 適用する ※ 適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>舗装の厚さ 車道部(基層なし) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車道部(基層あり) _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道部 _____ mm</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>6 透水性舗装 (22.7.2) ~ (22.7.6)</p> <p>舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____</p> <p>舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない</p> <p>透水性7777混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない</p> <p>7 排水性舗装 (22.8.2) ~ (22.8.6)</p> <p>舗装構成及び厚さ ※ 図示による ○ _____</p> <p>舗装厚さの試験 ※ 行う ○ 行わない</p> <p>アスファルト混合物の抽出試験 ○ 行う ※ 行わない</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.9.2) (22.9.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板(N) ○ カラー平板(O)</td> <td>※ 300角</td> <td>※ 60</td> <td>※ 砂</td> </tr> <tr> <td>○ 洗出平板(W) ○ 凝石(S) ○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ モルタル</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>○ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※ 標準ブロック ○ 京エレン</td> <td>車道部 ※ 80 ○ ○</td> <td>※ 標準品</td> </tr> <tr> <td>○ 透水性ブロック</td> <td>歩道部 ※ 60 ○ 80 ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 植生ブロック</td> <td>○ 60 ※ 80 ○ 100 ○</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>○ 鋪石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>工 法</th> <th>規 格 品</th> </tr> <tr> <td>※ 小鋪石(花崗岩)</td> <td>※ 80~100</td> <td>※ うろこ張り</td> <td>※ 2等品</td> </tr> <tr> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> <td>○ ○</td> </tr> </table> <p>品質・規格 _____</p> <p>9 砂利敷き (22.10.2)</p> <p>通 路 ※ A種 ○ B種</p> <p>建物周囲その他 ○ A種 ※ B種</p> <p>※ 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする</p> <p>10 白線引き</p> <p>種 類 ○ 溶融式 ○ ペイント式 幅 (cm) ○ 15 ○ _____</p>	舗装の種類	部 位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/m <sup>2</sup> )	スランプ(cm)						種 類	部 位	配合その他	※ 加熱系7777混合物	○ 車道部		添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩道部		結合材 ○ 7777ト ○ 石油樹脂(添加量 _____)			7777混合物等の抽出試験			○ 適用する ※ 適用しない			車道部の基層			○ 適用する ※ 適用しない			舗装の厚さ 車道部(基層なし) _____ mm			車道部(基層あり) _____ mm			歩道部 _____ mm			種 類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地	※ 普通平板(N) ○ カラー平板(O)	※ 300角	※ 60	※ 砂	○ 洗出平板(W) ○ 凝石(S) ○ ○	○ ○	○ ○	○ モルタル	種 類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等	※ 標準ブロック ○ 京エレン	車道部 ※ 80 ○ ○	※ 標準品	○ 透水性ブロック	歩道部 ※ 60 ○ 80 ○		○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○		種 類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品	※ 小鋪石(花崗岩)	※ 80~100	※ うろこ張り	※ 2等品	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	12 環境配慮改修工事	<p>1 一般事項 (9.1.1)</p> <p>○ アスベスト含有吹付け材処理工事</p> <p>○ 除去法 ( )</p> <p>○ 封じ込め工法 ( )</p> <p>○ 囲い込み工法 ( )</p> <p>○ アスベスト含有保温材処理工事</p> <p>○ アスベスト含有成形板処理工事</p> <p>2 施工調査等 (9.1.1)</p> <p>施工調査</p> <p>○ 行う</p> <p>アスベストの処理に当たり、あらかじめ事前の施工調査を下記により行い、結果を図面により監督職員に提出する。</p> <p>調査箇所 ※ 図示による ○ _____</p> <p>調査事項</p> <p>※ アスベスト使用部位の確認</p> <p>※ アスベスト層の厚さの確認</p> <p>※ 施工範囲と工事管理区分の確認</p> <p>※ 更衣施設等の仮設計画</p> <p>※ 廃棄物等の搬出方法</p> <p>○ 行わない</p> <p>アスベスト含有分析</p> <p>○ 行う (分析結果を監督職員に提出する)</p> <p>※ JIS A 1481に基づくこと</p> <table border="1"> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )</td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 行わない</p> <p>3 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>負圧粉じん装置の排出吹き出し口</td> <td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>処理作業室外</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>シート養生中</td> </tr> <tr> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点</td> <td>シート撤去後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>○ 1点 ○ 2点 ○ 点</td> <td>1週間以降</td> </tr> </table> <p>※ 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>○ 行わない</p> <p>測定機関 ※ (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 ※ 3部 ○ _____部</p> <p>4 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>施工業者</p> <p>※ 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。</p> <p>○ 「吹付け粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築セクターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>処理を行う範囲</p> <p>※ 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認)</p> <p>○ 全ての室 ○ _____</p> <p>除去法</p> <p>※ 改修標値9.1.3(b)(1)による</p> <p>○ _____</p> <p>除去物の処理方法</p> <p>※ 密封処理(二重袋梱包)</p> <p>隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。</p> <p>○ セメント固化</p> <p>○ 溶融固化</p> <p>除去物等の保管</p> <p>※ 他の建設副産物等と分別して保管する。</p> <p>※ 飛散防止措置を講ずる。</p> <p>※ アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>5 アスベスト含有保温材の除去 (9.1.4)</p> <p>処理を行う範囲</p> <p>※ 図示による</p> <p>○ _____</p> <p>除去の方法</p> <p>※ 原形のまま手ばらし</p> <p>○ 手ばらし以外(この場合は改修標値9.1.3(a)による隔離とする)</p> <p>○ _____</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )			○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )			○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )			○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )		測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	処理作業前	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点			調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点		処理作業中	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点			負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点			処理作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点		処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中		処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後		調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降	12 環境配慮改修工事	<p>6 アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)</p> <p>処理を行う範囲</p> <p>※ 図示による</p> <p>○ _____</p> <p>除去の方法</p> <p>※ 湿潤化したのちに手ばらし</p> <p>○ 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>○ _____</p> <p>処理を行うアスベスト成形板の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 化粧石膏ボード</td> <td>○ 9.5</td> <td>○ 石綿ロックウール</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ ビニル床タイル</td> <td>○ 2.0</td> <td>○ 石綿スレート(外装・内装)</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ 石綿保温材</td> <td>○ ○</td> <td>○ 押出成形セメント板</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ けいそう土保温材</td> <td>○ ○</td> <td>○ 化粧石綿セメント板</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td>○ ○</td> <td>○ 石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ けい酸カルシウム保温材</td> <td>○ ○</td> <td>○ 化粧石綿セメントけい酸カルシウム板</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ 親水性パーライト保温材</td> <td>○ ○</td> <td>○ 吸音穴あき石綿セメント板</td> <td>○ ○</td> </tr> <tr> <td>○ 繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td>○ ○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.3)</p> <p>工法の種類 ○ P1B1 ○ T1B1 ○ P2A1 ○ M3D1 ○ POD1 ○ M4D1</p> <p>8 外断熱改修工事 (9.3.2) ~ (9.3.4)</p> <p>断熱材 種類 ○ _____</p> <p>厚さ (mm) ○ _____</p> <p>外装材 ○ 適用する (種類 _____ 防火性能 _____)</p> <p>○ 適用しない</p> <p>既存外壁 ○ 仕上げ材の撤去 ( )</p> <p>○ 下地の清掃 ( )</p> <p>○ 下地の欠損部の改修 ( 4.1.4 [外壁改修工法の種類] による )</p> <p>施工 ※ 断熱材製造所の仕様による ○ _____</p> <p>通気層 ○ 有(厚さ _____ mm) ○ 無</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ○ _____</p> <p>9 ガラス改修工事 (9.4.2)</p> <p>材料 ○ 板ガラスの種類 _____</p> <p>○ 板ガラスの厚さ _____</p> <p>○ 複層ガラスの厚さ _____</p> <p>○ 複層ガラスの断熱性・日射遮蔽性 ※ U3-1 ○ U3-2</p> <p>10 断熱・防露改修工事 (9.5.2) (9.5.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">材 料</th> <th rowspan="2">そ の 他</th> </tr> <tr> <td>○ ビ-ズ法<sup>®</sup>吹付フォーム保温材</td> <td></td> <td>断熱材厚さ ○ _____ mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込み工法</td> <td>○ 押出型<sup>®</sup>吹付フォーム保温材</td> <td></td> <td>接着剤の<sup>®</sup>7777<sup>®</sup>放散量</td> </tr> <tr> <td>○ 硬質ウレタンフォーム保温材A種</td> <td>JIS A 9511</td> <td>※ F☆☆☆☆ ○ _____</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断熱材現場発泡工法</td> <td>○ フォームフォーム保温材(※ F☆☆☆☆ ○ _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ A種1 ○ _____</td> <td>JIS A 9526</td> <td>吹付け厚さ ○ _____ mm</td> </tr> </table> <p>※ 開口部等補修用接着剤の<sup>®</sup>7777<sup>®</sup>放散量は F☆☆☆☆ とする</p> <p>※ 特定フロンを使用しないものとする。</p> <p>11 屋上緑化 (9.6.2) ~ (9.6.4)</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 ※ 図示による ○ 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類</p> <p>※ 図示による</p> <p>○ コウライシバ ( ※ 目地張り ○ _____ )</p> <p>○ ノシバ ( ※ 目地張り ○ _____ )</p> <p>○ セダム類 ( ○ カット ○ ふるい ○ プラグ苗 ○ _____ )</p> <p>材料 ○ 見切材 _____ ○ 舗装材 _____</p> <p>○ 水抜き管 _____ ○ マチング材 _____</p> <p>かん水装置 ○ 設置する ( _____ )</p> <p>○ 設置しない</p> <p>支柱材 ※ 杉(焼き丸木) ○ 竹 ○ ひのき ○ から松(皮はぎ)</p> <p>形式 ※ 図示による ○ _____</p> <p>防腐処理方法 ※ 加圧式防腐処理丸木 ○ _____</p> <p>幹巻用材料 ※ 幹巻きテープ ○ わら及びこも</p> <p>既存保護層の撤去 ○ 行う (工法は3.2.3 [既存保護層等の撤去] による)</p> <p>○ 行わない</p> <p>新植芝及び地被類の枯補償 ※ 引渡しの日から1年 ○ 引渡しの日から _____ 年</p>	種 類	厚 さ (mm)	種 類	厚 さ (mm)	○ 化粧石膏ボード	○ 9.5	○ 石綿ロックウール	○ ○	○ ビニル床タイル	○ 2.0	○ 石綿スレート(外装・内装)	○ ○	○ 石綿保温材	○ ○	○ 押出成形セメント板	○ ○	○ けいそう土保温材	○ ○	○ 化粧石綿セメント板	○ ○	○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材	○ ○	○ 石綿セメントけい酸カルシウム板	○ ○	○ けい酸カルシウム保温材	○ ○	○ 化粧石綿セメントけい酸カルシウム板	○ ○	○ 親水性パーライト保温材	○ ○	○ 吸音穴あき石綿セメント板	○ ○	○ 繊維混入けい酸カルシウム板	○ ○			断熱材	材 料		そ の 他	○ ビ-ズ法 <sup>®</sup> 吹付フォーム保温材		断熱材厚さ ○ _____ mm	打込み工法	○ 押出型 <sup>®</sup> 吹付フォーム保温材		接着剤の <sup>®</sup> 7777 <sup>®</sup> 放散量	○ 硬質ウレタンフォーム保温材A種	JIS A 9511	※ F☆☆☆☆ ○ _____	断熱材現場発泡工法	○ フォームフォーム保温材(※ F☆☆☆☆ ○ _____)			※ A種1 ○ _____	JIS A 9526	吹付け厚さ ○ _____ mm	種 類	寸 法	数 量	備 考								
材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	呼び径	基床の厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管(※ 1種 ○ 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 硬質ポリ塩化ビニル管	※ V P ○ V U																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 硬質ポリ塩化ビニル管継手	※ D V																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 水封形 ○ 密閉形(7-バ-ハツ式)	○ T-2用 (5KN) ○ T-6用 (115KN)																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(ハツ式)	○ T-20用 (50KN)																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 溝ふた用	○ 鋼製	受枠 ※ なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 樹ふた用	○ ステン製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形																																																																																																																																																																																																																																																																			
○ 嵩上げ用	○ 鋼鉄製	○ 図示	○ T-6用																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※ なし	○ T-14用																																																																																																																																																																																																																																																																					
		○ 図示	○ T-20用																																																																																																																																																																																																																																																																					
舗装の種類	部 位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/m <sup>2</sup> )	スランプ(cm)																																																																																																																																																																																																																																																																				
種 類	部 位	配合その他																																																																																																																																																																																																																																																																						
※ 加熱系7777混合物	○ 車道部																																																																																																																																																																																																																																																																							
添加剤 ○ 着色骨材 ○ 自然石	○ 歩道部																																																																																																																																																																																																																																																																							
結合材 ○ 7777ト ○ 石油樹脂(添加量 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																								
7777混合物等の抽出試験																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
車道部の基層																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 適用する ※ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																								
舗装の厚さ 車道部(基層なし) _____ mm																																																																																																																																																																																																																																																																								
車道部(基層あり) _____ mm																																																																																																																																																																																																																																																																								
歩道部 _____ mm																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 類	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	目 地																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ 普通平板(N) ○ カラー平板(O)	※ 300角	※ 60	※ 砂																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 洗出平板(W) ○ 凝石(S) ○ ○	○ ○	○ ○	○ モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類	厚 さ (mm)	色彩及び表面加工等																																																																																																																																																																																																																																																																						
※ 標準ブロック ○ 京エレン	車道部 ※ 80 ○ ○	※ 標準品																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 透水性ブロック	歩道部 ※ 60 ○ 80 ○																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 植生ブロック	○ 60 ※ 80 ○ 100 ○																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	厚 さ (mm)	工 法	規 格 品																																																																																																																																																																																																																																																																					
※ 小鋪石(花崗岩)	※ 80~100	※ うろこ張り	※ 2等品																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ○	○ ○	○ ○	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																						
	○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )																																																																																																																																																																																																																																																																							
	○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )																																																																																																																																																																																																																																																																							
	○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )																																																																																																																																																																																																																																																																							
	○ ( 試料数 ) ○ ( 試料数 )																																																																																																																																																																																																																																																																							
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																					
処理作業前	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																																																																																																																																																																																																																																						
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点																																																																																																																																																																																																																																																																						
処理作業中	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																																																																																																																																																																																																																																						
	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各 ○ 1点 ○ 2点 ○ 3点																																																																																																																																																																																																																																																																						
	処理作業室外	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点																																																																																																																																																																																																																																																																						
処理作業後	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	シート養生中																																																																																																																																																																																																																																																																					
	処理作業室内	○ 1点 ○ 2点 ○ 3点 ○ 点	シート撤去後																																																																																																																																																																																																																																																																					
	調査対象室外部付近	○ 1点 ○ 2点 ○ 点	1週間以降																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類	厚 さ (mm)	種 類	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 化粧石膏ボード	○ 9.5	○ 石綿ロックウール	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ ビニル床タイル	○ 2.0	○ 石綿スレート(外装・内装)	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 石綿保温材	○ ○	○ 押出成形セメント板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ けいそう土保温材	○ ○	○ 化粧石綿セメント板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 塩基性炭酸マグネシウム保温材	○ ○	○ 石綿セメントけい酸カルシウム板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ けい酸カルシウム保温材	○ ○	○ 化粧石綿セメントけい酸カルシウム板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 親水性パーライト保温材	○ ○	○ 吸音穴あき石綿セメント板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 繊維混入けい酸カルシウム板	○ ○																																																																																																																																																																																																																																																																							
断熱材	材 料		そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																					
	○ ビ-ズ法 <sup>®</sup> 吹付フォーム保温材			断熱材厚さ ○ _____ mm																																																																																																																																																																																																																																																																				
打込み工法	○ 押出型 <sup>®</sup> 吹付フォーム保温材		接着剤の <sup>®</sup> 7777 <sup>®</sup> 放散量																																																																																																																																																																																																																																																																					
	○ 硬質ウレタンフォーム保温材A種	JIS A 9511	※ F☆☆☆☆ ○ _____																																																																																																																																																																																																																																																																					
断熱材現場発泡工法	○ フォームフォーム保温材(※ F☆☆☆☆ ○ _____)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	※ A種1 ○ _____	JIS A 9526	吹付け厚さ ○ _____ mm																																																																																																																																																																																																																																																																					
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																					

工事区分表		区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。																																					
項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備	項目		建	電	機	機	外	備								
躯体関係		仕上げ関係														屋外排水設備・外構										電気配線配管													
1. RC造基礎部 (梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ							1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○							1. 雨水	屋外雨水排水設備									機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)									2次側			
	貫通スリーブの補強								補強を要しないボードの切込み	○								樹及び樹蓋										機器付属の制御盤への電源供給配管配線									1次側		
	開口補強を要する型枠材及び取付け								開口部の重出し					○				ルーフトレイン										自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線											
	開口部の補強								リブ天井仕上げ材の器具廻り取合い									たて樋										自動扉への電源供給											
	開口補強を要しない型枠材及び取付け								補強を要するボードの切込み	○								横引き配管										自動扉キースイッチ及び配管											
	貫通孔・開口部の重出し								2. 既製間仕切り	切込み及び補強									雨水斜										自動扉本体及びキースイッチ以降の配線										
	スリーブ・型枠の穴埋め								位置ボックス									2. 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備										電動シャッター電源供給										
2. S・SRC造 (梁・壁・床)の貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強							衛生器具類・機器類取付用壁補強									樹及び樹蓋									電動シャッター操作スイッチ用位置ボックス及び配管													
	開口補強を要する型枠材及び取付け															化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上									電動シャッター本体・操作スイッチ及びその間の配線														
	開口部の補強							3. 吊ボルト、インサート及び架台	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用架台																	室内機と屋外機の渡り(連絡)配線													
	開口補強を要しない型枠材及び取付け							S造の場合設備吊ボルト用構造部材								3. 煙突	煙突									機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管													
	貫通スリーブ						○	○								発電機室から煙突までの排気管									機器と操作スイッチの渡り配線														
	貫通孔・開口部の重出し						○	○	4. 外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ							煙道接続用スリーブ								小使器用節水装置への電源供給														
	スリーブ・型枠の穴埋め								ウエザーカバー、バンドキャップ								スリーブ・型枠の穴埋め									注油口内アース端子よりのアース用配管配線													
3. 設備機器の基礎	屋上設置の基礎							換気扇								煙突の基礎									防火戸の連動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け														
	屋上基礎で押さえコンクリートアンカーしない軽微なもの							換気扇用枠																	上記の配線														
	室内設置の基礎						○	○	5. その他	2重ビット及びトレンチのマンホール蓋							4. 浄化槽の躯体	現場施工形							防火・防煙シャッター一及び二次側配線														
	受水槽基礎							機器搬入用フック、ビーム								ユニット形									上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線														
	屋外設置の基礎						○	○	機器搬入用フック、ビームの重出し							土留め関係工事									防煙ダンパー														
4. その他	無筋コンクリート							点検口(天井・床下・壁)	○						5. 地下貯油槽	タンク室の躯体									上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線														
	フック設置							自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強							(タンク室を設ける場合)	タンク室の乾燥砂充填									排煙口														
	ポーチ							消火器BOX							タンク室のタンク本体及び配管									上記連動制御器・煙感知器の取付け及び配線															
5. 土工事	掘削							消火器							タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事									電気錠への電源供給															
	盛土							グリーストラップ							土留め関係工事									避雷導体間の接続工事															
	埋め戻し							トラフ・ビット類(特)							6. その他	駐車場ガソリントラップ									引き込み用ハンドホール														
	床付							トラフ・ビット類(蓋)							機械式駐車装置									燃料小出槽及びポンプ															
6. 木造 (梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ						○	○	燃料小出し槽及びポンプの防油堤(塗装を含む)							駐車場管理システム									燃料小出槽及びポンプの基礎														
	貫通孔・開口部の重出し						○	○	テブサイロ室ビット壁開口塞ぎ																燃料小出槽及びポンプの基礎の重出し														
									テブサイロ室ビット1床モルタル仕上げ																自家発電電気室 建築用換気ファン														
									テブサイロ室ビット2床防水モルタル仕上げ																同上配線														
									ボイラー室ビット床防水モルタル仕上げ																														

計画概要

敷地案内図

S:1/2000

Table with 4 columns: No., Item Name, Content, and Remarks. It details project information, zoning regulations, and site characteristics.

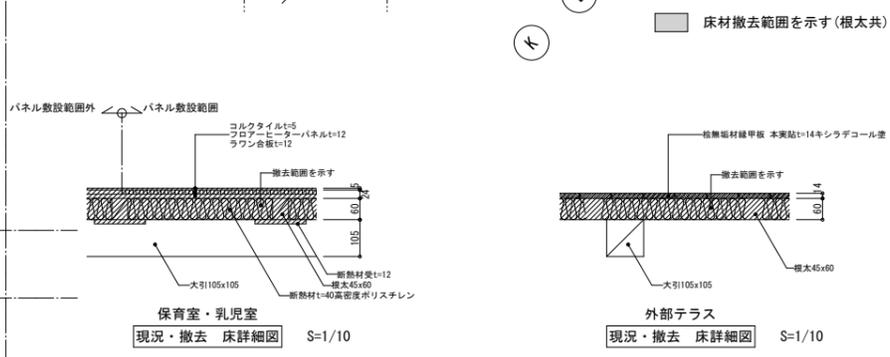
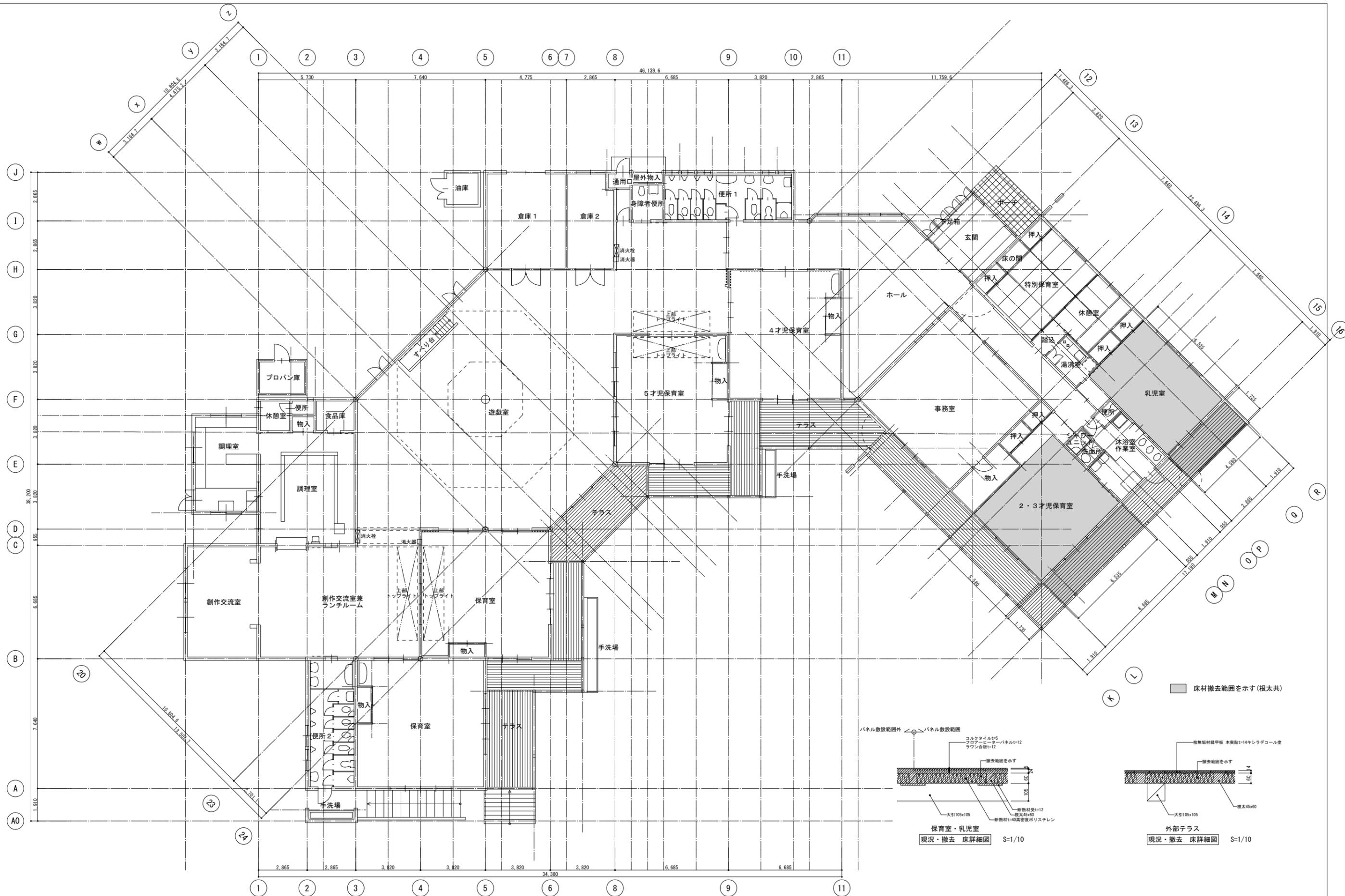


出典: 国土地理院

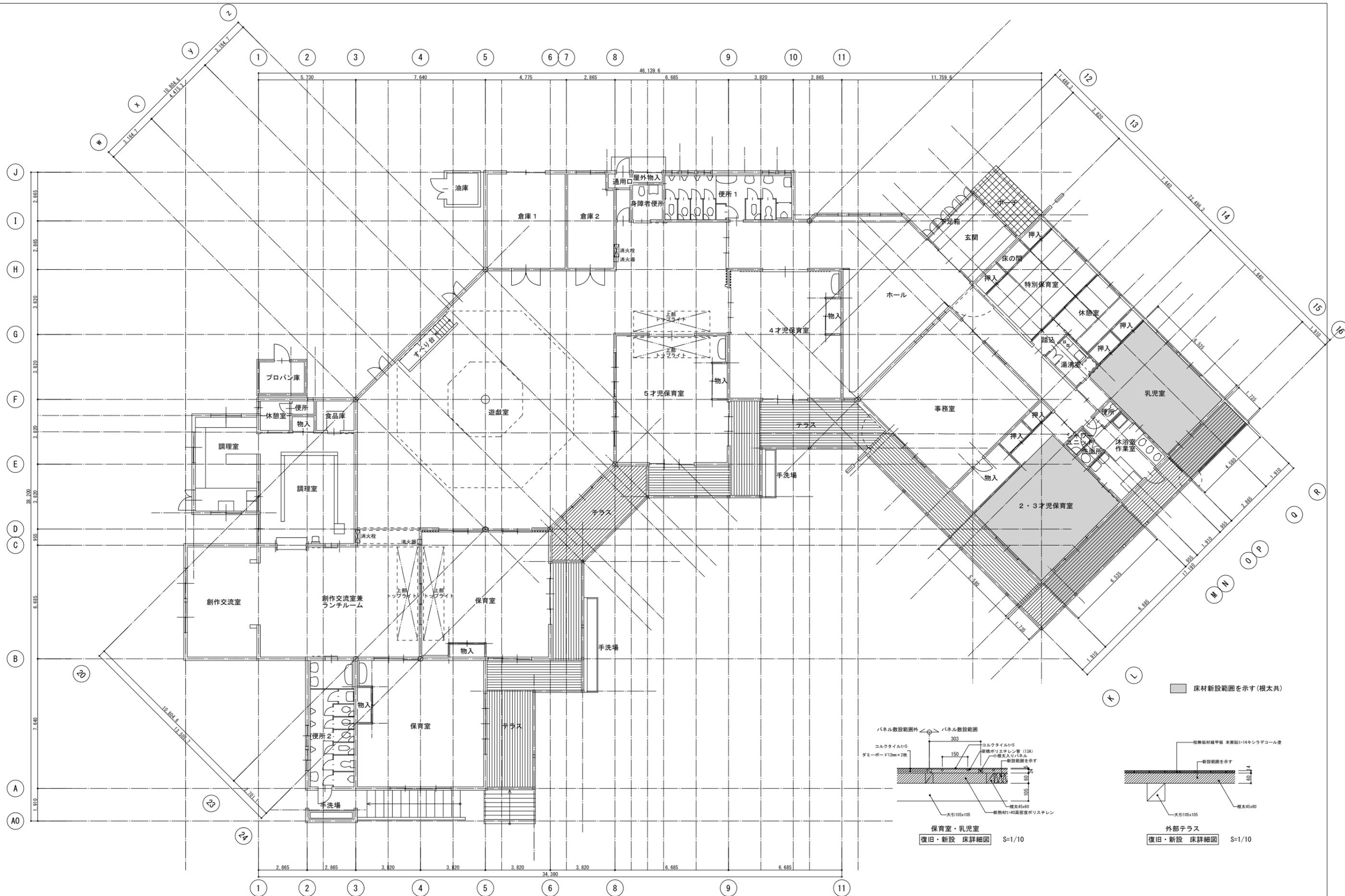
Table detailing equipment specifications for electrical, mechanical, and other systems, including items like lighting, air conditioning, and fire safety equipment.

Table detailing fire safety and structural requirements, including fire-resistant construction, fire doors, and fire escape measures.

Table detailing fire safety and structural requirements, including fire-resistant construction, fire doors, and fire escape measures.



京丹波町 企画政策課				課長	担当課長	副課長	担当	工事名	縮尺	図番
設計番号	設計年度	平成	年					(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事	A1 1/100	No. A-011
								保育所 床 現況・撤去	A3 1/200	014 枚の内



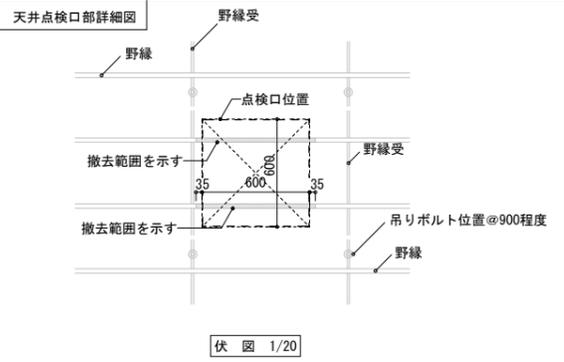
京丹波町 企画政策課

設計番号 設計年度 平成 年 月

課長	担当課長	副課長	担当	工事名
				(仮称) 京丹波町地域熱供給施設新築工事
決裁欄				縮尺
				A1 1/100
				A3 1/200

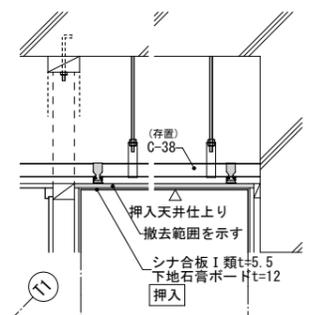
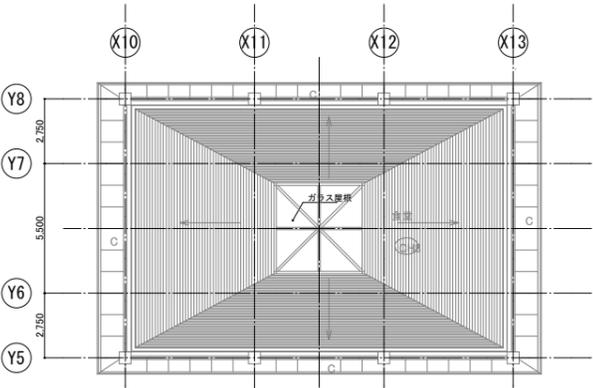
保育所 床 復旧・新設図

図番	No.A-012
枚の内	014

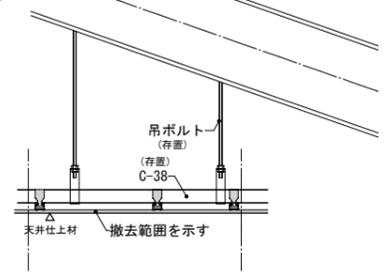


記号	天井レベル	記号	天井レベル
CH0	2.162.5	CH6	2.625~5.800
CH1	2.437.5	CH7	2.812.5~5.800
CH1'	2.500	CH7'	3.400~5.400
CH2	2.625	CH8	4.327.5~6.802.5
CH2'	2.815	CH9	5.000~5.800
CH3	2.812.5	CH10	4.700~5.900
CH3'	2.552.5		
CH4	2.100~2.950		
CH4'	2.182.5~4.666.5		
CH5	2.575~2.812.5		
CH5'	4.500~5.800		

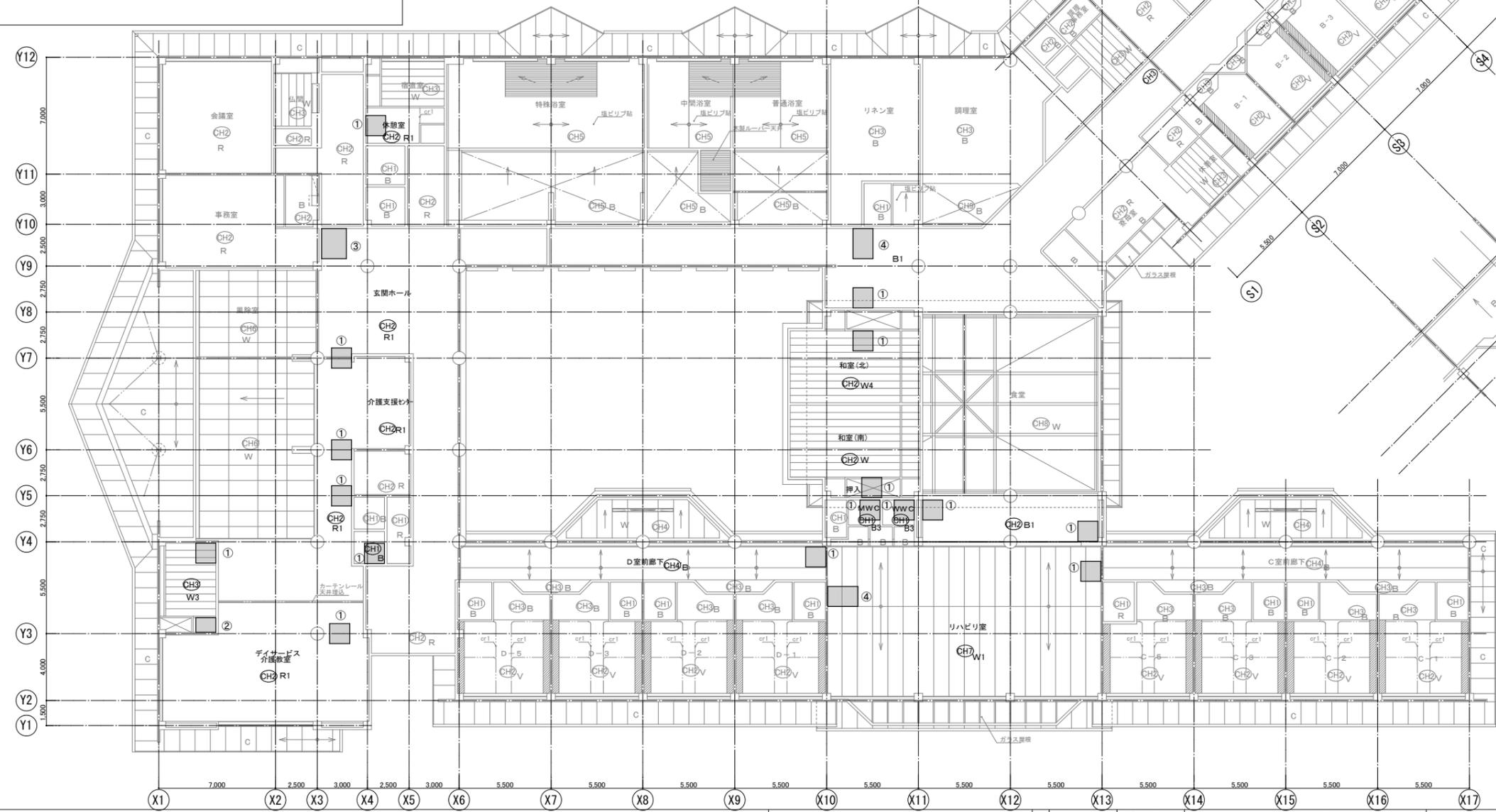
記号	天井仕上
R1	化粧石膏ボード=9
B1	石膏ボード=9+EP塗装
B3	ケイカル板=9+水性科学脱臭塗装
V	ビニルクロス貼
W1	シナ合板 I 類=5.5+CL塗装
W3	化粧石膏ボード=9 柱目
押入	シナ合板 I 類=5.5 下地石膏ボード=12



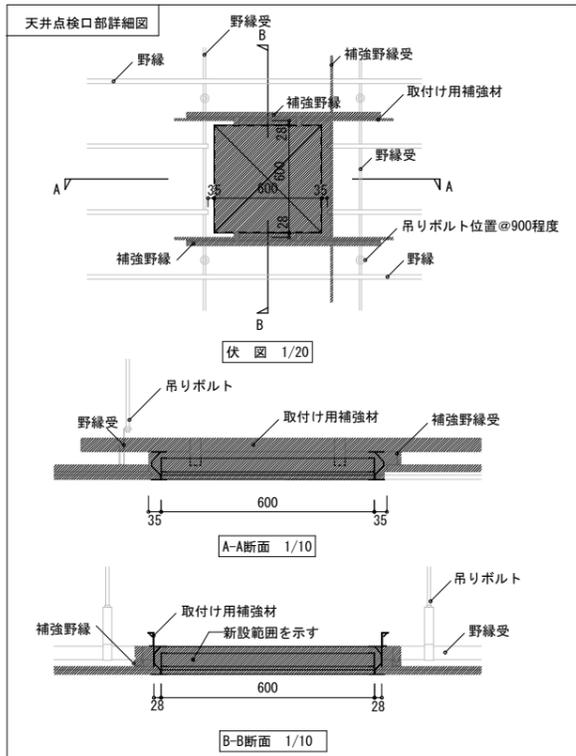
現況・撤去 天井詳細図 S=1/10



現況・撤去 天井詳細図 S=1/10

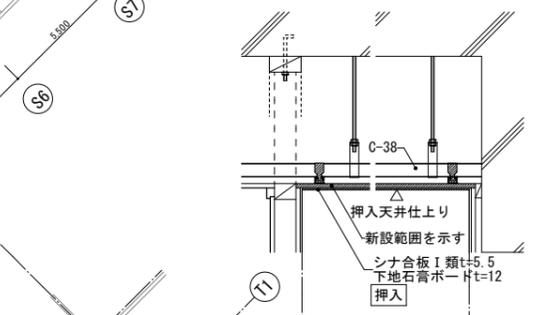
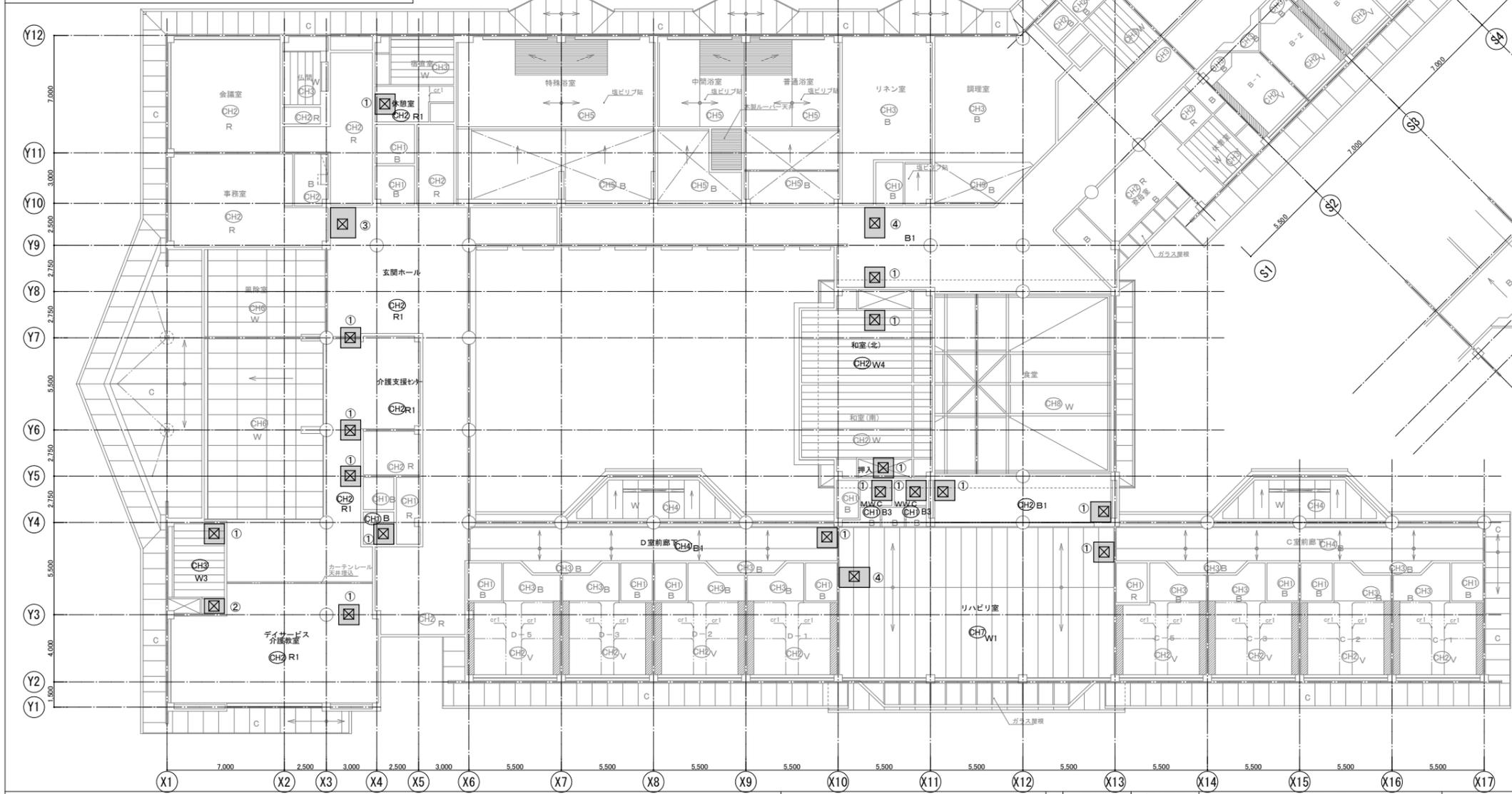
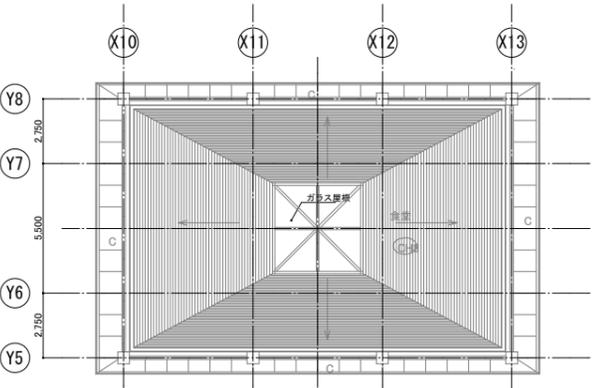


- 天井撤去範囲を示す
- ① 1200x1200天井仕上材撤去 (LGS下地共)
- ② 1200x900天井仕上材撤去 (LGS下地共)
- ③ 1500x1800天井仕上材撤去 (LGS下地共)
- ④ 1200x1800天井仕上材撤去 (LGS下地共)

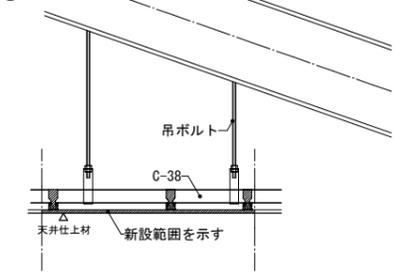


記号	天井レベル	記号	天井レベル
CH0	2.162.5	CH6	2.625~5.800
CH1	2.437.5	CH7	2.812.5~5.800
CH1'	2.500	CH8	3.400~5.400
CH2	2.625	CH8'	4.327.5~6.802.5
CH2'	2.815	CH9	5.000~5.800
CH3	2.812.5	CH10	4.700~5.900
CH3'	2.552.5		
CH4	2.100~2.950		
CH4'	2.182.5~4.666.5		
CH5	2.575~2.812.5		
CH5'	4.500~5.800		

記号	天井仕上
R1	化粧石膏ボード=9
B1	石膏ボード=9+EP塗装
B3	ケイカル板=9+水性科学脱臭塗装
V	ビニルクロス貼
W1	シナ合板I類=5.5+CL塗装
W3	化粧石膏ボード=9 柱目
挿入	シナ合板I類=5.5 下地石膏ボード=12



復旧・新設 天井詳細図 S=1/10



復旧・新設 天井詳細図 S=1/10

- 天井新設範囲を示す
- ① 1200x1200天井仕上材新設 (LGS下地共)
- ② 1200x900天井仕上材新設 (LGS下地共)
- ③ 1500x1800天井仕上材新設 (LGS下地共)
- ④ 1200x1800天井仕上材新設 (LGS下地共)
- ☒ 点検口600角を示す